

R170.3-J521イウ



1200500766278



始



R
170.3
J521/1



史神紙索引



史神紙索引

序 言

我が王朝殊に六國史の時代は、神祇史上實に其の根幹をなすともいふべき重要な時代であつて、神祇崇敬の事實に於て、將た制度の發達整備に於て、特に見るべきものゝあること更めて言を要しない。

而して從來國史に見えたる神祇關係の資料を蒐めたものとしては、早く菅家の類聚國史の如きその一であり、後また國史神祇集、神史其の他の力作もあるが、前者は完本傳はらず、後者また元より詳細を得たものとはなし難い。

本館に於ては大正九年始めて研究室の開設せらるゝや、その事業の第一着手として、六國史神祇資料の詳細なる索引編纂の計劃を立て、當時故竹島教授監修の下に、神道學會々員たる學生主として分擔之に携つたのであるが、元より勉學の餘暇を以て當つたことであり、時日經過の間には種々支障も生じ、また經費等の關係もあつて、未だ完成出版の機を見ず、遂に本年度に



至つたのである。

昭和七年は本館にとり洵に記念すべき創立五十周年に相當せるを以て、これが記念事業の一として、本書出版のことを企劃し、更めて西村教授指導の下に、上島藤成、佐竹純耳兩助手相ついて原稿の整理に當り、爰に上梓の運びに至つたのである。曩に五十周年記念式典當日本館五十年史を出し、今また記念出版として本書を世に遺ることを得たのは寔に慶びに堪へない次第である。

昭和八年三月

神宮皇學館長 平田貫一

例言

一、本書は經濟雜誌社發行大系六國史版に原いて編纂したものである。但し舊國史大系版の廣く世に行はれたことを思ひ、同書の頁數も併せて之を示し、（舊大系本頁數のなき事項は、六國史本校訂の際追加されしものとす）尙廣く何れの六國史にも適用し得るやうに、特に年月日をあげて、一般に便益せんことを計つた。

一、本書は六國史に見ゆる神祇關係の資料を細大漏さず抄録し、之を五十音順に配列し、其間類別的意味を多く加へたものである。而して索出用の假名は片假名三字を限つて之を掲げることにした。

一、日本書紀神代卷は神々の事蹟として最も詳細に抄録した關係上、同一事項についても、嚴格に神祇關係事項と看做し難いものは、單に神代卷のみ抄録して、神武紀以下に及ばなかつたことも少くない。

一、神祇關係の事項としては人名地名等も之を示し、殊に地名の方面では各國別に、其國に關する神祇事項を擧げることにした。

一、原文は一に前記六國史に據り、編者の私意は一切加へぬことにした。従つて校訂上

相違から、國史大系本以外によつて引かるゝ場合には、多少の相違あることを免れない。

一、摘要文は出來得るだけ詳しくし、原本なくとも略々役立つだけにする積りであつたが、經費の關係上紙數に制限を附する必要あり、已むなく多くは簡略に従つたが、併し大體意味の通するだけには抄録して置いた。

一、項目も一々別項にすべきであつたらうが、これも紙數の關係上、大部分は本文中にゴチャクを以て示すことにした。

一、更に紙數の節約上、同一ヶ所にあぐべき事項でも、他に稍纏つて載せられたものについて、便宜参照として、一方を省略に従つたことが少くない。

一、原文を抄録する際、急いだ關係上、その省略には統一を缺く點少くないのであるが、元より索引のことであるから、稍自由に之を省略した。

一、同一事項の配列はすべて年月順にしたゞ特別な場合幾分の細別を行つた(伊勢神宮宮齋、齋宮齋を別に分てる如き、賀茂神社に齋院賀茂祭を別項にせる如きその例である)。従つて人名の如きも例へば藤原氏の中を更に名によつて五十音順に配列するが如きことを以てせず、國史に現るゝ先後によつて之を配列した。

一、神代卷を始めとして日本書紀の訓については、勿論異訓少くないが、今は姑くすべて六國史本のそれ(古訓)に従つて置いた。

一、字音假名遣は大體字音假名用格のそれによつて置いた。

一、清濁音は多く之を混同し、嚴格に區別せず、又鼻音ンは之をムに含めることにした。

一、本索引の編纂は大正九年本館に始めて研究室の開かれた際、最初の事業として着手されたもので、當時その主唱者たる故竹島教授監修の下に、神道學會々員たる學生が之を分擔し、今同教授手控になる功程表によると、志田一夫、山中一明、谷忠政、高野潮齋、小島鉦作、能勢頼賢の諸君(大正十一年卒業生)が之に關係してゐる。併し分擔者の卒業とか、竹島教授の史料編纂所への轉任などの事情から、完成を見るに至らず、其後竹島教授再び學館に戻られ、未了の分については、更に神道學會々員たる學生の手によつて之を補はれてゐる。

一、本館創立五十周年の記念出版として、昭和七年度に於て之を出版するの計劃が立てられるや、昭和六年六月から上島藤成君が研究室助手として、原稿の校訂追補の事にあたり、自分が之を指導することになつた。かくて舊國史大系本の頁數を補ひ、また年月日を記入することにしたのである。

一、昨年度末上島君は入營のため職を退き、ついで夏期休暇中自分は一旦原稿全部を六國史の原本と照合し、九月以來佐竹純耳君の助けを藉りてその整理配列にあたり、漸く年度内出版に間に合はすことが出来たのである。

一、幾人もの手に成つたことのために、原稿の整理配列に手間取り、而も忙しい本務の傍にやつた仕事であるから、抄録配列の不統一を始めとして、不備の點頗る多く、また脱漏の如きも無きを保し難いのであつて、大方の叱正を乞ひ、出来得べくば、是正追補したい考を持つてゐる。

一、以上本書編纂の大體方針及出版に至るまでの経過を記したのであるが、尙終りに神祇關係資料採録上の點について一言して置きたい。神祇關係といふことも之を廣義に解すると、その限界を附することに苦しむのであつて、殊に皇室關係の事實に於て然りとするが、本書は大體左の各項に記すやうな方針を以て抄録したものである。

一、神代紀は詳細に抄く事。但し全體に及ぶは不可能故、直接神祇に關するもの以外に於ては、特種なる名辭を抄くに止め、一般的なるものには及ばず(神代紀の抄録については不統一あるを免れず)。

一、皇室關係の事項は神祇に關係せざる限り、神代紀以下に於ては之をとらず例へば天津日嗣の如きも之をとらず。山陵は奉幣主として荷前幣の場合のみ之を引く。

一、神代紀に見ゆる神々はすべて之を抄録す(それ等の神々が神代紀以後に現はるゝ場合も同様)。但し神

日本幣余彦尊の如きは神代紀を以て限る。

一、神武紀以下は之を人名と解し、國史記載の上にて神祇に關係ある場合に限り之をとる。従つて今日官國幣社の祭神たるの故を以てとることなし。

一、地名も神祇關係のものは多く之をとる。但し宮中の殿舎(紫宸殿、大極殿、八省院、朝堂院、豐樂院など、神祇關係の事實の行はれし場所として見ゆるもの)及び官司(神祇官は引けるも、宮内省其他はとらず、但し官衙神關係は示す)等は之をあげず。

一、抄録を詳細にし、且つ類別的意味を加ふるを方針とせると、地名人名以外に於ては直接神祇關係事實となし難きものは、別に項を設けざりしことなしとせず。例へば遣唐使には神祇關係の事實相當にあるも、特に遣唐使の項を設けざりし如きは是れなり。

一、祥瑞神馬の如きはとらず、但し神符といふが如き神札との關係を考へ得るものは、之を引けることあり。

一、漢文體の修飾上神字を用ゐるもの、中には、果して神祇關係としてあぐべきか、疑問のもの少からず、それ等の中には省略に従へるもの多し。

一、類別の意味を加へし關係上、單に文字(言葉)の上にとゞまらず、意味の上より引けることもあり。また意味の上より一項目を設けしことなどもあり(神前讀經の如き)かゝる場合には時間の餘裕なかりし爲、不統一若くは脱漏なきことを保せず。

一、國別にあげし神祇事項中の神々の神階及び同一神に二度以上授階ありし場合の神階等には省略に従へること多し。(従つて若し原本によらずして引かるゝ場合には、前者については更めてそれれんの神の項により、後者についてはすぐ前條に見ゆる神階により之を知られたし)

一、原本により、後者についてはすぐ前條に見ゆる神階により、然らざるものは普通のよみ方に従ひ、神名については國史大原本延喜式神名帳を参照せること多し。

一、調方異なるも意味同一と認めらるゝものは同一項目にまとめ抄録せることあり。例へばイハフと調めるをマツリの項に含めし如きは是れなり。

一、同一文字にてもよみ方の異なるものはそれ／＼の條に配列す。例へば神カミ、シン、アヤシキ、天リアメ、アマ、テンの如し。かゝるものはそれ／＼参照索出せられむことを望む。

一、年月日の中日は干支を以て之を示すこととせり、但し日の干支は推古紀以後之をあげ、その以前に及ばず神代紀は單に上下の別を示すに止む。

一、次に略號表を掲げて置きたい。

イ、五十音符の假名の下に示せるもの

六國史本大系 六國史本(菊版)

舊大系本 國史大系本六國史(四六版)

ロ、六國史略號(書名の欄に記せるもの)

書紀 日本書紀(國史大系) 續紀 續日本紀(同第二册)

後紀 日本後紀(同第三册) 續後 續日本後紀(同第三册)

文德 文德實錄(同第三册) 三代 日本三代實錄(同第四册)

以上

昭和八年三月

西村爲之助小識



六國史神祇索引

名	書	六國史本	舊大系本
アガタ	縣女王爲齋王至是發入 <small>九等</small> 對天、齋宮寮史生從八位上縣造當世又殺助正六位上藤原朝臣豐本 <small>十、成子</small> 而奉報歌曰阿軻娜磨 <small>神代下</small>	續紀	二七六、二六六、三〇八、二七四
アガツ	又入吹生赤土命 <small>神代上</small>	書紀	八二、七二
アガナ	吾夫君尊 <small>ナセノミコト</small> を見よ、至使拔髮以贖其罪拔其手足之爪贖之 <small>神代上</small>	書紀	三二、二八
アカヒ	伊勢大神奏天皇曰免伊勢國今年調役然應輸其二神郡赤引絲卅伍斤於來年當折其代 <small>神代六、四九、丁未</small>	書紀	六七〇、五六三
アカキ	赤孫等十一神並授從五位下 <small>神代七、七</small>	文德	五三七、四七九
アカキ	參河國赤孫神並從五位上 <small>神代七、十</small>	三代	三二一、一九六
アカキ	赤孫神正五位下 <small>神代十八、六、癸丑</small>	三代	四八九、四三〇
アカダ	播磨國正六位上英賀彥神並授從五位下 <small>元慶五、五、壬子</small>	三代	六四七、五六四
アカカ	有大蛇眼如赤酸醬赤酸醬此云阿箇箇 <small>神代上</small>	書紀	三九、三五
アカカ	而絶然似赤酸醬也 <small>神代下</small>	書紀	五七、五〇
アカキ	生女爲黑心生男爲赤心 <small>神代上</small>	書紀	二七、二四
アカキ	上野國无位赤城神從五位下 <small>神代六、甲申</small>	續後	二九三、二五八
アカキ	從五位上赤城神並正五位下 <small>神代六、甲申</small>	三代	二八七、二五四
アカキ	赤城神並正五位上 <small>神代十一、十一、庚申</small>	三代	三三五、二九八
アカキ	赤城神並從四位下 <small>神代十六、三、癸酉</small>	三代	四三九、三八七
アカコ	赤城沼神並從四位上 <small>元慶四、五、庚寅</small>	三代	六一九、五四一
アカコ	豐葦原中國是吾兒可王之也 <small>神代</small>	書紀	五三、四七
アカコ	若使吾兒所御之國不有浮寶者 <small>神代</small>	書紀	四三、三八
アカダ	周防國正六位上赤田神並授從五位下 <small>元慶二、六、丁亥</small>	三代	五三三、四九三

アカカ—アカヒ

アキノ	秋祭	ハルノマツリを見よ	三代	七四〇	六四一
アキル	武藏國正五位下勳六等呼切神從四位下	天曆八、七、癸酉	三代	八二	七二
アクシ	惡神	アシキカミを見よ	書紀	八〇	七〇
アケウ	凡此贈答二首號曰舉歌	神代下	書紀	八〇	七〇
アゲタ	兄作高田者汝可作滂田一汝可作高田	神代下	文德	六四九	五七六
アゲノ	有自伊豆新移神名阿氣大神	神代下	續後	二三八	二二二
アザカ	阿耶賀大神從五位下此神坐伊勢國壹志郡	天曆二、十二、甲申	文德	五三三	四六六
アサマ	阿耶賀神從五位上	天曆三、十、癸亥	文德	五八五	五二一
アサク	阿耶賀神預於名神	天曆二、五、壬寅	文德	五八六	五二三
アサハ	阿耶賀神並加從四位下	天曆二、五、甲申	三代	二四	二二
アサマ	阿射加神從四位上	天曆二、五、甲申	三代	二六四	二三四
アサマ	阿射加神並授從三位	天曆二、十一、乙巳	書紀	五九九	四七〇
アサマ	新除朝倉社木而作此宮之	天曆七、五、甲申	續紀	七七三	七一一
アサマ	朝原内親王齋居平城至是齋期既竟將向伊勢神宮	天曆七、八、丙戌	文德	五六七	五〇五
アサマ	以駿河國淺間神預於名神	天曆二、五、甲申	文德	五六七	五〇五
アサマ	淺間大神從三位	天曆三、七、壬寅	文德	五六七	五〇五
アサマ	淺間神正三位	貞觀六、正、甲申	三代	一七六	一五八
アサマ	駿河國言淺間大神大山火	天曆六、六、丙戌	三代	一八一	一六一
アサマ	決之著龜淺間名神福宜祝等不動齋敬之所致也	貞觀六、八、己未	三代	八三三	七一一
アサマ	奉幣駿河國淺間神社	仁智三、四、己酉	三代	二一八	一九四
アサマ	勅甲斐國八代郡立淺間明神祠列於官社	貞觀七、十二、丙辰	三代	二一八	一九四
アサマ	八代郡大領伴直真真託宣云我淺間明神欲得此國齋祭	貞觀七、十二、丙辰	三代	二二〇	一九六
アサマ	令甲斐國於山梨郡致祭淺間明神	貞觀七、十二、丙辰	三代	二二一	一九七
アサマ	一同八代郡	貞觀七、十二、丁卯	三代	二四一	二二三
アサマ	土佐國朝岑神並從五位上	天曆八、乙未	三代	二四四	二二六
アサマ	從五位下朝岑神從五位上	天曆八、乙未	三代	三三九	二九三
アサマ	大和國正六位上朝日豐明姬拔田神授從五位下	貞觀十一、九、壬午	三代	三二九	二九二
アサマ	朝日豐明姬拔田子神授從五位下	貞觀十一、九、壬午	三代	二一八	一九三
アサマ	近江國麻生神從五位下	天曆七、十、甲申	三代	五三七	四七九
アサマ	參河阿志等十一神從五位下	天曆七、十、甲申	文德	五三七	四七九
アサマ	阿波无位葦稻葉神從五位下	天曆九、七、戊戌	續後	三六七	三三五

アシイ

從五位上葦稻羽神正五位上

三代 二八三 二五一

アシウ

葦稻葉神並從四位下

三代 四三九 三八七

アシキ

初潮漬足時則爲足占

書紀 八五 七四

アキ

時天照大神怒甚之曰汝是惡神

書紀 二二 二〇

アキ

有螢火光神及蠅聲邪神

書紀 四七 四二

アキ

二神遂誅邪神

書紀 五〇 四五

アキ

然虛有殘賊強暴橫惡之神者

書紀 五三 四七

アキ

天有惡神名曰天津甕屋

書紀 五九 五三

アキ

以授日本武尊曰山有邪神

書紀 一七一 一四四

アキ

日神方知素戔嗚尊固無惡意

書紀 二七 二四

アキ

是時天照大神疑弟有惡心

書紀 二七 二四

アキ

出雲國從五位下阿式神並授從五位上

三代 二六一 一九二

アキ

吾欲令撥平葦原中國邪鬼

書紀 四七 四二

アキ

以足爪爲凶棄物

書紀 三五 三一

アキ

吾是國神號脚摩乳

書紀 三八 三四

アキ

使脚摩乳手摩乳釀八醞酒

書紀 三八 三四

アシイ	脚摩乳手摩乳對曰	神代上	書紀	四一	三七
アシウ	播磨國足速手速神從五位下	天曆三、手、甲申	文德	五一	四六五
アシキ	亦曰葦原醜男	神代上	書紀	四四	三九
アキ	葦原千五百秋之瑞穗國	神代下	書紀	五七	五〇
アキ	開葦原中國有保食神	神代上	書紀	二一	一九
アキ	即以日神所生三女神者使降居于葦原中國之宇佐嶋矣	神代上	書紀	三〇	二六
アキ	葦原中國之宇佐嶋矣	神代上	書紀	三五	三二
アキ	亦不可居於葦原中國	神代上	書紀	三六	三三
アキ	如此則可以降女於葦原中國	神代上	書紀	四五	三九
アキ	夫葦原中國本自荒芒	神代上	書紀	四七	四二
アキ	遂欲立皇孫天津彦火瓊瓊杵尊以爲葦原中國之主	神代下	書紀	四七	四二
アキ	吾欲令撥平葦原中國之邪鬼	神代下	書紀	四七	四二
アキ	吾亦欲取葦原中國	神代下	書紀	四八	四三
アキ	先是天稚彥在於葦原中國也	神代下	書紀	四九	四四
アキ	更會諸神選當遣於葦原中國者	神代下	書紀	五〇	四五
アキ	即配經津主神令平葦原中國	神代下	書紀	五〇	四五
アキ	令降之於葦原中國	神代下	書紀	五五	四九
アキ	葦原中國皆已平竟	神代下	書紀	五六	五〇
アキ	使平定葦原中國	神代下	書紀	五六	五〇

アシハ—アソヒ

アシハ	然後下撥葦原中國 <small>神代下</small> 降於葦原中國亦爲吾孫奉齋焉 <small>神代下</small> 降皇孫火瓊瓊杵尊於葦原中國 <small>神代下</small> 葦原中國者磐根木株草葉猶能言語 <small>神代下</small> 遣天稚彥於葦原中國 <small>神代下</small> 負惡解除善解除 <small>神代下</small> 在伊勢國正六位上葦原神預官社 奉幣飛鳥四社 <small>大和、飛鳥、三、七、聖御</small> 飛鳥神等遣使奉幣爲風雨祈 <small>飛鳥、三、七、聖御</small> 河內無位飛鳥戶神正四位下 <small>飛鳥、三、七、聖御</small> 飛鳥戶神列於官社 <small>飛鳥、三、七、聖御</small> 飛鳥戶神社賜田一町以充春秋祭祀之費 <small>飛鳥、三、七、聖御</small> 飛鳥山口神並正五位下 <small>飛鳥、三、七、聖御</small> 大和國飛鳥山口神等遣使奉幣爲風雨祈焉 <small>飛鳥、三、七、聖御</small> 丹波國言上慶雲見管何鹿郡阿須岐神社 <small>丹波、三、十一、神子</small>	書紀 書紀 書紀 書紀 書紀 書紀 書紀 書紀 書紀 書紀 書紀 書紀 書紀 書紀 書紀 書紀	五九 六一 六七 六七 六七 二六〇 六六六 六六六 二二 五〇 二二 二二 二二 二二 二二 二二	五三 五四 五九 二六 五六八 五四二 五四四 四三 四四 二〇 四四 四四 四四 四四 四四 四四	アスハ	越前國足羽神從五位下 <small>越前、十、四、七、已</small> 足羽神從四位下 <small>足羽、天、聖御</small> 神祇官阿須波神從四位上 <small>阿須波、天、聖御</small> 秋穀已成則互以緒繩 <small>神代上</small> 阿蘇神社 <small>健甕龍神、阿蘇比咩神、國造神社參照</small> 時有二神曰阿蘇都彥阿蘇都媛忽化人 <small>阿蘇、十八、六</small> 阿蘇神社度僧二人於國分寺及神宮寺專心行道 <small>阿蘇、三、聖御</small> 肥後國阿蘇大神懷藏怒氣 <small>阿蘇、八、八</small> 肥後國阿蘇比咩神從四位下 <small>阿蘇、二、聖御</small> 阿曾比咩神從四位上 <small>阿曾、天、聖御</small> 阿蘇比咩神列於官社 <small>阿蘇、天、聖御</small> 又比賣神嶺元來有三石神高四許丈同夜一石神頽崩 <small>阿蘇、六、十二、已御</small> 正四位下姬神所居山嶺 <small>阿蘇、九、八、王中</small> 阿蘇比咩神正四位下 <small>阿蘇、十、四、聖御</small> 阿蘇比咩神正四位上 <small>阿蘇、十五、四、已安</small> 阿蘇比咩神從三位 <small>阿蘇、十七、十二、神子</small>	續紀 文德 三代 書紀 書紀 書紀 書紀 書紀 書紀 書紀 書紀 書紀 書紀 書紀 書紀 書紀	八三五 五三〇 三一 一六七 一七四 二七四 二四四 三三一 三三一 三三 三五 四二 一八八 一八九 二八九 三一 三一 三一 三一 三一 三一 三一	七三 四七 一八 二九 一四〇 二四四 二四四 二〇四 四八二 二二 三六 一六七 二五六 二七七 二七七 三七〇 三七〇 四二〇 四二〇
------------	---	--	---	---	------------	---	--	---	---

アタカ	大山祇神之女子吾田鹿葦津媛 <small>神代下</small> 吾田鹿葦津姬抱子而來進 <small>神代下</small> 吾田鹿葦津姬乃愠之曰 <small>神代下</small> 是以吾田鹿葦津姬益恨 <small>神代下</small> 吾田鹿葦津姬自火爐中出來 <small>神代下</small> 因幡國無位阿太賀都建御熊神並授從五位下 <small>因幡、七、丁巳</small> 丹波國正六位上愛當護神從五位下 <small>丹波、六、九、七、末</small> 阿當護神從五位上 <small>阿當護、十四、十一、乙未</small> 阿當護神從四位下 <small>阿當護、七、庚戌</small> 是若他神之子女者必不幸矣 <small>神代下</small> 又卜便祭他神不吉 <small>神代下</small> 卜祭他神吉焉 <small>神代下</small> 何背國神敬他神 <small>佛</small> <small>何背、三、四</small> 天杵瀨命娶吾田津姬生兒 <small>神代下</small> 汝若不有奸賊之心者 <small>神代上</small> 火關降命即吾田君小橋等之本祖也 <small>神代下</small> 到於吾田長屋笠狹之碕矣 <small>神代下</small>	書紀 書紀 書紀 書紀 書紀 書紀 書紀 書紀 書紀 書紀 書紀 書紀 書紀 書紀 書紀 書紀	六五 六五 六五 六五 六五 六六 六六 六六 六六 六六 六六 六六 六六 六六 六六 六六	五七 五七 五七 五七 五七 五八 五八 五八 五八 五八 五八 五八 五八 五八 五八 五八	アタノ	到於吾田長屋笠狹之御碕 <small>神代下</small> 到于吾田笠狹之御碕 <small>神代下</small> 齋宮宮主大初位下直伊勢雄等五人賜姓直宿禰 <small>伊勢、八、丁巳</small> 飛驒國從五位下阿多由大神等從五位上 <small>飛驒、九、十、聖御</small> 勅素戔鳴尊汝甚無道 <small>神代上</small> 是從素戔鳴尊之所爲也甚無狀 <small>神代上</small> 凡此諸事盡是無狀 <small>神代上</small> 素戔鳴尊所行無狀 <small>神代上</small> 先是天稚彥在於葦原中國也與味耜高彥根神友善 <small>神代下</small> 故味耜高彥根神昇天弔喪 <small>神代下</small> 時味耜高彥根神忿然作色曰 <small>神代下</small> 天稚彥與味耜高彥根神友善 <small>神代下</small> 味耜高彥根神登天弔喪大臨焉 <small>神代下</small> 時味耜高彥根神忿曰 <small>神代下</small> 時味耜高彥根神光儀華艷 <small>神代下</small> 時味耜高彥根神之妹下照媛欲令衆人知映丘谷者是味耜高彥根神 <small>神代下</small>	書紀 書紀 書紀 書紀 書紀 書紀 書紀 書紀 書紀 書紀 書紀 書紀 書紀 書紀 書紀 書紀	六四 六七 二八九 二八九 三一 三一 三一 三一 三一 三一 三一 三一 三一 三一 三一 三一	五七 五九 二五七 二五九 一〇 二六 三三 三三 三三 三三 三三 三三 三三 三三 三三 三三
------------	---	--	--	--	------------	--	--	--	--

アタカ—アチス

アチス	阿泥素企多伽避願禰 出雲國阿邊須伎高彥根命等並授 從五位下	書紀 五五 四九 文德 五三六 四七六
アチハ	參河國謁磐等十一神並授從五位 下	文德 五三七 四七九
アツカ	充同神社(平野)預一人御炊女四 人新	三代 七五五 六五四
アツコ	賀茂齋教子内親王並卜食 教子内親王乎卜定天阿禮乎度女 余進狀	三代 五一 四四九 三代 五二 四五〇
アツサ	信濃國正六位上梓水神並從五位 下	三代 二八〇 二四八
アツシ	伊豆國阿豆佐和氣命授從五位下	文德 五三三 四八六
アツタ	此劍—今在於尾張國也 日本武尊所佩草薙橫刀是今在尾	文德 五五三 四九三 文德 五七七 五二四 書紀 三三 二二 書紀 四一 三六 書紀 四三 三七
アツミ	張國年魚市郡熱田社也 卜天皇病祟草薙劍即日送置于尾 張國熱田社	書紀 六四五 五八一 續後 二〇三 一八一
アドカ	近江國阿度河川田神從五位下	文德 五三一 四六五 三代 二四 二二 三代 二八 二四 書紀 一七 一五 續紀 三七 三一 三代 一五七 一三九

アトノ

左京人阿刀連粟麻呂阿刀宿禰石
成阿刀連禰守右京人阿刀物部貞
範等並賜姓良階宿禰神饒速日命
之裔孫也

アナウ

熹哉遇可美少男
和泉國无位穴師神從五位下
正五位下穴師神從四位下
從五位下勳八等穴師兵主神(大和)
並正五位上

アナシ

伊賀國无位穴石神從五位下
是以有手端吉棄物足端凶棄物
妍哉可愛少男
妍哉可愛少男
美哉善少男

アナス

妍哉可愛少女
妍哉可愛少女
美哉善少女

アニノ

備前國邑久郡安仁神預名神
上總國從五位上勳五等姉前神並

アトノ	左京人阿刀連粟麻呂阿刀宿禰石 成阿刀連禰守右京人阿刀物部貞 範等並賜姓良階宿禰神饒速日命 之裔孫也	三代 一八一 一六一 續後 三六七 三二六 三代 三〇三 二六九 三代 二二 二〇 三代 三三 二二 三代 三三 二二 書紀 四 四 書紀 五 五
アナウ	熹哉遇可美少男 和泉國无位穴師神從五位下 正五位下穴師神從四位下 從五位下勳八等穴師兵主神(大和) 並正五位上	書紀 四 四 書紀 五 五 續後 三六七 三二六 三代 三〇三 二六九 三代 二二 二〇 三代 三三 二二
アナシ	伊賀國无位穴石神從五位下 是以有手端吉棄物足端凶棄物 妍哉可愛少男 妍哉可愛少男 美哉善少男	書紀 六 六 書紀 七 六 書紀 八 七 書紀 八 七 書紀 八 七 三代 三三 二二 三代 三三 二二
アナス	妍哉可愛少女 妍哉可愛少女 美哉善少女	書紀 六 六 書紀 七 六 書紀 八 七 書紀 八 七 書紀 八 七 三代 三三 二二 三代 三三 二二
アニノ	備前國邑久郡安仁神預名神 上總國從五位上勳五等姉前神並	書紀 八 七 書紀 八 七 書紀 八 七 續後 三三九 二九一 三代 五二九 四六四
アネサ	正五位下 姉前神並正五位上	三代 七四〇 六四一
アハ	栗國忌部遠祖天日鷲所作木綿 天石門和氣八倉比咩神從五位下 華稻葉神並從五位下 天日鷲神從五位下 大麻比古神忌部天日鷲神並從五 位上 白鳥神從五位下 天石門和氣八倉比咩神從四位下 葦稻羽神大麻比古神並授正五位 上 伊佐奈美神從五位下 天石門和氣八倉比咩神從四位上 伊比良咩神船盡比咩神並從五位	書紀 三五 三一 續後 三三七 二九九 續後 三六七 三三五 續後 四六七 四一五 三代 二五 二二 三代 九一 八〇 三代 一九七 一七五 三代 二八三 二五一 三代 三三 二二 三代 三三一 二八五 三代 三三三 三二九 三代 四一五 三六七

アハ

天石門和氣八倉比咩神正四位下 <small>自願十四、十一、乙未</small>	三代	四三九	三六六
葦稻葉神從四位下 <small>自願十六、三、癸酉</small>	三代	四九三	四三四
意富門麻比咩神從五位下 <small>自願十八、四年</small>	三代	五五四	四八五
大麻比古神從四位下天日鷲神正 五位下 <small>自願二、四、己卯</small>	三代	五九三	五一八
天石門別八倉比咩神正四位上葦 稻羽神從四位上 <small>自願三、六、甲午</small>	三代	七〇四	六〇九
鹿紅(江)比咩神從五位上 <small>自願七、九、甲午</small>	三代	七〇六	六一一
大麻神從四位上 <small>自願七、十二、甲子</small>	三代	七〇八	六二三
和多都美豐玉比咩神白馬(鳥)神 並從五位上 <small>自願七、十二、甲午</small>	三代	七一一	六一五
天日鷲神從四位下埴生女屋神八 杵神並從五位上 <small>自願七、十二、甲午</small>	續後	四〇九	三六三
但馬國朝來郡无位粟鹿神並從五 位下 <small>自願十二、七、甲子</small>	三代	三一〇	二七六
從五位上粟鹿神並正五位上 <small>自願七、十二、甲戌</small>	三代	四三九	三八七
正五位下禾鹿神並正五位上 <small>自願十六、三、癸酉</small>	三代	四三九	三八七

アハキ

アハシ

アハタ

アハチ

至筑紫日向小戸橋之橿原 <small>自願代上</small>	書紀	一六	一四
亦曰至淡島而緣粟莖者 <small>自願代上</small>	書紀	四	三九
粟田朝臣足人為齋宮長官 <small>天智字五、武周字五</small>	續紀	四一〇	三八八
粟田三氏五位以上准小野氏春秋 二祠時不待官符向一氏神社 <small>武周四、自願二、癸酉</small>	續後	二六〇	二二二
淡路洲為胞 <small>自願代上</small>	書紀	五	五
次淡路洲 <small>自願代上</small>	書紀	七	六
以淡路洲為胞 <small>自願代上</small>	書紀	八	八
先生淡路洲 <small>自願代上</small>	書紀	八	八
生淡路洲 <small>自願代上</small>	書紀	八	八
以淡路洲為胞 <small>自願代上</small>	書紀	九	八
生淡路洲 <small>自願代上</small>	書紀	九	八
是以構幽宮於淡路之洲 <small>自願代上</small>	書紀	三三	三二
是後出石刀子自然至于淡路嶋其 嶋人謂神而為刀子立祠是於今所 祠也 <small>自願八、七、甲子</small>	書紀	一五五	一三〇
時居嶋伊弉諾神託祝曰不堪血鼻 矣因以卜之 <small>自願五、九、甲子</small>	書紀	二五九	二二六
嶋神崇之曰不得獸者是我之心也 乃祠嶋神而獲之 <small>自願十四、九、甲子</small>	書紀	二七三	二二七

アハチ

アハナ

アハノ

大和大國魂神列於官社 <small>自願七、十一、乙未</small>	文德	五四〇	四八一
伊佐奈岐命一品 <small>自願六、五、甲午</small>	三代	二二	一八
湊口神從五位下 <small>自願六、十二、乙未</small>	三代	五五	四九
久度神從五位下 <small>自願六、二、壬戌</small>	三代	一七三	一五三
湊口神久度神並從五位上 <small>自願八、九、甲子</small>	三代	七四六	六四五
毀其畔 毀此云波那豆 <small>自願代上</small>	書紀	三〇	二六
素戔鳴尊春則填渠毀畔 <small>自願代上</small>	書紀	三三	二九
春則廢渠槽及埋溝毀畔 <small>自願代上</small>	書紀	三三	三〇
安房國無位安房大神奉授從五位 下 <small>自願三、七、甲午</small>	續後	二二五	二二五
安房大神正五位下無位第一后神 <small>自願三、七、甲午</small>	續後	三六七	三三五
天比理刀咩命神並從五位下 <small>自願九、十、壬戌</small>	續後	四三三	三八六
加安房國大神并從祭神正稅穀一 百斛 <small>自願十四、七、甲午</small>	續後	四三三	三八六
安房神天比理乃咩命神並特加從 三位 <small>自願三、八、甲戌</small>	文德	五五一	四九〇
從三位勳八等安房神天比乃理刀 咩命神並正三位 <small>自願六、五、甲午</small>	三代	二四	二二
此島坐阿波神是三嶋大社本后也 <small>自願七、九、乙未</small>	續後	三三三	二八五

アハノ

アハキ

アヒタ

アヒツ

阿波神者三島大社本后 <small>自願七、九、乙未</small>	續後	三三三	二八六
無位阿波神並從五位下 <small>自願七、九、甲戌</small>	續後	三三四	二八七
阿波神授從五位上 <small>自願三、九、壬子</small>	文德	五三三	四六六
安房神列於官社 <small>自願三、十一、甲戌</small>	文德	五二四	四六七
阿波咩命神並加正五位下 <small>自願三、十、甲子</small>	文德	五五三	四九二
阿波咩命神並正五位下 <small>自願六、六、己卯</small>	文德	五七七	五一四
伊賀國正六位上阿波神並從五位 下 <small>自願三、四、甲戌</small>	三代	九八	八六
阿波神並從五位上 <small>自願十五、九、己丑</small>	三代	四二八	三七六
常陸國從五位下阿波神從五位上 <small>自願二、十二、癸未</small>	三代	八〇九	七〇一
次淡洲 <small>自願代上</small>	書紀	六	六
乃往見粟門及速吸名門 <small>自願代上</small>	書紀	九	八
讚岐國粟井神預之名神 <small>自願九、十一、甲子</small>	續後	三七〇	三三八
正六位上粟井神並從五位下 <small>自願六、七、甲戌</small>	三代	一八六	一六五
攝津國豐嶋郡阿比太神從五位下 <small>自願三、三、甲戌</small>	續後	四八一	四三七
信濃國無位會津比賣神並從四位 下 <small>自願八、六、甲戌</small>	三代	二四三	二二五

アヒド	無位合殿比咩神 <small>(平野)</small> 從五位下 <small>景行十五、七、五年</small>	續後	四五	四〇三
	合殿坐須比咩神乎波正五位下 <small>仁德天、七、七、功</small>	文德	五三八	四七九
	合殿比咩神正五位上 <small>貞觀天、五、甲申</small>	三代	二二	一九
	正五位下合殿比咩神從四位下 <small>貞觀天、七、丁、功</small>	三代	四六	四一
アヒナ	合殿比咩神從四位上 <small>貞觀天、五、甲子</small>	三代	一四六	一三〇
	奉伊勢太神宮相嘗幣帛 <small>延喜天、九、</small>	續紀	八二六	七六五
	以大和國金峯神預於相嘗月次並 神今食祭也 <small>應永天、六、甲寅</small>	文德	五七六	五二三
	以山城國片山神列於官社兼預相 嘗祀 <small>應永天、五、庚辰</small>	文德	五九九	五三四
アヒニ	奉幣帛於相新嘗諸神祇 <small>武承天、十、丁酉</small>	書紀	六〇九	五二二
アヒノ	屋主忍男武雄心命詣之居于阿備 柏原而祭祀神祇 <small>皇行三、三</small>	書紀	一五六	一三三
アヒラ	彥波瀲武鸕鷀草葺不合尊崩於西 洲之宮因葬日向吾平山上陵 <small>神代下</small>	書紀	八六	七五
アヒラ	因幡國正六位上相尾神從五位下 <small>天智天、十二、乙未</small>	三代	五四四	四七六

アフク	陸奥國動十等阿福麻水神從五位 <small>下貞觀天、七、戊子</small>	三代	一五六	一三九
アフタ	見粟田豆田則留而不返 <small>神代下</small>	書紀	六七	五九
アフノ	出雲國從五位上阿武神並正五位 <small>下貞觀天、十一、五年</small>	三代	三九三	三四七
アフミ	近江 比叡神參照 倭姬命求鎮坐大神之處而一更還 之入近江國 <small>應永天、二十五、三</small>	書紀	一四八	一二五
	於是聞近江嚙吹山有荒神 <small>皇行十四</small>	書紀	一七六	一四八
	於山御井傍敷諸神座而班幣帛中 臣金連宣祝詞 <small>天智天、三、五年</small>	書紀	五七五	四八四
	遣使奉幣於近江國名神社先是仲 麻呂之走據近江也朝廷望禱請國 神而莫出境內即伏其誅所以賽宿 禱也 <small>平賀天、八、十一、癸丑</small>	續紀	四六三	四三五
	震西大寺西塔卜之探近江國滋賀 郡小野社木構塔為崇充當郡戶二 烟 <small>應永天、三、四、己卯</small>	續紀	六〇〇	五六〇
	三尾神從五位下 <small>延喜天、八、壬寅</small>	續紀	七五五	七〇一
	斷近江等國百姓殺牛用祭漢神	續紀	八三八	七七七

アフミ

アフミ	以近江國高嶋郡為悠紀 <small>天長七、三、</small>	續後	一九六	一七五
	小野氏神社在近江國滋賀郡勅聽 彼氏五位已上每至春秋之祭不待 官符永以往還 <small>承和天、二、甲丑</small>	續後	二二四	一九一
	小野神從五位下依遣唐副使小野 朝臣篁申也 <small>承和天、三、五、庚子</small>	續後	二四四	二一八
	勅聽大春日布瑠粟田三氏五位已 上准小野氏春秋二祠時不待官符 向在近江國滋賀郡氏神社 <small>應永天、二、</small>	續後	二六〇	二三三
	伊富岐神從五位下 <small>應永天、七、壬子</small>	文德	五三三	四六六
	散久難度神列於明神 <small>仁德天、六、甲寅</small>	文德	五三四	四七六
	筑摩神從五位下 <small>仁德天、三、甲戌</small>	文德	五四九	四八八
	伊香神從四位下伊富岐神佐久奈 度神水口神川田神三上神奧津嶋 神並從五位上 <small>貞觀天、五、甲申</small>	三代	二四	三二
	建部神列於官社 <small>貞觀天、三、甲寅</small>	三代	六四	五六
	川枯神正五位下 <small>貞觀天、四、壬子</small>	三代	九七	八六
	下知近江等國司伊勢齋內親王將 入太神宮仍預令點儲 <small>貞觀天、六、甲子</small>	三代	一〇二	九〇

アフミ

アフミ	兵主神正五位下 <small>貞觀四、五、己丑</small>	三代	一一三	一〇〇
	小野神授從四位下 <small>貞觀四、十二、丙辰</small>	三代	一一八	一一四
	建部神從五位下 <small>貞觀五、六、己亥</small>	三代	一四八	一三一
	三尾神從四位下 <small>貞觀五、四、戊子</small>	三代	一四八	一三三
	葛野神從五位下 <small>貞觀五、九、甲寅</small>	三代	一五四	一三七
	少杖神阿度河川田神等並授從五 位下 <small>貞觀五、十二、甲辰</small>	三代	一五七	一三九
	比良神從四位下 <small>貞觀七、五、庚子</small>	三代	一九〇	一六八
	兵主神從四位上 <small>貞觀七、六、癸亥</small>	三代	二〇八	一八四
	三上神正四位下 <small>貞觀七、八、丙子</small>	三代	二一一	一八八
	石劍神授從五位下 <small>貞觀七、九、庚子</small>	三代	二二四	一九九
	麻生神從五位下 <small>貞觀七、十一、癸卯</small>	三代	二二八	一九三
	天社神從五位下 <small>貞觀八、四、庚戌</small>	三代	二三三	二〇八
	山津照神並授正四位下伊香神並 從四位上 <small>貞觀八、四、壬子</small>	三代	二三五	二〇八
	兵主神正四位下 <small>貞觀八、十二、丁酉</small>	三代	二六九	二三八
	兵主神正四位上 <small>貞觀九、二、丁酉</small>	三代	二七八	二四七
	向伊福岐神社奉弓箭鏡 <small>貞觀九、四、</small>	三代	二八一	二四九
	山主神麻氣神並授從五位下 <small>貞觀九、</small>	三代	二九〇	二五七
	建部神從四位上 <small>貞觀九、七、壬寅</small>	三代	三〇六	二七三

アフリミ	新川神正五位下 <small>貞觀十一年、十二年、貞和</small>	三代	三五五	二九八
	飯河内神從五位下 <small>貞觀十二年、五年、安和</small>	三代	三五九	三一八
	天若御子神從五位下 <small>貞觀十三年、二年、天保</small>	三代	三七三	三二九
	兵主神從三位 <small>貞觀十六、八、安和</small>	三代	四四九	三九四
	三上神從三位 <small>貞觀十七、三、王子</small>	三代	四六八	四一一
	牟佐上神牟佐下神並授從五位下 <small>貞觀十七、五、安和</small>	三代	四七〇	四一三
	小丈(杖)神從五位上坂神從五位下 <small>貞觀十七、十二、聖武</small>	三代	四七七	四二〇
	天高結神從五位下 <small>貞觀十八、八、四年</small>	三代	四九三	四三四
	油日神從五位下 <small>貞觀十六、十二、已巳</small>	三代	五四〇	四七二
	伊富岐神從三位 <small>貞觀十六、十二、聖和</small>	三代	五四二	四七四
	木連理生筑夫嶋神社前 <small>聖武、三</small>	三代	五六六	五一二
	小杖神並從五位上牟佐上神牟佐下神柏坂神並從五位上物部布津神海北神海南神並從五位下 <small>貞觀十六、八、安和</small>	三代	六八五	五九四
	飯道神從四位下 <small>貞觀十八、三、成子</small>	三代	七三四	六二七
	新河神三上神並授正五位上 <small>貞觀十九、九、聖和</small>	三代	七七五	六七〇
	伊勢齋内親王應取近江國新道入太神宮 <small>貞觀二十、六、已巳</small>	三代	七九八	六九〇

アフリミ	王輿出自近江國垂水頓宮酉時到	三代	八〇六	六九八
	伊勢國鈴鹿頓宮 <small>貞觀二十、九、已巳</small>	三代	二〇三	一八一
	遠江國正六位上淡海石井神從五位下 <small>貞觀十七、五、成子</small>	三代	五四〇	四七三
アフラ	近江國正六位上油日神從五位下 <small>貞觀十六、十二、已巳</small>	三代	二九一	二五九
アヘク	伊賀國從五位下敷國津神從五位上 <small>貞觀九、七、成子</small>	三代	四三八	三七六
	伊賀國從五位上敷國津大社神正五位下 <small>貞觀十五、九、已巳</small>	三代	二八六	二三九
アベノ	還海殺子報殺國見(阿倍臣)逃匿石上神宮 <small>聖武、三、四</small>	書紀	三三五	二七三
	日神著人謂阿閉臣事代—事代便奏 <small>聖武、三、四</small>	書紀	六〇三	五〇七
	十市皇女阿閉皇女參赴於伊勢神宮 <small>聖武、四、丁亥</small>	續紀	二七〇	二六一
	令播磨守正五位上阿倍朝臣虫麿奉幣帛於八幡神社 <small>聖武、十七、九、甲戌</small>	續紀	七六四	七〇九
	安倍朝臣草麻呂爲神祇大副 <small>聖武、十四、甲辰</small>	後紀	一六七	一四七
	齋宮頭從五位下安倍朝臣寬麻呂	後紀	一六七	一四七

アベノ

アベノ	爲兼伊勢權介 <small>貞觀十七、七、乙酉</small>	文德	五五三	四九〇
	伊勢齋内親王參大神宮中納言安倍朝臣安仁爲長奉送使 <small>貞觀二十、九、成子</small>	三代	五一	四五
	安倍朝臣高貞爲判官 <small>貞觀十九、九、聖和</small>	三代	七四六	六四六
	安倍朝臣清行爲次官 <small>貞觀十八、九、已巳</small>	三代	一八六	一六五
	伊賀國正六位上安部神等並從五位下 <small>貞觀十六、七、成子</small>	三代	五二九	四六四
アホ	阿保朝臣今雄行主基事 <small>貞觀十六、四、丁酉</small>	三代	二六七	二二二
アマカ	於味權丘之辭禍戶碑坐探湯瓮 <small>貞觀十六、九</small>	三代	二二	二〇
	甘樫神(天和)並從五位上 <small>貞觀十六、正甲申</small>	三代	一八六	一五六
	讚岐國天川宇夫志奈神等並從五位下 <small>貞觀十六、成子</small>	三代	六五八	五七二
アマク	從五位下天河神從五位上一 <small>貞觀十五、十、初五十猛神天降之時多將樹種而下神代上</small>	書紀	四三	三八
	且排分天八重雲稜威之道別道別而天降於日向襲之高千穗峯矣 <small>下神代</small>	書紀	五三	四六
	皇孫於是脫天磐座排分天八重雲稜威道別道別而天降之也 <small>神代下</small>	書紀	五八	五一

アマク

アマゴ

アマク	自天祖降跡以逮于今 <small>神代下</small>	書紀	八九	七七
アマゴ	祈雨(請雨、雲)或殺牛馬祭諸社神—或禱河伯既無所効 <small>聖武、七、成子</small>	書紀	四九〇	四一〇
	天皇幸南淵河上跪拜四方仰天而祈即雷大雨 <small>聖武、八、甲申</small>	書紀	四九〇	四一〇
	大旱遣使四方捧幣帛祈諸神祇 <small>聖武、六</small>	書紀	六〇八	五二〇
	於京及畿内零之 <small>聖武、六、五</small>	書紀	六一〇	五二三
	是日零之 <small>聖武、九、七、甲戌</small>	書紀	六一九	五三〇
	零之 <small>聖武、十六、乙卯</small>	書紀	六三三	五三二
	零之 <small>聖武、十七、成子</small>	書紀	六三一	五三〇
	零之 <small>聖武、十三、六</small>	書紀	六三四	五三三
	零之 <small>聖武、五、成子</small>	書紀	六四一	五四一
	始祈雨於所々旱也 <small>神代、四、成子</small>	書紀	六六一	五五五
	祠名山嶽瀆請雨 <small>神代、五、聖武</small>	書紀	六六九	五六二
	各禱名山岳瀆 <small>神代、六、甲申</small>	書紀	六七〇	五六三
	詣四畿内請雨 <small>神代、六、甲戌</small>	書紀	六七〇	五六三
	詣諸社祈雨 <small>神代、七、丙子</small>	書紀	六七三	五六五

遺大夫謁者詣諸社祈雨	詣諸社	書紀	六七四	五六五
詣京師及四畿內諸社請雨	書紀	六七八	五六九	
詣諸社請雨	書紀	六八一	五七一	
詣諸社請雨	書紀	六八一	五七二	
奉馬于芳野水分峯祈雨也	續紀	四	四	
遣使於京畿祈雨於名山大川	續紀	四	四	
奉馬于諸社祈雨	續紀	四	四	
奉幣帛于諸社祈雨于名山大川	續紀	一五	一六	
以時雨不降令四畿內祈雨焉	續紀	一六	一七	
火雷神每早祈雨頻有徵驗	續紀	二二	二三	
遣使祈雨于名山大川	續紀	二七	二九	
奉幣祈雨于諸社	續紀	二一	二三	
遣使祈雨於諸社	續紀	三一	三三	
奉幣帛于諸社以祈雨焉	續紀	三四	三五	
令京畿祈雨于名山大川	續紀	四〇	四二	
遣使零于畿內	續紀	五七	六〇	
祈雨于名山大川	續紀	六三	六五	
祈雨于名山大川	續紀	八二	八五	

奉幣帛于諸社祈雨名山大川	續紀	八七	九二
祈雨于畿內	續紀	九九	一〇三
奠祭神祇甘雨未降	續紀	一三五	一三九
遣使者于五畿內祈雨焉	續紀	一八六	一八七
雖數零祭遂不得雨	續紀	一八七	一八七
奉幣帛于畿內諸社祈雨	續紀	二五〇	二四四
自四月不雨不得種藝因以奉幣諸國神社祈雨	續紀	二六八	二五九
遣使祈雨	續紀	二六九	二六〇
遣使於畿內祈雨	續紀	二七六	二六六
奉幣帛名山祈雨諸社	續紀	二八三	二七三
奉幣帛於畿內群神早也	續紀	四四四	四一八
奉幣帛於大和國丹生川上神及五畿內群神以祈雨也	續紀	四九〇	四六〇
奉黑毛馬於丹生川上神早也	續紀	五八四	五四六
奉黑毛馬於丹生川上神早也	續紀	五九六	五五六
奉幣帛于畿內群神早也	續紀	六〇一	五六一
奉黑毛馬於丹生川上神早也	續紀	六〇九	五六八
奉黑毛馬於丹生川上神早也	續紀	六一〇	五六九
奉幣於畿內群神早也	續紀	六一〇	五六九

奉黑毛馬於丹生川上神早也	續紀	六二〇	五七九
奉黑毛馬於丹生川上神早也	續紀	六二	五七九
奉黑毛馬於丹生川上神早也	續紀	六三八	五八六
內諸國界有神社能興雲雨者亦遣使奉幣	續紀	六四〇	五九六
奉黑毛馬丹生川上神早也	續紀	七七七	七六六
遣使畿內祈雨焉	續紀	七七七	七二二
遣使畿內祈雨焉	續紀	七九八	七三九
奉黑馬於丹生川上神祈雨也	續紀	七九八	七三九
自去冬不雨天皇沐浴出庭親祈焉	續紀	七九八	七三九
祈雨於伊勢神宮及七道各神	續紀	七八	七三九
遣使五畿內祈雨	續紀	八三三	七六三
詔奉幣畿內名神以祈嘉澍焉	續紀	八三三	七六三
奉黑馬於丹生川上神早也	續紀	八三六	七七五
以炎早經旬奉幣畿內諸名神	續紀	八三六	七七五
遣使奉幣於畿內名神祈雨	後紀	六〇	五三
奉黑馬於丹生川上雨師神以祈雨也	後紀	九四	八二

所冀神靈垂祐早致嘉雨	後紀	一五三	一三六
自今以後若有旱者官長潔齋自禱	後紀	一六八	一四八
嘉澍	後紀	二一七	一九四
奉幣群神以祈甘雨早也	後紀	二一八	一九五
奉伊勢太神宮及畿內七道名神幣以祈雨也	後紀	二五〇	二三三
奉松尾賀茂御祖住吉垂水等社幣祈雨也	後紀	二六五	
宜遣使山城大和等奉幣名山以祈甘雨	後紀	二八九	二五五
奉幣貴布禰雨師二神以祈雨也	後紀	二九〇	二五六
遣使祈雨於丹生雨師神	後紀	二九〇	二五六
頒幣於松尾賀茂上下貴布禰丹生川上雨師住吉諸社令祈澍雨	後紀	二九〇	二五六
一向令七道諸國宰奠幣名神零致甘雨	後紀	二九〇	二五六
奉幣於伊勢大神宮令祈雨	後紀	二九〇	二五六
發遣零使等於山城國宇治綴意大和國石成須知等社自餘之國便令	後紀	二九一	二五六

アマゴ

アマサ
アマツ

遣使大和國丹生川上雨師神奉幣 <small>仁德天皇</small>	肥前國自六月雨雨不降七月十一日國司奉幣諸神 <small>仁德天皇</small>	阿磨佐箇屢避奈菟謎迺 <small>神代下</small>	起樹天津神離及天津磐境當爲吾孫奉齋矣 <small>神代下</small>	大和國從五位下天津石門別稚媛 <small>神代下</small>	神授從五位上 <small>神代下</small>	山城國從五位上天津石門別稚媛 <small>神代下</small>	神列於官社 <small>神代下</small>	天神 <small>天神、天地神、天社、天神、神祇參照</small>	今天神有此借問之勅 <small>神代下</small>	昔我天神 <small>神代下</small>	聞天神子來故即奉迎 <small>神代下</small>	天神子等所以來者 <small>神代下</small>	吾祖則天神 <small>神代下</small>	有天神訓之曰 <small>神代下</small>	敬祭天神地祇 <small>神代下</small>
三代	三代	書紀	書紀	三代	三代	三代	書紀	書紀	書紀	書紀	書紀	書紀	書紀	書紀	書紀
七二六六	七七五七	五五	六一	一四〇	二〇八	二〇八	五一	八九	九〇	九三	九三	九三	八〇	八三	八三
六六六	六七二	四九	五四	一三四	一八四	一八四	四五	七六	七七	七九	七九	七九	八〇	八三	八三

アマツ

陟于丹生川上用祭天神地祇 <small>神代下</small>	聞天神子來 <small>神代下</small>	嘗有天神之子乘天磐船自天降止 <small>神代下</small>	夫天神之子豈有兩種乎 <small>神代下</small>	以祭皇祖天神焉 <small>神代下</small>	天神地祇共和享 <small>神代下</small>	適是時嶋中無水不知所爲則仰之 <small>神代下</small>	祈于天神地祇 <small>神代下</small>	時隨船潮流遠逮國中即知天神地祇悉助歎 <small>神代下</small>	殊闕春秋之朝忘廢梳鞭之貢天神 <small>神代下</small>	地祇共討焉 <small>神代下</small>	天神地祇授三韓 <small>神代下</small>	天神地祇共證之 <small>神代下</small>	召集羣臣盟焉告天神地祇曰 <small>神代下</small>	隨天神之所奉寄方今始將修萬國 <small>神代下</small>	天神地祇亦復誅罰 <small>神代下</small>	天皇祈之曰天神地祇扶朕者雷雨 <small>神代下</small>
書紀	書紀	書紀	書紀	書紀	書紀	書紀	書紀	書紀	書紀	書紀	書紀	書紀	書紀	書紀	書紀	書紀
九八	一〇一	一〇三	一〇三	一〇八	一三四	一六六	一九八	一九八	一九八	一九八	二一五	四七七	五〇九	五二〇	五七九	五八九
八四	八七	八九	八九	九三	一四四	一四〇	一六四	一六四	一六四	一六四	一七八	四〇〇	四二六	四三七	四八七	四九五

アマツ

息矣 <small>神代下</small>	將祠天神地祇而天下悉被禱之暨齋宮於倉梯河上 <small>神代下</small>	草壁皇子尊先進盟曰天神地祇及天皇證也 <small>神代下</small>	百官會集於神祇官而奉宣天神地祇之事 <small>神代下</small>	班幣於畿內天神地祇 <small>神代下</small>	班幣天神地祇 <small>神代下</small>	天都神乃御子隨 <small>神代下</small>	諸國天神地祇宜令長官致祭 <small>神代下</small>	宜令京及諸國司天神地祇名山大川自致幣帛 <small>神代下</small>	廣嗣敢桿朝廷者天神地祇罰殺 <small>神代下</small>	阿麻豆可未美麻乃彌已止乃 <small>神代下</small>	神我天神地祇乎率伊左奈比天 <small>神代下</small>	宜祭天神地祇諸社祝部等各禱其 <small>神代下</small>
書紀	書紀	書紀	書紀	書紀	書紀	續紀	續紀	續紀	續紀	續紀	續紀	續紀
六二	六二	六五	六五	六六	六六	一	一七三	一八七	二二	二五二	三〇三	四〇〇
五二四	五二七	五二七	五五三	五五五	五五五	二	一七四	一八七	二	二四五	二九二	三八〇

天神地祇現給比悟給曾已曾在禮 <small>神代下</small>	天神地祇乃祭禮乎不絕 <small>神代下</small>	天神地祇御靈乃不免給不授給物 <small>神代下</small>	遺唐使拜天神地祇於春日山下 <small>神代下</small>	大祓奉幣於天神地祇 <small>神代下</small>	頒使諸國奉幣天神地祇以有即位 <small>神代下</small>	事 <small>神代下</small>	令京城諸寺爲天神地祇轉讀大般若 <small>神代下</small>	若經一部金剛般若經十萬卷 <small>神代下</small>	爲遣唐使祠天神地祇於北野 <small>神代下</small>	遣唐使祠天神地祇於當國愛宕郡 <small>神代下</small>	家門前 <small>神代下</small>	風早直豐宗等賜姓善友朝臣—天 <small>神代下</small>	神饒速日命之後也 <small>神代下</small>	宜奠幣五畿內七道諸國天神地祇 <small>神代下</small>	賀彼賽報 <small>神代下</small>	班幣於天神地祇 <small>神代下</small>
續紀	續紀	續紀	續紀	續紀	續紀	續紀	續後	續後	續後	續後	續後	續後	續後	續後	續後	三代
五五五	五四八	五四八	六四七	七五九	一九五	二二六	二二六	二四〇	二四〇	二六〇	二六〇	三〇〇	四五四	四五四	五二	五一
五一〇	五一三	五一四	六〇一	七〇四	一七五	一九三	二一四	二一四	二二四	二三三	二三三	二六五	四〇三	四〇三	四五	四五

アマツ

天神地祇平久間食 天自八七、五
 天神地祇仁波國別長官親自潔齋
天自八、七、五
 天神地祇平久間食 天自八、七、五
 天神地祇之祭乎毛關愈已止 二、八、八
天孫 アメミマを見よ
 神祇伯中臣大嶋朝臣讀天神壽詞 ツノヨコト
神祇四、五、八
 大嘗神祇伯中臣朝臣大嶋讀天神壽詞 神祇五、十二、九
 踐祚之日中臣奏天神壽詞 八、四、六
 諸姉照臨天國自可平安 神代上
 長髓彦見其天表 神代上
 謁哉恭行天爵 神代上
 次天津彥根命 是凡河內直山代上
 次天津彥根命 代直等祖也
 次天津彥根命 神代上
 復含嬰頸之瓊著於左臂中化生天津彥根命 神代上
 次天津彥根命此茨城國造額田部

三代	二四八	二二九
三代	二四八	二二九
三代	四九七	四三七
三代	七三三	六一七
書紀	六六〇	五五四
書紀	六六七	五六〇
後紀	八八	七七
書紀	三七	三三
書紀	一〇四	九〇
書紀	三九四	二九四
書紀	二五	二三
書紀	二六	二四
書紀	二八	二五
書紀	二九	二六
書紀	三〇	二六

アマツ

連等遠祖也 神代上
 山城國人山代忌寸淨足等天津彥根命之苗裔也 天自十、三、七
 吉彌俣部豐野其先天天津彥根命之後也 神代上、十二、九
 栲幡千姬生天津彥彥火瓊瓊杵尊 神代上
 遂欲立皇孫天津彥彥火瓊瓊杵尊以爲葦原中國之主 神代上
 高皇產靈尊以真床追衾覆於皇孫天津彥彥火瓊瓊杵尊使降之 神代上
 久之天津彥彥火瓊瓊杵尊崩因葬筑紫日向可愛 可愛之山陵
 且將降間皇孫已生號曰天津彥彥火瓊々杵尊 神代上
 故天照大神乃賜天津彥々火瓊々杵尊八坂瓊曲玉及八咫鏡草薙劍三種寶物 神代上
 生兒號天津彥彥火瓊々杵尊 神代上
 天津彥彥火瓊々杵尊降到於日向穗

續後	一九一	一七一
三代	一五七	一四〇
書紀	四七	四二
書紀	四七	四二
書紀	四七	四二
書紀	五三	四六
書紀	五三	四六
書紀	五三	四六
書紀	五六	五〇
書紀	五六	五〇
書紀	六二	五四
書紀	六二	五四
書紀	六三	五四

アマツ

日高千穗之峯 神代上
 高皇產靈尊以真床覆衾襲天津彥國光彥火瓊々杵尊 神代上
 次生天津彥根火瓊瓊杵根尊 神代上
 降皇孫火瓊瓊杵尊於葦原中國 神代上
 裝皇孫天津彥根火瓊々杵根尊 神代上
 此神娶丹鬘姫生兒火瓊々杵尊 神代上
 栲幡千姬姫生兒火瓊々杵尊 神代上
 授我天祖彥火瓊々杵尊 神代上
 葦原千五百秋之瑞穗國是吾子孫可王之地也宜爾皇孫就而治焉行矣寶祚之隆當與天壤無窮者矣 神代上
 起樹天津神籬及天津磐境當爲吾孫奉齋矣 神代上
 天兒屋命太玉命宜持天津神籬 神代上
 授我天祖彥火瓊々杵尊 神代上
 自天祖降跡以逮于今 神代上
 天有惡神名曰天津彥彥星亦名天香々背男 神代上
 天社 神祇參照

書紀	六四	五六
書紀	六六	五八
書紀	六七	五九
書紀	六八	六〇
書紀	六九	六一
書紀	六九	六一
書紀	六二	五四
書紀	八二	七三
書紀	八九	七七
書紀	五九	五三

アマツ

祭天社國社之神 神代上
 定天社國社及神地神戶 神代上
 天社地社神稅者三分之一爲擬供神二分給神主 神代上
 詔畿內及諸國修理天社地社神宮 神代上
 天社國社乃神等 神代上
 近江國正六位上天社神從五位下 神代上
 安藝國正六位上天社天神並從五位下 神代上
天照大神 大日靈尊、日神、伊勢神宮參照、神代上
 號大日靈貴 書云天照大神一神代上
 然後洗左眼因以生神號曰天照大神 神代上
 天照大神者可以治高天原也 神代上
 天照大神者可以御高天之原也 神代上
 天照大神在於天上曰 神代上
 時天照大神怒甚之曰汝是惡神是後天照大神復遣天熊大人往看

書紀	九七	八四
書紀	一九	〇九
書紀	六一	五三
書紀	六二	五三
書紀	六二	五三
書紀	六二	五三
書紀	六二	五三
書紀	七一	六二
書紀	七一	六二
書紀	七一	六二
書紀	七一	六二
書紀	七一	六二
書紀	七一	六二

アマテ

之 <small>書紀上</small>	于時天照大神喜之曰 <small>書紀上</small>	天照大神素知其神暴惡 <small>書紀上</small>	于時天照大神復問曰 <small>書紀上</small>	天照大神乃索取素戔嗚尊十握劔 <small>書紀上</small>	素戔嗚尊乞取天照大神鬚鬘及腕 <small>書紀上</small>	所纏八坂瓊之五百箇御統 <small>書紀上</small>	是時天照大神勅曰 <small>書紀上</small>	是時天照大神疑弟有惡心 <small>書紀上</small>	時天照大神復問曰 <small>書紀上</small>	天照大神則以八坂瓊之曲玉浮寄於天真名井 <small>書紀上</small>	是時天照大神謂素戔嗚尊曰 <small>書紀上</small>	天照大神以天狹田長田爲御田 <small>書紀上</small>	見天照大神當新嘗時則陰放屎於新宮 <small>書紀上</small>	見天照大神方織神衣居齋服殿 <small>書紀上</small>	是時天照大神驚動以梭傷身 <small>書紀上</small>	是時天照大神聞之而曰 <small>書紀上</small>
書紀	書紀	書紀	書紀	書紀	書紀	書紀	書紀	書紀	書紀	書紀	書紀	書紀	書紀	書紀	書紀	書紀
三三	三三	三三	二四	二五	二五	二五	二五	二七	二七	二八	二八	三〇	三〇	三〇	三〇	三二
二〇	二〇	二二	三三	三三	三三	三三	三三	二四	二四	二五	二五	二六	二七	二七	二七	二七

アマテ

時手力雄神則奉承天照大神之手引而奉出 <small>書紀上</small>	故天照大神謂素戔嗚尊曰 <small>書紀上</small>	天照太神之子正哉吾勝勝速日天忍穗耳尊 <small>書紀上</small>	天照大神勅天稚彥曰豐葦原中國是吾兒可王之地也 <small>書紀上</small>	故天照大神乃召思兼命問其不來之狀 <small>書紀上</small>	天照大神以思兼神妹萬幡豐秋津姬命配正哉吾勝々速日天忍穗耳尊爲妃 <small>書紀上</small>	故天照大神復遣武甕槌神及經津主神先行驅除 <small>書紀上</small>	時天照大神勅曰若然方當降吾兒矣 <small>書紀上</small>	故天照大神乃賜天津彥々火瓊々杵尊八坂瓊曲玉及八咫鏡草薙劔三種寶物 <small>書紀上</small>	天照大神之子所幸道路有如此居
書紀	書紀	書紀	書紀	書紀	書紀	書紀	書紀	書紀	書紀
三一	三三	四七	五三	五三	五五	五六	五六	五六	五七
二八	二八	四二	四七	四七	四九	四九	五〇	五〇	五一

アマテ

之者誰也 <small>書紀下</small>	聞天照大神之子今當降行故奉迎相待 <small>書紀下</small>	天照大神手持寶鏡授天忍穗耳尊 <small>書紀下</small>	天照大神謂武甕雷神曰 <small>書紀下</small>	天照大神曰諾 <small>書紀下</small>	天照大神訓于天皇曰 <small>書紀下</small>	我皇祖天照大神 <small>書紀下</small>	天照大神倭大國魂二神並祭於天皇大殿之內 <small>書紀下</small>	以天照大神託豐楸入姬命祭於倭笠縫邑 <small>書紀下</small>	離天照大神於豐耜入姬命託于倭姬命爰倭姬命求鎮坐大神之處 <small>書紀下</small>	時天照大神誨倭姬命曰是神風伊勢國 <small>書紀下</small>	謂磯宮則天照大神始自天降之處也 <small>書紀下</small>
書紀	書紀	書紀	書紀	書紀	書紀	書紀	書紀	書紀	書紀	書紀	書紀
五七	六二	九三	九四	九四	九四	九四	一〇七	一〇七	一四八	一四八	一四八
五二	五四	八〇	八〇	八二	八二	八二	一〇七	一〇七	一二五	一二五	一二五

アマテ

以倭姬命爲御杖貢奉於天照大神 <small>書紀下</small>	是以倭姬命以天照大神鎮坐於磯城嚴櫃之本而祠之 <small>書紀下</small>	天照大神悉治天原 <small>書紀下</small>	遣五百野皇女令祭天照大神 <small>書紀下</small>	於是天照大神誨之曰我之荒魂不可近皇居當居御心廣田國 <small>書紀下</small>	且於朝明郡迹太川邊望拜天照大神 <small>書紀下</small>	遣侍大來皇女于天照大神宮 <small>書紀下</small>	天照大神閉天磐戶之時 <small>書紀下</small>	去月有流星神祇官卜云天照太神成崇 <small>書紀下</small>	天照坐太神乃廣前爾申賜倍止申久 <small>書紀下</small>	稱言竟奉留天照坐皇大神乃廣前爾惡美恐美毛申賜倍止申久 <small>書紀下</small>	天照坐太神乃廣前爾惡美恐美毛申賜止申久 <small>書紀下</small>
書紀	書紀	書紀	書紀	書紀	書紀	書紀	書紀	書紀	書紀	書紀	書紀
一四八	一四八	一四九	一六八	二〇三	五六	六〇〇	八八	一四九	二四七	三四	三三
一三五	一三五	一三五	一四一	一六七	四九二	五〇四	七七	一三三	二一八	二九六	三三九

アマテ

天皇御命乃稱辭竟奉渡天照之坐	三代	五一	四九
皇太神乃廣前爾申賜倍止申久 <small>（天照）</small>	三代	五七	五三
齋內親王波天照太神乃御杖代爾	三代	五九	五二
定天奉進留內親王 <small>（曾）</small> 天照 <small>（曾）</small>	書紀	六九	六一
生兒號天照國照彥火明命是尾張	書紀	六九	六一
連等遠祖也 <small>（曾）</small>	三代	三五	三三
對馬嶋從五位上天弓留神並正五位下 <small>（曾）</small>	三代	三五	三三
伴馬立天照神 <small>（攝津）</small> 從五位下 <small>（曾）</small>	續後	四七	四三
播磨國從五位下勳八等粒坐天照	三代	二五	二二
神並從四位下 <small>（曾）</small>	三代	四二	三七
攝津國從五位下新屋坐天照神並	三代	四二	三七
授正五位下 <small>（曾）</small>	三代	五四	四七
筑前國正六位上天照神從五位下 <small>（曾）</small>	三代	五四	四七
伯耆國正六位上天照高日神並從	三代	七一	六一
五位下 <small>（曾）</small>	三代	一〇八	九五
備後國正六位上天照眞良建雄神	三代	一〇八	九五
並授從五位下 <small>（曾）</small>	三代	四一	三七
正六位上天照御門神 <small>（山城）</small> 並從	三代	四一	三七

アマテ
アマノ

五位上 <small>（曾）</small>	三代	三三	一九
木島天照御魂神並正五位下 <small>（曾）</small>	三代	三三	一九
鏡作天照御魂神並從五位上 <small>（曾）</small>	三代	三三	一九
他田天照御魂神並從五位上 <small>（曾）</small>	三代	三三	一九
從五位下勳八等新屋天照御魂神	三代	三三	二一
並從四位下 <small>（曾）</small>	三代	三三	二一
天 <small>（曾）</small>	書紀	三五	三一
中枝懸以玉作遠祖伊弉諾尊兒天	書紀	三五	三一
明玉所作八坂瓊之曲玉 <small>（曾）</small>	書紀	三〇	二七
天石窟 <small>（曾）</small>	書紀	三〇	二七
由此發憤乃入于天石窟閉磐戶而	書紀	三一	二七
幽居焉 <small>（曾）</small>	書紀	三一	二七
手持茅繩之積立於天石窟戶之前	書紀	三一	二七
巧作俳優 <small>（曾）</small>	書紀	三三	二八
乃入于天石窟而閉着磐戶焉 <small>（曾）</small>	書紀	三三	二八
以患恨適居于天石窟閉其磐戶 <small>（曾）</small>	書紀	三四	二九
至於日神閉居于天石窟也 <small>（曾）</small>	書紀	三四	二九
時有天石窟所住神稜威雄走神之	書紀	五〇	四二
子豐速日神 <small>（曾）</small>	書紀	五〇	四二
引開天磐戶排分天八重雲以奉降	書紀	六四	五六

アマノ

之 <small>（曾）</small>	後紀	八八	七七
天照大神閉天磐戶之時 <small>（曾）</small>	書紀	五三	四六
天磐座 <small>（曾）</small>	書紀	五二	四五
皇孫於是脫天磐座排分天八重雲	書紀	八九	七七
稜威道別道別而天降之也 <small>（曾）</small>	書紀	九三	八〇
於是彥火瓊々杵尊開天關 <small>（曾）</small>	書紀	九三	八〇
且登天磐盾 <small>（曾）</small>	書紀	九〇	七七
有乘天磐船飛降者 <small>（曾）</small>	書紀	一〇三	八九
嘗有天神之子乘天磐船自天降止	書紀	一〇三	八九
饒速日命乘天磐船 <small>（曾）</small>	書紀	一〇八	九三
故載之於天磐機杼船 <small>（曾）</small>	書紀	一〇	九
背負天磐鞆 <small>（曾）</small>	書紀	六四	五六
伊弉諾尊伊弉冊尊立於天浮橋之	書紀	四	四
上共計 <small>（曾）</small>	書紀	六	五
二神立於天上浮橋投戈求地 <small>（曾）</small>	書紀	五六	四九
自穗日二上天浮橋 <small>（曾）</small>	書紀	五六	四九
是時勝速日天忍穗耳尊立于天浮	書紀	五六	四九
橋而臨視之 <small>（曾）</small>	書紀	五六	四九
天浮橋而立於浮渚在之平地 <small>（曾）</small>	書紀	五六	四九

アマノ

猿女君遠祖天錮女命 <small>（曾）</small>	書紀	三三	二七
云何天錮女命號樂如此者乎 <small>（曾）</small>	書紀	三三	二八
時天錮女見之告言於日神也 <small>（曾）</small>	書紀	三六	三二
媛女上祖天錮女命 <small>（曾）</small>	書紀	三五	三〇
勅天錮女曰汝是目勝於人者 <small>（曾）</small>	書紀	五七	五一
天錮女乃露其胸乳抑垂裳帶於臍	書紀	五七	五一
下而笑嚙向立 <small>（曾）</small>	書紀	五七	五一
天錮女汝爲之何故耶 <small>（曾）</small>	書紀	五七	五一
時天錮女復問曰汝將先我行乎 <small>（曾）</small>	書紀	五八	五一
天錮女復問曰汝何處到耶 <small>（曾）</small>	書紀	五八	五一
天錮女還詣報狀 <small>（曾）</small>	書紀	五八	五一
天錮女命隨媛田彥神所乞遂以侍	書紀	五八	五一
送焉 <small>（曾）</small>	書紀	五八	五一
皇孫勅天錮女汝宜以所顯神名爲	書紀	六四	五六
姓氏焉 <small>（曾）</small>	書紀	六四	五六
大伴連遠祖天忍日命 <small>（曾）</small>	三代	四三	三八
河內國正六位上天押日命神並從	三代	四三	三八
五位下 <small>（曾）</small>	三代	四三	三八
天忍穗根尊娶高皇產靈尊女子 <small>（曾）</small>	書紀	六六	五八
此神爲天忍骨命妃 <small>（曾）</small>	書紀	六六	五八

曰正哉吾勝勝速日天之忍穗耳命 <small>神代上</small>	書紀	二五	三三
乃使二神陪從天忍穗耳尊以降之 <small>神代上</small>	書紀	六一	五四
天照大神手持寶鏡授天忍穗耳尊 <small>神代下</small>	書紀	六一	五四
萬幡姬配天忍穗耳尊為妃 <small>神代下</small>	書紀	六一	五四
然後天忍穗耳尊復還於天 <small>神代下</small>	書紀	六二	五四
勝速日天大耳尊此神娶丹陽姬 <small>神代下</small>	書紀	六九	六〇
天有惡神名曰天津甕尾亦名天香 <small>神代下</small>	書紀	五九	五三
々背男 <small>神代下</small>	書紀	五九	五三
日神尊以天垣田為御田 <small>神代上</small>	書紀	三三	二九
掘天香山之五百箇真坂樹 <small>神代上</small>	書紀	三一	二七
以天香山之真坂樹為靈 <small>神代上</small>	書紀	三一	二七
故即以石凝姥為治工採天香山之 <small>神代上</small>	書紀	三三	二九
金以作日矛 <small>神代上</small>	書紀	三五	三一
天兒屋命掘天香山之真坂木 <small>神代上</small>	書紀	三五	三一
宜取天香山社中土 <small>神代上</small>	書紀	九七	八三
取天香山墳以造天平瓮 <small>神代上</small>	書紀	九七	八三
到天香山潛取巖土而可來旋 <small>神代上</small>	書紀	九八	八四

アマノ

生兒天之杵火火置瀨尊 <small>神代下</small>	書紀	六九	六〇
號曰天織田天川依田天口鏡田 <small>神代上</small>	書紀	三四	三〇
天國玉之子天稚彥是壯士也 <small>神代下</small>	書紀	四八	四三
是時天國玉聞其哭聲則知夫天稚 <small>神代下</small>	書紀	四九	四三
彥已死 <small>神代下</small>	書紀	四九	四三
號曰天織田天川依田天口鏡田 <small>神代上</small>	書紀	三四	三〇
中臣連遠祖天兒屋根命 <small>神代上</small>	書紀	三〇	二七
時中臣遠祖天兒屋命則以神祝祝 <small>神代上</small>	書紀	三三	三〇
之 <small>神代上</small>	書紀	三三	三〇
諸神遣中臣連遠祖與台產靈兒天 <small>神代上</small>	書紀	三四	三一
兒屋根命而使祈焉 <small>神代上</small>	書紀	三五	三一
天兒屋命掘天香山之真坂木 <small>神代上</small>	書紀	三五	三一
使天兒屋命掌其解除之太諄辭而 <small>神代上</small>	書紀	三五	三一
宣之焉 <small>神代上</small>	書紀	三五	三一
中臣上祖天兒屋命 <small>神代下</small>	書紀	五六	五〇
天兒屋命主神事之宗源者也 <small>神代下</small>	書紀	六二	五三
天兒屋命太玉命宣持天津神籬 <small>神代下</small>	書紀	六二	五三
勅天兒屋根命太玉命 <small>神代下</small>	書紀	六二	五三
以天兒屋根命太玉命及諸部神等 <small>神代下</small>	書紀	六二	五三
悉皆相授 <small>神代下</small>	書紀	六二	五三

アマノ

アマノ

潛取天香山之墳土以造八十平瓮 <small>神代上</small>	書紀	一〇五	九二
掘天香山之五百箇真坂樹 <small>神代上</small>	後紀	八八	七七
天香山大麻等野知神 <small>大和</small> 並從 <small>神代上</small>	三代	三三	三〇
五位上 <small>神代上</small>	書紀	六七	五六
天火明命兒天香山命是尾張連等 <small>神代下</small>	書紀	六七	五六
遠祖也 <small>神代下</small>	書紀	四八	四三
於是高皇產靈尊賜天稚彥天鹿兒 <small>神代下</small>	書紀	四八	四三
弓及天羽羽矢以遣之 <small>神代下</small>	書紀	四八	四三
天稚彥乃取高皇產靈尊所賜天鹿 <small>神代下</small>	書紀	四八	四三
兒弓天羽羽矢射雉斃之 <small>神代下</small>	書紀	四八	四三
賜天鹿兒弓及天真鹿兒矢遣之 <small>神代下</small>	書紀	四五	四七
天稚彥乃取天神所賜天鹿兒弓天 <small>神代下</small>	書紀	四五	四七
真鹿兒矢便射之 <small>神代下</small>	書紀	四五	四七
讚岐國從五位下天河神從五位上 <small>神代上</small>	三代	六八	五七
高市郡從五位下天川俣神社樹有 <small>神代上</small>	三代	六七	五六
鳥巢 <small>神代上</small>	三代	六七	五六
號曰天織田天川依田天口鏡田 <small>神代上</small>	書紀	三四	三〇
天杵瀨命娶吾田津姬 <small>神代下</small>	書紀	六九	六一

アマノ

アマノ

以其田稻釀天甜酒 <small>傳代下</small>	書紀	六四	五六
因此化神號天常立尊 <small>傳代上</small>	書紀	三	三
高橋浮橋及天鳥船亦將供造 <small>傳代下</small>	書紀	五九	五二
以其稻種始殖于天狹田及長田 <small>傳代上</small>	書紀	三二	二〇
天照大神以天狹田長田爲御田 <small>傳代上</small>	書紀	三〇	二六
使鏡作部遠祖天櫛戶者造鏡 <small>傳代上</small>	書紀	三三	二九
上枝懸以鏡作遠祖天拔戶兒石凝 <small>傳代上</small>	書紀	三五	三一
戶邊所作八咫鏡 <small>傳代上</small>	書紀	二六	二四
素戔鳴尊以其頸所嬰五百箇御統 <small>傳代上</small>	書紀	二六	二四
之瓊灑于天渟名井 <small>傳代上</small>	書紀	三七	三三
灑浮於天渟名井 <small>傳代上</small>	書紀	四	四
迺以天之瓊矛指下而探之 <small>傳代上</small>	書紀	六	五
迺賜天瓊戈 <small>傳代上</small>	書紀	七	七
以天瓊矛指垂而探之 <small>傳代上</small>	書紀	七	七
以天瓊矛畫成破取盧嶋 <small>傳代上</small>	書紀	八	七
以天瓊矛探成一嶋 <small>傳代上</small>	書紀	二〇	一六
小竹祝與天野祝共爲善友小竹祝 <small>傳代上</small>	書紀	二〇	一六
逢病而死之天野祝血泣 <small>傳代上</small>	書紀	六四	五六
手提天櫛弓天羽々矢 <small>傳代上</small>	書紀	五二	四五
故以熊野諸手船亦名天鵠船載使 <small>傳代上</small>	書紀	五二	四五

アマノ

者 <small>傳代上</small>	書紀	四八	四二
於是高皇產靈尊賜天稚彥天鹿兒 <small>傳代下</small>	書紀	四八	四三
弓及天羽羽矢以遺之 <small>傳代下</small>	書紀	四八	四三
天稚彥乃取高皇產靈所賜天鹿兒 <small>傳代下</small>	書紀	四八	四三
弓天羽羽矢射雉斃之 <small>傳代下</small>	書紀	六四	五六
手提天櫛弓天羽々矢 <small>傳代下</small>	書紀	一〇四	八九
取饒速日命之天羽羽矢一雙 <small>傳代下</small>	書紀	一〇四	八九
還以所御天羽羽矢一雙 <small>傳代下</small>	書紀	一〇四	八九
又全剝眞名鹿之皮以作天羽籬 <small>傳代上</small>	書紀	三三	二九
素戔鳴尊乃以天籬斫之劍斬彼大 <small>傳代上</small>	書紀	四三	三七
蛇 <small>傳代上</small>	書紀	四三	三七
天原 高天原參照	書紀	二六	二三
弟所以來者非是善意必當奪我天 <small>傳代上</small>	書紀	二六	二三
原 <small>傳代上</small>	書紀	二九	二五
如生男者予以爲子而令治天原 <small>傳代上</small>	書紀	二九	二五
便取其六男以爲日神之子使治天 <small>傳代上</small>	書紀	二九	二六
原 <small>傳代上</small>	書紀	一四八	一二五
天照大神悉治天原 <small>傳代上</small>	書紀	一四八	一二五
汝應住天日隅宮今當供造 <small>傳代下</small>	書紀	五九	五二
造天平登八十枚 <small>傳代上</small>	書紀	九七	八三

アマノ

取天香山墳以造天平登 <small>傳代上</small>	書紀	九七	八四
號曰天安田天平田天邑并田 <small>傳代上</small>	書紀	三四	三〇
下枝懸以栗國忌部遠祖天日鷲所 <small>傳代上</small>	書紀	三五	三一
作木棉 <small>傳代上</small>	書紀	六〇	五三
天日鷲神爲作木綿者 <small>傳代下</small>	書紀	六〇	五三
阿波國天日鷲神從五位下 <small>傳代上</small>	續後	四六	四一
忌部天日鷲神並從五位下 <small>傳代上</small>	三代	二五	二二
從五位上天日鷲神正五位下 <small>傳代上</small>	三代	五五	四八
正五位上天日鷲神從四位下 <small>傳代上</small>	三代	七一	六一
遣五世孫天之葦根神 <small>傳代上</small>	書紀	四三	三八
天野夫支賣神 <small>傳代上</small>	三代	三二	一九
秋則放天斑駒使伏田中 <small>傳代上</small>	書紀	三〇	二六
則剝天斑駒穿殿堯而投納 <small>傳代上</small>	書紀	三〇	二六
生兒天火明命 <small>傳代下</small>	書紀	三〇	二七
天火明命兒天香山命是尾張連等 <small>傳代下</small>	書紀	六六	五八
遠祖也 <small>傳代下</small>	書紀	六七	五八
吾手弱女也何能登天神庫耶 <small>傳代上</small>	書紀	一五三	一二九
次天穗日命 <small>傳代上</small>	書紀	二五	二三
次天穗日命 <small>傳代上</small>	書紀	二六	二四
化生神號天穗日命 <small>傳代上</small>	書紀	二八	二五

アマノ

復含有鬻之瓊着於右手掌中化生 <small>傳代上</small>	書紀	二九	二六
天穗日命 <small>傳代上</small>	書紀	三七	三三
復嚙右瓊置之右掌而生兒天穗日 <small>傳代上</small>	書紀	三七	三三
命 <small>傳代上</small>	書紀	三七	三三
天穗日命是神之傑也 <small>傳代下</small>	書紀	四七	四二
順衆言即以天穗日命往平之 <small>傳代下</small>	書紀	四七	四二
當主汝祭祀者天穗日命是也 <small>傳代下</small>	書紀	五九	五三
土師之先出自天穗日命 <small>傳代上</small>	續紀	七四	六四
臣等本系出自天穗日命 <small>傳代上</small>	續紀	八三	七七
山直池作之先出自天穗日命之後 <small>傳代上</small>	續後	三〇	二六
也 <small>傳代上</small>	續後	三〇	二六
日置首賜菅原朝臣一天穗日命之 <small>傳代上</small>	三代	五三	四五
後 <small>傳代上</small>	三代	五三	四五
天穗日命神等授加從五位下 <small>傳代上</small>	文德	五七	四八
在出雲國天穗日命神預官社 <small>傳代上</small>	文德	六三	五六
山城國正六位上天穗日命神並預 <small>傳代上</small>	三代	一一	〇八
官社 <small>傳代上</small>	三代	一一	〇八
天穗日命神從五位下 <small>傳代上</small>	三代	一一	〇八
因幡國正三位天穗日命神列於官 <small>傳代上</small>	三代	二六	二三
社 <small>傳代上</small>	三代	二六	二三

アマノ

賜天鹿兒弓及天眞鹿兒矢遺之 <small>下代</small>	天稚彥乃取天神所賜天鹿兒弓天眞鹿兒矢便射之 <small>下代</small>	灌於天眞名井 <small>下代</small>	素戔鳴尊乞取天照大神鬚鬘及腕	所纏八坂瓊之五百箇御統灌於天眞名井 <small>下代</small>	乃掘天眞名井三處相與對立 <small>下代</small>	天照大神則以八坂瓊之曲玉浮寄於天眞名井 <small>下代</small>	於是素戔鳴尊以所持劔浮寄於天眞名井 <small>下代</small>	高天原所生神名曰天御中主尊 <small>上代</small>	伊賀都臣中臣遠祖天御中主命二十世孫 <small>下代</small>	勅倭漢惣歷帝譜圖天御中主尊標爲始祖 <small>下代</small>	又化豎天柱 <small>下代</small>	云爾即將巡天柱 <small>下代</small>	故以天柱舉於天上也 <small>下代</small>
書紀	書紀	書紀	書紀	書紀	書紀	書紀	書紀	書紀	後紀	書紀	書紀	書紀	書紀
五三	五四	二五	二五	二八	二八	二八	二八	二二	七一	一〇七	六	六	一〇
四七	四八	二二	二二	二四	二四	二五	二五	二	六六	九五	六	六	二

アマノ

號曰天安田天平田天邑并田 <small>下代</small>	又因定天邑君 <small>下代</small>	此所謂草薙劍也本名天薙雲劍 <small>上代</small>	號曰天安田天平田天邑并田 <small>下代</small>	復劍刃垂血是爲天安河邊所在五百箇磐石也 <small>下代</small>	日神與素戔鳴尊隔天安河而相對乃立誓約曰 <small>下代</small>	于時八十萬神會合於天安河邊計其可禱之方 <small>下代</small>	於天安河亦造打橋 <small>下代</small>	有一神居天八達之衝 <small>下代</small>	且排分天八重雲稜威之道別道別而天降於日向襲之高千穗峯矣 <small>下代</small>	皇孫於是脫離天磐座排分天八重雲稜威道別道別而天降之也 <small>下代</small>	排分天八重雲以奉降之 <small>下代</small>	排披天八重雲以奉降之 <small>下代</small>	又生天吉葛天吉葛此云阿摩與能佐圖羅一云與曾豆羅 <small>下代</small>
書紀	書紀	書紀	書紀	書紀	書紀	書紀	書紀	書紀	書紀	書紀	書紀	書紀	書紀
三四	三三	三九	三四	一三	二八	三〇	五九	五七	五三	五八	六四	六七	一一
三〇	二〇	三五	三〇	一一	二五	二七	五二	五〇	四六	五一	五六	五九	一一

アマヨ

叙越前國丹生郡雨夜神從五位下 <small>下代</small>	雨夜神並從五位下 <small>下代</small>	高皇產靈尊之女天萬槌幡千幡姬 <small>下代</small>	娶高皇產靈尊之女天萬槌幡千幡姬爲妃 <small>下代</small>	天鏡尊生天萬尊天萬尊生沫蕩尊 <small>下代</small>	晏子內親王爲伊勢齋 <small>下代</small>	遣向伊勢大神宮告晏子內親王爲齋 <small>下代</small>	故還復上詣於天具奏其狀 <small>下代</small>	自當早送于天授以天上之事 <small>下代</small>	故以天柱舉於天上也 <small>下代</small>	生月神故亦送之于天 <small>下代</small>	月夜見尊者可以配日天上之事 <small>下代</small>	天照大神在於天上 <small>下代</small>	乃昇詣之於天也 <small>下代</small>	於是登天報命 <small>下代</small>
續紀	續紀	書紀	書紀	書紀	文德	文德	書紀	書紀	書紀	書紀	書紀	書紀	書紀	書紀
六二	八三	六八	六九	三	五一	五一	六	九	一〇	一〇	二二	二二	二二	二二
五七	七三	六〇	六一	三	四九	四九	六	九	九	九	一九	一九	二二	二二

アマメ

始素戔鳴尊昇天之時 <small>下代</small>	素戔鳴尊將昇天時有一神 <small>下代</small>	素戔鳴尊持其瓊玉而到之於天上也 <small>下代</small>	汝所行甚無賴故不可住於天上 <small>下代</small>	迺復扇天扇國上詣于天 <small>下代</small>	如此則可以使男御天上 <small>下代</small>	素戔鳴尊自天而降到於出雲國簸之川上 <small>下代</small>	素戔鳴尊自天而降到於出雲國簸之川上 <small>下代</small>	遣五世孫天之葺根神上奉於天 <small>下代</small>	故味相高彥根神昇天弔喪 <small>下代</small>	下照姬哭泣悲哀聲達于天 <small>下代</small>	乃遣疾風舉尸致天 <small>下代</small>	故二神登天也 <small>下代</small>	時天稚彥之妻子從天降來上去而於天 <small>下代</small>	故味相高彥根神登天弔喪大臨 <small>下代</small>	二神乃昇天復命而告之 <small>下代</small>
書紀	書紀	書紀	書紀	書紀	書紀	書紀	書紀	書紀	書紀	書紀	書紀	書紀	書紀	書紀	書紀
二二	二七	二七	三五	三六	三七	三八	四〇	四三	四八	四九	四九	五三	五四	五四	五六
二一	二四	二四	三一	三二	三三	三四	三五	三八	四三	四三	四三	四六	四八	四八	五〇

若從天降者當有天垢 <small>傳代下</small>	書紀	七四	六五
天神 <small>アマツカミ參照</small>	書紀	五	五
天神謂伊弉諾尊伊弉册尊曰 <small>傳代上</small>	書紀	六	六
天神以太古而卜合之 <small>傳代上</small>	書紀	三九	三五
乃上獻於天神 <small>傳代上</small>	書紀	四六	四〇
遣使曰於天神 <small>傳代上</small>	書紀	五三	四六
妾是天神娶大山祇神所生兒也 <small>傳代</small>	書紀	五三	四六
雖復天神何能一夜之間令人有娠 <small>傳代下</small>	書紀	五三	四六
乎 <small>傳代下</small>	書紀	五三	四六
天稚彥乃取天神所賜天鹿兒弓天	書紀	五四	四八
真鹿兒矢便射之 <small>傳代下</small>	書紀	五四	四八
則矢達雉胸遂至天神所處 <small>傳代下</small>	書紀	五四	四八
時天神見其矢曰 <small>傳代下</small>	書紀	五四	四八
汝將此國奉天神耶以不 <small>傳代下</small>	書紀	五六	五〇
天神所求何不奉獻 <small>傳代下</small>	書紀	五六	五〇
天神之子則當到筑紫日向高千穗	書紀	五八	五一
總觸之峯 <small>傳代下</small>	書紀	五八	五一
天神遣經津主神武甕槌神使平葦	書紀	五八	五二
原中國 <small>傳代下</small>	書紀	五九	五三
問大已貴神曰汝將以此國奉天神	書紀	五九	五三
耶以不 <small>傳代下</small>	書紀	六〇	五三
大已貴神報曰天神勅教慰勸如此 <small>傳代下</small>	書紀	六三	五五
雖復天神之子如何一夜使人娠乎 <small>傳代下</small>	書紀	六五	五七
天神之子寧可以私養乎 <small>傳代下</small>	書紀	六五	五七
雖復天神之子豈能一夜之間使人	書紀	六六	五八
有身者哉 <small>傳代下</small>	書紀	六六	五八
所生若非天神之胤者必亡是若天	書紀	六六	五八
神之胤者無所害 <small>傳代下</small>	書紀	六六	五八
吾是天神之子名火明命 <small>傳代下</small>	書紀	六六	五八
吾是天神之子名火進命 <small>傳代下</small>	書紀	六六	五八
吾是天神之子名火折尊 <small>傳代下</small>	書紀	六六	五八
吾是天神之子名彥火火出見尊 <small>傳代下</small>	書紀	六六	五八
天神能令一夜有娠 <small>傳代下</small>	書紀	六七	六一
尊對曰吾是天神之孫 <small>傳代下</small>	書紀	六七	六一
今者天之神之孫辱臨吾處 <small>傳代下</small>	書紀	六七	六一
天神之孫何以辱臨乎 <small>傳代下</small>	書紀	六七	六一
天神之孫今當還去 <small>傳代下</small>	書紀	六七	六一
天神見之知是天神之孫 <small>傳代下</small>	書紀	六七	六一

アメノ

アメノ

天神子召汝一天神子召汝 <small>傳代下</small>	書紀	一〇一	八七
奈何更稱天神子 <small>傳代下</small>	書紀	一〇四	八九
天神子亦多耳一其實天神之子者	書紀	一〇四	八九
必有表物 <small>傳代下</small>	書紀	一〇五	九一
知天神慰勸唯天孫是與 <small>傳代下</small>	書紀	一〇六	九二
賴以皇天之威 <small>傳代下</small>	書紀	一〇八	九三
上則答乾靈授國之德 <small>傳代下</small>	書紀	二〇九	一七四
郊祀天神 <small>傳代下</small>	書紀	二〇九	一七四
因以祈天神曰 <small>傳代下</small>	書紀	二〇九	一七四
天神誨之曰令武內宿禰行議 <small>傳代下</small>	書紀	四三	三八九
一切靈鬼雨師風伯 <small>傳代下</small>	書紀	四三	三八九
伯耆國正六位上天乃神奈斐神並	書紀	七一	六一五
從五位下 <small>傳代下</small>	書紀	七一	六一五
越前國天國津彥神等並預於官社	書紀	六〇三	五三七
天國津彥神並授從五位下 <small>傳代下</small>	書紀	六〇三	五三七
越前國天國津比咩神等並預於官	書紀	六〇三	五三七
社 <small>傳代下</small>	書紀	六〇三	五三七
天國津比咩神並授從五位下 <small>傳代下</small>	書紀	六〇三	五三七
天照大神復遣天熊大人往看之 <small>傳代上</small>	書紀	六〇三	五三七
隱岐國天佐自古命神從五位下 <small>傳代下</small>	書紀	六〇	五三
伯耆國正六位上天乃佐奈咩神從	書紀	四四七	三九三
五位下 <small>傳代下</small>	書紀	四四七	三九三
伯耆國正六位上天乃佐奈咩神從	書紀	四四八	三九四
五位下 <small>傳代下</small>	書紀	四四八	三九四
常陸國正六位上天之白羽神並從	書紀	二四二	二二三
五位下 <small>傳代下</small>	書紀	二四二	二二三
天之白羽神並從五位上 <small>傳代下</small>	書紀	四六一	四〇六
越前國天鈴神等並預於官社 <small>傳代下</small>	書紀	六〇三	五三七
天鈴神並授從五位下 <small>傳代下</small>	書紀	六〇三	五三七
造作天手挾八十枚嚴釜 <small>傳代下</small>	書紀	九八	八四
天高市神並從五位上 <small>傳代下</small>	書紀	三三	二〇
對馬國從五位上天多都麻神並	書紀	三三	二〇
從五位上 <small>傳代下</small>	書紀	三三	二〇
伯耆國正六位上天高神並從五位	書紀	七一	六一五
下 <small>傳代下</small>	書紀	七一	六一五
近江國正六位上天高結神從五位	書紀	四九三	四三四
下 <small>傳代下</small>	書紀	四九三	四三四
隱岐國從五位上天健金草神從四	書紀	三三	二〇
代	書紀	三三	二〇

アメノ

アメノ		アメヒ	
位下 <small>貞觀十三、四八、五〇</small>	天健金草明神從四位上 <small>天武十四、三</small>	向日征虜此逆天道 <small>武德六年</small>	龍田天御柱命神加從五位上一天
大和國正六位上天玉敷神並授從五位下 <small>貞觀十三、四七、五</small>	壹岐嶋天手長男天手長比咩兩神列於官社 <small>延喜十三、丁卯</small>	御柱國御柱神等乃廣前爾申賜倍止 <small>申久延喜十三、四七、四八</small>	天御柱命神等並加從四位下 <small>天武十四、三</small>
壹岐嶋天手長男天手長比咩兩神列於官社 <small>延喜十三、丁卯</small>	氣比大神之御子無位天利劍神從五位下 <small>貞觀十三、四七、五</small>	天御柱命神並加從三位 <small>天武十四、三</small>	對馬嶋從五位下天諸羽神並從五位上 <small>貞觀十三、三、丁巳</small>
常陸國正六位上天之速玉神並從五位下 <small>貞觀十三、四七、五</small>	天之速玉神並從五位上 <small>貞觀十三、四七、五</small>	越前國天八百萬比咩神等並預於官社 <small>延喜十三、丁巳</small>	天八百萬比咩神從四位下 <small>天武十四、三</small>
越前國氣比大神之御子天比女若御子神從五位下 <small>貞觀十三、四七、五</small>	安房國安房大神無位第一后神天比理刀咩命神並從三位 <small>天武十四、三</small>	天山神並從五位上 <small>貞觀十三、三、巳</small>	肥前國天山神正五位下 <small>天武十四、三、丙申</small>
天比乃理刀咩命神並正三位 <small>天武十四、三</small>	天目一箇神爲作金者 <small>天武十四、三</small>	近江國正六位上天若御子神從五位下 <small>貞觀十三、三、壬辰</small>	備後國從五位下天別豐姬神從五位上 <small>天武十四、三、甲辰</small>
		河內國天夷鳥命神授從五位下 <small>延喜十六、七</small>	武日照命一云武夷鳥又云天夷鳥 <small>延喜十六、七</small>

アメミ		アメミ	
天孫 <small>天孫(之孫)、大明命參照</small>	汝三神宜降居道中奉助天孫而爲天孫所祭也 <small>天武十四、三、庚辰</small>	然今乃奉上天孫矣天孫又問曰 <small>天武十四、三、庚辰</small>	天孫悽然歎 <small>天武十四、三、庚辰</small>
天孫若用此矛治國者必當平安 <small>天武十四、三、庚辰</small>	妾所娠若非天孫之胤必當燒滅 <small>天武十四、三、庚辰</small>	天孫猶不能忍竊往視之 <small>天武十四、三、庚辰</small>	天孫豈欲還故鄉歟 <small>天武十四、三、庚辰</small>
如實天孫之胤火不能害 <small>天武十四、三、庚辰</small>	假使天孫不斥妾而御者 <small>天武十四、三、庚辰</small>	天孫憂居海濱未審虛實 <small>天武十四、三、庚辰</small>	豐玉姬謂天孫曰妾已有娠也 <small>天武十四、三、庚辰</small>
神吾田鹿葦津姬見皇孫曰妾孕天孫之子 <small>天武十四、三、庚辰</small>	是實天孫之子者必當全生 <small>天武十四、三、庚辰</small>	從容謂天孫曰妾方產 <small>天武十四、三、庚辰</small>	天孫心惟其言竊覘上 <small>天武十四、三、庚辰</small>
立天孫之前遊行降來 <small>天武十四、三、庚辰</small>	故天孫問其神 <small>天武十四、三、庚辰</small>	知天孫視其私屏深懷慙恨 <small>天武十四、三、庚辰</small>	天孫就而問曰兒名何稱者當可乎 <small>天武十四、三、庚辰</small>
天孫留住彼處 <small>天武十四、三、庚辰</small>	天孫幸大山祇神之女子吾田鹿葦津姬 <small>天武十四、三、庚辰</small>	致天孫於海宮 <small>天武十四、三、庚辰</small>	天孫隨鸚所言留居相待已八日矣 <small>天武十四、三、庚辰</small>
天孫見其子等 <small>天武十四、三、庚辰</small>	天孫曰心疑之矣 <small>天武十四、三、庚辰</small>	因以仰見天孫即入告其王曰 <small>天武十四、三、庚辰</small>	於是天孫於邊床則拭其兩足 <small>天武十四、三、庚辰</small>
天孫豈見之乎 <small>天武十四、三、庚辰</small>	天孫因問之曰此誰國歟 <small>天武十四、三、庚辰</small>		

アメミ	アメワ
<p>時天孫則當言<small>傳代下</small> 天孫宜在海濱以作風招<small>傳代下</small> 天孫之胤不宜置此海中<small>傳代下</small> 詠靈今當置汝庫裏宜取而獻之天孫<small>傳代下</small></p>	<p>于天<small>傳代下</small> 是時天國玉聞其哭聲則知夫天稚彥已死<small>傳代下</small> 先是天稚彥在於葦原中國也與味耜高彥根神友善<small>傳代下</small> 時此神容貌正類天稚彥平生之儀故天稚彥屬妻子皆謂吾君猶在<small>傳代下</small> 天照大神勅天稚彥曰豐葦原中國是吾兒可王之地也<small>傳代下</small> 天稚彥受勅來降<small>傳代下</small> 其雉飛下居于天稚彥門前湯津杜樹之杪而鳴之曰<small>傳代下</small> 天稚彥何故八年之間未有復命<small>傳代下</small> 天稚彥乃取天神所賜天鹿兒弓矢真鹿兒矢便射之<small>傳代下</small> 此昔我賜天稚彥之矢也<small>傳代下</small> 以惡心射者則天稚彥必當遭害<small>傳代下</small> 其矢落下于天稚彥之高胸<small>傳代下</small> 時天稚彥之妻子從天降來<small>傳代下</small> 天稚彥與味耜高彥根神友善<small>傳代下</small></p>
<p>書紀 八四 七三</p>	<p>書紀 九四 八〇</p>
<p>書紀 八四 八四</p>	<p>書紀 八四 八〇</p>
<p>書紀 八四 七三</p>	<p>書紀 八四 七三</p>
<p>書紀 八四 八四</p>	<p>書紀 八四 八〇</p>
<p>書紀 八四 七三</p>	<p>書紀 八四 七三</p>
<p>書紀 八四 八四</p>	<p>書紀 八四 八〇</p>
<p>書紀 八四 七三</p>	<p>書紀 八四 七三</p>
<p>書紀 八四 八四</p>	<p>書紀 八四 八〇</p>
<p>書紀 八四 七三</p>	<p>書紀 八四 七三</p>

アメワ	アラキ	アラハ	アラヒ	アラブ	アヤシ	アヤカ	アヤツ	アユカ	アユチ	アユミ	アライ	アラキ
<p>此神形貌自與天稚彥恰然相似<small>傳代下</small> 故天稚彥妻子等見而喜之曰吾君猶在<small>傳代下</small> 昔遣天稚彥於葦原中國<small>傳代下</small> 此鳥下來爲天稚彥所射<small>傳代下</small> 惟根尊亦曰吾屋榿根尊<small>傳代上</small> 惟根尊亦曰吾屋榿城尊<small>傳代上</small> 素戔嗚尊曰是神劍也<small>傳代上</small> 尾中有一神劍<small>傳代上</small> 于時神光照海<small>傳代上</small> 兄知弟有神德<small>傳代下</small> 下野國正六位上綾都比神從五位下<small>傳代下</small></p>	<p>太神宮氏人有三神主姓荒木田神主根木神主度會神主是也<small>傳代下</small> 荒木田神主首麻呂以後脫漏荒木田三字<small>傳代下</small> 丹波國荒木神列於官社<small>傳代下</small> 飛驒國荒城神等並從五位上<small>傳代下</small> 夫汝所治顯露之事<small>傳代下</small> 吾所治顯露事者皇孫當治<small>傳代下</small> 王對之曰吾是現人神之子也<small>傳代下</small> 現人之神先稱王諱然後應尊<small>傳代下</small> 御世御世爾相承襲且每皇爾現人神止成給<small>傳代下</small> 到吉備以渡穴海其處有惡神則殺之<small>傳代下</small></p>	<p>比至難波殺柏濟之惡神<small>傳代下</small> 故悉殺其惡神並開水路之路<small>傳代下</small> 今東國不安暴神多起<small>傳代下</small> 即巧言調暴神振武以攘姦鬼<small>傳代下</small> 於是聞近江嚙吹山有荒神<small>傳代下</small> 是大地必荒神之使也<small>傳代下</small></p>	<p>惟根尊亦曰吾忌榿城尊<small>傳代上</small> 號草薙劍此今在尾張國吾湯市村<small>傳代上</small> 在美濃國藍見川之上喪山是也<small>傳代下</small> 散齋 サンサイ<small>傳代下</small> 太神宮氏人神主姓荒木田三字<small>傳代下</small></p>	<p>三代 五九〇 五一七</p>	<p>書紀 三九 三五</p>	<p>書紀 三三 三三</p>	<p>書紀 三三 三三</p>	<p>書紀 三一 三一</p>	<p>書紀 四一 三六</p>	<p>書紀 五〇 四四</p>	<p>三代 五九〇 五一七</p>	<p>三代 五九〇 五一七</p>
<p>書紀 五四 四八</p>	<p>書紀 五九 五九</p>	<p>書紀 五九 五九</p>	<p>書紀 五九 五九</p>	<p>書紀 五九 五九</p>	<p>書紀 三九 三五</p>	<p>書紀 三三 三三</p>	<p>書紀 三三 三三</p>	<p>書紀 三一 三一</p>	<p>書紀 四一 三六</p>	<p>書紀 五〇 四四</p>	<p>三代 五九〇 五一七</p>	<p>三代 五九〇 五一七</p>
<p>書紀 五四 四八</p>	<p>書紀 五九 五九</p>	<p>書紀 五九 五九</p>	<p>書紀 五九 五九</p>	<p>書紀 五九 五九</p>	<p>書紀 三九 三五</p>	<p>書紀 三三 三三</p>	<p>書紀 三三 三三</p>	<p>書紀 三一 三一</p>	<p>書紀 四一 三六</p>	<p>書紀 五〇 四四</p>	<p>三代 五九〇 五一七</p>	<p>三代 五九〇 五一七</p>
<p>書紀 五四 四八</p>	<p>書紀 五九 五九</p>	<p>書紀 五九 五九</p>	<p>書紀 五九 五九</p>	<p>書紀 五九 五九</p>	<p>書紀 三九 三五</p>	<p>書紀 三三 三三</p>	<p>書紀 三三 三三</p>	<p>書紀 三一 三一</p>	<p>書紀 四一 三六</p>	<p>書紀 五〇 四四</p>	<p>三代 五九〇 五一七</p>	<p>三代 五九〇 五一七</p>
<p>書紀 五四 四八</p>	<p>書紀 五九 五九</p>	<p>書紀 五九 五九</p>	<p>書紀 五九 五九</p>	<p>書紀 五九 五九</p>	<p>書紀 三九 三五</p>	<p>書紀 三三 三三</p>	<p>書紀 三三 三三</p>	<p>書紀 三一 三一</p>	<p>書紀 四一 三六</p>	<p>書紀 五〇 四四</p>	<p>三代 五九〇 五一七</p>	<p>三代 五九〇 五一七</p>

アラブ	叛者伏罪荒神自調 <small>（行十）</small>	書紀	一七六	一四九
アラホ	從五位上荒穗天神 <small>（肥前）</small> 正五位下 <small>（自觀二、己未）</small>	三代	六二	五四
アラマ	准荒祭神奉馬 <small>（荒御玉命參照）</small> 八 <small>（續紀）</small> 伊勢國荒祭等神宮内人五人始預 <small>（天智元、九、五）</small> 把笏 <small>（天智元、九、五）</small>	續紀	六〇三	五六三
アラミ	現為明神御八島國天皇 <small>（大化二、三、五年）</small> 既而則搗荒魂為軍先鋒請和魂為王船鎮 <small>（神功皇后紀九月）</small> 神有誨曰和魂服王身而守壽荒魂為先鋒而導師船 <small>（神功皇后紀九月）</small> 我荒魂令祭於穴門山田邑也 <small>（神功皇后紀十二月）</small> 則以踐立為祭荒魂 <small>（住吉神）</small> 之神主 <small>（神功皇后紀十二月）</small>	書紀	二〇一	一六六
アラキ	於是天照大神誨之曰我之荒魂不可近皇居當居御心廣田國 <small>（神功皇后紀九月）</small> 荒御玉命伊佐奈伎命伊佐奈彌命入於官社 <small>（神功皇后紀九月）</small>	續紀	六〇三	五六三
アライ	丹波國荒井神並從五位下 <small>（元慶六、十、庚申）</small> 有市國津神 <small>（山城）</small> 並從五位上 <small>（自觀六、癸未）</small>	三代	六八五	五九四

アリカ	相模國從五位下有鹿神從五位上 <small>（自觀十、十一、壬申）</small>	三代	三三一	二九四
アリス	遣有佐王向伊勢大神宮奉幣 <small>（續紀）</small> 遣在原朝臣行平等向賀茂松尾大神等社奉幣 <small>（續紀）</small>	三代	四七一	四一四
アリハ	在原朝臣行平為松尾社使 <small>（續紀）</small> 在原朝臣行平為裝束司長官 <small>（大嘗會）</small> 在原朝臣行平為長送伊勢齋内親王使 <small>（元慶三、八、甲子）</small> 送伊勢齋内親王使參議在原朝臣行平復命 <small>（元慶三、九、丁未）</small>	三代	四三九	四六九
アワナ	在原朝臣行平為前次第司長官 <small>（大嘗會）</small> 在原朝臣行平等四人為送齋内親王使 <small>（元慶二、八、庚申）</small> 在原朝臣善淵為神祇伯 <small>（自觀九、二、辛巳）</small> 以神祇伯在原朝臣善淵為兼河内權守 <small>（自觀九、四、戊子）</small> 神祇伯兼行河内權守在原朝臣善	三代	五九七	五三二
アラカ	此二神青檀城根尊之子也 <small>（續紀）</small> 惶根尊亦曰青檀城根尊 <small>（續紀）</small> 下枝懸青和幣 <small>（和幣此云）</small> 白和幣相與致其祈禱焉 <small>（續紀）</small> 以睡為白和幣以淺為青和幣 <small>（續紀）</small> 下枝懸青和幣 <small>（高麗元、八、庚申）</small> 青幡位草壯丁命神從五位下 <small>（延喜）</small> 正五位下青幡佐草壯丁神正五位上 <small>（元慶二、三、己亥）</small>	書紀	三三	三三
アラニ	天萬尊生沫蕩尊沫蕩尊生伊弉諾尊 <small>（續紀）</small>	書紀	三三	三三
アラハ	位下 <small>（元慶三、六、壬午）</small>	書紀	八〇四	六九六

アリハ	淵從四位上 <small>（自觀十、壬、壬寅）</small> 神祇伯兼河内權守在原朝臣善淵為權守 <small>（自觀十、壬、壬寅）</small> 在原朝臣善淵卒—九年遷為神祇伯 <small>（自觀十七、二、丙辰）</small> 遣在原朝臣友于向豐前國八幡大菩薩宮香椎廟奉幣等物 <small>（延喜）</small> 在原朝臣守平等八人為行禊陪從 <small>（仁和二、八、庚申）</small>	三代	二九九	二六六
アリマ	故葬於紀伊國熊野之有馬村焉 <small>（續紀）</small>	書紀	一一三	一一一
アリヤ	安藝國正六位上在屋神並從五位下 <small>（自觀五、十、戊子）</small>	三代	一五六	一三九
アリヨ	授无位在世王從四位下于時有世為伊勢齋内親王家別當也 <small>（延喜）</small>	三代	七九四	六八七
アレマ	先食其十握劍化生兒 <small>（續紀）</small> 食九握劍化生兒又食八握劍化生兒 <small>（續紀）</small>	書紀	二九	二五
アレヲ	敦子内親王乎卜定天阿禮乎度女 <small>（續紀）</small>	三代	五二二	四五〇
アワキ	加賀國正六位上畔分堰神並從五代	三代	五三三	五一八

イガ	令大和伊賀兩國造行定為齋内親王歸京也 <small>（大和元、三、甲巳）</small> 佐佐神津神並授從五位下 <small>（延喜）</small> 穴石神從五位下 <small>（自觀六、壬、甲申）</small>	後紀	七三	六四
イ	名	書	六國	舊大
イガ	史本	系本		

Table with columns for names (イガ, イカツ, イカヅ, イカシ, イカゴ) and their descriptions, including deities like 高藏神阿波神高松神宇奈根神 and 伊賀國等國司齋内親王將. Includes a table with three columns: Name, Generation, and Numbers.

イカホ

Table with columns for names (イカホ, イカム, イキ, イキノ, イキハ, イクク, イクシ, イクタ) and their descriptions, including 伊賀保社預之名 and 見上神真賀山神. Includes a table with three columns: Name, Generation, and Numbers.

イクタ	生田神社告文亦同焉 <small>貞觀七年、開十二、已亥</small> 奉幣生田等社祈甘雨也 <small>元慶元年、六、癸未</small> 又牟狹社所居名生靈神者也 <small>七、壬子</small>	三代	三一	二七六
イクツ	次活津彥根命 <small>神代上</small> 次活津彥根命 <small>神代上</small> 又自右臂中化生活津彥根命 <small>神代上</small> 活目津彥根命 <small>神代上</small>	書紀	二五	五〇一
イクヒ	以高橋邑人活日爲大神之掌酒 <small>神代上</small> 活日自舉神酒 <small>神代上</small>	書紀	二九	二〇九
イクム	神祇官无位生産日神從一位 <small>貞觀八年、甲申</small>	三代	二二	一〇九
イクキ	神祇官无位生井神從四位上 <small>貞觀八年、甲申</small>	三代	二二	一〇八
イクダ	遣攝津大夫從三位池田王告齋王 事于伊勢太神宮 <small>天智元年、八、庚申</small>	續紀	三七	三五六
イケニ	池坐朝霧黃幡比賣神 <small>(大和)</small> 並從五位上 <small>貞觀元年、甲申</small>	三代	二三	二〇
イケフ	信濃國正六位上池生神並從五位下 <small>元慶五年、甲申</small>	三代	六四	五七〇
イコナ	遠江國正六位上伊古奈神並從五位下 <small>貞觀十五年、九、己丑</small> 伊豆國伊古奈比咩命神授從五位上 <small>上、開三、壬子</small>	文德	五三	四六六
イコマ	伊古奈比女神列於官社 <small>神代上</small> 伊古奈比咩命神正五位下 <small>神代上</small> 伊古奈比咩命並正五位下 <small>神代上</small> 往馬伊古麻都比古神並從五位上 <small>貞觀元年、甲申</small>	文德	五三	四六七
イサウ	左馬寮無位生馬神從五位下 <small>神代上</small> 伊古麻山口神並正五位下 <small>神代上</small> 膽駒山口神等遣使奉幣 <small>貞觀九年、庚申</small> 伊勢國荒祭月讀瀧原伊雜高宮等神宮內人五人始預把笏 <small>天智元年、九、壬寅</small> 索獲於率河社中 <small>天智元年、八、庚申</small>	三代	五八	五〇八
イザカ	率川阿波神並授從五位下 <small>神代上</small> 率川坐大神御子神並授從五位下 <small>神代上</small> 率川 <small>神代上</small> 率川 <small>神代上</small> 率川 <small>神代上</small>	文德	五三	四九一
イササ	行到出雲國五十狹々之小汀 <small>神代上</small> 故號大神曰去來紗別神 <small>神代上</small>	書紀	四六	四〇

イサヌ

イザナ

イサヌ	陸奥國無位伊佐須美神從五位下 <small>天智九年、庚寅</small>	續後	三六	三三三
イザナ	次有神伊弉諾尊伊弉冊尊 <small>神代上</small> 沫蕩尊生伊弉諾尊 <small>神代上</small> 自國常立尊迄伊弉諾尊伊弉冊尊是謂神世七代者矣 <small>神代上</small> 次有伊弉諾尊伊弉冊尊 <small>神代上</small> 伊弉諾尊伊弉冊尊立於天浮橋之上 <small>神代上</small> 天神謂伊弉諾尊伊弉冊尊曰 <small>神代上</small> 伊弉諾尊伊弉冊尊二神立于天霧之中 <small>神代上</small> 伊弉諾尊伊弉冊尊二神坐于高天原曰 <small>神代上</small> 伊弉諾尊伊弉冊尊二神相謂曰 <small>神代上</small> 既而伊弉諾尊伊弉冊尊共議曰 <small>神代上</small> 伊弉諾尊曰吾欲生御寓之珍子 <small>神代上</small> 初伊弉諾尊伊弉冊尊巡柱之時 <small>神代上</small> 伊弉諾尊與伊弉冊尊共生大八洲國 <small>神代上</small>	書紀	三	三
イザナ	然後伊弉諾尊曰 <small>神代上</small> 于時伊弉諾尊恨之曰 <small>神代上</small> 然後伊弉諾尊追伊弉冊尊入於黃泉而及之 <small>神代上</small> 伊弉諾尊不聽 <small>神代上</small> 伊弉諾尊大驚之曰 <small>神代上</small> 故伊弉諾尊拔劍背揮以逃矣 <small>神代上</small> 伊弉諾尊又投湯津爪櫛 <small>神代上</small> 是時伊弉諾尊已到泉津平坂 <small>神代上</small> 一云伊弉諾尊乃向大樹放屨 <small>神代上</small> 伊弉諾尊已至泉津平坂 <small>神代上</small> 伊弉諾尊乃報之曰愛也吾妹 <small>神代上</small> 伊弉諾尊既還乃追悔之曰 <small>神代上</small> 已而伊弉諾尊勅任三子曰 <small>神代上</small> 故伊弉諾尊問之曰 <small>神代上</small> 伊弉諾尊惡之曰 <small>神代上</small> 伊弉諾尊拔劍斬柯遇突智爲三段 <small>神代上</small> 伊弉諾尊斬柯遇突智命爲五段 <small>神代上</small> 伊弉諾尊欲見其妹乃到殞殿之處 <small>神代上</small>	書紀	一三	一三
		書紀	一四	一三
		書紀	一五	一三
		書紀	一五	一四
		書紀	一六	一四
		書紀	一七	一四
		書紀	一七	一五
		書紀	一七	一六
		書紀	一八	一六
		書紀	一八	一七
		書紀	一九	一七

イザナ

已而謂伊弉諾尊曰吾夫君尊請勿視吾矣 <small>神代上</small>	書紀	一九	一七
伊弉諾尊乃舉一片之火而視之 <small>神代上</small>	書紀	一九	一七
伊弉諾尊驚而走還 <small>神代上</small>	書紀	一九	一七
故伊弉諾尊隱其樹下 <small>神代上</small>	書紀	一九	一七
時伊弉諾尊乃投其杖曰 <small>神代上</small>	書紀	一九	一七
伊弉諾尊追至伊弉冊尊所在處便語之曰 <small>神代上</small>	書紀	二〇	一八
伊弉諾尊不從猶看之 <small>神代上</small>	書紀	二〇	一八
時伊弉諾尊亦慙焉 <small>神代上</small>	書紀	二〇	一八
及其與妹相聞於泉津平坂也伊弉諾尊曰 <small>神代上</small>	書紀	二〇	一八
伊弉諾尊聞而善之乃散去矣 <small>神代上</small>	書紀	二二	一九
伊弉諾尊勅任三子曰 <small>神代上</small>	書紀	二二	一九
伊弉諾尊神功既畢靈運當遷 <small>神代上</small>	書紀	二三	二二
伊弉諾尊功既至矣 <small>神代上</small>	書紀	二三	二二
中枝懸以玉作遠祖伊弉諾尊兒天明玉所作八坂瓊之曲玉 <small>神代上</small>	書紀	三五	三二
事勝國勝神者伊弉諾尊之子也 <small>神代上</small>	書紀	六五	五七

イザナ

昔伊弉諾尊目此國曰 <small>神代三十一</small>	書紀	一〇八	九三
居島 <small>淡路</small> 伊弉諾神託祝曰 <small>神代五、九</small>	書紀	二五九	二二六
淡路國无品勳八等伊佐奈岐命一 <small>品</small>	三代	二二	一八
伊佐奈岐命伊佐奈彌命入於官社 <small>神代三、八、甲寅</small>	續紀	六〇三	五六三
伊勢國伊佐奈岐伊佐奈彌神改社	三代	二八八	二五六
稱宮預月次祭並置內人一員 <small>神代九、八、甲寅</small>	三代	二三	二〇
伊射奈岐神 <small>攝津</small> 並從五位上 <small>神代九、八、甲寅</small>	三代	二三	二〇
次有神伊弉諾尊伊弉冊尊 <small>神代上</small>	書紀	三三	三一
自國常立尊迄伊弉諾尊伊弉冊尊是謂神世七代者也 <small>神代上</small>	書紀	四四	四三
次有伊弉諾尊伊弉冊尊 <small>神代上</small>	書紀	四四	四三
伊弉諾尊伊弉冊尊立於天浮橋之上 <small>神代上</small>	書紀	四四	四三
天神謂伊弉諾尊伊弉冊尊曰 <small>神代上</small>	書紀	四五	四五
伊弉諾尊伊弉冊尊二神立于天霧之中 <small>神代上</small>	書紀	七七	七五
伊弉諾尊伊弉冊尊二神坐于高天	書紀	七七	七五

イザナ

原曰 <small>神代上</small>	書紀	八	七
伊弉諾尊伊弉冊尊二神相謂曰 <small>神代上</small>	書紀	九	八
既而伊弉諾尊伊弉冊尊共議曰 <small>神代上</small>	書紀	一一	一〇
初伊弉諾尊伊弉冊尊巡柱之時 <small>神代上</small>	書紀	一一	一〇
時伊弉冊尊爲柯遇突智所焦而終矣 <small>神代上</small>	書紀	一一	一〇
伊弉冊尊生火產靈時爲子所焦而神退矣 <small>神代上</small>	書紀	一一	一〇
伊弉冊尊且生火神柯遇突智之時 <small>神代上</small>	書紀	一一	一〇
伊弉冊尊生火神時被灼而神退去矣 <small>神代上</small>	書紀	一一	一〇
伊弉諾尊與伊弉冊尊共住大八洲國 <small>神代上</small>	書紀	一一	一〇
其母伊弉冊尊見焦而化去 <small>神代上</small>	書紀	一一	一〇
然後伊弉諾尊追伊弉冊尊入於黃泉而及之 <small>神代上</small>	書紀	一一	一〇
伊弉冊尊曰吾夫君尊何來之晚也吾已食泉之竈也 <small>神代上</small>	書紀	一一	一〇
伊弉冊尊恨曰 <small>神代上</small>	書紀	一一	一〇

イザナ

後則伊弉冊尊亦自來追 <small>神代上</small>	書紀	一一	一三
與伊弉冊尊相向而立 <small>神代上</small>	書紀	一一	一四
伊弉冊尊曰愛也吾夫君 <small>神代上</small>	書紀	一一	一四
伊弉冊尊猶如生平出迎共語 <small>神代上</small>	書紀	一一	一四
時伊弉冊尊服滿太高上有八色雷公 <small>神代上</small>	書紀	一九	一七
伊弉諾尊追至伊弉冊尊所在處便語之曰 <small>神代上</small>	書紀	二〇	一八
故伊弉冊尊恥恨之曰 <small>神代上</small>	書紀	二〇	一八
伊佐奈彌命入於官社 <small>神代三、八、甲寅</small>	續紀	六〇三	五六三
伊勢國伊佐奈岐伊佐奈彌神改社	三代	二八八	二五六
稱宮預月次祭并置內人一員 <small>神代九、八、甲寅</small>	三代	二三	二〇
阿波國正六位上伊佐奈美神從五位下 <small>神代三、八、甲寅</small>	三代	三三	二八五
素戔嗚尊一灑于天渟名井亦名去來之眞名井而食之 <small>神代上</small>	書紀	二六	二四
遷山城國廣幡神田中神於愛宕郡	三代	一四七	一三一
伊佐彌里以舊社近於汗穢 <small>神代五、甲寅</small>	書紀	四三	三八
稱五十猛命爲有功之神 <small>神代上</small>	書紀	四三	三八
共神石化美麗童女 <small>神代二</small>	書紀	一四二	一一九

イシカ

石川朝臣年足等以為迎神使 <small>五十續紀三、十一、甲寅</small>	續紀 三〇二 二九二
石川朝臣年足等奉幣帛於伊勢大神宮 <small>五十續紀三、四、丙辰</small>	續紀 三〇一 二九七
石川朝臣年足為神祇伯 <small>五十續紀三、五、己未</small>	續紀 三四一 三三四
石川朝臣年足為兵部卿神祇伯如故 <small>五十續紀三、六、壬戌</small>	續紀 三四二 三三五
石河朝臣年足為中納言兵部卿神祇伯如故 <small>五十續紀三、七、乙丑</small>	續紀 三五三 三三五
神祇伯石川朝臣年足奉勅改易官號 <small>五十續紀三、八、甲子</small>	續紀 三七六 三五七
神祇伯石川朝臣年足奉勅改易神祇伯石河朝臣年足奉勅改易 <small>五十續紀三、九、丁卯</small>	續紀 三九〇 三七〇
造石上神宮使石川朝臣吉備人等支度功程 <small>五十續紀三、十、庚辰</small>	續紀 四三六 四〇三 後紀 五〇 四四
木工頭石川朝臣長津頓死於寮中月次神今食等神事令所依例奉祭 <small>五十續紀三、十一、甲寅</small>	文德 五八一 五一八
遣石川夫人於伊勢神宮 <small>五十續紀三、十二、丙申</small>	書紀 六四四 五四一
陸奧國石神並授從五位下 <small>五十續紀三、十三、己未</small>	文德 五五一 四九〇

イシカ

又比賣神（阿蘇）嶺元來有三石神高四許丈同夜一石神類崩 <small>五十續紀三、十四、甲寅</small>	三代 一八 一六七
以河內國大縣郡石神並預官社 <small>五十續紀三、十五、丁酉</small>	三代 二七六 二四七
石見國上言石神二自出雲國來是日並授從五位下 <small>五十續紀三、十六、癸巳</small>	三代 四三三 三九九
陸奧國黑川郡石神山精社並為官社 <small>五十續紀三、十七、丁亥</small>	續紀 八二八 七六七
故即以石凝姥為治工採天香山之金以作日矛 <small>五十續紀三、十八、甲子</small>	書紀 三三 二九
石凝姥此云伊之居梨度咩 <small>五十續紀三、十九、丙寅</small>	書紀 三三 二九
鏡作上祖石凝姥命 <small>五十續紀三、二十、己未</small>	書紀 五七 五〇
上枝懸以鏡作遠祖天拔戶兒石凝戶邊所作八咫鏡 <small>五十續紀三、二十一、壬戌</small>	書紀 三五 三一
石作神（山城）並從五位下 <small>五十續紀三、二十二、甲子</small>	三代 二三 一九
石繩等十一神（三河）從五位下 <small>五十續紀三、二十三、丁卯</small>	文德 五三七 四七九
五十鈴川上 伊勢神宮參照 <small>五十續紀三、二十四、己未</small>	書紀 五八 五二
吾則應到伊勢之狹長田五十鈴川上 <small>五十續紀三、二十五、壬戌</small>	書紀 五八 五二
其援田彥神者即到伊勢之狹田五 <small>五十續紀三、二十六、甲子</small>	書紀 五八 五二

イスス

十鈴川上 <small>五十續紀三、二十七、甲子</small>	書紀 一四八 一二五
因興齋宮于五十鈴川上是謂磯宮 <small>五十續紀三、二十八、丙寅</small>	書紀 二八五 三三九
皇女齋持神鏡詣於五十鈴河上 <small>五十續紀三、二十九、己未</small>	書紀 二四七 二二八
伊勢乃度會宇治乃五十鈴乃河上乃 <small>五十續紀三、三十、壬戌</small>	三代 三二五 二八八
天照坐太神 <small>五十續紀三、三十一、甲子</small>	三代 三三三 二九六
伊勢乃度會宇治乃五十鈴乃河上乃 <small>五十續紀三、三十二、丙寅</small>	三代 三三三 三三九
天照坐皇大神 <small>五十續紀三、三十三、己未</small>	三代 三三三 三三九
伊勢乃度會宇治乃五十鈴乃河上乃 <small>五十續紀三、三十四、壬戌</small>	三代 三三三 三三九
天照之坐皇太神乃 <small>五十續紀三、三十五、甲子</small>	三代 六六〇 五七四
伊勢乃五十鈴乃河上坐皇太神乃 <small>五十續紀三、三十六、丙寅</small>	三代 六六〇 五七四
伊勢 伊勢神宮、五十鈴川上、多度神參照 且於朝明郡迹太川邊望拜天照大神 <small>五十續紀三、三十七、己未</small>	書紀 五八六 四九三

イセ

遷多氣太神宮于度會郡 <small>五十續紀三、三十八、甲子</small>	續紀 五 六
伊勢國多氣度會二郡少領已上者聽任三等已上親 <small>五十續紀三、三十九、丙寅</small>	續紀 三〇 三一
伊勢國人磯部祖父高志二人賜姓渡相神主 <small>五十續紀三、四十、己未</small>	續紀 六三 六六
伊勢國神郡二郡司賜一級 <small>五十續紀三、四十一、壬戌</small>	續紀 五二 四八〇
大祓以伊勢等國風雨之災也 <small>五十續紀三、四十二、甲子</small>	續紀 六三〇 五八八
斷伊勢等國百姓殺牛用祭漢神 <small>五十續紀三、四十三、丙寅</small>	續紀 八三八 七七七
詔曰伊勢國頃年多事百姓勞擾往後祀 <small>五十續紀三、四十四、己未</small>	後紀 一四〇 一三五
年供奉大嘗 <small>五十續紀三、四十五、甲子</small>	後紀 一五一 一三四
多氣度會及飯高飯野等七郡神戶百姓等緣徵正稅必加刑罰 <small>五十續紀三、四十六、丙寅</small>	後紀 一五一 一三四
阿耶賀神從五位上 <small>五十續紀三、四十七、己未</small>	文德 五三三 四六六
定悠紀主基等國伊勢國悠紀 <small>五十續紀三、四十八、甲子</small>	文德 五三三 四七四
阿耶賀神預於名神 <small>五十續紀三、四十九、丙寅</small>	文德 五五五 五二一
阿耶賀神並加從四位下 <small>五十續紀三、五十、己未</small>	文德 五八六 五三二
阿耶賀神預官社 <small>五十續紀三、五十一、甲子</small>	文德 六三六 五六八
阿射加神從四位上 <small>五十續紀三、五十二、丙寅</small>	三代 四二 二一
員辨大神正五位下 <small>五十續紀三、五十三、己未</small>	三代 四二 二一

○伊勢大神宮禰宜從七位下神主 首名外從五位下 <small>天保五年八月、庚戌</small>	續紀 二九四	二八三
奉幣帛於伊勢大神宮 <small>天保五年八月、庚戌</small>	續紀 二九四	二八三
奉幣帛於伊勢大神宮 <small>天保五年八月、庚戌</small>	續紀 三一〇	二九七
○伊勢大神宮神主授位 <small>天保五年八月、庚戌</small>	續紀 三一二	三〇三
奉幣帛於伊勢大神宮 <small>天保五年八月、庚戌</small>	續紀 三三三	三二二
遣使奉幣帛伊勢大神宮 <small>天保五年八月、庚戌</small>	續紀 三三八	三二二
奉幣帛於伊勢大神宮 <small>天保五年八月、庚戌</small>	續紀 三三八	三二二
伊勢大神宮幣帛使自今以後差中 臣朝臣不得用他姓人 <small>天保五年八月、庚戌</small>	續紀 三四二	三三六
○大神宮乎始凡諸社禰宜祝爾大 御物賜 <small>天保五年八月、庚戌</small>	續紀 三六九	三五〇
告齋王事于伊勢大神宮 <small>天保五年八月、庚戌</small>	續紀 三七五	三五六
奉幣帛於同大神宮 <small>天保五年八月、庚戌</small>	續紀 三七五	三五六
限伊勢大神宮之界樹標 <small>天保五年八月、庚戌</small>	續紀 三九三	三三三
奉幣帛於神宮 <small>天保五年八月、庚戌</small>	續紀 三九三	三三三
○自大神宮禰宜內人物忌諸社祝 部賜爵一級 <small>天保五年八月、庚戌</small>	續紀 四〇一	三八〇
奉幣於伊勢大神宮 <small>天保五年八月、庚戌</small>	續紀 四二八	四〇四

奉幣帛於伊勢大神宮 <small>天保五年八月、庚戌</small>	續紀 四九〇	四三三
遣使造丈六佛像於伊勢大神宮寺 <small>天保五年八月、庚戌</small>	續紀 四九三	四六三
○大神宮乃禰宜大物忌內人等爾 波彼二級但御座以下人等彼一級 <small>天保五年八月、庚戌</small>	續紀 五二二	四八〇
○大神宮禰宜外從五位下神主首 名外正五位下 <small>天保五年八月、庚戌</small>	續紀 五二二	四八一
○始賜伊勢大神宮禰宜季祿其官 位准從七位 <small>天保五年八月、庚戌</small>	續紀 五三二	四九一
伊勢大神宮使每社男神服一具女 神服一具 <small>天保五年八月、庚戌</small>	續紀 五三五	五〇三
大神宮及月讀社者加之以馬形并 鞍 <small>天保五年八月、庚戌</small>	續紀 五三五	五〇三
奉幣帛及赤毛馬二匹於伊勢太神 宮 <small>天保五年八月、庚戌</small>	續紀 五六一	五二六
○大神宮始凡諸社之禰宜等給位 一階 <small>天保五年八月、庚戌</small>	續紀 五七一	五三三
奉幣帛於伊勢大神宮 <small>天保五年八月、庚戌</small>	續紀 六三三	五八九
遣使奉幣於伊勢大神宮 <small>天保五年八月、庚戌</small>	續紀 六六一	六一五

皇太子寢疾久不平復至是親拜神 宮 <small>天保五年八月、庚戌</small>	續紀 六六五	六二九
伊勢大神宮寺先爲有崇移造便地 者許之 <small>天保五年八月、庚戌</small>	續紀 六八六	六三七
伊勢太神宮封一千二十三戸隨舊 復之 <small>天保五年八月、庚戌</small>	續紀 六九二	六四三
○大神宮司加位二級 <small>天保五年八月、庚戌</small>	續紀 七〇〇	六五一
○伊勢大神宮禰宜正六位上神主 儀守外從五位下 <small>天保五年八月、庚戌</small>	續紀 七〇五	六五五
於伊勢大神宮告皇太子即位 <small>天保五年八月、庚戌</small>	續紀 七〇五	六五五
○大神宮乎始凡諸社禰宜祝等爾 給位一階 <small>天保五年八月、庚戌</small>	續紀 七〇六	六五六
因茲伊勢大神及諸神社悉皆爲崇 王歸京也 <small>天保五年八月、庚戌</small>	續紀 七三三	六八〇
○伊勢大神宮禰宜大物忌內人賜 爵 <small>天保五年八月、庚戌</small>	續紀 七三三	六八一
齋內親王向伊勢太神宮百官侍從 祈雨於伊勢神宮及七道各神 <small>天保五年八月、庚戌</small>	續紀 七三七	七二七
奉幣帛於伊勢神宮告征蝦夷之由 祈雨於伊勢神宮 <small>天保五年八月、庚戌</small>	續紀 七九八	七三九
	續紀 八〇五	七四六

也 <small>天保五年八月、庚戌</small>	續紀 八二六	七六五
奉伊勢太神宮相嘗幣帛 <small>天保五年八月、庚戌</small>	續紀 八三六	七七六
有盜燒伊勢太神宮正殿一字財殿 二字御門三間瑞籬一重 <small>天保五年八月、庚戌</small>	續紀 八三六	七七六
伊勢太神宮奉幣帛以謝神宮被焚 焉又遣使修造之 <small>天保五年八月、庚戌</small>	續紀 八三六	七七六
向於伊勢太神宮緣宿禰也 <small>天保五年八月、庚戌</small>	續紀 八四〇	七八八
皇太子自伊勢太神宮至 <small>天保五年八月、庚戌</small>	續紀 八四〇	七八八
始用新錢奉伊勢神宮 <small>天保五年八月、庚戌</small>	後紀 八	六
改作伊勢大神宮正殿 <small>天保五年八月、庚戌</small>	後紀 二八	二四
奉幣帛於伊勢大神宮以齋內親王 將入齋宮也 <small>天保五年八月、庚戌</small>	後紀 三三	二六
遣使奉幣於伊勢大神宮以齋內親 王歸京也 <small>天保五年八月、庚戌</small>	後紀 七五	六六
○勒伊勢大神并度會二宮大內人 各三員 <small>天保五年八月、庚戌</small>	後紀 一〇二	八九
奉幣帛於伊勢大神宮以行大嘗事 也 <small>天保五年八月、庚戌</small>	後紀 一〇三	九一
奉幣於伊勢大神宮 <small>天保五年八月、庚戌</small>	後紀 一三五	一一〇
今亦營造神宮未息肩 <small>天保五年八月、庚戌</small>	後紀 一四〇	一一五

イセジ

御大極殿奉幣於伊勢大神宮爲救後紀 一五四 一三七
 疫旱也 卷七三、七、庚申
 遣使奉幣於伊勢大神宮以霖雨不後紀 一八一 一六〇
 晴也 卷七六、八、甲午
 奉幣伊勢大神宮爲應即位也 卷一〇、續後 一九三 一七三
 ○大神宮乎始天諸社乃禰宜祝等爾 續後 一九四 一七三
 給位一階 卷七三、三、癸巳
 伊勢大神宮告齋宮宜子女王之替 續後 一九七 一七七
 定久子內親王之狀 卷七、四、甲子
 奉幣伊勢大神宮 卷七、八、丙午 續後 二〇四 一八二
 爲行大嘗會事奉伊勢大神宮幣帛 續後 二〇六 一八四
 天皇御大極殿奉幣於伊勢大神 續後 二〇九 一八四
 宮 卷九、九、庚午
 奉幣於伊勢大神宮亦爲防風雨之 續後 二〇三 二〇八
 災也 卷二七、七、庚申
 御大極殿發遣齋內親王於伊勢大 續後 二三四 二〇九
 神宮 卷二九、九、丁未
 ○伊勢大神宮禰宜正六位上神主 續後 二五三 二二六

イセジ

繼鷹授外從五位下 卷三、八、甲寅 續後 二五四 二二七
 遣岡野王等於伊勢大神宮 卷九、丁未 續後 二五七 二三〇
 天皇御建禮門南奉遣伊勢大神宮幣帛 卷三、十二、庚子
 奉幣帛於伊勢大神宮 卷四、三、乙酉 續後 二六二 二三四
 奉幣伊勢大神宮以禰豐年 卷四、五、甲申 續後 二七七 二四五
 秋稼可期宜奉幣於伊勢大神宮 續後 二七七 二四五
 以祈成熟 卷九、七、丁未
 奉神寶於伊勢大神宮 卷五、十、戊子 續後 二七九 二四七
 奉幣於伊勢大神宮令祈雨 卷六、六、甲午 續後 二九〇 二五六
 奉唐物於伊勢大神宮 卷六、十、甲申 續後 二九九 二六四
 天皇御大極殿遣使奉幣於伊勢大 續後 三〇〇 二六五
 神宮 卷六、十一、庚辰
 奉珍幣於伊勢大神宮以齋宮燒損 續後 三〇〇 二六五
 也 卷六、十二、庚戌
 多氣齋宮遠離大神宮每事無便卜 續後 三〇〇 二六六
 定度會離宮以爲齋宮焉 卷六、十二、續後 三〇〇 二六六
 卜定多氣宮地可爲常齋宮之狀同 續後 三〇〇 二六六
 令此使祈申於大神宮 卷六、十二、庚辰 續後 三〇〇 二六六
 奉幣帛於伊勢大神宮祈霽澤 卷六、己未 續後 三〇〇 二六六

イセジ

奉幣帛於伊勢大神宮以祈秋實也 續後 三二八 二八二
 卷七、七、庚寅
 奉幣帛於伊勢大神宮例也 卷七、續後 三三一 二八五
 遣使於伊勢大神宮 卷七、十二、己酉 續後 三三五 二八八
 五十鈴之川上爾坐大神乃廣前爾 續後 三三五 二九七
 申賜へ止申久 卷八、六、甲申
 掛畏支大神乃護賜比於賜奉爾依天 續後 三三五 二九七
 無事天可有止思食 卷八、六、甲申
 天皇御八省院奉幣帛於伊勢大神 續後 三三七 二九八
 宮以祈豐年 卷八、七、己丑
 遣使奉幣伊勢大神宮祈年也 卷八、續後 三四五 三〇七
 奉幣伊勢大神宮祈攘之 卷八、六、戊辰 續後 三五二 三〇七
 頃者炎旱涉旬秋稼焦枯詢諸卜筮 續後 三五七 三〇七
 伊勢八幡等大神爲祟 卷九、七、甲寅
 宜奉幣於伊勢大神宮攘災未萌必 續後 三六四 三三二
 致豐稔 卷九、八、甲申
 奉幣於伊勢大神宮例也 卷九、九、甲寅 續後 三六七 三三五
 御卜曰來年春夏間可有疫氣宜奉 續後 三六七 三三五
 幣於伊勢大神宮 卷九、九、甲寅
 遣使奉幣於伊勢大神宮爲祈秋稼 續後 三六六 三三二

イセジ

也 卷十、七、庚戌 續後 三八六 三四二
 天皇御大極殿遣使奉幣帛於伊勢 續後 三八七 三四三
 大神宮 卷七、八、癸亥
 諸司行事奉幣於伊勢大神宮例也 續後 三八七 三四三
 卷十、九、丙申
 奉幣伊勢大神宮祈防風雨災 續後 三九八 三五三
 卷十一、甲申
 天皇御八省院發遣奉幣使伊勢大 續後 四〇一
 神宮 卷十一、七、乙酉
 勒令齋宮寮頭并助檢按大神宮并 續後 四〇九 三六二
 多氣度會兩神郡雜務自今以後立 續後 四〇九 三六二
 爲恒例 卷十二、六、癸未
 奉幣於伊勢大神宮令祈止雨也 續後 四二一 三六四
 卷十二、七、甲申
 天皇御大極殿遣使奉幣於伊勢大 續後 四二一 三六四
 神宮例也 卷十二、九、乙卯
 天皇御八省院奉遣幣於伊勢大神 續後 四三三 三八三
 宮 卷十四、三、己卯
 奉幣帛於伊勢大神宮 卷十五、六、庚子 續後 四五四 四〇二
 奉神寶於伊勢大神宮是廿年一度 續後 四七二 四一九

イセジ

所奉例也 <small>皇紀三三九丁巳</small>		續後	四七三	四三〇
天皇御八省院奉幣帛伊勢大神宮例也 <small>皇紀三三九甲子</small>		續後	四八四	四三〇
○大中臣淵魚卒一兼掌伊勢大神宮祭主 <small>皇紀三三九乙巳</small>		文德	五〇五	四五一
○大神宮乎始天諸社禰宜祝等爾給位一階 <small>皇紀三三九甲子</small>		文德	五〇八	四五三
向伊勢大神宮迎齋內親王 <small>皇紀三三九庚子</small>		文德	五三三	四五八
參伊勢大神宮告以即位之由 <small>皇紀三三九壬子</small>		文德	五三八	四六三
向伊勢大神宮告晏子內親王為齋 <small>皇紀三三九癸丑</small>		文德	五八八	四六一
○天照大神宮禰宜從八位下神主繼長授外從五位下 <small>皇紀三三九甲申</small>		文德	五九九	四六三
向伊勢大神宮依例奉幣 <small>皇紀三三九乙酉</small>		文德	五二〇	四六三
嶋江王向伊勢大神宮 <small>皇紀三三九庚子</small>		文德	五三一	四六五
伊勢等神社祈禱 <small>皇紀三三九甲辰</small>		文德	五三四	四七五
向伊勢大神宮奉細馬八疋以充神御寶幣具至 <small>皇紀三三九乙巳</small>		文德	五三六	四七六
向伊勢大神宮告以大嘗祭事 <small>皇紀三三九丙午</small>		文德	五三八	四七九
遣使者向伊勢大神宮奉幣 <small>皇紀三三九丁未</small>		文德	五四〇	四八一

イセジ

向伊勢大神宮奉幣請止風雨 <small>皇紀三三九庚子</small>		文德	五五二	四八九
伊勢齋內親王將參大神宮故有此祓 <small>皇紀三三九甲辰</small>		文德	五五一	四九〇
伊勢齋內親王將參大神宮故重有此祓 <small>皇紀三三九乙巳</small>		文德	五五二	四九〇
○伊勢齋內親王參大神宮 <small>皇紀三三九庚子</small>		文德	五五三	四九〇
向伊勢大神宮請除灾疫 <small>皇紀三三九甲辰</small>		文德	五六一	四九九
向伊勢大神宮奉幣禳灾疫也 <small>皇紀三三九乙巳</small>		文德	五六七	五〇五
向伊勢大神宮豫請止風雨 <small>皇紀三三九丙午</small>		文德	五七七	五一四
遣使者向伊勢大神宮奉幣 <small>皇紀三三九丁未</small>		文德	五七八	五一六
○伊勢大神宮禰宜大物忌內人賜爵一級 <small>皇紀三三九甲辰</small>		文德	五八〇	五一七
○伊勢大神宮禰宜大物忌內人賜爵一級 <small>皇紀三三九乙巳</small>		文德	六一四	五四七
○伊勢大神宮禰宜正八位下神主河繼授外從五位下 <small>皇紀三三九丙午</small>		文德	六三九	五七一
伊勢大神宮告以齋內親王退出也 <small>皇紀三三九丁未</small>		三代	七	七
為明日擬發伊勢大神宮使 <small>皇紀三三九戊申</small>		三代	九	九
伊勢大神宮告以天皇將即位也 <small>皇紀三三九己酉</small>		三代	九	九

イセジ

○又太神宮乎始天諸社乃禰宜祝等爾給位一階 <small>皇紀三三九甲子</small>		三代	一一	一〇
遣使太神宮告以即位之由 <small>皇紀三三九乙酉</small>		三代	二六	二二
遣使奉幣於伊勢大神宮 <small>皇紀三三九丙午</small>		三代	五〇	四四
伊勢太神宮告以定齋內親王 <small>皇紀三三九丁未</small>		三代	五三	四五
向伊勢太神宮奉幣 <small>皇紀三三九戊申</small>		三代	七二	六三
伊勢齋內親王將入太神宮 <small>皇紀三三九己酉</small>		三代	一一〇	九〇
○宜詔伊勢國司并大神宮司云豐受宮禰宜一內宮內人一祖之後分爭歷年 <small>皇紀三三九庚子</small>		三代	一〇三	九〇
伊勢齋內親王可入太神宮也 <small>皇紀三三九甲辰</small>		三代	一〇四	九二
齋內親王將入太神宮 <small>皇紀三三九乙巳</small>		三代	一〇五	九四
伊勢齋內親王入太神宮 <small>皇紀三三九丙午</small>		三代	一〇六	九四
伊勢國太神宮奉幣為國祈也 <small>皇紀三三九丁未</small>		三代	一〇七	九五
○授伊勢太神宮禰宜外從五位下神主繼長外從五位上 <small>皇紀三三九戊申</small>		三代	一一三	一〇八
遣使伊勢太神宮奉幣如常 <small>皇紀三三九己酉</small>		三代	一二六	一一一
向伊勢太神宮奉幣 <small>皇紀三三九庚子</small>		三代	一二七	一一三
○伊勢太神宮禰宜外從五位上神		三代	一二八	一一三

イセジ

主繼長加外正五位下 <small>皇紀四二二乙巳</small>		三代	一四三	一一六
奉幣伊勢太神宮 <small>皇紀四二二丙午</small>		三代	一四九	一二三
於大極殿奉禱伊勢太神 <small>皇紀四二二丁未</small>		三代	一五四	一三七
將發奉幣伊勢太神宮使也 <small>皇紀四二二戊申</small>		三代	一五四	一三七
遣使者於伊勢太神宮 <small>皇紀四二二己酉</small>		三代	一五七	一四〇
向伊勢太神宮奉幣 <small>皇紀四二二庚子</small>		三代	一五七	一四〇
○太神宮乎始天諸社乃禰宜祝等爾給位階一級 <small>皇紀四二二甲午</small>		三代	一五九	一四一
○伊勢太神宮司言於度會郡山中獲木連理一 <small>皇紀四二二乙未</small>		三代	一七四	一五五
遣使者奉幣於伊勢太神宮 <small>皇紀四二二丙午</small>		三代	一七九	一五九
於伊勢太神宮奉幣例也 <small>皇紀四二二丁未</small>		三代	一八五	一六五
可奉幣帛伊勢太神宮御在所所有穢仍以停止 <small>皇紀四二二戊申</small>		三代	二二三	一八九
遣使者伊勢太神宮奉幣 <small>皇紀四二二己酉</small>		三代	二二七	一九二
○授伊勢太神宮禰宜外從五位下神主繼長從五位下 <small>皇紀四二二甲辰</small>		三代	二二九	一九四
○伊勢大神宮及豐受神宮禰宜授五位者便以神稅給位祿 <small>皇紀四二二乙巳</small>		三代	二二七	二〇一
○伊勢太神宮并豐受神宮禰宜帶		三代	二三九	二〇三

イセジ

五位者其責人以神郡人補之永爲恒例	三代	二四二	二二三
伊勢齋內親王來六月祭停參神宮	三代	二四二	二二三
○先是太神宮司言頃年國內疫病繁發神郡百姓病死者衆經觸邪穢無人駢役	三代	二四二	二二三
望請准據舊例停齋內親王奉祭神宮之儀	三代	二四二	二二三
○度會郡驛馬割國內驛馬直預大神宮司買充之立爲永例	三代	二四三	二二四
伊勢太神宮封多氣度會兩郡百姓飢饉遣使賑給之	三代	二四六	二二八
遣使於伊勢太神宮告以應天門火	三代	二四七	二二八
遣使奉幣於伊勢太神宮	三代	二四九	二二〇
藤原朝臣諸房向太神宮行事	三代	二五〇	二二〇
遣使奉幣於伊勢太神宮	三代	二五二	二二四
去月內裏有犬產穢不發奉伊勢太神宮幣使明日可發故更齋修禊焉	三代	二九二	二五九

イセジ

伊勢大神宮奉大神財寶是隔廿年所造也	三代	三〇七	二七三
向伊勢大神宮奉幣	三代	三〇八	二七四
遣使者於伊勢大神宮奉幣	三代	三二五	二八八
遣使者於伊勢太神宮奉幣	三代	三三九	二九三
○加置伊勢太神宮司一員	三代	三三四	二九六
明日應遣使於伊勢大神宮	三代	三六三	三二〇
於伊勢太神宮奉神寶	三代	三六三	三二一
仍停奉伊勢太神宮幣使	三代	三六三	三二一
停奉幣伊勢太神宮使	三代	三六三	三二一
遣使於伊勢太神宮奉例幣兼齋宿	三代	三六三	三二一
不奉伊勢太神宮幣	三代	四〇九	三六一
別遣使者於伊勢太神宮奉幣爲天下及年穀祈焉	三代	四一八	三六九
○伊勢大神宮司元一員年折給絹百疋米三百斛貞觀十二年加置一員今定絹各五十疋米各百斛	三代	四二二	三七三

イセジ

於伊勢太神宮奉幣祈甘雨	三代	四二六	三七五
遣使於伊勢大神宮奉幣	三代	四四四	三九〇
於伊勢太神宮奉幣禱去灾蝗	三代	四四九	三九五
明日將發奉幣伊勢太神宮使以此穢故仍停廢焉	三代	四五三	三九八
奉幣伊勢太神宮	三代	四六〇	四〇四
向伊勢太神宮奉幣以祈甘雨也	三代	四七一	四一四
奉幣伊勢祈秋稔	三代	四七四	四一七
奉幣伊勢太神宮例也	三代	四七五	四一七
向伊勢太神宮告以大極殿灾	三代	四八六	四二七
停奉伊勢太神宮幣使以內裏犬死也大祓於建禮門前	三代	四九六	四三六
向伊勢太神宮奉幣先是九月十一日頃奉例幣而以內裏犬死而停止故延奉之	三代	四九六	四三六
向伊勢太神宮奉幣告以明年正月三日將即位天皇御建禮門發使焉	三代	五〇三	四四三
○太神宮乎始天諸社乃禰宜等解給	三代	五〇五	四四四

イセジ

位一級	三代	五一二	四四九
適使伊勢太神宮告以天皇即位并卜定齋內親王	三代	五二二	四五九
奉幣伊勢太神宮	三代	五三三	四六九
於伊勢太神宮奉幣	三代	五三三	四六九
遣使奉幣伊勢太神宮	三代	五三五	四六九
遣使伊勢太神宮奉幣	三代	五三七	四七〇
遣使奉伊勢太神宮幣并神寶弓梓銀等物	三代	五五二	四八二
奉幣伊勢太神宮	三代	五七〇	四九八
今日不得發奉幣伊勢太神宮使故修此禊	三代	五七一	五〇〇
向伊勢太神宮奉幣	三代	五七四	五〇二
向伊勢太神宮祈請冥助	三代	五七五	五〇三
○太神宮氏人神主姓荒木田三字	三代	五九〇	五一七
向伊勢太神宮奉幣告以大極殿成也	三代	六一二	五三四
○伊勢太神宮始置歌長一人預勘	三代	六一七	五三九

イセジ

向伊勢太神宮奉幣 <small>元曆八、丁酉</small>	三代	六三四	五四四
禁中犬死仍不發奉伊勢太神宮幣 <small>元曆四、九、五戊</small>	三代	六三六	五四六
使大祓於建禮門前 <small>元曆四、九、五戊</small>	三代	六三九	五五七
齋輿與腰輿資具等向伊勢太神宮 迎前齋內親王 <small>元曆九、式、丁丑</small>	三代	六四三	五六〇
○割伊勢國正稅稻一萬束付太神宮 宮司每年出舉以其息利修理齋宮 雜舍 <small>元曆五、二、己亥</small>	三代	六五三	五六九
○制定伊勢太神宮大宮司一員正 六位上階小宮司一員正七位上階 <small>元曆五、八、壬戌</small>	三代	六五三	五六九
○神祇官言太神宮司元置從六位 階一員而貞觀十二年加置一員大 小無別職掌不分同稱受領交爲爭 論望請定置大小員遷代之日分付 受領一准長官任用者 <small>元曆五、八、壬戌</small>	三代	六五三	五六九
奉幣於伊勢太神宮發自神祇官諒 關也 <small>元曆五、九、丙辰</small>	三代	六五三	五六九
奉幣於伊勢太神宮發自神祇官諒 關也 <small>元曆五、十一、丙辰</small>	三代	六五八	五七二

イセジ

遣使於伊勢太神宮奉幣告以天皇 明年正月可加元服也 <small>元曆五、十二、乙酉</small>	三代	六六〇	五七四
○太神宮乎始天諸社乃禰宜祝等爾 給位一階但正六位上量賜物 <small>元曆六、九、己亥</small>	三代	六六五	五七八
遣使奉幣伊勢太神宮告以定齋內 親王 <small>元曆六、五、丙辰</small>	三代	六七四	五八六
時景王爲伊勢太神宮使 <small>元曆六、五、丙辰</small>	三代	六七五	五八六
向伊勢太神宮奉幣 <small>元曆六、九、壬午</small>	三代	六八四	五九三
山城國司令祇承奉伊勢太神宮幣 帛使 <small>元曆六、七、丙辰</small>	三代	六八六	五九四
神祇官言檢格條奉伊勢太神宮九 月十一日神嘗二月四日祈年六月 十二月月次等祭及臨時幣帛使出 宮城之日 <small>元曆六、七、丙辰</small>	三代	六八六	五九五
奉幣於伊勢太神宮 <small>元曆七、七、丁丑</small>	三代	七〇一	六〇六
奉幣於伊勢太神宮例也 <small>元曆七、九、甲辰</small>	三代	七〇四	六〇九
○伊勢國飯野郡神戶百姓秦貞成 向官愁訴太神宮司大中臣貞世犯 用神物 <small>元曆七、七、庚申</small>	三代	七〇六	六一二
○伊勢太神宮司有犯過之時不遣 關也 <small>元曆七、七、庚申</small>	三代	七〇六	六一二

イセジ

イセジ

イセジ

推問使 <small>元曆七、七、庚申</small>	三代	七〇七	六一一
○伊勢太神宮及豐受宮酒立女各 二人准三節祭日儺女例給祿 <small>元曆七、十一、戊戌</small>	三代	七一六	六一〇
以明日欲奉伊勢太神宮幣 <small>元曆八、二、己亥</small>	三代	七二六	六一〇
向伊勢太神宮奉幣告以將卽位也 <small>元曆八、二、己亥</small>	三代	七二六	六一〇
○太神宮乎始天諸社禰宜祝爾給 位一階 <small>元曆八、二、甲寅</small>	三代	七二八	六一二
遣使修造伊勢太神宮 <small>元曆八、三、癸亥</small>	三代	七三〇	六一三
大祓於建禮門前以十日擬奉幣帛 於伊勢太神宮也 <small>元曆八、四、丁酉</small>	三代	七三五	六一八
奉幣伊勢太神宮告以定齋內親王 也 <small>元曆八、四、庚子</small>	三代	七三六	六一八
奉幣伊勢太神宮告以可修大嘗祭 <small>元曆八、十二、丁卯</small>	三代	七四三	六四七
奉伊勢太神宮幣 <small>元曆八、九、戊辰</small>	三代	七四四	六四四
奉太神宮幣 <small>元曆八、十一、戊辰</small>	三代	七四八	六四七
不發奉伊勢太神宮幣使 <small>元曆九、九、壬辰</small>	三代	七七三	六六八
遣使者於伊勢太神宮奉幣 <small>元曆九、十一、庚子</small>	三代	七七七	六七四
造伊勢太神宮據式 <small>元曆九、十一、庚子</small>	三代	七七九	六七四

イセジ

伊勢齋內親王應取近江國新道入 於太神宮仍下知伊勢國 <small>元曆二、六、己巳</small>	三代	七九八	六九〇
齋內親王入伊勢太神宮前驅 <small>元曆三、八、丙辰</small>	三代	八〇五	六九六
大祓於朱雀門前齋內親王來月應 入伊勢太神宮也 <small>元曆三、八、乙亥</small>	三代	八〇五	六九六
建禮門前修大祓以明日奉伊勢太 神宮神寶使可進發也 <small>元曆三、九、己卯</small>	三代	八〇五	六九七
奉太神宮神寶使 <small>元曆三、九、庚辰</small>	三代	八〇五	六九七
凡伊勢太神宮神寶二十年一度改 作前修之後十九年于茲雖未滿限 改造既畢仍奉之 <small>元曆三、九、庚辰</small>	三代	八〇五	六九七
擬入太神宮內親王忽有月事 <small>元曆三、九、壬午</small>	三代	八〇五	六九七
奉伊勢太神宮例幣之使是日可發 去七日有犬死穢因而停止 <small>元曆三、九、壬午</small>	三代	八〇五	六九七
爲發遣奉伊勢太神宮幣使 <small>元曆三、九、壬午</small>	三代	八〇六	六九七
承前之例齋內親王入太神宮之後 以伊勢國正稅穀三千斛資新居之 費 <small>元曆三、九、壬午</small>	三代	八〇八	七〇〇
於伊勢太神宮奉幣 <small>元曆三、四、己酉</small>	三代	八二三	七一一

[別宮]

太神宮及月讀社者加之馬形并 <small>鞍(續) 續紀三三、三、七、四</small>	伊勢月讀神爲崇於是每年九月准 荒祭神奉馬又荒御玉命伊佐奈伎 命伊佐奈彌命入於官社 <small>續紀三三、三八、甲寅</small>	伊勢國荒祭月讀瀧原伊羅高宮等 神宮内人五人始預把笏 <small>天照元、九、壬寅</small>	勅伊勢國伊佐奈岐伊佐奈彌神改 社稱宮預月次祭并置内人一員 <small>貞觀六、八、戊辰</small>	〔齋宮〕 齋宮寮(後項)初齋院、野宮全照 故以天照大神託豐猷入姬命祭於 倭笠縫邑 <small>續紀三三、三八、甲寅</small>	離天照大神於豐稻入姬命託于倭 姬命 <small>續紀三三、三八、甲寅</small>	遣五百野皇女令祭天照大神 稚足姬皇女侍伊勢大神祠 <small>續紀三三、三八、甲寅</small>	荳角皇女是侍伊勢大神祠 磐隈皇女初侍祀於伊勢大神祠 <small>續紀三三、三八、甲寅</small>	菟道皇女侍伊勢祠 <small>續紀三三、三八、甲寅</small>	
續紀 五三五 五〇三	續紀 六〇三 五六二	文德 六二六 五五九	三代 二八八 二五六	書紀 一二七 一〇七	書紀 一四八 一三五	書紀 一六八 一四一	書紀 二八二 二六六	書紀 三四一 二八七	書紀 三七一 三一
書紀 四一八 三五三									
配香手姬皇女拜伊勢神宮奉日神 <small>祀(用) 續紀四三、三六、二</small>	酢香手姬皇女歷三代以奉日神 <small>用(用) 續紀四三、三六、二</small>	欲遣侍大來皇女于天照大神宮而 令居泊瀨齋宮是先潔身稍近神之 所也 <small>天照元、九、壬寅</small>	大來皇女自泊瀨齋宮向伊勢神宮 奉伊勢神祠皇女大來還至京師 <small>天照元、九、壬寅</small>	當者皇女侍于伊勢齋宮 遣泉內親王侍於伊勢齋宮 泉內親王參于伊勢大神宮 田形內親王侍伊勢大神宮 多紀內親王參于伊勢大神宮 遣久勢女侍伊勢大神宮 以皇太子女井上女王爲齋內親王 井上內親王侍於伊勢大神宮					
書紀 四二九 三六一	書紀 四三〇 三六二	書紀 六〇〇 五〇四	書紀 六〇三	續紀 五 五	續紀 一四 一四	續紀 三七 三九	續紀 四〇 四二	續紀 四九 一〇三	續紀 一三八 一三四
續紀 一五九 一六一									

縣女王爲齋王至是發入 伊勢齋王爲遺二親喪自齋宮退出 <small>天照元、九、壬寅</small>	告齋王事于伊勢太神宮 大稜以齋內親王將向伊勢 以酒人內親王爲伊勢齋權居春日 齋宮	齋內親王將向伊勢 齋內親王向于伊勢 朝原內親王齋居平城至是齋期竟 將向伊勢神宮	齋內親王向伊勢太神宮百官侍從 至大和國堺而還 以齋內親王將入伊勢也 奉幣帛於伊勢大神宮以齋內親王 將入齋宮也	齋內親王發野宮赴伊勢 齋內親王入伊勢齋宮 令大和伊賀兩國造行宮爲齋內親 王歸京也
續紀 二七六 二六六	續紀 二九六 二八五	續紀 三七五 三五六	續紀 四一七 三九四	續紀 六〇五 五六五
續紀 六三二 五八〇	續紀 六三三 五八一	續紀 七七三 七七	後紀 三二 二六	後紀 三二 二六
後紀 三三 二七	後紀 三三 二八	後紀 三三 二七	後紀 三三 二八	後紀 三三 二八
迎齋內親王於伊勢國 遣使奉幣於伊勢大神宮以齋內親 王歸京也 齋內親王禊於葛野川 齋內親王向伊勢 齋內親王禊于葛野川 禁今月祭北辰舉哀改葬等事以齋 內親王入伊勢也 齋內親王入伊勢諸司隨從如常 尋緣齋內親王相替迎送祇供不息 布勢內親王薨延曆十六年爲伊勢 齋 以久子內親王爲伊勢齋宮 於伊勢大神宮告齋宮宣子女王之 替定久子內親王之狀 久子內親王爲可侍伊勢齋宮先禊 祓賀茂川始入野宮 禁來月供北辰辰燈以齋內親王可入				
後紀 七五 六六	後紀 七五 六六	後紀 一〇一 八九	後紀 一〇二 八九	後紀 一三八 一三三
後紀 一三八 一三三	後紀 一三八 一三三	後紀 一三八 一三三	後紀 一三八 一三三	後紀 一三八 一三三
後紀 一三八 一三三	後紀 一三八 一三三	後紀 一三八 一三三	後紀 一三八 一三三	後紀 一三八 一三三

伊勢齋宮也 <small>武徳二、八、乙丑</small>	齋宮也 <small>武徳二、八、甲子</small>	御大極殿發遣齋內親王於伊勢大神宮 <small>武徳二、八、丁未</small>	實于伊勢齋宮燒官舍一百餘宇遣使賣絹百疋綿三百屯調布五十端存問齋內親王 <small>武徳二、八、丁未</small>	令造伊勢齋內親王離宮以伊勢尾張兩國正稅稻充料 <small>武徳二、八、癸未</small>	向伊勢大神宮迎齋內親王 <small>武徳三、五、甲申</small>	晏子內親王為伊勢齋 <small>武徳三、七、甲申</small>	大祓於建禮門前以命兩齋內親王也 <small>武徳三、七、甲申</small>	向伊勢大神宮告晏子內親王為齋 <small>武徳三、八、癸丑</small>	伊勢齋內親王禊於鴨川 <small>武徳三、九、庚子</small>	伊勢齋內親王禊於鴨川入於野宮 <small>武徳三、九、乙未</small>	大祓於建禮門前伊勢齋內親王將
續後	續後	續後	續後	續後	文徳	文徳	文徳	文徳	文徳	文徳	文徳
二三四	二三四	三〇〇	三三六	五〇八	五〇八	五二五	五二五	五二五	五二五	五二五	五二五
二〇八	二〇九	二六五	二九八	四九三	四六五	四七七	四九〇	四六二	四六五	四七七	四九〇

參大神宮故有此祓 <small>仁徳二、八、丁未</small>	伊勢齋內親王禊於鴨川 <small>仁徳二、八、庚子</small>	大祓於朱雀門前伊勢齋內親王將參大神宮故重有此祓 <small>仁徳二、八、癸巳</small>	伊勢齋內親王參大神宮帝御大極殿以遣之為長奉送使 <small>仁徳二、九、庚子</small>	於伊勢大神宮告以齋內親王退出也 <small>仁徳二、九、庚子</small>	迎伊勢齋內親王 <small>武徳二、七、乙未</small>	卜定恬子內親王為伊勢齋 <small>武徳三、十、甲申</small>	以定伊勢賀茂齋內親王 <small>武徳三、十、甲申</small>	伊勢大神宮告以定齋內親王 <small>武徳三、十、甲申</small>	伊勢齋恬子內親王於鴨水六條坊門末修禊入初齋院 <small>武徳三、十、甲申</small>	任伊勢齋內親王行禊前後次第司 <small>武徳三、八、壬辰</small>	伊勢齋內親王將行禊也 <small>武徳三、八、壬辰</small>	伊勢齋恬子內親王臨鴨水大修禊事即日入野宮 <small>武徳三、八、壬辰</small>	任伊勢齋內親王裝束使 <small>武徳三、八、壬辰</small>
文徳	文徳	文徳	文徳	三代	三代	三代	三代	三代	三代	三代	三代	三代	三代
五五一	五五二	五五三	五五三	七	八	五	五	五	五	七	七	七	七
四九〇	四九〇	四九〇	四九〇	八	八	八	八	六	六	六	六	六	六

下知近江伊賀伊勢等一伊勢齋內親王將入太神宮仍預令點儲 <small>武徳三、八、乙未</small>	大祓於建禮門前以伊勢齋內親王可入太神宮故也 <small>武徳三、八、乙未</small>	伊勢齋內親王臨葛野河修禊 <small>武徳三、八、乙未</small>	伊勢齋內親王九月一日將入太神宮 <small>武徳三、八、乙未</small>	向八省院發遣伊勢齋內親王 <small>武徳三、九、丙申</small>	伊勢齋內親王入太神宮 <small>武徳三、九、丙申</small>	伊勢齋內親王來六月祭停參神宮 <small>武徳三、九、丙申</small>	太神宮司言一望請准據舊例停齋內親王奉祭神宮之儀 <small>武徳三、九、丙申</small>	卜定伊勢賀茂齋內親王伊勢齋識子內親王 <small>武徳三、九、丙申</small>	遣使伊勢太神宮告以天皇即位并卜定齋內親王 <small>武徳三、九、丙申</small>	迎前伊勢齋內親王 <small>武徳三、九、丙申</small>	任伊勢齋內親王行禊前後次第司 <small>武徳三、八、癸未</small>
三代	三代	三代	三代	三代	三代	三代	三代	三代	三代	三代	三代
一〇二	一〇四	一〇五	一〇五	一〇六	一〇六	一一三	一一三	一一三	一一三	一一三	一一三
九〇	九二	九三	九三	九四	九四	一〇三	一〇三	一〇三	一〇三	一〇三	一〇三

伊勢齋內親王欲以明日入野宮 <small>武徳三、八、乙未</small>	伊勢齋內親王出自雅樂寮假宮禊於鴨河即入野宮 <small>武徳三、八、甲申</small>	任伊勢齋內親王裝束司 <small>武徳三、七、甲申</small>	任伊勢齋內親王行禊前後次第司 <small>武徳三、八、壬辰</small>	為伊勢齋內親王使一為長送伊勢齋內親王使 <small>武徳三、八、甲申</small>	停御齋燒燈之事以伊勢齋內親王可入齋宮也 <small>武徳三、九、乙未</small>	大祓以明日齋內親王可進發也 <small>武徳三、九、乙未</small>	伊勢齋內親王入齋宮 <small>武徳三、九、丙申</small>	天皇御豐樂殿令發內親王一齋內親王波三箇年間波齋清天天照太神乃御杖代爾定天奉進留內親王曾 <small>武徳三、九、丙申</small>	齋內親王駕輿出自朱雀門掖門東向就路 <small>武徳三、九、丙申</small>
三代	三代	三代	三代	三代	三代	三代	三代	三代	三代
五七〇	五七〇	五九五	五九五	五九五	五九五	五九五	五九五	五九五	五九五
四九九	四九九	五一九	五二〇	五二〇	五三〇	五三二	五三二	五三三	五三三

イセジ

送伊勢齋内親王使參議在原朝臣行平復命 <small>元龜三、九、丁未</small>	三代	五九七	五三三
下知大和伊賀伊勢等國造行宮以伊勢齋内親王可出宮歸京也 <small>元龜四、十二、丙戌</small>	三代	六三三	五五二
前伊勢齋内親王到攝津難波海解除而後可入都 <small>元龜五、甲子</small>	三代	六三八	五五六
前伊勢齋内親王入京陪從二百十九人宜行宮飲食擔夫辨設供給一齋内親王擬出神宮從河陽宮取水路赴難波宮依例三處祓除每一處經一日 <small>元龜五、丙辰</small>	三代	六三九	五五七
齋齋輿腰輿資具等向伊勢太神宮迎前齋内親王 <small>元龜五、丁未</small>	三代	六三三	五五四
卜定伊勢齋内親王無品揭子内親王卜食 <small>元龜六、丙辰</small>	三代	六七五	五八六
遣使奉幣伊勢太神宮告以定齋内親王 <small>元龜六、丙辰</small>	三代	六八五	五九三
減定造伊勢齋内親王野宮夫數 <small>元龜六、十、甲辰</small>	三代	六八五	五九三

イセジ

大祓於建禮門前以二十四日伊勢齋内親王可入野宮也 <small>元龜七、八、乙酉</small>	三代	七〇三	六〇八
伊勢齋揭子内親王臨鴨河修禊便入野宮 <small>元龜七、八、丁巳</small>	三代	七〇四	六〇八
減定造伊勢齋内親王野宮工夫數 <small>元龜七、十二、丙辰</small>	三代	七〇七	六二二
伊勢齋揭子内親王在野宮 <small>元龜八、甲子</small>	三代	七六六	六三〇
齋内親王出於野宮暫停雇送神宮之工夫 <small>元龜八、三、癸亥</small>	三代	七三〇	六三三
卜定齋王其伊勢齋者皇女繁子卜食 <small>元龜八、三、癸亥</small>	三代	七三三	六三五
以皇女伊勢齋繁子爲内親王 <small>元龜八、甲子</small>	三代	七三五	六三八
奉幣伊勢太神宮告以定齋内親王 <small>元龜八、甲子</small>	三代	七三六	六三八
唯二女應供奉齋齋院者 <small>元龜八、甲子</small>	三代	七二六	六三八
伊勢齋内親王臨鴨水修禊事即便入初齋院 <small>元龜八、八、甲子</small>	三代	七四一	六四二
氏子内親王薨一長初爲伊勢齋後因病替出焉 <small>元龜八、丙辰</small>	三代	七六三	六六一
伊勢齋内親王將修禊事 <small>元龜八、甲子</small>	三代	七三三	六六七

イセジ

伊勢齋内親王臨鴨水修禊事即便入野宮 <small>元龜八、乙巳</small>	三代	七四四	六六九
授无位在世王從四位下于時有世爲伊勢齋内親王家別當也 <small>元龜八、乙巳</small>	三代	七四九	六七七
伊勢齋内親王應取近江國新道入於太神宮仍下知伊勢國 <small>元龜八、乙巳</small>	三代	七九八	六九〇
任伊勢齋内親王裝束司 <small>元龜八、甲子</small>	三代	七九八	六九〇
任伊勢齋内親王行禊次第司 <small>元龜八、甲子</small>	三代	八〇三	六九五
四人爲送齋内親王使 <small>元龜八、甲子</small>	三代	八〇四	六九六
四人爲齋内親王入伊勢太神宮前 <small>元龜八、甲子</small>	三代	八〇五	六九六
大祓於朱雀門前以齋内親王來月應入伊勢太神宮也 <small>元龜八、乙巳</small>	三代	八〇五	六九六
伊勢齋内親王明日可修禊事 <small>元龜八、乙巳</small>	三代	八〇五	六九六
停齋内親王行禊之事以去二日中務省犬死穢未滿忌限也 <small>元龜八、乙巳</small>	三代	八〇五	六九七
齋内親王今日修禊葛野河 <small>元龜八、乙巳</small>	三代	八〇五	六九七
擬入太神宮内親王忽有月事 <small>元龜八、乙巳</small>	三代	八〇五	六九七
内裏犬死齋内親王今月十九日欲修解除依穢而停 <small>元龜八、乙巳</small>	三代	八〇六	六九八

イセジ

齋内親王行禊改二十四日定二十三日 <small>元龜八、乙巳</small>	三代	八〇六	六九八
御大極殿發遣伊勢齋内親王 <small>元龜八、乙巳</small>	三代	八〇六	六九八
奉送伊勢齋内親王使中納言藤原朝臣山陰二十八日奏狀 <small>元龜八、乙巳</small>	三代	八〇六	六九八
内親王乘更衣滋野朝臣直子車出於頓宮 <small>元龜八、乙巳</small>	三代	八〇六	六九八
延燒四屋以垣外借屋爲寢殿安置内親王 <small>元龜八、乙巳</small>	三代	八〇六	六九八
承前之例齋内親王入太神宮之後以伊勢國正稅穀三千斛資新居之費 <small>元龜八、乙巳</small>	三代	八〇八	七〇〇
〔齋宮寮〕〔齋宮院〕 前項參照			
○齋宮頭は終りに罷め載す			
齋宮司准寮屬官准長上 <small>元龜八、甲子</small>	續紀	一八	一八
自非神部齋宮宮人及老嫗 <small>元龜八、甲子</small>	續紀	三五	三七
齋宮寮公文始用印 <small>元龜八、甲子</small>	續紀	一〇七	一一一
補齋宮寮官人一百二十一人 <small>元龜八、甲子</small>	續紀	一五九	一六二
供給齋宮年料自今以後皆用官物 <small>元龜八、甲子</small>	續紀	一七九	一八〇

イセジ

置齋宮寮 <small>天保十八、八、壬寅</small>	續紀	二七六	二六六
齋宮大神司津島朝臣小松 <small>天保十八、八、壬寅</small>	續紀	三二七	三〇三
遣氣太王造齋宮於伊勢國 <small>天保十八、八、壬寅</small>	續紀	五八八	五五〇
遣使修理伊勢齋宮 <small>天保十八、八、壬寅</small>	續紀	六三〇	五八七
伊勢齋宮所見美雲正合大瑞 <small>天保十八、八、壬寅</small>	續紀	七〇〇	六五〇
齋宮寮主典已上加位二級 <small>天保十八、八、壬寅</small>	續紀	七〇〇	六五一
紀朝臣作良爲造齋宮長官 <small>天保十八、八、壬寅</small>	後紀	七六五	七〇一
停伊勢齋宮新嘗會 <small>天保十八、八、壬寅</small>	後紀	三〇〇	二五
齋宮寮獻白雀 <small>天保十八、八、壬寅</small>	後紀	四三	三七
勅齋宮寮之炊部司元長官一人而 <small>天保十八、八、壬寅</small>	後紀	一〇〇	八八
今改置長官主典 <small>天保十八、八、壬寅</small>	後紀	一五二	一三四
以正稅息利充齋宮用 <small>天保十八、八、壬寅</small>	後紀	三〇〇	二六五
實于伊勢齋宮燒官舍一百餘宇 <small>天保十八、八、壬寅</small>	後紀	三〇〇	二六六
奉珍幣於伊勢大神宮以齋宮燒損 <small>天保十八、八、壬寅</small>	後紀	三〇〇	二六六
也 <small>天保十八、八、壬寅</small>	後紀	三〇〇	二六六
多氣齋宮遠離大神宮每事無便 <small>天保十八、八、壬寅</small>	後紀	三〇〇	二六六
定度會離宮以爲齋宮 <small>天保十八、八、壬寅</small>	後紀	三〇〇	二六六
卜定多氣宮地可爲常齋宮之狀同 <small>天保十八、八、壬寅</small>	後紀	三〇〇	二六六
令此使祈申於大神宮 <small>天保十八、八、壬寅</small>	後紀	三〇〇	二六六
令造伊勢齋內親王離宮以伊勢尾 <small>天保十八、八、壬寅</small>	後紀	三〇〇	二六六

イセジ

張兩國正稅稻充料 <small>天保十八、八、壬寅</small>	續後	三五六	三二六
伊勢齋宮主馬長伴水來在健岑廬 <small>天保十八、八、壬寅</small>	續後	四〇九	三六二
有嫌疑同被捕 <small>天保十八、八、壬寅</small>	續後	四〇九	三六二
勅令齋宮寮頭并助檢按大神宮并 <small>天保十八、八、壬寅</small>	續後	四〇九	三六二
多氣度會兩神郡雜務自今以後立 <small>天保十八、八、壬寅</small>	續後	四〇九	三六二
爲恒例 <small>天保十八、八、壬寅</small>	續後	四〇九	三六二
除伊勢齋宮諸司 <small>天保十八、八、壬寅</small>	文德	五四九	四八八
銅印一面鑄宛伊勢齋宮主神司 <small>天保十八、八、壬寅</small>	三代	一七二	一五三
伊勢齋宮寮允以上並有織不堪供 <small>天保十八、八、壬寅</small>	三代	二五三	二三四
祭 <small>天保十八、八、壬寅</small>	三代	二七五	二四四
齋宮寮火延燒官舍十二宇 <small>天保十八、八、壬寅</small>	三代	二八九	二五七
齋宮寮主直伊勢雄等五人賜直宿 <small>天保十八、八、壬寅</small>	三代	三〇八	二七四
齋宮寮史生縣造當世又殺助藤原 <small>天保十八、八、壬寅</small>	三代	三六九	三三六
朝臣豐本 <small>天保十八、八、壬寅</small>	三代	三六九	三三六
齋宮寮并所管諸司始任者並給籤 <small>天保十八、八、壬寅</small>	三代	三六九	三三六
符 <small>天保十八、八、壬寅</small>	三代	三六九	三三六
絹二百四疋調布三百六端賜齋宮 <small>天保十八、八、壬寅</small>	三代	三六九	三三六
寮充命婦女孺等入京裝束斬 <small>天保十八、八、壬寅</small>	三代	三六九	三三六

イセジ

割伊勢國正稅稻一萬束付太神宮 <small>天保十八、八、壬寅</small>	三代	六四三	五六〇
司每年出舉以其息利修理齋宮雜 <small>天保十八、八、壬寅</small>	三代	八〇七	六九八
須過七箇日入齋宮 <small>天保十八、八、壬寅</small>	三代	八〇七	六九八
以伊豫國正稅穀千斛讚岐國千斛 <small>天保十八、八、壬寅</small>	三代	八〇七	六九八
充齋宮寮 <small>天保十八、八、壬寅</small>	續紀	二〇	二二
當麻真人橋爲齋宮頭 <small>天保十八、八、壬寅</small>	續紀	二七	二八
引田朝臣廣目爲齋宮頭兼伊勢守 <small>天保十八、八、壬寅</small>	續紀	二七	二八
當麻真人橋爲齋宮頭 <small>天保十八、八、壬寅</small>	續紀	三五	三六
猪名真人法麻呂爲齋宮頭 <small>天保十八、八、壬寅</small>	續紀	九一	一〇三
引田朝臣虫麻呂爲齋宮長官 <small>天保十八、八、壬寅</small>	續紀	二二〇	二二七
置齋宮寮以路真人野上爲長官 <small>天保十八、八、壬寅</small>	續紀	二七六	二六六
文部大麻呂爲齋宮頭 <small>天保十八、八、壬寅</small>	續紀	三九三	三七三
粟田朝臣足人爲齋宮長官 <small>天保十八、八、壬寅</small>	續紀	四一〇	三八八
忌部宿禰皆麻呂爲齋宮頭 <small>天保十八、八、壬寅</small>	續紀	四三五	四二二
廣上王爲齋宮長官 <small>天保十八、八、壬寅</small>	續紀	六三三	五八一
笠朝臣名麻呂爲齋宮頭 <small>天保十八、八、壬寅</small>	續紀	六三三	五八一
賀茂朝臣人麻呂爲齋宮頭 <small>天保十八、八、壬寅</small>	續紀	七七一	七二五

イセジ

齋宮頭賀茂朝臣人麻呂爲兼伊勢 <small>天保十八、八、壬寅</small>	續紀	八三二	七七〇
守 <small>天保十八、八、壬寅</small>	續紀	八三二	七七〇
中臣丸朝臣豐國爲齋宮頭 <small>天保十八、八、壬寅</small>	後紀	二七	二二
齋宮頭中臣丸朝臣豐國爲兼介 <small>天保十八、八、壬寅</small>	後紀	六六	五八
藤原朝臣伊勢臣爲齋宮頭 <small>天保十八、八、壬寅</small>	後紀	九三	八一
文室真人正嗣爲齋宮頭 <small>天保十八、八、壬寅</small>	後紀	一〇一	八九
齋宮頭文室真人正嗣爲兼上總守 <small>天保十八、八、壬寅</small>	後紀	一〇七	九四
藤原朝臣伊勢人爲齋宮頭 <small>天保十八、八、壬寅</small>	後紀	一〇八	九五
小野朝臣眞野爲齋宮頭 <small>天保十八、八、壬寅</small>	後紀	一三三	一一八
齋宮頭小野朝臣眞野爲兼伊勢權 <small>天保十八、八、壬寅</small>	後紀	一四七	一三〇
齋宮頭安倍朝臣寬麻呂爲伊勢權 <small>天保十八、八、壬寅</small>	後紀	一六七	一四七
岡於王爲齋宮長官 <small>天保十八、八、壬寅</small>	續後	二八八	二五四
並山王爲齋宮頭長岑宿禰高名爲 <small>天保十八、八、壬寅</small>	續後	三九五	三四九
兼權頭 <small>天保十八、八、壬寅</small>	續後	三九五	三四九
豐住朝臣永貞爲齋宮頭 <small>天保十八、八、壬寅</small>	續後	四四五	三九四
豐住朝臣永貞爲齋宮頭 <small>天保十八、八、壬寅</small>	文德	六〇六	五四一

イセジ	丹波守文室朝臣助雄卒十二年 (續)八月爲齋宮頭 <small>天智二、三、甲戌</small>	文德	六三八	五七〇
	藤原朝臣諸房齋宮頭 <small>貞觀三、五、壬寅</small>	三代	一〇〇	八九
	藤原朝臣宜爲齋宮寮頭 <small>貞觀七、五、丙申</small>	三代	二〇四	一八一
	齋宮寮頭藤原朝臣諸房爲中務少輔 <small>貞觀八、三、己未</small>	三代	二三〇	二〇四
	藤原朝臣諸藤爲齋宮寮頭 <small>貞觀八、二、</small>	三代	二三〇	二〇四
	齋宮寮頭藤原朝臣諸藤爲伊勢介	三代	二七六	二四五
	齋宮寮頭如故 <small>貞觀九、二、辛巳</small>	三代	二九七	二六四
	齋宮頭兼伊勢介藤原朝臣諸蔭從五位上 <small>貞觀七、五、壬寅</small>	三代	四九八	四三八
	齋宮頭藤原朝臣諸藤 <small>貞觀十八、十、戊戌</small>	三代	五九四	五二九
	藤原朝臣寂實爲齋宮頭 <small>元慶三、七、癸巳</small>	三代	七九六	六八八
	住吉王爲齋宮頭 <small>七、七、戊申</small>	三代		
	〔神官〕伊勢神宮中○印を附せるもの同じく〔別宮〕の條及トケノ宮若くは福宜内人等各條參照			
イセタ	伊勢田神(山城)並從五位下 <small>貞觀八、五、</small>	三代	三三	一九
イセノ	遣伊勢朝臣諸人奉鹿毛馬於若狹彥神八幡神宮各一匹 <small>實德元、八、庚寅</small>	續紀	五六一	五三六
イセノ	土佐國正六位上伊勢神從五位下 <small>貞觀十二、十一、辛未</small>	三代	三六六	三三四
	隱岐國伊勢命神預明神例緣屢有靈驗也 <small>承和十五、十一、壬申</small>	續後	四五八	四〇六
	伊勢麻績君奏言 <small>神皇正統記七、八</small>	書紀	一三八	一〇八
	大舍人頭磯江王等平差使 <small>天智八、八、</small>	三代	二四七	二一九
	磯江王平差使 <small>天智十二、六、癸卯</small>	三代	三三五	二八八
	停奉伊勢大神宮幣使遣磯江王申事由 <small>貞觀七、九、庚申</small>	三代	三六三	三三一
	遣磯江王奉幣并鑄錢司及山城國葛野郡鑄錢所等新鑄錢 <small>貞觀十二、十、</small>	三代	三六五	三三三
イソエ	五十猛神 イタケルを見よ	續紀	一四九	一五三
イソタ	石上朝臣勝男石上朝臣乙麻呂石上朝臣諸男率內物部立神橋於齋宮南北二門 <small>神皇正統記十一、己卯</small>	書紀	四二	三六
イソノ	其斷地劍號曰蛇之龜正此今在石上宮 <small>神代上</small>	書紀	一五三	一三八
	五十瓊敷命居於茅淳菟砥川上宮作劍一千口藏于石上神宮也 <small>神代上</small>	書紀	一五三	一三九
	是後命五十瓊敷命傳主石上神宮			

イソノ

イソノ	之神寶 <small>神代上、三十九、十</small>	書紀	一五三	一二九
	一千口大刀者藏于忍坂邑然後從忍坂移之藏于石上神宮是時神乞之言 <small>神代上、三十九、十</small>	書紀	一五四	一二九
	物部連等至于今治石上神寶 <small>神代上、三十九、十</small>	書紀	一五四	一二九
	是玉今在石上神宮 <small>神代上、三十九、十</small>	書紀	一五五	一二三
	太子便居於石上振神宮 <small>神代上、三十九、十</small>	書紀	二五七	二二四
	臻於石上而復命 <small>神代上、三十九、十</small>	書紀	二八六	二二九
	國見逃匿石上神宮 <small>神代上、三十九、十</small>	書紀	三二八	二六七
	天皇語之曰石上振之神相伐本截末 <small>神代上、三十九、十</small>	書紀	六〇三	五〇六
	遣忍壁皇子於石上神宮以膏油塗神寶 <small>天武三、八、丙辰</small>	續紀	五三三	四九八
	充石上神封五十戶 <small>神代上、三十九、十</small>	後紀	四〇	三四
	運收大和國石上社器仗於山城國葛野郡 <small>神代上、三十九、十</small>	後紀	五〇	四四
	造石上神宮使石川朝臣吉備人等支度功程 <small>神代上、三十九、十</small>	後紀	五一	四四
	此神宮所以異於他社者何 <small>神代上、三十九、十</small>	後紀	五一	四四
	昔來天皇御其神宮便所宿收也			
イソノ	立二輅於神宮御飯盛銀筥 <small>神代上、三十九、十</small>	後紀	五二	四五
	令讀經於石上神宮 <small>神代上、三十九、十</small>	後紀	五二	四五
	天皇御命爾坐石上乃大神爾申給波久 <small>神代上、三十九、十</small>	後紀	五二	四五
	返納石上神社兵仗 <small>神代上、三十九、十</small>	後紀	五三	四五
	石上神等並正三位 <small>神代上、三十九、十</small>	文德	五三三	四六六
	正三位勳六等石上神並從一位 <small>神代上、三十九、十</small>	三代	二二	一九
	藤原朝臣貞敏爲石上社使 <small>神代上、三十九、十</small>	三代	四六	四〇
	石上神等遣使奉幣爲風雨祈 <small>神代上、三十九、十</small>	三代	五〇	四四
	石上神社南見五色雲 <small>神代上、三十九、十</small>	三代	一四八	一三三
	以大和國田二十八町借施入石上神宮寺 <small>神代上、三十九、十</small>	三代	二二九	二〇三
	石上神階加正一位 <small>神代上、三十九、十</small>	三代	二八〇	二四八
	令大和國禁止百姓燒石上神山播蒔禾豆 <small>神代上、三十九、十</small>	三代	二八一	二四九
	伊豫國神野郡伊曾乃神授從四位下充神戶各五烟 <small>神代上、三十九、十</small>	續紀	四八九	四五八
	從四位上磯野神正四位下 <small>神代上、三十九、十</small>	三代	二三五	二〇八

イソノ	磯野神並正四位上 <small>貞觀十二、八、庚申</small> 磯野神並從三位 <small>貞觀十七、三、壬子</small> 因幡國伊蘇乃佐伎等五神並授從五位下 <small>七、庚申</small> 因興齋宮于五十鈴川上是謂磯宮 <small>聖德太子、二</small>	三代 三六三 三代 四六八 文德 五三八 書紀 一四一	イタサ	小汀則拔十握劍倒植於地 <small>神代下</small> 降到出雲五十田狹之小汀 <small>神代下</small> 武藏國從五位下伊多之神並授從五位上 <small>貞觀七、十一、癸酉</small>	書紀 五九 三代 二二一 續後 四〇一
イソベ	伊勢國人磯部祖父高志二人賜姓渡相神主 <small>和銅四、三、壬寅</small>	續紀 三六	イタチ	紀伊國從五位下伊達神並正五位 <small>下、聖德太子、十一、壬寅</small>	文德 五二四 三代 二二五
イタキ	伊勢國人磯部祖父高志二人賜姓分選伊太祁曾大屋都比賣都麻都比賣三神社 <small>大寶二、二、己未</small>	文德 五三三 文德 五三三 三代 二二二	イタツ	伊達神並加從四位下 <small>聖德太子、十一、壬寅</small> 伊達神正四位下 <small>貞觀元、庚、甲申</small> 正四位上伊達神授從三位 <small>聖德太子、十一、壬寅</small> 伊豆國伊太豆和氣命並授從五位 <small>下、聖德太子、十一、壬寅</small>	文德 五二四 三代 二二五 文德 四七五 文德 五三三
イタケ	紀伊國伊太祁曾神從五位下 <small>聖德太子、十一、壬寅</small> 造同貞守伊太祁曾神社 <small>聖德太子、十一、壬寅</small> 伊太祁曾神並從四位下 <small>貞觀元、庚、甲申</small> 伊太祁曾神並從四位上 <small>天智七、十二、庚申</small> 素戔嗚尊帥其子五十猛神降到於新羅國 <small>神代上</small>	文德 五三三 文德 五三三 三代 二二二 三代 七二一 書紀 四二二	イチア	伊太豆和氣命神並從五位上 <small>聖德太子、十一、壬寅</small> 伊太豆和氣命神等從五位上 <small>聖德太子、十一、壬寅</small> 美作國從五位下壹粟原神等並授從五位上 <small>貞觀六、八、己巳</small>	文德 五三三 文德 五七七 三代 一八四
イタサ	五十猛神天降之時多將樹種 <small>神代上</small> 稱五十猛命為有功之神 <small>神代上</small> 素戔嗚尊之子號曰五十猛命 <small>神代上</small> 二神於是降到出雲國五十田狹之	書紀 四三三 書紀 四三三 書紀 四三三 書紀 四三三	イチカ	山城國市河神並從五位下 <small>聖德太子、十一、壬寅</small> 所生神號曰田心姬次湍津姬次市杵嶋姬 <small>神代上</small>	三代 三三三 書紀 二二五

イチキ	化生兒瀛津嶋姬命亦名市杵嶋姬命 <small>神代上</small> 正四位下勳八等田心姬神湍津姬神市杵嶋姬神並授正三位 <small>天智二、二、丙申</small> 市杵嶋姬神並從二位 <small>貞觀元、庚、甲申</small> 市杵嶋姬神並授正二位 <small>貞觀元、庚、甲申</small> 太政大臣東京一條第從二位勳八等田心姬神湍津姬神市杵嶋姬神並授正二位 <small>貞觀元、庚、甲申</small> 坐太政大臣東京第市杵嶋姬神並進階級加從一位 <small>貞觀六、七、甲子</small> 以市磯長尾市為祭倭大國魂神之主 <small>神代七、八</small>	書紀 二九 文德 六三七 三代 二二五 三代 二二五 三代 二二五 三代 二二五	イツ	伊豆 三島神參照 有人曰伊豆嶋西北二面自然增益三百餘丈更為一嶋則如鼓音者神造是嶋響也 <small>天武十三、十九、庚辰</small> 賀茂郡有造作島本名上津島此島坐阿波神是三嶋大社本后也又坐物忌奈乃命即前社御子神也 <small>聖德太子、十一、壬寅</small> 無位阿波神物忌奈乃命並從五位下以伊豆國神造嶋靈驗 <small>聖德太子、十一、壬寅</small> 阿米都和氣命伊太豆和氣命阿豆佐和氣命佐岐多麻比咩命並授從五位下 <small>聖德太子、十一、壬寅</small> 伊古奈比咩命神阿波神物忌奈乃神並從五位上 <small>聖德太子、十一、壬寅</small> 伊古奈比女安房物忌奈三神列於官社 <small>聖德太子、十一、壬寅</small> 阿波咩命神物忌寸奈命神伊古奈比咩命神並加正五位下阿米都和氣命神伊太豆和氣命神阿豆佐和氣命神波布比咩命神並加從五位	書紀 六三六 續後 三三三 續後 三三三 文德 五三三 文德 五三三 文德 五三三 文德 五三三
イチハ	長尾市為祭倭大國魂神之主 <small>神代七</small> 浦神嚴忌人不敢近 <small>聖德太子、十一、壬寅</small> 山城國櫛谷神從五位下 <small>聖德太子、十一、壬寅</small> 櫛谷神正五位下 <small>貞觀元、庚、甲申</small>	書紀 一一九 書紀 三六六 續後 四七五 三代 三一一		文德 一〇九 三六六 四〇五 二七六	
イチヒ	近於葛野鑄錢所櫛谷神奉鑄錢所新鑄錢 <small>貞觀十二、十一、乙丑</small> 櫛谷清水小社神告文准此 <small>貞觀十二、十一、乙丑</small>	三代 三六六 三代 三三三		三三三 三三三	

イツ	上 <small>七、十二、十四</small> 右同文 <small>書紀六、六、己節</small>	文德	五七七	五二四
	楊原神從五位上 <small>貞觀六、甲申</small>	三代	二四	二二
	楊原神正五位下 <small>貞觀十五、五、己節</small>	三代	三五九	三八
	楊原神正五位上多都美賀々神從五位下 <small>仁德二、十一、庚子</small>	三代	八〇九	七〇〇
イツキ	底津少童命天津少童命表津少童命是阿曇連等所祭神矣 <small>神代上</small>	書紀	一七	一五
	此則筑紫胸肩君等所祭神是也 <small>神代上</small>	書紀	二五	二三
	汝三神宜降居道中奉助天孫而為天孫所祭也 <small>神代上</small>	書紀	二七	二四
	今在北海道中號曰道主貴此筑紫水沼君等祭神是也 <small>神代上</small>	書紀	三〇	二六
	齋宮 <small>院</small> 伊勢神宮齋宮、賀茂神社齋院 <small>見上</small>	書紀	六二	五二四
	將祠天神地祇而天下悉祝禱之暨齋宮於倉梯河上 <small>天武七、庚子</small>	書紀	六二	五二四
	欲幸齋宮卜之 <small>天武七、丁亥</small>	書紀	六二	五二四
	安藝國佐伯郡伊都岐嶋神並預名神例兼四時幣 <small>延和七、乙巳</small>	後紀	一三六	一三二
イツキ	正五位下伊都岐島神並從四位下 <small>貞觀六、甲申</small>	三代	二九	二二
	伊都岐嶋神並從四位上 <small>貞觀九、七、庚寅</small>	三代	二九三	二六〇
	安藝國伊都岐島中子天神並從五位下 <small>貞觀六、甲申</small>	三代	三〇	二七
	命出雲國造修嚴神之宮 <small>神代上</small>	書紀	五五四	四六五
イツク	陸奥國伊豆佐味神正五位下 <small>神代上</small>	文德	五五一	四九〇
イツサ	新羅王子天日槍來歸焉將來物并七物則藏于但馬常為神物也 <small>神代上</small>	書紀	一四二	一一九
イツシ	新羅王子天日槍初來之時將來寶物今在但馬元為國人見貴則為神寶也 <small>神代上</small>	書紀	一五四	一三〇
	但馬國出石郡无位出石神並奉授從五位下 <small>天武十二、七、辛酉</small>	續後	四〇九	三六二
	從五位上出石神並正五位下 <small>天武十四、丙戌</small>	三代	三一〇	二七六
	出石神並正五位上 <small>貞觀十六、三、癸酉</small>	三代	四三九	三八七
	安藝國正六位上伊都嶋宗形小專神並從五位下 <small>貞觀九、七、庚寅</small>	三代	二九三	二六〇
イツセ	五瀬命 <small>彦五瀬命見上</small>			

イツト
イツノ

イツト	凡五部神使配侍焉 <small>神代下</small>	書紀	五七	五〇
	粮名為嚴稻魂女 <small>神代下</small>	書紀	九九	八五
	火名為嚴香來雷 <small>神代下</small>	書紀	九九	八五
	發稜威之噴讓 <small>神代上</small>	書紀	二四	二二
	管著稜威之高柄 <small>神代上</small>	書紀	二四	二二
	又管著稜威高柄 <small>神代上</small>	書紀	二六	二三
	管著稜威高柄 <small>神代下</small>	書紀	六四	五六
	且排分天八重雲稜威之道別道別而天降於日向襲之高千穗峯矣 <small>神代下</small>	書紀	五三	四六
	排分天八重雲稜威道別道別而天降之也 <small>神代下</small>	書紀	五八	五一
	草名為嚴野推 <small>神代下</small>	書紀	九九	八五
	水名為嚴罔象女 <small>神代下</small>	書紀	九九	八五
	薪名為嚴山雷 <small>神代下</small>	書紀	九九	八五
	齋稜威之雄詰 <small>神代上</small>	書紀	二四	二二
	時有天石窟所住神稜威雄走神之子甕速日神 <small>神代下</small>	書紀	五〇	四四
イツハ	凡五男矣 <small>神代上</small>	書紀	二五	二三
	故彼五男神悉是吾兒 <small>神代上</small>	書紀	二五	二三
	凡五男神矣 <small>神代上</small>	書紀	二七	二四

イツハ
イツヒ
イツヘ

イツハ	凡五男神云爾 <small>神代上</small>	書紀	二八	二五
	若不得沈匏者自知儻神 <small>神代上</small>	書紀	三三七	一九七
	出速雄神 <small>神代上</small>	三代	六一	五三
	出速雄神並從五位上 <small>貞觀十五、四、己亥</small>	三代	四一九	三七〇
	出速雄神正五位下 <small>天武二、癸酉</small>	三代	五四八	四七九
	用汝為齋主授以嚴媛之號 <small>神代上</small>	書紀	九九	八五
	并造嚴瓮嚴瓮此云怡途背 <small>神代上</small>	書紀	九九	八五
	天手扶八十枚嚴瓮 <small>神代上</small>	書紀	九九	八五
	今當以嚴瓮沈于丹生之川一乃沈嚴瓮於川 <small>神代上</small>	書紀	九九	八五
	自此始用嚴瓮之置 <small>神代上</small>	書紀	九九	八五
	名其所置填瓮為嚴瓮 <small>神代上</small>	書紀	九九	八五
	天皇嘗其嚴瓮之粮 <small>神代上</small>	書紀	九九	八五
	天皇往嘗嚴瓮粮 <small>神代上</small>	書紀	一〇五	九〇
イツミ	遣泉內親王侍於伊勢齋宮 <small>神代上</small>	續紀	一四	一四
	泉內親王參于伊勢大神宮 <small>神代上</small>	續紀	三七	三九
	和泉國大鳥神從五位上穴師神積川神並從五位下 <small>天武九、七、己巳</small>	續後	三六七	三三六
	大鳥神從四位下 <small>貞觀六、甲申</small>	三代	四〇	三五
	舊府神聖神比賣神等列於官社	三代	四〇	三五

イツミ

聖神從四位下舊府神正五位下比賣神從五位上	三代	四八	四三
大鳥神遣使奉幣爲風雨祈焉	三代	五〇	四四
大鳥神從三位	三代	一〇三	九二
積川神從四位下	三代	一七七	一五七
卷尾神從五位下	三代	一八〇	一六〇
卷尾神從五位上	三代	一八五	一六四
泉穴師神從五位上	三代	一九七	一七五
泉穴師神正五位下	三代	二〇七	一八三
穴師神從四位下	三代	三〇三	二六九
積川神從四位上	三代	四一九	三七〇
和泉國從五位下泉穴師神從五位上	三代	一九七	一七五
泉穴師神正五位下	三代	二〇七	一八三
出雲 自出雲大社至出雲區豐持參照	書紀	三八	三四
素戔鳴尊自天而降到於出雲國簸之川上	書紀	三九	三五
到出雲之清地焉則於彼處建宮	書紀	四〇	三五
一書曰素戔鳴尊自天而降到於出	書紀		

イツモ

雲簸之川上	書紀	四二	三六
遷置於出雲國簸川上而長養焉	書紀	四三	三七
其斬大蛇之地則出雲簸之川上山是也	書紀	四三	三七
到出雲國簸川上所在鳥上之峯時彼處有吞人大蛇素戔鳴尊乃以天蠅斫之劍斬彼大蛇	書紀	四三	三七
其後少彥名命行至熊野之御碕遂適於常世鄉矣	書紀	四四	三九
自後國中所未成者大己貴神獨能巡造遂到出雲國	書紀	四四	三九
初大己貴神之平國也行到出雲國五十狹々之小汀	書紀	四六	四〇
二神於是降到出雲國五十田狹之小汀則拔十握劍倒植於地	書紀	五〇	四四
是時其子事代主神遊行在於出雲國三穗之碕以釣魚爲樂	書紀	五一	四五
時二神降到出雲便問大己貴神曰汝將此國奉天神耶以不對曰吾兒事代主射鳥邀遊在三津之碕今當	書紀	五六	四九

イツモ

問以報之	書紀	五九	五三
二神降到出雲五十田狹之小汀	書紀	五九	五三
命出雲國造修嚴神之宮—又狗噲置死人手臂於言屋社	書紀	五五	四五
筑前國宗形出雲國意宇二郡司宜聽連任三等已上親	續紀	三	四
特擢出雲國熊野杵築兩大神並加從三位青幡位草壯丁命御譯命阿遲須伎高彥根命與都彥命速瀧別命天穗日命神並授從五位下	文德	五六	四七
天穗日命神預官社	文德	六三	五五
熊野神杵築神並正三位	三代	二四	二二
熊野坐神正三位杵築神並從二位	三代	四一	三七
佐陀神陽坐志去日女命並授正五位下	三代	四五	三九
女月神等並從五位下	三代	二四	一九〇
左草神御譯神阿式神等並授從五位上	三代	二六	一九三
熊野神杵築神並授正二位佐陀神	三代	二八	二五〇

イツモ

イツモ

正五位上	三代	二八	二五
能義神揖屋神並授從五位上	三代	三〇	二七
智位神斐伊神溫沼神並從五位上	三代	三〇	二七
湯神佐陀神並從四位下能美神佐草神揖屋神女月神御譯神阿武神並正五位下斐伊神智伊神溫沼神並從五位上	三代	三九	三四
青幡佐草壯丁神正五位上	三代	五五	四八
出雲大社 杵築神、大己貴命、出雲國造參照	書紀	一三五	一一五
從天將來神寶藏于出雲大神宮	書紀	一三七	一一六
不祭大神而有間	書紀	五五	四五
命出雲國造修嚴神之宮	書紀	三七	三三
天穗日命此出雲臣遠祖也	書紀	一三六	一一五
出雲臣之遠祖出雲振根主于神寶	書紀	一三六	一一五
既而出雲振根從筑紫還來之	書紀	一三六	一一五
則遣吉備津彥與武渟河別以誅出	書紀	一三六	一一五

イツモ	雲振根 <small>出雲國造外正七位上</small> 出雲臣果 續紀 九三 九六
	安齋竟奏神賀事 <small>出雲國造外從七位下</small> 出雲臣廣嶋 續紀 一四一 一四五
	奏神賀事 <small>出雲國造從六位上</small> 出雲臣廣島齋 續紀 一五三 一五六
	事畢獻神社劍鏡等廣島進位二階 續紀 二二八 二二五
	出雲國造外正六位上出雲臣廣嶋 外從五位下 <small>出雲國造外正六位上</small> 出雲臣弟山 續紀 三〇六 二九三
	奏神賀事 <small>出雲國造外正六位上</small> 出雲臣弟山 餘祝部叙位有差 <small>出雲國造外正六位上</small> 續紀 三二〇 二九七
	出雲國造出雲臣弟山奏神賀事進 位賜物 <small>出雲國造外正六位上</small> 續紀 四四三 四一六
	以外從七位下出雲臣益方爲國造 出雲國造外從六位下出雲臣益方 續紀 五〇三 四七二
イツモ	出雲國造外從五位下出雲臣益 方奏神事授外從五位上 <small>出雲國造外從五位下</small> 續紀 七六四 七〇九
	出雲國造外正八位上出雲臣國成 等奏神吉事其儀如常國成外從五 位下 <small>出雲國造外正八位上</small> 續紀 七八二 七三五
	出雲國造出雲臣國成奏神吉事 其儀如常賜國成及祝部物各有差 續紀 一三〇 一一六
	出雲國造外從七位下出雲臣旅人 授外從五位下緣神賀事也 <small>出雲國造外從七位下</small> 後紀 一四九 一三二
	出雲國造外從五位下出雲旅人奏 神賀辭 <small>出雲國造外從五位下</small> 續後 一九八 一七七
	出雲國司率國造出雲豐持等奏神 壽 <small>出雲國造外從五位下</small> 書紀 五五四 四六五
	出雲國造 出雲臣果安以下參照 命出雲國造國名修嚴神之宮 <small>出雲國造外從五位下</small> 續後 四〇九 三六二
	丹波國桑田郡无位出雲神並奉授 從五位下 <small>出雲國造外從五位下</small> 三代 四一五 三六七
	從四位下出雲神從四位上 <small>出雲國造外從四位下</small> 出雲神正四位下 <small>出雲國造外從四位下</small> 三代 六二一 五四三

イツモ	周防國正五位上出雲神並授從四 位下 <small>出雲國造外正五位上</small> 三代 二八九 二五七
イデハ	出雲井於神 <small>(山城)</small> 並從五位上 <small>出雲國造外正五位上</small> 出羽國 <small>テバ</small> 見よ 三代 二二 一九
イトデ	筑紫伊觀縣主祖五十迹手一而獻 之 <small>出雲國造外正五位上</small> 書紀 一八九 一五八
イトノ	下野國從五位下伊門神從五位上 貞觀十七、十二、丙子 三代 四七六 四三〇
イトワ	伊刀王受神教於住吉神 <small>出雲國造外正六位上</small> 續紀 五六二 五三六
イナサ	肥前國正六位上稻佐神並授從五 位下 <small>出雲國造外正六位上</small> 三代 一〇五 九三
イナシ	稻佐雄神並從五位上 <small>出雲國造外正六位上</small> 三代 七五六 六五四
	到於不須也凶目汚穢之國矣 <small>出雲國造外正六位上</small> 書紀 一四 一三
	到於不須也凶目汚穢之處 <small>出雲國造外正六位上</small> 書紀 一六 一四
	不須也凶目汚穢此云伊儼之居梅 積多儼積 <small>出雲國造外正六位上</small> 書紀 一八 一六
	不須也頗頑凶目杵之國歟 <small>出雲國造外正六位上</small> 書紀 五六 四九
イナセ	稔代神 <small>(大和)</small> 並從五位上 <small>出雲國造外正六位上</small> 故以熊野諸手船亦名天島船始載使 者稻背脛遺之 <small>出雲國造外正六位上</small> 書紀 三三 二〇
イナダ	賜號於二神曰稻田宮主神 <small>出雲國造外正六位上</small> 書紀 三九 三五
	稻田宮主贊狹之八箇耳女子 <small>出雲國造外正六位上</small> 書紀 四〇 三五
	妻名曰稻田宮主贊狹之八箇耳 <small>出雲國造外正六位上</small> 書紀 四〇 三六
	稻田宮主贊狹之八箇耳生兒眞髮 觸奇稻田媛 <small>出雲國造外正六位上</small> 書紀 四〇 三五
イナツ	上野國正六位上稻妻神從五位下 勳十二等 <small>出雲國造外正六位上</small> 三代 六二〇 五四一
	武藏國正六位上稻聚神從五位下 貞觀十七、十二、甲辰 三代 四七七 四三〇
イナバ	因幡 宇倍神參照 大嘗以因幡爲由機國 <small>出雲國造外正六位上</small> 續紀 三〇一 二九〇
	行大嘗之事因幡國爲須岐 <small>出雲國造外正六位上</small> 續紀 五八八 五五〇
	大江志保濃都波奈彌伊蘇乃佐伎 都波伎知等五神並從五位下 <small>出雲國造外正六位上</small> 文德 五三八 四七九
	酒賀神賀露神並授從五位下 <small>出雲國造外正六位上</small> 三代 一〇七 九五
	鷲岑神從五位下 <small>出雲國造外正六位上</small> 三代 一三六 一一一
	阿太賀都建御熊神大和佐美神並 授從五位下 <small>出雲國造外正六位上</small> 三代 二〇七 一八四

イナバ	大野見宿禰神從五位下 <small>貞觀八、十、己卯</small>	三代	二六〇	二三〇
	天穗日命神列於官社 <small>貞觀九、五、己卯</small>	三代	二八六	二五三
	多神正五位下 <small>貞觀十五、七、庚寅</small>	三代	四二六	三七五
	賀露神須賀神鷲峯神服織神美敷神並從五位上 <small>貞觀十六、五、庚辰</small>	三代	四四五	三九一
	神前神從五位下 <small>貞觀十七、三、壬子</small>	三代	四六八	四二一
	賀露神正五位下 <small>元慶六、六、丁酉</small>	三代	五三一	四六六
	賀露神從四位下 <small>元慶六、十二、庚辰</small>	三代	五四一	四七三
	相尾神并從五位下 <small>元慶六、十二、乙未</small>	三代	五四四	四七六
	賀露神從四位上 <small>元慶六、十二、甲辰</small>	三代	五七四	五〇三
	大(天)山神從五位下 <small>元慶三、二、庚辰</small>	三代	五八一	五〇八
	虫井神從五位下 <small>元慶七、十二、庚申</small>	三代	七一六	六一五
	美濃國厚見郡无位伊奈波神等並奉授從五位下 <small>承和十二、七、甲辰</small>	三代	三三三	二九四
	從五位上伊奈波神正五位下 <small>貞觀十二、十二、庚子</small>	三代	六二九	五四八
	伊那波神從四位下 <small>元慶四、十一、己未</small>	三代	二〇一	一七九
	伊勢國正五位上稻葉神從四位下 <small>貞觀七、四、乙丑</small>	三代	二〇一	一七九
イナヒ	次稻飯命 <small>神代下</small>	書紀	八六	七五
	イナヒ			
	次稻飯命 <small>神代下</small>	書紀	八六	七五
	次稻飯命 <small>神代下</small>	書紀	八六	七五
	次稻飯命 <small>神代下</small>	書紀	八六	七五
	時稻飯命乃歎曰 <small>神代下</small>	書紀	八七	七五
	美濃國正五位下否間神正五位上 <small>元慶二、九、庚申</small>	三代	五七一	五〇〇
	加賀國江沼郡忌浪神從五位下 <small>延和二十、庚寅</small>	續後	四七二	四二〇
	常陸國久慈郡稻村神預之官社緣水旱之時祈必致感也 <small>延和四、庚寅</small>	續後	四六七	四一五
	正六位上稻村神從五位下 <small>元慶二、八、甲辰</small>	三代	五七〇	四九八
	稻村神並從五位上 <small>元慶五、四、丙午</small>	三代	七六七	六六四
	從五位下稻荷神從五位上 <small>承和十、十、庚申</small>	續後	三九〇	三四六
	稻荷神從四位下 <small>承和十二、十二、丁亥</small>	續後	四〇三	三五五
	稻荷神預名神例 <small>承和十二、十二、庚辰</small>	續後	四二一	三六五
	山城國稻荷神階授從四位上 <small>延和四、庚寅</small>	文德	五二二	四六六
	向稻荷等名神奉幣祈雨 <small>延和七、乙亥</small>	文德	五五〇	四八九
	稻荷神三前各授正四位下 <small>天智七、乙酉</small>	文德	六二〇	五五二
	當稻荷神社空中有兩雞相闘 <small>天智二、壬辰</small>	文德	六四四	五七五
	イナム			
	常陸國久慈郡稻村神預之官社緣水旱之時祈必致感也 <small>延和四、庚寅</small>	續後	四六七	四一五
	正六位上稻村神從五位下 <small>元慶二、八、甲辰</small>	三代	五七〇	四九八
	稻村神並從五位上 <small>元慶五、四、丙午</small>	三代	七六七	六六四
	從五位下稻荷神從五位上 <small>承和十、十、庚申</small>	續後	三九〇	三四六
	稻荷神從四位下 <small>承和十二、十二、丁亥</small>	續後	四〇三	三五五
	稻荷神預名神例 <small>承和十二、十二、庚辰</small>	續後	四二一	三六五
	山城國稻荷神階授從四位上 <small>延和四、庚寅</small>	文德	五二二	四六六
	向稻荷等名神奉幣祈雨 <small>延和七、乙亥</small>	文德	五五〇	四八九
	稻荷神三前各授正四位下 <small>天智七、乙酉</small>	文德	六二〇	五五二
	當稻荷神社空中有兩雞相闘 <small>天智二、壬辰</small>	文德	六四四	五七五
	イナミ			
	加賀國江沼郡忌浪神從五位下 <small>延和二十、庚寅</small>	續後	四七二	四二〇
	常陸國久慈郡稻村神預之官社緣水旱之時祈必致感也 <small>延和四、庚寅</small>	續後	四六七	四一五
	正六位上稻村神從五位下 <small>元慶二、八、甲辰</small>	三代	五七〇	四九八
	稻村神並從五位上 <small>元慶五、四、丙午</small>	三代	七六七	六六四
	從五位下稻荷神從五位上 <small>承和十、十、庚申</small>	續後	三九〇	三四六
	稻荷神從四位下 <small>承和十二、十二、丁亥</small>	續後	四〇三	三五五
	稻荷神預名神例 <small>承和十二、十二、庚辰</small>	續後	四二一	三六五
	山城國稻荷神階授從四位上 <small>延和四、庚寅</small>	文德	五二二	四六六
	向稻荷等名神奉幣祈雨 <small>延和七、乙亥</small>	文德	五五〇	四八九
	稻荷神三前各授正四位下 <small>天智七、乙酉</small>	文德	六二〇	五五二
	當稻荷神社空中有兩雞相闘 <small>天智二、壬辰</small>	文德	六四四	五七五
	イナマ			
	加賀國江沼郡忌浪神從五位下 <small>延和二十、庚寅</small>	續後	四七二	四二〇
	常陸國久慈郡稻村神預之官社緣水旱之時祈必致感也 <small>延和四、庚寅</small>	續後	四六七	四一五
	正六位上稻村神從五位下 <small>元慶二、八、甲辰</small>	三代	五七〇	四九八
	稻村神並從五位上 <small>元慶五、四、丙午</small>	三代	七六七	六六四
	從五位下稻荷神從五位上 <small>承和十、十、庚申</small>	續後	三九〇	三四六
	稻荷神從四位下 <small>承和十二、十二、丁亥</small>	續後	四〇三	三五五
	稻荷神預名神例 <small>承和十二、十二、庚辰</small>	續後	四二一	三六五
	山城國稻荷神階授從四位上 <small>延和四、庚寅</small>	文德	五二二	四六六
	向稻荷等名神奉幣祈雨 <small>延和七、乙亥</small>	文德	五五〇	四八九
	稻荷神三前各授正四位下 <small>天智七、乙酉</small>	文德	六二〇	五五二
	當稻荷神社空中有兩雞相闘 <small>天智二、壬辰</small>	文德	六四四	五七五

イナリ	稻荷神三前並正四位上 <small>貞觀六、五、甲申</small>	三代	二二	一九
	奉幣稻荷等神社止霖雨也 <small>貞觀六、四、丙辰</small>	三代	四九	四三
	奉充諸名神神田稻荷神三段一並以山城國愛宕紀伊乙訓葛野等郡得度除帳田充之 <small>貞觀七、四、丁卯</small>	三代	二〇一	一七九
	班幣稻荷 <small>貞觀八、七、丙辰</small>	三代	二四九	二二〇
	稻荷神乃廣前爾申給倍止申久 <small>貞觀九、五、甲辰</small>	三代	二八三	二五二
	遣使於稻荷等神社奉幣 <small>貞觀九、十一、丁未</small>	三代	二九四	二六一
	稻荷社使神祇大祐正六位上大中臣朝臣常道 <small>貞觀十二、十一、乙丑</small>	三代	三六五	三三三
	神祇伯從四位下藤原朝臣廣基為稻荷社使 <small>貞觀十四、三、癸巳</small>	三代	三九八	三五三
	奉幣於稻荷並祈嘉澍也 <small>貞觀十五、五、癸未</small>	三代	四二二	三七三
	遣使於稻荷奉幣祈雨也 <small>貞觀十七、七、辛未</small>	三代	四二六	三七五
	稻荷上中下三名神並奉授從三位告文曰 <small>貞觀十六、四、乙丑</small>	三代	四四四	三九〇
	稻荷神前爾申賜倍止申久 <small>貞觀十六、四、乙丑</small>	三代	四四四	三九〇
	遣使者於山城國稻荷社奉幣 <small>貞觀十七、六、甲寅</small>	三代	四七〇	四一四
	遣使班幣稻荷神社祈雨 <small>貞觀十七、七、壬午</small>	三代	四七三	四一六
	イナリ			
	奉幣稻荷祈秋稔 <small>貞觀十七、八、乙亥</small>	三代	四七四	四一七
	奉幣稻荷等神社 <small>元慶六、四、庚辰</small>	三代	五三三	四五九
	奉幣稻荷等社祈甘雨也 <small>元慶六、六、癸未</small>	三代	五三〇	四六五
	奉幣馬於稻荷賽舊禱也 <small>元慶三、三、丁巳</small>	三代	五五一	四八二
	班幣祈雨稻荷等八社 <small>元慶三、六、丁卯</small>	三代	五五九	四八九
	奉幣稻荷神社祈膏雨也 <small>元慶三、五、庚辰</small>	三代	五九〇	五一六
	遣神祇大副大中臣朝臣有本於稻荷社並奉幣告以大極殿成 <small>元慶四、二、己丑</small>	三代	六一二	五三四
	遣使者於稻荷等社奉幣祈雨 <small>元慶四、二、己丑</small>	三代	六一八	五四〇
	分遣使者於稻荷奉幣而雪以旱也 <small>元慶七、五、丁亥</small>	三代	六九九	六〇五
	稻荷等神社遣使班幣 <small>元慶七、七、丁丑</small>	三代	七〇一	六〇六
	奉幣於稻荷神社祈止雨也 <small>元慶七、九、乙丑</small>	三代	七〇四	六〇八
	分遣使者於稻荷奉幣 <small>仁和元、九、癸卯</small>	三代	七四四	六六九
	稻荷奉幣祈止雨 <small>仁和二、八、癸丑</small>	三代	八〇三	六九五
	是後命五十瓊敷命俾主石上神宮之神寶 <small>仁和三、九、十</small>	書紀	一五三	一一八
	五十瓊敷命謂妹大中姬命曰我老也不能掌神寶 <small>天智八、十七、二、辛卯</small>	書紀	一五三	一一九
	正六位上伊爾色神(鹿麿)從五位	三代	六四	五六
	イニシ			
	正六位上伊爾色神(鹿麿)從五位	三代	六四	五六

イヌカ	犬上王奉幣帛于伊勢大神宮 <small>續紀三、三、庚辰</small>	續紀	五	五
イヌヒ	一云狗人 <small>續紀下</small>	書紀	六	六
イヌヤ	因幡國正六位上大(犬)山神從五位下 <small>元龜三、二、庚辰</small>	三代	五〇八	五〇八
イヌキ	左京職正六位上戌亥隅神並授從五位下 <small>貞觀九、十二、辛酉</small>	三代	一五七	一三九
イノリ	織部司正六位上辰巳隅神戌亥隅神並從五位下 <small>元龜三、四、己酉</small>	三代	六〇三	五三七
イノリ	新禱 宿禰、新雨、新晴參照	書紀	三〇	二七
イノリ	○奉幣等に祈りの意味あるもの多きも、こゝには單に文字の上よりの之を引く。	書紀	三一	二七
イノリ	會合於天安河邊計其可禱之方 <small>續紀上</small>	書紀	三五	三一
イノリ	相與致其祈禱焉 <small>續紀上</small>	書紀	三五	三一
イノリ	諸神遣中臣連遠祖與台產靈兒天兒屋根命而使祈焉 <small>續紀上</small>	書紀	二七	二〇八
イノリ	而廣厚稱辭祈啓矣 <small>續紀上</small>	書紀	二七	二〇八
イノリ	祈之曰朕禮神尙未盡耶 <small>續紀上</small>	書紀	二七	二〇八
イノリ	祈曰是倭國之物實 <small>續紀上</small>	書紀	二七	二〇八
イノリ	淨沐而祈寐 <small>續紀上</small>	書紀	二七	二〇八
イノリ	是時禱神則志我神直入物部神直入中臣神三神矣 <small>續紀上、十</small>	書紀	一六六	一四〇
イノリ	則仰之祈于天神地祇 <small>續紀上、十</small>	書紀	一八八	一五七
イノリ	天皇則禱祈之 <small>續紀上、正</small>	書紀	一九五	一六二
イノリ	捧劍鏡令禱祈神祇而求通溝 <small>續紀上、四</small>	書紀	二〇九	一七四
イノリ	因以祈天神曰 <small>續紀上、四</small>	書紀	二〇九	一七四
イノリ	禱而不祠 <small>續紀上、三</small>	書紀	二五九	二二六
イノリ	祠神祈福可不慎歟 <small>續紀上、二</small>	書紀	二九四	二四六
イノリ	乃下馬洗漱口手祈請 <small>續紀上、二</small>	書紀	三六七	三〇九
イノリ	守石之母祈請曰投兒火裏天災果臻 <small>續紀上、六</small>	書紀	四〇五	三四三
イノリ	或禱河伯既無所効 <small>續紀上、七、庚寅</small>	書紀	四九〇	四一〇
イノリ	天皇祈之曰天神地祇扶朕者雷雨息矣 <small>天武六、六、丁亥</small>	書紀	五八九	四九五
イノリ	捧幣帛祈諸神祇 <small>天武五、六</small>	書紀	六〇八	五二〇
イノリ	爲天皇體不豫祈于神祇 <small>天武五、八、丁亥</small>	書紀	六四六	五四三
イノリ	禱祈太宰所部神九處一以賽其禱 <small>天武二、六、丁酉</small>	書紀	二二	二四
イノリ	勅令禱祈神祇由天下疫癘 <small>天武三、同</small>	書紀	三七	三九
イノリ	請奉幣帛祈於諸社 <small>天武六、六、壬戌</small>	書紀	八七	九二

イノリ

イノリ	詔七道諸國除灾祈禱 <small>續紀三、七、庚辰</small>	續紀	一五〇	一五四
イノリ	妖祠死魂云有所祈 <small>天保二、九、庚辰</small>	續紀	一八〇	一八一
イノリ	奉幣彼部神祇爲民禱祈 <small>天保七、八、乙未</small>	續紀	一九九	一九九
イノリ	詔奉幣於部内(太宰)諸社以祈禱 <small>天保九、同、癸亥</small>	續紀	二〇九	二〇八
イノリ	田苗燠萎由是祈禱山川奠祭神祇未得効驗 <small>天保九、五、壬辰</small>	續紀	二〇九	二〇八
イノリ	緣有疫氣多發祈祭神祇 <small>天保九、七、乙未</small>	續紀	二二〇	二〇九
イノリ	詔大將軍東人令祈請八幡神 <small>天保十二、壬戌</small>	續紀	二二〇	二二七
イノリ	奉幣祈(禱)賀茂松尾等神社 <small>天保十七、癸酉</small>	續紀	二七〇	二六一
イノリ	天坐神地坐神乎祈禱奉 <small>天保二十、甲午</small>	續紀	二九〇	二七九
イノリ	遣使於山科等山陵一奉幣以祈請 <small>天保廿七、七、丙午</small>	續紀	三三七	三二二
イノリ	立大炊王躬自乞三寶禱神明 <small>天保廿九年、同、辛巳</small>	續紀	三三七	三三一
イノリ	諸社祝部等各禱其社 <small>天保廿四年、三、甲戌</small>	續紀	四〇一	三八〇
イノリ	朝廷遙望禱請國神 <small>天保廿八年、十一、癸丑</small>	續紀	四六三	四三五
イノリ	先靈仁祈願幣流書乎見流仁 <small>天保廿九年、同、癸丑</small>	續紀	四七五	四七七
イノリ	禱祀境内有驗神祇 <small>天保廿九年、同、癸丑</small>	續紀	五〇六	四七五
イノリ	若其所祈有應 <small>天保廿九年、同、癸丑</small>	續紀	五〇六	四七五
イノリ	醫藥祈禱備盡心力 <small>續紀上、七、丙子</small>	續紀	六七五	六二七
イノリ	有患禱祀者 <small>續紀上、十二、甲辰</small>	續紀	六九九	六五〇
イノリ	祈桃生白河等郡神一十一社 <small>續紀上、十一、丁巳</small>	續紀	七〇〇	六五〇
イノリ	聖體不豫宗社盡禱 <small>天保天、十二、甲辰</small>	續紀	七〇〇	六六九
イノリ	祈禱鹿嶋神討撥凶賊 <small>天保天、五、壬寅</small>	續紀	七七八	六七七
イノリ	成以爲聖德至誠祈請所感 <small>續紀上、四、己巳</small>	續紀	七九八	七三九
イノリ	清廢祈曰今大神所教是國家之大事也 <small>續紀上、二、乙未</small>	後紀	三三	一九
イノリ	是以神靈震怒不聽其祈 <small>續紀上、八、乙未</small>	後紀	三三	一九
イノリ	廣瀨龍田祭所以鎮弭風災禱祈年穀也 <small>續紀上、六、乙未</small>	後紀	二九	二四
イノリ	卽自禱祈火災立滅 <small>大同元、三、丁亥</small>	後紀	七三	六四
イノリ	攝津國住吉郡住吉大神奉授從一位以遣唐使祈也 <small>大同元、四、丁巳</small>	後紀	七六	六七
イノリ	奉幣祈禱是忌部職也 <small>大同元、八、庚午</small>	後紀	八八	七七
イノリ	相與致祈禱者然則至祈禱事中臣忌部並可相預 <small>大同元、八、庚午</small>	後紀	八八	七七
イノリ	奉幣帛於八幡大神宮擇日廟賽靜亂之禱 <small>天武六、十二、辛午</small>	後紀	二四	二〇
イノリ	宜走幣畿内祈於名神 <small>天武七、三、六、壬子</small>	後紀	一五三	一三六

イノリ

但神明之道轉禍爲福庶幾祐助除
此灾禍皇紀三三七丁巳
其病從鬼神來須以祈禱治之皇紀三三七丁巳
頒幣畿内名神以賽于禱皇紀三三七丁巳
八溝黃金神封戸二烟以應國司之
禱令採得砂金皇紀三三七丁巳
臣等固雖萬禱靈祇再延瞬息皇紀三三七丁巳
始預官社以能應吏民之禱皇紀三三七丁巳
天皇元有所禱今以奉賽也皇紀三三七丁巳
遣唐請益僧最澄躬到此山祈云願
緣神力不得渡海皇紀三三七丁巳
郡司百姓就之祈禱皇紀三三七丁巳
分幣内外諸國名神以祈秋稼皇紀三三七丁巳
宜奉幣帛於伊勢大神宮以祈成熟皇紀三三七丁巳
奉幣伊勢大神宮以禱豐年皇紀三三七丁巳
内外諸國奉幣神祇以祈西成皇紀三三七丁巳
奉幣帛於攝津國住吉神越前國氣
比神並祈船舶歸着皇紀三三七丁巳
同令此使祈申於太神宮皇紀三三七丁巳

後紀	一五四	一三七
續後	二二〇	二〇八
續後	二二二	二〇八
續後	二四〇	二一四
續後	二五三	二二五
續後	二六〇	二二二
續後	二六七	二三八
續後	二六九	二四〇
續後	二七〇	二四〇
續後	二七七	二四五
續後	二九四	二六〇
續後	二九五	二六〇
續後	三〇〇	二六六

イノリ

柏原山陵爲祟於山陵祈禱皇紀三三七丁巳
奉幣帛於伊勢大神宮以祈秋實也皇紀三三七丁巳
足以爲國異因茲令祈禱之皇紀三三七丁巳
每社奉幣式祈靈祐皇紀三三七丁巳
遣使於賀茂御祖社祈申亦同皇紀三三七丁巳
勅令五畿七道諸國奠幣名神務祈
嘉穀皇紀三三七丁巳
天皇御八省院奉幣帛於伊勢大神
宮以祈豐年皇紀三三七丁巳
國司到境下令防祭疫神精進齋戒
共禱豐稔皇紀三三七丁巳
遣使奉幣伊勢大神宮祈攘之皇紀三三七丁巳
精誠之禱靡所不臻皇紀三三七丁巳
伊勢八幡等大神爲祟命神祇伯大
中臣朝臣淵魚祈禱皇紀三三七丁巳
不豫祈禱何防非常皇紀三三七丁巳
奉幣於天下名神令祈百穀皇紀三三七丁巳
奉幣於伊勢大神宮爲祈秋稼皇紀三三七丁巳
奉幣伊勢大神宮祈防風雨災皇紀三三七丁巳

續後	三二三	二七七
續後	三二八	二八二
續後	三二五	二八八
續後	三三一	二九三
續後	三三五	二九七
續後	三三六	二九八
續後	三三七	二九八
續後	三四八	三〇九
續後	三五二	三一三
續後	三五四	三一四
續後	三五七	三一七
續後	三六四	三二二
續後	三八三	三三〇
續後	三八六	三三二
續後	三九八	三三三

イノリ

綴喜郡樺井社及道路鬼更爲祟即
遣使祈謝之皇紀三三七丁巳
遣使奉幣於松尾大神祈之皇紀三三七丁巳
有祟由是奉幣及鼓於松尾大神以
祈謝皇紀三三七丁巳
並告依瑞改元兼令祈防水皇紀三三七丁巳
國司祈請登時風輟火滅皇紀三三七丁巳
大御世乎萬代祈利佛爾毛神爾毛申
上流皇紀三三七丁巳
佛爾毛神爾毛申舉陳天禱里志誠波
緣水旱之時祈致感皇紀三三七丁巳
緣屢有靈驗所祈必應也皇紀三三七丁巳
民有疫癘禱而癒皇紀三三七丁巳
請加崇典爲民祈利皇紀三三七丁巳
禱申賜留御馬并神財皇紀三三七丁巳
先先爾禱申賜比之御冠止爲天奈毛
先先爾神財奉進奉止祈申賜比支

續後	四〇八	三六一
續後	四三五	三八五
續後	四三五	三八六
續後	四四四	四〇二
續後	四五五	四〇三
續後	四六六	四一四
續後	四六七	四一五
續後	四六七	四一五
續後	四七三	四三〇
續後	五二二	四四七
文德	五二〇	四六三
文德	五二〇	四六四
文德	五二三	四六七

イノリ

御冠授奉奉止禱申賜伊太都曾
御冠奉授无止禱申賜圓障神
廣瀨龍田神社奉幣馬爲祈年皇紀三三七丁巳
向伊勢大神宮請除灾疫皇紀三三七丁巳
向七道諸國名神社轉讀般若祈民
福也皇紀三三七丁巳
遣使奉幣爲風雨祈焉皇紀三三七丁巳
班幣於天神地祇祈無風雨之灾誠
有感徹皇紀三三七丁巳
太神宮奉幣爲國祈也皇紀三三七丁巳
人多疫死仍禱名社神明皇紀三三七丁巳
今茲春初咳成疫百姓多斃朝廷爲
祈至是乃修此會皇紀三三七丁巳
於大極殿奉禱伊勢太神故禱以
防不祥也皇紀三三七丁巳
頒下五畿七道諸國班幣境內大小
諸神爲穀祈也皇紀三三七丁巳
依佛依神競祈其命皇紀三三七丁巳
中臣朝臣逸志之天禱申給之久禱
申給布事乎天神地祇平久聞食天

文德	五三三	四六七
文德	五三四	四六七
文德	五五一	四八九
文德	五六一	四九九
文德	五五五	五二二
三代	五〇	四四
三代	五一	四五
三代	一〇七	九五
三代	一四一	一二六
三代	一四七	一三二
三代	一四九	一三三
三代	一七九	一五九
三代	二一五	一九一
三代	二四八	二一九

イノリ

平久安久護惠助給止禱申給被 ^{貞觀八、七、丙辰}	三代	二四九	二二〇
賽前日禱兼祈嘉濟也 ^{貞觀八、七、丙辰}	三代	二四九	二二〇
大幣帛奉出給奉止祈申岐而爾祈申 ^{貞觀八、七、丙辰}	三代	二四九	二二〇
志毛驗久 ^{貞觀八、七、丙辰}	三代	二四九	二二〇
班幣於邑境諸神以祈鎮護之殊効 ^{貞觀八、七、丙辰}	三代	二六五	二三五
奉幣先月祈五穀今以賽焉 ^{貞觀九、十、丁未}	三代	二九〇	二五七
去春神祇官陰陽寮言可慎疫癘風 ^{貞觀九、十、丁未}	三代	二九四	二六一
雨之灾祈禱神明豫防灾害 ^{貞觀九、十、丁未}	三代	二九四	二六一
奉幣先月祈五穀今以賽焉 ^{貞觀九、十、丁未}	三代	二九四	二六一
令能登國司延甘僧於氣多神讀金 ^{貞觀九、十、丁未}	三代	三〇五	二七一
剛般若經千卷祈帝病平復也 ^{貞觀九、十、丁未}	三代	三〇五	二七一
先日爾禱申賜布事毛有介利 ^{貞觀十、十一、丁未}	三代	三二〇	二七六
去八月三日祈申久一天下饒足之 ^{貞觀十、十一、丁未}	三代	三二〇	二七六
米賜倍止祈申賜比較而祈申毛驗久 ^{貞觀十、十一、丁未}	三代	三二〇	二七六
先先爾禱申賜布事有天 ^{貞觀十一、十二、丁未}	三代	三一九	二八二
彼國名神因所禱未賽 ^{貞觀十三、十四、丁未}	三代	三七七	三三四
禱冥助於佛神 ^{貞觀十三、十四、丁未}	三代	三九三	三四八
賽錢五十萬以充祈禱之費 ^{貞觀十四、十五、丁未}	三代	三九七	三五二
瑠幣相尋祈禱未効 ^{貞觀十四、十五、丁未}	三代	三九七	三五二
遣使者於伊勢太神宮奉幣為天下 ^{貞觀十五、十六、丁未}	三代	四一八	三六九
及年穀祈焉 ^{貞觀十五、十六、丁未}	三代	四一八	三六九
祈佛神之冥助 ^{貞觀十五、十六、丁未}	三代	四一八	三六九
去年祈申之賜倍利 ^{貞觀十五、十六、丁未}	三代	四三三	三九三
遣使於賀茂御祖別雷兩社奉幣祈 ^{貞觀十六、十七、丁未}	三代	四四九	三九五
禱 ^{貞觀十六、十七、丁未}	三代	四四九	三九五
於伊勢太神宮奉幣禱去灾蝗 ^{貞觀十六、十七、丁未}	三代	四四九	三九五
皇大神爾禱申賜 ^{貞觀十六、十七、丁未}	三代	四四九	三九五
遣藤原朝臣秀道於春日神社奉幣 ^{貞觀十六、十七、丁未}	三代	四七一	四一四
兼禱欲奉齋女以祈甘雨 ^{貞觀十六、十七、丁未}	三代	四七一	四一四
仍且其由乎為令禱申止之天奈毛 ^{貞觀十六、十七、丁未}	三代	四七一	四一四
大原野神社其禱同春日社 ^{貞觀十七、十八、丁未}	三代	四七一	四一四
遣使向深草山陵謝過祈恩 ^{貞觀十七、十八、丁未}	三代	四七二	四一五
供天祭地投體於地懇勸祈請 ^{貞觀十七、十八、丁未}	三代	四七三	四一五
奉幣伊勢一社祈秋稔也 ^{貞觀十七、十八、丁未}	三代	四七四	四一七
去貞觀二年奉為國家祈請大菩薩 ^{貞觀十七、十八、丁未}	三代	四九四	四三四
禱申給布事乎天神地祇平久 ^{貞觀十八、十九、丁未}	三代	四九七	四三七

イノリ

遣大中臣朝臣有本於大極殿壇上 ^{元慶二、三、丁未}	三代	五五〇	四八一
祈請百神緣初造大極殿也 ^{元慶二、三、丁未}	三代	五五〇	四八一
去八月十日爾祈申久一祈申之岐祈 ^{元慶二、三、丁未}	三代	五五一	四八二
申之毛驗久一因茲今所祈申乃 ^{元慶二、三、丁未}	三代	五六一	四九五
每發軍便國司祈禱 ^{元慶二、三、丁未}	三代	五六一	四九五
求之著龜神氣飯賊我祈無感 ^{元慶二、三、丁未}	三代	五六一	四九五
國宰齋戒祈請懇勸 ^{元慶二、三、丁未}	三代	五六一	四九五
天皇聖體違豫右大臣齋戒肅祇禱 ^{元慶二、三、丁未}	三代	五七五	五〇三
翌日之瘥 ^{元慶二、三、丁未}	三代	五七五	五〇三
大和國春日神社奉幣賽先禱 ^{元慶二、三、丁未}	三代	五七五	五〇三
遣弘道王向伊勢太神宮祈請冥助 ^{元慶二、三、丁未}	三代	五七五	五〇三
走幣群神祈請百端 ^{元慶三、四、丁未}	三代	五六六	五〇三
令祈申之久一令祈申賜岐祈申之母 ^{元慶三、四、丁未}	三代	六二二	五三四
之留久一基棟王乎差使天禱乃大幣 ^{元慶三、四、丁未}	三代	六二二	五三四
帛乎令捧持 ^{元慶三、四、丁未}	三代	六二二	五三四
故豫祈神明至是賽焉 ^{元慶七、八、丁未}	三代	七〇一	六〇六
奉幣部內衆神以祈冥助焉 ^{元慶七、八、丁未}	三代	七〇一	六〇六
周防國正五位上石城神並授從四 ^{元慶七、八、丁未}	三代	七〇一	六〇六
位下 ^{元慶七、八、丁未}	三代	七〇一	六〇六
磐隈皇女初侍祀於伊勢大神 ^{貞觀二、三、丁未}	書紀	三七〇	三一
石鞍等十一神並授從五位下 ^{貞觀二、三、丁未}	文德	五三七	四七九
參河國石鞍神並從五位上 ^{貞觀二、三、丁未}	三代	七二一	六一五
起樹天津神離及天津磐境 ^{貞觀二、三、丁未}	書紀	六一	五四
復劍鋒垂血激越為神號曰磐裂神 ^{貞觀二、三、丁未}	書紀	一四	一三
因化成神號曰磐裂神 ^{貞觀二、三、丁未}	書紀	一八	一六
磐裂以驚雲根裂神之子 ^{貞觀二、三、丁未}	書紀	五〇	四四
石清水八幡宮掛畏支八幡大菩薩 ^{貞觀二、三、丁未}	三代	九九	八七
掛畏岐大菩薩乃於賜奉余依天之 ^{貞觀二、三、丁未}	三代	九九	八七
遣和氣朝臣舜範向石清水八幡大 ^{貞觀二、三、丁未}	三代	二〇一	一七九
菩薩宮奉幡矛並御鞍 ^{貞觀二、三、丁未}	三代	二〇一	一七九
掛畏岐石清水余坐八幡大菩薩乃 ^{貞觀二、三、丁未}	三代	二〇一	一七九
廣前爾申給止申久 ^{貞觀七、八、丁未}	三代	二〇三	一八〇
告文同石清水 ^{貞觀七、八、丁未}	三代	二〇三	一八〇
遣使者於石清水神社奉幣 ^{貞觀十一、十二、丁未}	三代	三三六	二九八
掛畏岐石清水乃皇太神乃廣前爾恐 ^{貞觀十一、十二、丁未}	三代	三三六	二九八
美恐美毛申給止申久一皇大神波我 ^{貞觀十一、十二、丁未}	三代	三三六	二九八
朝乃大祖止御座 ^{貞觀十一、十二、丁未}	三代	三三六	二九八

イハシ	奉鑄錢司及葛野鑄錢所新鑄錢— 石清水社使大中臣朝臣坂田麻呂 <small>貞觀十二、十三、十七、廿二</small>	三代	三六五	三三三
	和氣朝臣勢範爲石清水社使 <small>貞觀十四、十五、十八、廿二</small>	三代	三九八	三五三
	石清水社告文曰—大菩薩此狀乎 <small>開食天 貞觀十四、十五、廿二</small>	三代	三九八	三五三
	勅令山城國每年米三十斛充石清水八幡宮護國寺永以爲例 <small>貞觀十八、十九、廿二</small>	三代	四八八	四三九
	石清水八幡護國寺申牒 <small>貞觀十八、十九、廿二</small>	三代	四九四	四三四
	奉幣石清水八幡大菩薩宮 <small>貞觀十八、十九、廿二</small>	三代	五三三	四九九
	奉幣石清水八幡大菩薩宮祈甘雨 <small>元慶六、六、癸未</small>	三代	五三〇	四六四
	奉幣馬於石清水賽舊禱也 <small>三、廿二</small>	三代	五五一	四八二
	分遣使者於石清水奉幣 <small>七、廿九、九、癸卯</small>	三代	七七四	六六九
	山城國石清水八幡大菩薩宮自鳴如擊鼓聲 <small>七、廿二、五、甲辰</small>	三代	七九五	六八七
	神祇官卜云大菩薩心有所願 <small>貞觀二十、廿二</small>	三代	七九五	六八七
	下知陸奥出羽兩國太宰府令慎警固緣石清水大菩薩宮樓鳴之惟也 <small>七、廿二、六、乙卯</small>	三代	七九六	六八八
イハツ	奉幣山城國八幡 <small>貞觀十三、十四、廿二</small>	三代	八三三	七二一
	奉石清水八幡大菩薩宮幣使從三位行刑部卿基棟王到東京四條墮馬傷支體不達神宮 <small>七、廿二、四、庚辰</small>	三代	八三三	七二一
	石園多豆玉神 <small>（大和）</small> 並從五位 <small>上 貞觀十八、廿二</small>	三代	三三	三〇
イハタ	越中國正六位上石武雄神從五位 <small>下 貞觀三、七、廿二</small>	三代	六〇一	五二五
	在相模國從五位下石橋尾神預官 <small>社 天、五、丙辰</small>	文德	六二二	五五四
イハツ	次根裂神次磐筒男神一曰磐筒男命及磐筒女命 <small>神代上</small>	書紀	一四	一三
	兒磐筒男神次磐筒女神 <small>神代上</small>	書紀	一八	一六
	磐筒男磐筒女所生之子經津主神 <small>神代下</small>	書紀	五〇	四四
イハツ	磐筒女神 磐筒男神 <small>見上</small>	書紀	一四	一三
	入水吹生磐土命 <small>神代上</small>	書紀	二二	一九
	以上左國石土神並預官 <small>社 貞觀八、廿二</small>	續後	三三七	二九九
	近江國正六位上石鏡神等並授從五位下 <small>貞觀七、九、庚子</small>	三代	二二四	一八九

イハテ

イハト

イハナ

イハテ	陸奥國鎮守府正六位上石手堰神並預官 <small>貞觀四、六、壬子</small>	三代	一一三	一〇八
	乃入于天石窟閉盤戸而幽居焉 <small>神代</small>	書紀	三〇	二七
	亦以手力雄神立磐戸之側 <small>神代上</small>	書紀	三〇	二七
	乃以御手細開磐戸窺之 <small>神代上</small>	書紀	三二	二八
	乃入于天石窟而閉着磐戸焉 <small>神代上</small>	書紀	三三	二八
	故以悲恨迺居于天石窟閉其磐戸 <small>神代上</small>	書紀	三三	二九
	於是日神方開磐戸而出焉 <small>神代上</small>	書紀	三三	三〇
	乃細開磐戸而窺之 <small>神代上</small>	書紀	三五	三一
	是時天手力雄神侍磐戸側 <small>神代上</small>	書紀	三五	三一
	土佐國正六位上石留神並從五位下 <small>元慶八、七、癸卯</small>	三代	七四七	六四六
	陸奥國勳九等伊波止和氣天神從五位下 <small>天曆十七、九、庚寅</small>	續後	三三七	三三三
イハナ	因白吾姊磐長姬在 <small>神代下</small>	書紀	六三	五五
	磐長姬大慙而詛之曰 <small>神代下</small>	書紀	六三	五五
	磐長姬耻恨而唾泣 <small>神代下</small>	書紀	六三	五五
	大山祇神之女等大號磐長姬 <small>神代下</small>	書紀	六八	六〇
	奉幣帛於石成等神社 <small>神代三、七、乙未</small>	續紀	一五四	一五七
イハナ	發遣零使等大和國石成 <small>貞觀六、四、壬申</small>	續後	二九一	二五六
イハハ	加陸奥國石椅神從四位下 <small>貞觀三、廿二</small>	文德	五八六	五三二
イハヒ	隨大神教其祠立於伊勢國 <small>神代二十、廿二</small>	書紀	一四八	一二五
	偷兒開神祇官西院齋戸神殿 <small>貞觀三、廿二</small>	三代	七一	六二
	偷兒盜取齋戸衣 <small>貞觀三、八、甲辰</small>	三代	七一	六二
	用汝爲齋主授以嚴媛之號 <small>貞觀三、廿二</small>	書紀	九九	八五
	齋主神號齋之大人 <small>神代下</small>	書紀	五九	五三
	齋主此云伊幡毗 <small>神代下</small>	書紀	六三	五六
	齋主神號齋之大人 <small>神代下</small>	書紀	五九	五三
	下總國香取郡從三位伊波比主命正二位 <small>貞觀三、五、丁未</small>	續後	二四五	二一八
	伊波比主命從一位 <small>貞觀六、七、丁丑</small>	續後	三〇〇	二六五
	建御賀豆智命伊波比主命 <small>（春日）</small>	文德	五三〇	四六四
	二柱乃大神乎波正一位 <small>貞觀三、廿二</small>	書紀	六一	五四
	同床共殿以爲齋鏡 <small>神代下</small>	書紀	六一	五四
	武藏國伊波比神從五位下 <small>貞觀三、廿二</small>	續後	四六一	四〇九
	齋宮 <small>サイグウ</small> 參照	書紀	一四八	一三五
	興齋宮于五十鈴川上是謂磯宮 <small>神代三、五、三</small>	書紀	一四八	一三五
	解罪改過更齋宮於小山田邑—皇	書紀	一九三	一六〇

イハヒ	后選吉日入齋宮親爲神主 以忌齋鎮坐於和珥武錄坂上 祭(齋) マツルを見よ	書紀 一三二 一一一	イハミ	府中神國分寺露禰神並正五位下 相尾國社常世國社神並從五位 出羽國正六位上石通男神並授從 五位下	三代 六三 五三五
イハフ	常陸國正六位上石船神並授從五 位下	三代 三六 三四	イハム	石寸山口神(大和)並正五位下 石村山口神等遣使奉幣爲風雨祈 焉	三代 三三 二〇
イハミ	在石見國五个郡中神惣十五社始 預官社以能應吏民之禱久救旱疫 之災	續後 二六〇 三三三	イハヤ	吾比閉居石窟 是時以鏡入其石窟者觸戶小瓊 以磐余田獻我祖高皇產靈 次磐余彦尊亦號神日本磐余彦火 火出見尊	書紀 三一 二七 書紀 三三 三〇 書紀 三六 二七三 書紀 八六 七五
	物部神正五位下 伊甘神大飯神國分寺露禰神並授 從五位上	三代 三二一 二八五 三代 三三三 二九四	イハキ	武藏國從五位下磐井神列於官社 山城國正六位上石坐神 飯入根則被皇命以神寶付弟甘美 韓日狹與子鷓瀍淳而貢上	書紀 八七 七六 三代 五一 四五 三代 六七 五四七 書紀 一三六 一一五
	大歲神大原神並從五位上 露禰神國府中神並從五位下 石見國上言石神二自出雲國來是 日並授從五位下	三代 三七三 三三〇 三代 三七三 三三〇 三代 四五三 三九八	イヒイ		
	物部神正五位上伊甘神正五位下 府中神從五位上 石塔鬼王帝釋天王國社神從五位 下	三代 四七五 四一八 三代 五七三 五〇〇			
	物部神從四位下伊甘神正五位上	三代 五九六 五三〇			

イヒイ	責其弟飯入根曰 陸奥國勳九等飯大島神並授從五 位下	書紀 一三六 一一五 三代 一五九 一三九	イブキ	大和國從五位下氣吹雷神並列於 官社 狗嚙置死人手臂於言屋社 出雲國從五位下揖屋神並授從五 位上	三代 四四 三九 書紀 五五四 四六五 三代 二八三 二五一
イヒオ	取他婦人爲乳母湯母及飯嚼湯坐 位下	書紀 八三 七一	イブヤ	揖屋神並正五位下 播磨國揖保郡家嶋神爲官社 五百枝賢木 五百枝賢木	三代 三九三 三四七 續後 三六 二八〇 書紀 一八八 一五七 書紀 一八九 一五八
イヒチ	近江國正六位上飯河内神並從五 位下	三代 三五九 三三八	イヘシ	爲天安河邊所在五百箇磐石也 斬刺遇突智時其血激越染於天八 十河中所在五百箇磐石 化成五百箇竹林	三代 三六 二八〇 書紀 一八 一六 書紀 七三 六四 書紀 三三 二九
イヒホ	播磨國從五位下勳八等粒坐天照 神並從四位下	三代 二五 三三	イホエ	野槌者採五百箇野薦八十五箇 掘天香山之五百箇眞坂樹 使山雷者採五百箇眞坂樹八十五 箇	書紀 一三 一一 書紀 一八 一六 書紀 七三 六四 書紀 三三 二九
イヒラ	阿波國正六位上伊比良咩神並從 五位下	三代 四五 三六七	イホツ	拔取丹生川上之五百箇眞坂樹以 祭諸神 掘天香山之五百箇眞坂樹	書紀 一三 一一 書紀 一八 一六 後紀 八八 七七
イブキ	近江國伊富岐神從五位下 伊富岐神並從五位上 向伊福伎神社奉弓箭鏡 正四位下伊富岐神從三位 美濃國伊富岐神列於官社 從五位下伊富岐神從四位下 伊富岐神從四位上	文德 五三三 四六六 三代 二四 二二 三代 二八一 二四九 三代 五四二 四七四 文德 五五三 四九一 三代 二〇三 一八〇 三代 五一四 四五一			

イムベ	諸國班幣境内天神地祇三千百三十四(一)神 <small>元慶元、九、癸亥</small>	三代	六六〇	五七四
	忌部蔭子正七位上齋部宿禰秀長 <small>元慶元、十二、乙酉</small>	三代	五五	四八
	加弱肩爾 <small>元慶元、十二、乙酉</small>			
	二國(悠紀主基)齋部少領己上加賜馬各一疋 <small>貞觀六、十一、辛未</small>	三代	五〇	四二七
	遺忌部首子麻呂於美濃國課供神之幣 <small>元化元、七、庚辰</small>	書紀	六六〇	五五四
	忌部宿禰色夫知奉上神璽劍鏡於皇后 <small>神護景雲、元、庚寅</small>	書紀	六六〇	五五四
	遺從五位上忌部宿禰子首供幣帛 <small>皇極經世一、元、庚寅</small>	續紀	三三	三三
	鳳凰鏡菓子錦于伊勢大神宮 <small>皇極經世一、元、庚寅</small>	續紀	二九四	二八三
	少副從五位下忌部宿禰鳥麻呂等奉幣帛於伊勢大神宮 <small>天保元年、四、庚辰</small>	續紀	三七五	三五六
	遣大初位上忌部宿禰人成等奉幣帛於同太神宮 <small>天保元年、二、八、庚辰</small>	續紀	三九三	三七三
	神祇少副從五位下忌部宿禰些麻呂奉幣帛於神宮 <small>天保元年、三、七、庚辰</small>	續紀	四三八	四〇四
	神祇小副忌部宿禰些麻呂等四人奉幣於伊勢太神宮 <small>天保元年、六、十一、丁未</small>	續紀	四三八	四〇四
イムベ	忌部宿禰些麻呂爲齋宮頭 <small>天保元年、七、庚辰</small>	續紀	四三五	四二二
	忌部宿禰人上爲神祇大祐 <small>天保元年、三、四、庚辰</small>	續紀	七六一	六九七
	忌部宿禰人上爲神祇少副 <small>天保元年、五、庚辰</small>	續紀	八三八	七七六
	忌部宿禰人上於伊勢太神宮 <small>天保元年、五、庚辰</small>	文德	五六三	五〇〇
	停賀茂祭遣神祇大祐忌部宿禰高善等向社下申謝事由 <small>元慶元、四、乙酉</small>	三代	二四七	二一九
	神祇權大祐齋部宿禰高善 <small>元慶元、八、七、庚辰</small>	三代	三三一	二九四
	忌部宿禰高善改忌部爲齋部 <small>元慶元、十一、庚辰</small>	三代	三六〇	三一八
	神祇權大祐正六位上齋部宿禰高善 <small>元慶元、十一、庚辰</small>	三代	三六〇	三一八
	善乎差使天大幣乎令奉捧持出須 <small>貞觀十二、六、辛卯</small>			
	松尾社使齋部宿禰高善 <small>貞觀十二、十一、庚辰</small>	三代	三六五	三三三
	齋部宿禰高善加弱肩爾 <small>貞觀十三、九、甲申</small>	三代	三八三	三三九
	遣散位從五位下齋部宿禰伴主等向伊勢大神宮奉幣禳災疫也 <small>元慶元、三、庚辰</small>	文德	五六七	五〇五
	從五位下齋部宿禰木上等向伊勢太神宮奉幣 <small>貞觀五、十二、甲子</small>	三代	一五七	一四〇
	齋部宿禰社雄乎卜定天奉出給布 <small>貞觀八、七、庚申</small>	三代	二四八	二二〇
	神祇少祐從六位下齋部宿禰伯江	三代	三五五	二八八

イムベ

イヨ

イムベ	加弱肩爾 <small>貞觀十一、六、癸卯</small>	三代	三五五	二九七
	齋部宿禰伯江加弱肩爾 <small>貞觀十二、十二、庚辰</small>	三代	五三九	四七三
	神祇大祐齋部宿禰伯江從五位下 <small>元慶元、十一、庚辰</small>	三代	七五八	六五六
	齋部宿禰伯江爲神祇少副 <small>元慶元、三、庚辰</small>	三代	五一	四五〇
	齋部宿禰良岑加弱肩爾 <small>天長元年、二、乙丑</small>	三代	六六〇	五七四
	齋部宿禰季長加弱肩爾 <small>元慶元、十二、乙酉</small>	三代	八〇三	六九五
	齋部宿禰岑吉乎差使 <small>天長元年、八、癸未</small>	三代	四三三	三八一
	長門國從五位下忌宮神從五位上 <small>貞觀十五、十二、甲午</small>	三代	三一	二七七
	播磨國正六位上射目埵神從五位下 <small>貞觀十七、四十二、庚辰</small>	三代	二〇三	一八一
	越後國蒲原郡伊夜比古神預之名神 <small>天長七、七、庚子</small>	續後	三六七	三三五
	无位伊夜比古神並從五位下 <small>天長七、七、庚子</small>	續後	一〇四	九二
	從五位上彌彥神並從四位下 <small>貞觀十八、四、庚辰</small>	三代	七	五
	次生伊豫二名洲 <small>神代上</small>	書紀	八	六
	次伊豫二名洲 <small>神代上</small>	書紀	八	六
	次伊豫洲 <small>神代上</small>	書紀	八	六
イヨ	次伊豫二名洲 <small>神代上</small>	書紀	八	八
	次伊豫二名洲 <small>神代上</small>	書紀	九	八
	伊曾乃神大山積神並授從四位下 <small>元慶元、三、庚辰</small>	續紀	四八九	四五九
	充神戶各五烟伊豫神野間神並授從五位下 <small>神戶各二烟<small>天保元年、四、甲辰</small></small>	續後	二六七	二三七
	大山積神野間神並預名神 <small>貞觀四、八、甲辰</small>	文德	五六六	五〇四
	村山神預於名神 <small>貞觀三、六、甲辰</small>	文德	五七三	五一
	櫛玉姫神從五位下 <small>神代上、三、壬辰</small>	三代	九	八
	布都神授從五位上 <small>天長元、七、乙酉</small>	三代	七	六
	大山積神階加從三位伊與神授從五位下 <small>貞觀三、四、壬辰</small>	三代	七六	六七
	瀧神從四位下 <small>貞觀三、四、壬辰</small>	三代	一〇〇	八九
	野間神從四位下 <small>貞觀三、五、甲申</small>	三代	一六	一一
	伊豫「村」神從四位下 <small>貞觀四、九、甲申</small>	三代	一五四	一三七
	高繩神從五位下 <small>貞觀五、九、甲寅</small>	三代	三三五	三〇八
	大山積神階加正三位 <small>貞觀八、四、壬子</small>	三代	三三五	三〇八
	磯野神野間天皇神伊豫村神並授正四位下 <small>貞觀八、四、壬子</small>	三代	二七六	二四四
	瀧神正四位下村上神正五位下 <small>貞觀八、四、壬子</small>	三代	二七六	二四四

イヨノ	嶋神從五位下 <small>貞觀九、二、乙亥</small>	三代	三六三	三三一
	大山積神從二位磯野神野間神瀧神伊豫村神並正四位上村山神正五位上 <small>貞觀十二、八、庚申</small>	三代	四六八	四二一
	大山積神正二位磯野神並從三位 <small>貞觀七、三、壬子</small>	三代	四六八	四二一
	風伯神從五位下 <small>貞觀十七、三、壬子</small>	三代	四六八	四二一
	楠本神從五位上 <small>貞觀十、十、丁巳</small>	三代	四六八	四二一
	慕邊神雄郡神並從五位下 <small>聖德二十、七</small>	三代	五六五	四九四
	野間神天皇神並從三位 <small>聖德九、十二、</small>	三代	六六二	五七五
	井河神從五位下 <small>元慶八、十二、甲戌</small>	三代	七四八	六四七
	德威神門嶋神宇和津彥神並從五位下 <small>仁壽六、二、丙申</small>	三代	七五八	六五四
	勅以伊豫國正稅穀千斛讚岐國千斛充齋宮寮 <small>仁壽三、十、壬申</small>	三代	八〇八	七〇〇
	久米郡伊豫神並授從五位下神戶各二烟 <small>天智十、四、甲辰</small>	續紀	四八九	四九九
	正六位上伊與(方)神授從五位下 <small>貞觀二、庚午、壬戌</small>	三代	七六	六七
	從五位上伊豫「村」神從四位下	三代	一三六	一一三
イヨノ	伊豫村神並授正四位下 <small>貞觀八、三、</small>	三代	三三五	二〇八
	伊豫村神並正四位上 <small>貞觀十二、八、庚申</small>	三代	三六三	三三一
	播磨國司山部連先祖伊與來目部小楯於赤石郡親辨新嘗供物 <small>聖德</small>	書紀	三一六	二六五
	伊和志豆神(攝津)並從五位上 <small>貞觀六、正、甲申</small>	三代	三三	二二
	伊和坐大名持御魂神並從四位下 <small>貞觀六、正、甲申</small>	三代	三五	二二
	播磨國從四位下勳八等伊和坐大名持御魂神正四位下 <small>元慶五、六、乙巳</small>	三代	六四九	五六六
ウ	書	名	六國	舊大
ウカツ	以神寶(出雲)付弟甘美韓日狹與子鷗瀟瀟而貢上 <small>聖德六、七、七</small>	書紀	一三六	一一五
	甘美韓日狹鷗瀟瀟參向朝廷 <small>聖德六、七、七</small>	書紀	一三六	一一五
	又飢時生兒號倉稻魂命 <small>聖德上</small>	書紀	一三三	一一三
	倉稻魂此云宇介能美拖磨 <small>聖德上</small>	書紀	一七一	一六
ウガノ	日神與素戔嗚尊隔天安河而相對乃立誓約曰 <small>聖德上</small>	書紀	二八	二五
	於是素戔嗚尊誓之曰 <small>聖德上</small>	書紀	三六	三三
	且姉之所生亦同此誓 <small>聖德上</small>	書紀	三七	三三
	故鹿葦津姬忿恨乃作無戶室入居其內而誓之曰 <small>聖德下</small>	書紀	五三	四七
	乃作無戶室而誓之曰 <small>聖德下</small>	書紀	六三	五五
	作無戶室入居其內誓之曰 <small>聖德下</small>	書紀	六五	五七
	是夜自祈而寢 <small>聖德六年</small>	書紀	九七	八三
	時椎根津彥乃祈之曰 <small>聖德六年</small>	書紀	九九	八四
	天皇又因祈之曰 <small>聖德六年</small>	書紀	九九	八四
	又祈之曰吾今當以嚴禿沉于丹生之川 <small>聖德六年</small>	書紀	九九	八五
	天皇於茲執矛祈之曰必遇其佳人 <small>聖德三十四、三</small>	書紀	一五三	一三八
	天皇祈之曰朕得滅土蜘蛛者將斷玆石如柏葉而舉焉 <small>聖德十二、十</small>	書紀	一六三	一三七
	投鈎祈之曰 <small>聖德十四、四月</small>	書紀	一九五	一六一
	祈之曰事竟還日產於玆土 <small>聖德十四、九月</small>	書紀	一九七	一六三
	時廢坂王忍熊王共出菟餓野而祈	書紀	二〇一	一六七

ウガノ	土佐國正六位上宇賀神從五位下 <small>定三、九、甲寅</small>	三代	五九七	五三二
ウガヤ	鷗瀟草葺不合尊 <small>彦波瀲武を見よ</small>	三代	二七六	二四四
ウキシ	伊豫國正六位上浮嶋神從五位下 <small>貞觀九、二、乙亥</small>	三代	四三	三八
ウキタ	杉及檉樟此兩樹者可以爲浮實 <small>聖德上</small>	書紀	四三	三八
	不有浮實者未是佳也 <small>聖德上</small>	書紀	五三	四六
ウキニ	立於浮在渚平處此云羽企爾磨梨 <small>聖德下</small>	書紀	六三	五四
	隨毗邏而隨々志 <small>聖德下</small>	書紀	六四	五七
	立於浮渚在之平地 <small>聖德下</small>	書紀	五九	五二
ウキハ	高橋浮橋及天鳥船亦將供造 <small>聖德下</small>	書紀	二	二
ウキフ	豐國主尊亦曰浮經野豐買尊 <small>聖德上</small>	書紀	二〇	一八
ウケビ	不直默歸而盟之曰 <small>聖德上</small>	書紀	二四	二二
	與姉共誓夫誓約之中 <small>誓約之中此云宇賀能美難</small>	書紀	二六	二三
	簡必當生子 <small>聖德上</small>	書紀	二七	二四
	於是日神共素戔嗚尊相對而立誓約曰 <small>聖德上</small>	書紀	二七	二四
	請吾與姉共立誓約誓約之間 <small>聖德上</small>	書紀	二七	二四
ウケビ	日神與素戔嗚尊隔天安河而相對乃立誓約曰 <small>聖德上</small>	書紀	二八	二五
	於是素戔嗚尊誓之曰 <small>聖德上</small>	書紀	三六	三三
	且姉之所生亦同此誓 <small>聖德上</small>	書紀	三七	三三
	故鹿葦津姬忿恨乃作無戶室入居其內而誓之曰 <small>聖德下</small>	書紀	五三	四七
	乃作無戶室而誓之曰 <small>聖德下</small>	書紀	六三	五五
	作無戶室入居其內誓之曰 <small>聖德下</small>	書紀	六五	五七
	是夜自祈而寢 <small>聖德六年</small>	書紀	九七	八三
	時椎根津彥乃祈之曰 <small>聖德六年</small>	書紀	九九	八四
	天皇又因祈之曰 <small>聖德六年</small>	書紀	九九	八四
	又祈之曰吾今當以嚴禿沉于丹生之川 <small>聖德六年</small>	書紀	九九	八五
	天皇於茲執矛祈之曰必遇其佳人 <small>聖德三十四、三</small>	書紀	一五三	一三八
	天皇祈之曰朕得滅土蜘蛛者將斷玆石如柏葉而舉焉 <small>聖德十二、十</small>	書紀	一六三	一三七
	投鈎祈之曰 <small>聖德十四、四月</small>	書紀	一九五	一六一
	祈之曰事竟還日產於玆土 <small>聖德十四、九月</small>	書紀	一九七	一六三
	時廢坂王忍熊王共出菟餓野而祈	書紀	二〇一	一六七

ウフヤ	彼海濱産室全用鷓鴣羽 <small>傳代下</small> 如爲我造産屋於海邊以相待者— 葺爲産屋 <small>傳代下</small> 因幡國法美郡无位 宇倍神 奉授從五位下即預官社 <small>景和十五年、七、甲申</small>	書紀	七六	六六
ウベノ	宇倍神正五位上 <small>貞觀四年、五、庚辰</small>	三代	一一一	一〇七
	宇倍神授從四位下 <small>貞觀四年、十二、丙辰</small>	三代	一一八	一一四
	宇倍神預之官社 <small>貞觀六年、三、丁亥</small>	三代	一七五	一五六
	宇倍神從四位上 <small>貞觀七年、四、十二、庚戌</small>	三代	三一一	二七七
	從四位下宇倍大神正四位下 <small>貞觀十三年、二、壬寅</small>	三代	三七三	三三九
ウマシ	宇倍神正四位上 <small>貞觀十五年、七、庚寅</small>	三代	四二六	三七五
	宇倍神從三位 <small>貞觀十六年、三、癸酉</small>	三代	四三九	三八六
	宇倍神正三位 <small>元慶二年、十一、甲辰</small>	三代	五七四	五〇三
	有化生之神號 可美葦牙彦舅尊 天地混成之時始有神人焉號可美葦牙彦舅尊 <small>傳代上</small>	書紀	二	二
	因此化神號天常立尊次可美葦牙彦舅尊 <small>傳代上</small>	書紀	三	三
	以神寶(出雲)付弟 甘美韓日狹與	書紀	一三六	一一五
ウマシ	子鷓鴣瀟而貢上 <small>景和六年、七、乙未</small>	書紀	一三六	一一五
ウマセ	甘美韓日狹鷓鴣瀟參向朝廷 <small>景和六年、七、乙未</small> 甘美御神底寶御寶主 <small>景和六年、七、乙未</small> 信濃國正六位上 馬背神 並授從五位下 <small>貞觀二年、三、丙戌</small>	書紀	一三七	一一六
ウマタ	馬背神從四位下 <small>貞觀七年、三、甲辰</small> 從四位上馬背神從三位 <small>貞觀九年、三、辛亥</small> 大和國正六位上 馬立伊勢部田中 神從五位下 <small>貞觀九年、五、丙寅</small>	三代	一九八	一七六
ウミキ	近江國正六位上 海北神海南神 並從五位下 <small>元慶六年、七、戊申</small>	三代	六八五	五九四
ウミノ	陽侯舉浪(ワタツミノカミ參照)神功皇后 <small>神功皇后</small> 河海諸神扶持白業 <small>貞觀三年、三、戊子</small> 從今以往吾子孫八十連屬 <small>傳代下</small> 火闌降命自有 海幸 <small>傳代下</small> 兄火酢芹命能得海幸 <small>傳代下</small> 火酢芹命能得海幸 <small>傳代下</small> 弟火折尊得海幸利 <small>傳代下</small> 兄火酢芹命能得海幸故號 海幸彦 <small>傳代下</small>	書紀	一九	一六四
		三代	九七	八六
		書紀	七	六六
		書紀	六九	六一
		書紀	七三	六四
		書紀	七九	六九
		書紀	八三	七三
		書紀	七九	六九

ウミマ	又飢時生兒號倉稻魂命 <small>傳代上</small> 近江國正六位上 海北神海南神 並從五位下 <small>元慶六年、七、戊申</small>	書紀	一三	一一
ウミミ	無位酒解神從五位上无位大若子神小若子神並從五位下此三前坐山城國葛野郡梅宮社 <small>景和三年、十一、甲申</small>	續後	二五五	二二八
ウンカ	坐梅宮從五位上酒解神從五位下大若子神從五位下小若子神三前並奉授從四位下 <small>景和七年、四、己未</small>	續後	三三三	三三八
ウメノ	從五位下酒解子神從四位下 <small>景和七年、四、己未</small> 坐梅宮從四位下酒解子神一前平野社一前預之名神 <small>景和七年、七、壬申</small>	續後	三八八	三四四
	正四位下大若子神小若子神酒解神酒解子神並正四位上 <small>貞觀六年、五、甲申</small>	三代	二二	一九
	一如平野梅宮神主 <small>貞觀七年、七、己巳</small>	三代	二四	一九〇
	梅宮社使橘朝臣茂生 <small>貞觀十三年、十二、乙丑</small>	三代	三六五	三三三
	源朝臣勤爲松尾梅宮兩社使 <small>貞觀十四年、四、甲申</small>	三代	三九八	三五二
	梅宮正四位上大若子神小若子神	三代	四七〇	四一三
ウメノ	酒解神酒解子神並授從三位 <small>貞觀十七年、七、乙未</small> 頒幣梅宮 <small>元慶元年、四、丙戌</small> 奉幣馬於梅宮賽舊禱也 <small>元慶二年、三、丁巳</small> 梅宮祠者仁明天皇母文德天皇祖母太后橘氏之祖神也歷承和仁壽二代以爲官祠今永停廢焉 <small>元慶三年、十一、甲辰</small> 分遣使者於梅宮奉幣 <small>仁壽元年、九、癸卯</small> 制大原野祭儀一准「梅宮祭」 <small>仁壽元年、九、癸卯</small> 梅宮神祭如常 <small>貞觀元年、十一、辛酉</small> 梅宮祭如常 <small>貞觀二年、四、乙酉</small> 梅宮祭如常 <small>貞觀三年、十一、己酉</small> 梅宮祭如常 <small>貞觀四年、四、己酉</small> 梅宮祭如常 <small>貞觀五年、四、己酉</small> 梅宮祭如常 <small>貞觀六年、四、己酉</small> 梅宮祭如常 <small>貞觀七年、四、己酉</small> 梅宮祭如常 <small>貞觀八年、四、己酉</small> 梅宮祭如常 <small>貞觀九年、四、己酉</small> 梅宮祭如常 <small>貞觀十年、四、己酉</small> 梅宮祭如常儀 <small>貞觀七年、十一、乙酉</small>	三代	七三四	四九九
		三代	五五二	四八二
		三代	六〇三	五二七
		三代	五三〇	四七二
		三代	五三	四六
		三代	六五	五七
		三代	七九	六九
		三代	九七	八六
		三代	一〇八	九六
		三代	一一八	一〇五
		三代	一二七	一一三
		三代	一四三	一二七
		三代	一五六	一三九
		三代	一七七	一五七
		三代	二〇一	一七八
		三代	二二七	一九三

ウメノ	梅宮祭如常 <small>貞觀八、十一、己酉</small>	三代	二二七	二一〇
	梅宮祭如常 <small>貞觀八、十一、己酉</small>	三代	二六四	二三四
	廣瀨龍田並梅宮祭如常 <small>貞觀九、四、癸酉</small>	三代	二八一	二五〇
	梅宮祭 <small>貞觀七、四、癸酉</small>	三代	三〇四	二七一
	梅宮祭如常 <small>貞觀十一、十一、己酉</small>	三代	三三一	二九四
	梅宮祭並如常 <small>貞觀十二、四、己酉</small>	三代	三五七	三一五
	停平野梅宮祭以有穢也 <small>貞觀十三、四、己酉</small>	三代	三七三	三三〇
	梅宮祭如常 <small>貞觀十三、五、己酉</small>	三代	三七六	三三三
	梅宮等祭並隨停止以太皇太后崩也 <small>貞觀十七、十一、己酉</small>	三代	三九二	三四七
	梅宮祭 <small>貞觀十四、十一、癸酉</small>	三代	四一四	三六六
	梅宮祭 <small>貞觀十五、十一、癸酉</small>	三代	四三〇	
	梅宮等諸祭皆從停廢 <small>貞觀十六、十一、辛丑</small>	三代	四四九	四〇四
	梅宮祭 <small>貞觀十七、四、辛酉</small>	三代	四六八	四二二
	梅宮祭 <small>貞觀十七、十一、己酉</small>	三代	四七六	四一八
	梅宮祭 <small>貞觀十八、十一、己酉</small>	三代	四九七	四三七
	平野梅宮祭以昨日日蝕故延而行焉 <small>元慶元、四、癸酉</small>	三代	五三二	四七七
	梅宮祭 <small>元慶元、十二、己酉</small>	三代	五三八	四七〇
	梅宮祭仍停灌佛之儀 <small>元慶二、四、癸酉</small>	三代	五五四	四八五
ウメノ	梅宮祭如常 <small>元慶二、十二、丁酉</small>	三代	五七四	五〇二
	停梅宮祭 <small>元慶三、四、辛酉</small>	三代	五八八	五一五
	停梅宮祭—爲官祠今永停廢 <small>元慶三、辛酉</small>	三代	六〇三	五二七
	始祭梅宮神是橋氏神也頃年之間停春秋祀今有勅更始而祭 <small>元慶八、四、己酉</small>	三代	七二五	六二八
	梅宮祭 <small>元慶八、十一、己酉</small>	三代	七四七	六四七
	梅宮祭如常 <small>元慶八、四、辛酉</small>	三代	七六四	六六一
	梅宮祭 <small>元慶八、十一、己酉</small>	三代	七七七	六七三
	梅宮祭如常 <small>元慶二、四、辛酉</small>	三代	七九三	六八五
	梅宮祭如常 <small>元慶三、十一、己酉</small>	三代	八〇九	七〇〇
	梅宮祭如常 <small>元慶三、四、己酉</small>	三代	八二二	七一〇
	浦神嚴忌人不敢近 <small>貞觀五、十二、己酉</small>	書紀	三八六	三三六
ウラノ	紀伊國正六位上浦上國津姬神從五位下 <small>貞觀五、十二、己酉</small>	三代	七八三	六七七
ウラガ	ト之兆云惡飼部等歸之氣 <small>貞觀五、九、己酉</small>	書紀	二五九	二一六
ウラカ	大臣即遣子弟奏其占狀 <small>貞觀十四、二、己酉</small>	書紀	四二四	三五九
ウラト	ト問 <small>ウラナフを見よ</small>	書紀	六	六
ウラナ	ト龜卜、龜策、卜食參照	書紀	六	六
	天神以太占而卜合之 <small>續後</small>	書紀	六	六
	乃卜定時日而降之 <small>續後</small>	書紀	六	六

ウラナ

ウラナ	其業成否當以汝爲占 <small>續後</small>	書紀	九六	八四
	盍命神龜以極致災之所由 <small>續後</small>	書紀	一一七	一〇八
	而會八十萬神以卜問 <small>續後</small>	書紀	一二七	一〇八
	乃卜使物部連祖伊香色雄爲神班物者 <small>續後</small>	書紀	一三八	一〇九
	卜便祭他神不吉 <small>續後</small>	書紀	一三八	一〇九
	卜祭他神吉焉 <small>續後</small>	書紀	一一九	一〇九
	朕以夢占之 <small>續後</small>	書紀	一三五	一一四
	仰中臣連祖探湯主而卜之 <small>續後</small>	書紀	一四九	一一五
	誰人以令祭大倭大神即淳名城稚姫命食卜焉 <small>續後</small>	書紀	一四九	一一五
	令祠官卜兵器爲神幣 <small>續後</small>	書紀	一四九	一一六
	卜幸于紀伊國將祭祀群神祇而不吉 <small>續後</small>	書紀	一五八	一二三
	天皇更返城原而卜於水上 <small>續後</small>	書紀	一六三	一三七
	爰卜吉日而臨發有日 <small>續後</small>	書紀	一九七	一六三
	更還務古水門而卜之 <small>續後</small>	書紀	二〇二	一六七
	不堪血晁矣因以卜之 <small>續後</small>	書紀	二五九	二二六
	猶止以更卜矣 <small>續後</small>	書紀	二七三	二二七
	天皇異之卜其所由 <small>續後</small>	書紀	二七四	二三八
ウラナ	命卜者占海部王家地與絲井王家地卜便襲吉 <small>續後</small>	書紀	四一七	三五三
	神官奏曰爲新嘗卜國郡—並食卜 <small>續後</small>	書紀	六〇九	五一二
	欲幸齋宮卜之—食卜 <small>續後</small>	書紀	六二二	五一四
	卜天皇病祟草薙劍 <small>續後</small>	書紀	六四五	五四一
	勅新田部親王率神祇官卜之 <small>續後</small>	書紀	一七九	一八〇
	美濃止越前止御占仁合天大嘗乃政事乎取以天 <small>續後</small>	書紀	四八一	四五三
	震西大寺西塔卜之 <small>續後</small>	書紀	六〇〇	五六〇
	是日異常風雨拔樹發屋卜之 <small>續後</small>	書紀	六〇三	五六三
	卜筮吉合不可妨言 <small>續後</small>	後紀	五一	四四
	所定山陵地近賀茂神疑是神社致灾火乎即決卜筮果有其祟 <small>續後</small>	後紀	七三	六四
	卜定大嘗會之事 <small>續後</small>	續後	一九六	一七五
	多氣齋宮遠離大神宮每事無便卜定度會離宮以爲齋宮—卜定多氣宮地 <small>續後</small>	續後	三〇〇	二六六
	召集諸祝刀禰等卜求其祟 <small>續後</small>	續後	三三三	二八六
	頃者涉旬天不雨佐流波如有祟 <small>續後</small>	續後	三三四	二九六

ウラナ

止卜求禮波卜申勢理 <small>崇禎八、五、辛巳</small>	續後	三五	二九七
是乎卜求禮波旱疫及兵事可有止卜 <small>崇禎八、六、辛酉</small>	續後	三四〇	三〇一
詔曰頃者御病發天惱苦比大坐依 <small>崇禎八、七、</small>	續後	三五二	三二二
此卜求禮波一卜申一卜申 <small>崇禎八、七、</small>	續後	三五七	三七七
令陰陽寮占物恠奏可有疫氣 <small>崇禎九、六、</small>	續後	三六七	三三五
頃者炎旱涉旬秋稼焦枯詢諸卜筮 <small>崇禎九、七、</small>	續後	四〇一	三三五
伊勢八幡神等大神爲祟 <small>崇禎九、七、</small>	續後	四八四	四三〇
去四月四日御卜曰 <small>崇禎九、九、</small>	續後	四八五	四三〇
因茲汗穢之祟屢出御卜 <small>崇禎十、十一、</small>	續後	五三三	四七四
頃間物恠在爾依天卜求禮波 <small>崇禎十、三、</small>	續後	五三四	四七五
頃間御占申爾 <small>崇禎十、三、</small>	文德	六三七	五六九
定悠紀主基國並卜之所食 <small>崇禎十、四、</small>	文德	六三六	五六九
卜定多留日一卜求禮波春祭爾供奉 <small>崇禎十、五、</small>	文德	六三六	五六九
世留使者中爾有穢事分利一祭使波 <small>崇禎十、六、</small>	文德	六三六	五六九
御卜合倍留人乎令供奉止奈毛 <small>崇禎十、六、</small>	文德	六三六	五六九
頃年恠異屢示其由乎卜求爾一卜 <small>崇禎十、七、</small>	文德	六三六	五六九
申世利 <small>崇禎十、七、</small>	文德	六三六	五六九
汚穢事觸行已止不止之所致止卜 <small>崇禎十、八、</small>	文德	六三六	五六九
申世利 <small>崇禎十、八、</small>	文德	六三六	五六九

ウラナ

神祇官卜 <small>大嘗國郡</small> <small>貞觀六、四、庚子</small>	三代	三三	二九
卜定恬子内親王爲伊勢齋 <small>貞觀六、十、</small>	三代	五一	四五
兩國 <small>悠紀主基</small> 乃卜相郡司 <small>貞觀六、十一、</small>	三代	五四	四八
神祇官卜云觸穢之人供神事仍成 <small>貞觀六、十一、</small>	三代	二七	一三
崇 <small>貞觀六、十一、</small>	三代	一四九	一三三
去月有流星神祇官卜云天照太神 <small>貞觀六、七、</small>	三代	一九五	一七四
成崇 <small>貞觀六、七、</small>	三代	一九五	一七四
肥後國阿蘇郡爾在留神靈池無故 <small>貞觀六、二、</small>	三代	一九六	一七四
沸溢大利乍驚卜求禮 <small>貞觀六、二、</small>	三代	一九六	一七四
神靈池無故沸溢大利乍驚卜求禮 <small>貞觀六、二、</small>	三代	二〇三	一七九
波兵疫乃事有可止申利 <small>貞觀六、二、</small>	三代	二一八	一九四
一具乎波卜定天大帶命爾奉留 <small>貞觀六、二、</small>	三代	二三八	二二〇
國司求之卜筮所告同於託宣 <small>貞觀六、二、</small>	三代	二四四	二二六
卜筮所告兩國應慎 <small>貞觀六、二、</small>	三代	二四六	二二八
高子内親王薨一卜爲賀茂齋 <small>貞觀六、二、</small>	三代	二四六	二二八
神祇官卜云炎旱之災實因伐木 <small>貞觀六、六、</small>	三代	二四六	二二八
貞觀六、六、	三代	二四六	二二八
此爾驚畏利天御卜爾令問求爾此事 <small>貞觀六、六、</small>	三代	二四六	二二八
實奈利止卜申世利 <small>貞觀六、六、</small>	三代	二四六	二二八
其後頗有物恠爾依天卜求爾御體 <small>貞觀六、六、</small>	三代	二四六	二二八

ウラナ

爾御疾事又火災兵革等乃事可有 <small>貞觀八、七、</small>	三代	二四八	二二九
止卜申世利 <small>貞觀八、七、</small>	三代	二四八	二二九
神祇陰陽等乃官乎之天令占求爾一 <small>貞觀八、七、</small>	三代	二四八	二二九
卜申利 <small>貞觀八、七、</small>	三代	二四八	二二九
使爾齋部宿禰社雄乎卜定天 <small>貞觀八、七、</small>	三代	二四八	二二九
其答乎卜求禮波掛投岐御陵乎犯穢 <small>貞觀八、七、</small>	三代	二四八	二二九
世留事在又猶火事可有又疾事毛 <small>貞觀八、七、</small>	三代	二四八	二二九
可有止卜申利 <small>貞觀八、七、</small>	三代	二四八	二二九
因卜求之乎禮波大神乃布志己利賜 <small>貞觀八、七、</small>	三代	二四八	二二九
天 <small>貞觀八、七、</small>	三代	二四八	二二九
依有大鳥之恠天卜求爾隣國乃兵 <small>貞觀八、七、</small>	三代	二四八	二二九
革之事可在止卜申利 <small>貞觀八、七、</small>	三代	二四八	二二九
卜求爾隣國乃兵革之事可在止卜 <small>貞觀八、七、</small>	三代	二四八	二二九
申利 <small>貞觀八、七、</small>	三代	二四八	二二九
大鳥集于兵庫樓上決之卜筮 <small>貞觀八、七、</small>	三代	二四八	二二九
貞觀八、七、	三代	二四八	二二九
卜求爾隣國乃兵革之事可在止卜 <small>貞觀八、七、</small>	三代	二四八	二二九
申利 <small>貞觀八、七、</small>	三代	二四八	二二九
依有大鳥之恠天卜求爾隣國乃兵 <small>貞觀八、七、</small>	三代	二四八	二二九
革之事可在止卜申利 <small>貞觀八、七、</small>	三代	二四八	二二九

ウラナ

依有大鳥之恠天卜求爾隣國乃兵 <small>貞觀十、二、</small>	三代	三四七	三〇八
革之事可在止卜申利 <small>貞觀十、二、</small>	三代	三四八	三〇九
依有大鳥之恠天卜求爾隣國乃兵 <small>貞觀十、二、</small>	三代	三四八	三〇九
革之事可在止卜申利 <small>貞觀十、二、</small>	三代	三四八	三〇九
卜占者曰至貴之祥 <small>貞觀十、三、</small>	三代	三四八	三〇九
去年陰陽寮占申久一占申世利 <small>貞觀十、三、</small>	三代	三四八	三〇九
貞觀十、三、	三代	三四八	三〇九
備於卜部是雄卜數之道尤究其要 <small>貞觀十、四、</small>	三代	三四八	三〇九
貞觀十、四、	三代	三四八	三〇九
神祇官卜曰 <small>貞觀十、四、</small>	三代	三四八	三〇九
答徵荐臻決之卜筮 <small>貞觀十、五、</small>	三代	三四八	三〇九
皇大神成崇之賜倍利止卜申世利 <small>貞觀十、五、</small>	三代	三四八	三〇九
貞觀十、五、	三代	三四八	三〇九
仍令占求爾御病事可在止占申世 <small>貞觀十、五、</small>	三代	三四八	三〇九
利 <small>貞觀十、五、</small>	三代	三四八	三〇九
神祇官卜云國韓神今年春秋不祠 <small>貞觀十、五、</small>	三代	三四八	三〇九
仍成崇 <small>貞觀十、五、</small>	三代	三四八	三〇九
因此卜筮爾申云 <small>貞觀十、五、</small>	三代	三四八	三〇九
近來皇帝御體爾勞苦給處有爾依 <small>貞觀十、五、</small>	三代	三四八	三〇九
天令卜求爾陰陽寮占申云 <small>貞觀十、五、</small>	三代	三四八	三〇九

ウラナ

陰陽寮占申云皇大神爾祈申賜波 <small>貞觀十六、八、丙子</small>	三代	四四九	三九五
御卜爾令問求賜之岐一祭使波停止 <small>貞觀十六、八、丙子</small>	三代	四四九	三九五
天可吉止卜申世利岐仍御卜乃隨爾 <small>貞觀十六、八、丙子</small>	三代	四四九	三九五
神祇官卜云爾韓神今年春秋不祠 <small>貞觀十六、八、丙子</small>	三代	四六〇	四〇五
仍成崇 <small>貞觀十六、十二、己巳</small>	三代	四七一	四二四
仍玆卜求爾皇大神乃齋女不奉爾 <small>貞觀十六、十二、己巳</small>	三代	四七一	四二四
依天致此灾賜倍利止卜申世利是非 <small>貞觀十六、十二、己巳</small>	三代	四七一	四二四
故忘今必卜定天令奉仕 <small>貞觀十六、十二、己巳</small>	三代	四七一	四二四
近日物惟在爾依天卜求爾失火之 <small>貞觀十六、十二、己巳</small>	三代	四八六	四三八
事亦可在止卜申世利 <small>貞觀十六、十二、己巳</small>	三代	四八六	四三八
班幣境內諸神以下筮告可有兵火 <small>貞觀十六、十二、己巳</small>	三代	四九六	四三六
也 <small>貞觀十六、十二、己巳</small>	三代	四九六	四三六
令卜求爾今亦火災兵事等可在止 <small>貞觀十六、十二、己巳</small>	三代	四九六	四三六
卜申世利 <small>貞觀十六、十二、己巳</small>	三代	四九六	四三六
卜定伊勢賀茂齋內親王 <small>元慶元、二、己未</small>	三代	五一二	四四九
適使伊勢太神宮告以天皇即位并 <small>元慶元、二、己未</small>	三代	五一二	四四九
卜定齋內親王一識子內親王乎卜 <small>元慶元、二、己未</small>	三代	五一二	四四九
定天 <small>元慶元、二、己未</small>	三代	五一二	四四九

ウラナ

敦子內親王乎卜定天 <small>元慶元、二、丙寅</small>	三代	五一二	四五〇
卜定悠紀美濃國席田郡主基備中 <small>元慶元、二、丙寅</small>	三代	五一二	四五〇
國都宇都並卜食 <small>元慶元、二、丙寅</small>	三代	五一二	四五〇
陰陽寮占曰爲穢神社因現崇惟 <small>元慶元、二、丙寅</small>	三代	五五〇	四八一
今卜筮有告隣敵窺隙 <small>元慶元、二、丙寅</small>	三代	五五〇	四八一
神祇官陰陽寮卜筮云 <small>元慶元、二、丙寅</small>	三代	五五〇	四八一
卜部宿禰平麻呂卒一善卜術 <small>元慶元、二、丙寅</small>	三代	六五九	五七三
卜定伊勢齋內親王 <small>元慶元、二、丙寅</small>	三代	六五九	五七三
卜定賀茂齋王 <small>元慶元、二、丙寅</small>	三代	六五九	五七三
陰陽寮占奏言 <small>元慶元、二、丙寅</small>	三代	六五九	五七三
喚神祇官於左仗頭卜定齋王其伊 <small>元慶元、二、丙寅</small>	三代	六五九	五七三
勢齋者皇女繁子卜食一太上天皇 <small>元慶元、二、丙寅</small>	三代	六五九	五七三
在祚卜定入初齋院 <small>元慶元、二、丙寅</small>	三代	六五九	五七三
神祇官卜云一陰陽寮占云 <small>元慶元、二、丙寅</small>	三代	六五九	五七三
出羽國飽海郡諸神社邊雨石鏃陰 <small>元慶元、二、丙寅</small>	三代	六五九	五七三
陽寮占云 <small>元慶元、二、丙寅</small>	三代	六五九	五七三
神祇官卜云大菩薩心有所願 <small>元慶元、二、丙寅</small>	三代	六五九	五七三
陰陽寮占云可警兵事 <small>元慶元、二、丙寅</small>	三代	六五九	五七三
陰陽寮占云鬼氣御靈忿怒成祟 <small>元慶元、二、丙寅</small>	三代	六五九	五七三

ウラナ

ウラハ

召神祇官陰陽寮占定吉日 <small>元慶元、二、己未</small>	三代	八〇六	六九八
制奉幣伊勢太神宮者卜食五位已 <small>元慶元、二、己未</small>	三代	一七八	一八〇
上充使 <small>元慶元、二、己未</small>	三代	一七八	一八〇
伏請卜食而運遷 <small>元慶元、二、己未</small>	後紀	五一	四四
常祀之外須向諸社供幣帛者皆取 <small>元慶元、二、己未</small>	後紀	八九	七七
五位以上卜食者充之 <small>元慶元、二、己未</small>	後紀	八九	七七
近有物惟卜食疫氣兼告殃谷 <small>元慶元、二、己未</small>	續後	三五	一一
卜食申柏原山陵告崇 <small>元慶元、二、己未</small>	續後	四八四	四三〇
卜定伊勢賀茂齋內親王伊勢齋識 <small>元慶元、二、己未</small>	三代	五一	四四九
子內親王賀茂齋敦子內親王並卜 <small>元慶元、二、己未</small>	三代	五一	四四九
食 <small>元慶元、二、己未</small>	三代	五一	四四九
卜定悠紀主基一並卜食 <small>元慶元、二、己未</small>	三代	五二六	四六一
主基卜食備中國都宇都 <small>元慶元、二、己未</small>	三代	五二六	四六一
供奉神事諸司七十二人卜食者着 <small>元慶元、二、己未</small>	三代	五二六	四六一
青摺衫神祇官三十二人 <small>元慶元、二、己未</small>	三代	五二六	四六一
卜定伊勢齋內親王無品揚子內親 <small>元慶元、二、己未</small>	三代	五二六	四六一
王卜食一賀茂齋者諸內親王不卜 <small>元慶元、二、己未</small>	三代	五二六	四六一
食 <small>元慶元、二、己未</small>	三代	五二六	四六一
賀茂齋王二世穆子女王卜食 <small>元慶元、二、己未</small>	三代	五二六	四六一

ウラハ

ウラハ

其伊勢齋者皇女繁子卜食 <small>元慶元、二、己未</small>	三代	七二二	六二五
定大嘗會國一並卜食 <small>元慶元、二、己未</small>	三代	七二二	六二五
其卜食郡免田租 <small>元慶元、二、己未</small>	三代	七二二	六二五
卜食郡免田租 <small>元慶元、二、己未</small>	三代	七二二	六二五
以太占之卜事而奉仕 <small>元慶元、二、己未</small>	三代	七二二	六二五
時吾田鹿葦津姬以下定田號曰狹 <small>元慶元、二、己未</small>	書紀	六一	五三
名田 <small>元慶元、二、己未</small>	書紀	六一	五三
天皇異之卜其所由卜者曰有內亂 <small>元慶元、二、己未</small>	書紀	二七四	二二八
命卜者占海部王家地與絲井王家 <small>元慶元、二、己未</small>	書紀	四一七	三五二
地卜便襲吉 <small>元慶元、二、己未</small>	書紀	四一七	三五二
蘇我大臣患疾問於卜者卜者對言 <small>元慶元、二、己未</small>	書紀	四三三	三五九
崇於父時所祭佛神之心也 <small>元慶元、二、己未</small>	書紀	四三三	三五九
宜依卜者之言祭祠父神 <small>元慶元、二、己未</small>	書紀	四三三	三五九
卜部宿禰平麻呂卒一幼而習龜卜 <small>元慶元、二、己未</small>	三代	六五九	五七三
之道爲神祇官之卜部 <small>元慶元、二、己未</small>	三代	六五九	五七三
本姓卜部改爲伊岐 <small>元慶元、二、己未</small>	三代	六五九	五七三
賜姓占部宿禰 <small>元慶元、二、己未</small>	文德	六〇二	五三七
遣宮主占部雄貞等向攝津國祭八 <small>元慶元、二、己未</small>	文德	六〇二	五三七
十島 <small>元慶元、二、己未</small>	文德	六〇二	五三七

ウラヘ	宮主卜部雄貞賜姓占部宿禰 <small>書三、九、庚戌</small> 占部業基向尾張大神社 <small>書三、九、庚戌</small> 宮主卜部雄貞神祇少祐卜部業基 等賜姓占部宿禰 <small>書三、九、庚戌</small> 占部宿禰業基為神祇權大祐 <small>書三、九、庚戌</small> 占部宿禰業基為宮主 <small>書三、九、庚戌</small> 神祇權少史卜部業孝等賜姓伊伎 宿禰其先出自雷大臣命也 <small>書三、九、庚戌</small> 壹伎島石田郡人宮主卜部是雄等 出自雷大臣命也 <small>書三、九、庚戌</small> 卜部是雄卜部數之道尤究其要 <small>書三、九、庚戌</small> 神祇權大祐卜部宿禰真雄為參河 權介 <small>書三、九、庚戌</small>	文德 六〇三 五三七 文德 五二一 四六五 文德 六〇三 五三七 文德 六三七 五六九 文德 六四六 五七七 三代 一五三 一三六 三代 一五三 一三六 三代 三九九 三五三 三代 三三〇 二〇四 三代 六五九 五七三	ウエタ	位下 <small>書八、五、七五</small> 從五位下殖田神從五位上 <small>書八、五、七五</small>	三代 二四二 二二三	ウエタ	位下 <small>書八、五、七五</small> 從五位下殖田神從五位上 <small>書八、五、七五</small>	三代 二四二 二二三
ウルケ	卜部宿禰平麻呂卒一幼而習龜卜 之道為神祇官之卜部 <small>書三、九、庚戌</small> 時乃可稱曰竊賊鈎言訖 <small>書三、九、庚戌</small> 癡賊鈎此云于樓該賦 <small>書三、九、庚戌</small>	書紀 八〇 七〇 書紀 八二 七二	エダノ	日向國宮崎郡江田神預官社 <small>書八、五、七五</small> 從五位上江田神並從四位下 <small>書八、五、七五</small> 素戔嗚尊下到於安藝國可愛之川 上也 <small>書八、五、七五</small> 飛驒國從五位下在神等並從五位 上 <small>書八、五、七五</small>	書紀 七〇 六二	エダノ	日向國宮崎郡江田神預官社 <small>書八、五、七五</small> 從五位上江田神並從四位下 <small>書八、五、七五</small> 素戔嗚尊下到於安藝國可愛之川 上也 <small>書八、五、七五</small> 飛驒國從五位下在神等並從五位 上 <small>書八、五、七五</small>	書紀 七〇 六二
ウワツ	伊豫國正六位上宇和津彥神並從 五位下 <small>書三、九、庚戌</small>	三代 七五六 六五四	エノハ	大錄從六位下櫻原忌寸金吉為主 典 <small>書王禮前次第司</small> 書八、五、七五 久之天津彦彥火瓊瓊杵尊崩因葬 筑紫日向可愛可愛云埃之山陵 <small>書八、五、七五</small>	書紀 五三 四七	エノハ	大錄從六位下櫻原忌寸金吉為主 典 <small>書王禮前次第司</small> 書八、五、七五 久之天津彦彥火瓊瓊杵尊崩因葬 筑紫日向可愛可愛云埃之山陵 <small>書八、五、七五</small>	書紀 五三 四七
ウエタ	土佐國正六位上殖田上神並從五 五位下 <small>書三、九、庚戌</small>	三代 二四二 二二三	エノミ	筑紫日向可愛可愛云埃之山陵 <small>書八、五、七五</small>	書紀 五三 四七	エノミ	筑紫日向可愛可愛云埃之山陵 <small>書八、五、七五</small>	書紀 五三 四七

エノモ	遣御巫櫻本連淨子等向攝津國祭 八十島 <small>書三、九、庚戌</small>	文德 五二九 四六三	エヤミ	剛般若經以資疫神 <small>書三、九、庚戌</small> 夜令佐比寺僧惠照修疫神祭 <small>書三、九、庚戌</small>	三代 二〇三 一八一	エヤミ	剛般若經以資疫神 <small>書三、九、庚戌</small> 夜令佐比寺僧惠照修疫神祭 <small>書三、九、庚戌</small>	三代 二〇三 一八一
エノキ	櫻井朝臣大嶋率內物部立神橋於 齋宮南北二門 <small>書三、九、庚戌</small>	續紀 一四九 一五三	オカミ	龜此云於箇美 <small>書三、九、庚戌</small> 尾張國憶感神等列於官社 <small>書三、九、庚戌</small> 從五位下憶感神從五位上 <small>書三、九、庚戌</small> 伊賀國正六位上應感神並授從五 位下 <small>書三、九、庚戌</small>	書紀 一七 一六 文德 五六六 五〇四 三代 二二七 一九三 三代 一四三 一二六	オカミ	龜此云於箇美 <small>書三、九、庚戌</small> 尾張國憶感神等列於官社 <small>書三、九、庚戌</small> 從五位下憶感神從五位上 <small>書三、九、庚戌</small> 伊賀國正六位上應感神並授從五 位下 <small>書三、九、庚戌</small>	書紀 一七 一六 文德 五六六 五〇四 三代 二二七 一九三 三代 一四三 一二六
エヒメ	以兄媛奉於智形大神 <small>書三、九、庚戌</small> 天皇御八省院修禋祀之禮 <small>書三、九、庚戌</small> 祭疫神於京師四隅幾內十界 <small>書三、九、庚戌</small> 令天下諸國祭疫神 <small>書三、九、庚戌</small>	書紀 三〇二 二五三 續後 二〇六 一八四 續紀 五五九 五三四 續紀 五八〇 五四三 續紀 六一一 五七〇 續紀 六二八 五八六	オキ	應感神並從五位上 <small>書三、九、庚戌</small> 大雙生億岐洲與佐度洲 <small>書三、九、庚戌</small> 次億岐三子洲 <small>書三、九、庚戌</small> 次雙生億岐洲與佐度洲 <small>書三、九、庚戌</small> 次億岐洲 <small>書三、九、庚戌</small> 次雙生億岐洲與佐度洲 <small>書三、九、庚戌</small> 次億岐三子洲 <small>書三、九、庚戌</small>	書紀 六六 六五 續後 八八 八五 續後 三三八 三〇九	オキ	應感神並從五位上 <small>書三、九、庚戌</small> 大雙生億岐洲與佐度洲 <small>書三、九、庚戌</small> 次億岐三子洲 <small>書三、九、庚戌</small> 次雙生億岐洲與佐度洲 <small>書三、九、庚戌</small> 次億岐洲 <small>書三、九、庚戌</small> 次雙生億岐洲與佐度洲 <small>書三、九、庚戌</small> 次億岐三子洲 <small>書三、九、庚戌</small>	書紀 六六 六五 續後 八八 八五 續後 三三八 三〇九
エンシ	祭疫神於天下諸國 <small>書三、九、庚戌</small> 祭疫神於畿內諸國 <small>書三、九、庚戌</small> 祭疫神於五畿內 <small>書三、九、庚戌</small> 遣使祭疫神於五畿內 <small>書三、九、庚戌</small> 於畿內諸界祭疫神 <small>書三、九、庚戌</small> 令鄉邑每季敬祀疫神 <small>書三、九、庚戌</small> 國司到境下令防祭疫神精進齋戒 共禱豐稔 <small>書三、九、庚戌</small>	續紀 六三〇 五八七 續紀 六四七 六〇二 續紀 六六一 六一五 續後 八八 八五 續後 三三八 三〇九	オキ	應感神並從五位上 <small>書三、九、庚戌</small> 大雙生億岐洲與佐度洲 <small>書三、九、庚戌</small> 次億岐三子洲 <small>書三、九、庚戌</small> 次雙生億岐洲與佐度洲 <small>書三、九、庚戌</small> 次億岐洲 <small>書三、九、庚戌</small> 次雙生億岐洲與佐度洲 <small>書三、九、庚戌</small> 次億岐三子洲 <small>書三、九、庚戌</small>	書紀 六六 六五 續後 八八 八五 續後 三三八 三〇九	オキ	應感神並從五位上 <small>書三、九、庚戌</small> 大雙生億岐洲與佐度洲 <small>書三、九、庚戌</small> 次億岐三子洲 <small>書三、九、庚戌</small> 次雙生億岐洲與佐度洲 <small>書三、九、庚戌</small> 次億岐洲 <small>書三、九、庚戌</small> 次雙生億岐洲與佐度洲 <small>書三、九、庚戌</small> 次億岐三子洲 <small>書三、九、庚戌</small>	書紀 六六 六五 續後 八八 八五 續後 三三八 三〇九
エヤミ	祭疫神於天下諸國 <small>書三、九、庚戌</small> 祭疫神於畿內諸國 <small>書三、九、庚戌</small> 祭疫神於五畿內 <small>書三、九、庚戌</small> 遣使祭疫神於五畿內 <small>書三、九、庚戌</small> 於畿內諸界祭疫神 <small>書三、九、庚戌</small> 令鄉邑每季敬祀疫神 <small>書三、九、庚戌</small> 國司到境下令防祭疫神精進齋戒 共禱豐稔 <small>書三、九、庚戌</small>	續紀 六三〇 五八七 續紀 六四七 六〇二 續紀 六六一 六一五 續後 八八 八五 續後 三三八 三〇九	オキ	應感神並從五位上 <small>書三、九、庚戌</small> 大雙生億岐洲與佐度洲 <small>書三、九、庚戌</small> 次億岐三子洲 <small>書三、九、庚戌</small> 次雙生億岐洲與佐度洲 <small>書三、九、庚戌</small> 次億岐洲 <small>書三、九、庚戌</small> 次雙生億岐洲與佐度洲 <small>書三、九、庚戌</small> 次億岐三子洲 <small>書三、九、庚戌</small>	書紀 六六 六五 續後 八八 八五 續後 三三八 三〇九	オキ	應感神並從五位上 <small>書三、九、庚戌</small> 大雙生億岐洲與佐度洲 <small>書三、九、庚戌</small> 次億岐三子洲 <small>書三、九、庚戌</small> 次雙生億岐洲與佐度洲 <small>書三、九、庚戌</small> 次億岐洲 <small>書三、九、庚戌</small> 次雙生億岐洲與佐度洲 <small>書三、九、庚戌</small> 次億岐三子洲 <small>書三、九、庚戌</small>	書紀 六六 六五 續後 八八 八五 續後 三三八 三〇九
エノモ	遣御巫櫻本連淨子等向攝津國祭 八十島 <small>書三、九、庚戌</small>	文德 五二九 四六三	オキ	應感神並從五位上 <small>書三、九、庚戌</small> 大雙生億岐洲與佐度洲 <small>書三、九、庚戌</small> 次億岐三子洲 <small>書三、九、庚戌</small> 次雙生億岐洲與佐度洲 <small>書三、九、庚戌</small> 次億岐洲 <small>書三、九、庚戌</small> 次雙生億岐洲與佐度洲 <small>書三、九、庚戌</small> 次億岐三子洲 <small>書三、九、庚戌</small>	書紀 六六 六五 續後 八八 八五 續後 三三八 三〇九	オキ	應感神並從五位上 <small>書三、九、庚戌</small> 大雙生億岐洲與佐度洲 <small>書三、九、庚戌</small> 次億岐三子洲 <small>書三、九、庚戌</small> 次雙生億岐洲與佐度洲 <small>書三、九、庚戌</small> 次億岐洲 <small>書三、九、庚戌</small> 次雙生億岐洲與佐度洲 <small>書三、九、庚戌</small> 次億岐三子洲 <small>書三、九、庚戌</small>	書紀 六六 六五 續後 八八 八五 續後 三三八 三〇九

オキ

比奈麻治比賣神從五位下 <small>天智五年</small>	續後	二七九	二四七
由良比賣命神宇受加命神水若酢命神並預官社 <small>天智九年</small>	續後	三六七	三三五
天佐自比古命神從五位下 <small>天智十五年</small>	續後	四四六	三九四
伊勢命神預明神例 <small>天智十五年</small>	續後	四五八	四〇六
天健金草神從四位下比奈麻治比賣神正五位下 <small>天智十五年</small>	三代	三八三	三三八
並從五位下 <small>天智十五年</small>	三代	五五九	四八九
比奈麻治比賣命神正五位上 <small>天智十五年</small>	三代	七三四	六二七
健須佐雄神從五位下 <small>天智八年</small>	三代	七六三	六六〇
天健金草明神從四位上 <small>天智七年</small>	三代	二六	二三
食所帶十握劍生兒號瀧津島姬 <small>天智七年</small>	書紀	二九	二五
化生兒瀧津嶋姬命亦名市杵嶋姬命 <small>天智七年</small>	書紀	二九	二五
命 <small>天智七年</small>	書紀	二九	二五
奧津嶋神 <small>近江並從五位上</small>	三代	二四	二一
丹後國正六位上息津嶋神並從五位下 <small>天智七年</small>	三代	六二七	五四七
被可以爲顯見蒼生奧津壱戸將臥之具 <small>天智七年</small>	書紀	四三	三八
常陸國正六位上於岐都說神從五位上 <small>天智七年</small>	三代	七六〇	六五八
位下 <small>天智七年</small>	三代	七六〇	六五八
市杵嶋姬命是居于遠瀛者也 <small>天智七年</small>	書紀	三八	三五
遠江國息神從五位下 <small>天智八年</small>	文德	五五一	四九〇
以遠江國息神列於官社 <small>天智八年</small>	文德	五五一	四九〇
興道宿禰春宗爲長途伊勢齋內親王使 <small>天智八年</small>	三代	五九五	五三〇
長門國正六位上意久神並從五位下 <small>天智十五年</small>	三代	四三三	三八一
久住近江國野洲郡奧島聊構堂舍嶋神夢中告白 <small>天智七年</small>	三代	二〇〇	一七六
忍坂生根神 <small>天和並從五位上</small>	三代	三三	二〇
忍坂山神 <small>天和並正五位下</small>	三代	三三	二〇
忍坂山神等遣使奉幣 <small>天和元年</small>	三代	五〇	四四
遣忍壁皇子於石上神宮以膏油瑩神寶 <small>天和元年</small>	書紀	六〇二	五〇六
遣刑部造眞跡等於伊勢大神宮奉大神財寶 <small>天和元年</small>	三代	三〇七	二七三
忍骨命 <small>望預官社</small>	續後	二六九	二四〇
豐前國從五位上忍骨神並授從四位上 <small>天智七年</small>	三代	一九六	一七五

オシミ

オトク

壹伎縣主先祖押見宿禰侍祠 <small>天智三年</small>	書紀	三三五	二七三
始祖忍見足尼命始自神代供龜卜事 <small>天智十四年</small>	三代	三九九	三五三
乙訓社 <small>火雷神參照</small>	續紀	六六六	五七四
乙訓郡乙訓社狼及鹿多 <small>天智五年</small>	續紀	六二一	五七九
奉幣於山背國乙訓郡乙訓社 <small>天智五年</small>	續紀	七五八	七〇三
叙松尾乙訓二神從五位下 <small>天智五年</small>	續紀	七五八	七〇三
修理松尾乙訓社 <small>天智五年</small>	續後	二七八	二四七
奉幣乙訓等名神以祈霽 <small>天智五年</small>	續後	三〇九	二七四
奉幣乙訓等社祈甘雨防風災 <small>天智七年</small>	續後	三三三	二九五
宜奉幣乙訓令祈甘雨 <small>天智八年</small>	續後	三三八	三〇九
遣使奉幣乙訓等名神祈雨 <small>天智九年</small>	續後	三五三	三二三
奉幣於乙訓令祈雨也 <small>天智九年</small>	文德	五三四	四七五
乙訓等神社祈霽 <small>天智九年</small>	文德	六四六	五七七
宣命乙訓等爲祈雨也 <small>天智九年</small>	三代	四〇	四〇
源朝臣至爲乙訓社使 <small>天智九年</small>	三代	四九	四三
奉幣乙訓等神社止霖雨也 <small>天智九年</small>	三代	二九四	二六一
遣使於乙訓等神社奉幣 <small>天智九年</small>	三代	四三三	三七三
奉幣於乙訓並祈嘉澍也 <small>天智十五年</small>	三代	四三六	三七五
遣使於乙訓奉幣祈雨也 <small>天智十五年</small>	三代	四三六	三七五
遺使者於山城國乙訓社奉幣 <small>天智十七年</small>	三代	四七〇	四一四
遣使班幣乙訓一八神社祈雨 <small>天智十七年</small>	三代	四七三	四一六
奉幣乙訓祈秋稔也 <small>天智十七年</small>	三代	四七四	四一七
奉幣乙訓等社祈甘雨也 <small>天智十六年</small>	三代	五三〇	四六五
班幣祈雨乙訓等八社 <small>天智十六年</small>	三代	五五九	四八九
奉幣乙訓等神社祈霽雨也 <small>天智十五年</small>	三代	五九〇	五二六
遣使者乙訓等社奉幣祈雨 <small>天智十五年</small>	三代	六八	五四〇
分遣使者於乙訓七社奉幣而等以旱也 <small>天智七年</small>	三代	六九九	六〇五
奉幣於乙訓神社祈止雨也 <small>天智七年</small>	三代	七〇四	六〇八
正五位下乙訓火雷神並從四位下 <small>天智七年</small>	三代	二二	一九
日弟橋媛一啓王曰今風起浪泌王船欲沒是必海神心也 <small>天智七年</small>	書紀	一七四	一四六
則稱落薄鈞 <small>天智七年</small>	書紀	七七	六八
小野朝臣眞野爲齋宮頭 <small>天智七年</small>	後紀	一三三	一一八
齋宮頭從五位下小野朝臣眞野爲兼伊勢權介 <small>天智七年</small>	後紀	一四七	一三〇
安藝國正六位上生石神從五位上 <small>天智九年</small>	三代	二九三	二六〇

オフノ	上總國鈺富神並正五位下 <small>元龜九、四、己卯</small>	三代	五二九	四六四
	飯富神並正五位上 <small>元龜八、七、癸酉</small>	三代	七四〇	六四一
オフヒ	下總國從五位下意富比神正五位下 <small>貞觀九、五、庚子</small>	三代	一四八	一三一
	意富比神正五位上 <small>貞觀十三、四、己卯</small>	三代	三七三	三三〇
	意富比神並從四位下 <small>貞觀十六、三、癸酉</small>	三代	四三九	三八六
	尾張國无位大縣天神並從五位下 <small>天智十四、十一、癸酉</small>	續後	四三八	三八八
オホア	真清田大縣兩神列於官社 <small>天智十六、十、己卯</small>	文德	五三八	四七九
	大縣神並授從四位下 <small>仁壽三、五、癸亥</small>	文德	五八四	五〇二
	大縣神從四位上 <small>貞觀六、二、癸卯</small>	三代	二七	二四
	遣大江朝臣音人向大縣等神社奉神位記財寶 <small>貞觀六、二、己卯</small>	三代	二八	二四
	大縣神正四位下 <small>貞觀十五、八、乙巳</small>	三代	四二六	三七五
	讚岐國從五位下大縣神等並從五位上 <small>貞觀七、十、丁巳</small>	三代	二二四	一九〇
	安藝國正六位上大縣天神並從五位下 <small>貞觀六、三、辛卯</small>	三代	三〇	二七
	阿波國從五位下大縣比古神並從五位上 <small>貞觀六、五、甲申</small>	三代	二五	二二

大縣比古神並授正五位上 <small>貞觀九、四、己卯</small>	三代	三八三	二五一
大縣比古神從四位下 <small>元龜三、四、己卯</small>	三代	五五四	四八五
大縣神從四位上 <small>元龜七、十、甲子</small>	三代	七〇六	六一一
大己貴命 <small>オホナムチ參照</small>	書紀	三九	三五
生兒大己貴神 <small>神代上</small>	書紀	四二	三七
素戔鳴尊以爲妃而所生兒之六世孫是曰大己貴命 <small>神代上</small>	書紀	四二	三七
大己貴此云於褒姒娜武智 <small>神代上</small>	書紀	四二	三七
大國主神亦名大物主神亦號國作大己貴命 <small>神代上</small>	書紀	四四	三九
大己貴命與少彥名命戮力一心 <small>神代上</small>	書紀	四四	三九
大己貴命謂少彥名命曰 <small>神代上</small>	書紀	四四	三九
大己貴神獨能巡造遂到出雲國 <small>神代上</small>	書紀	四四	三九
是時大己貴神問曰然則汝是誰耶 <small>神代上</small>	書紀	四五	四〇
大己貴神曰唯然迺知汝是吾之幸魂奇魂 <small>神代上</small>	書紀	四五	四〇
初大己貴神之平國也 <small>神代上</small>	書紀	四六	四〇
大己貴神即取置掌中而翫之 <small>神代上</small>	書紀	四六	四〇
此神倭媚於大己貴神比及三年尙	書紀	四七	四二

オホア

不報聞 <small>神代下</small>	書紀	五〇	四四
踞其鋒端而問大己貴神曰 <small>神代下</small>	書紀	五〇	四四
時大己貴神對曰當問我子然後將報 <small>神代下</small>	書紀	五〇	四四
故大己貴神則以其子之辭白於二神曰 <small>神代下</small>	書紀	五一	四五
二神降到出雲便問大己貴神曰 <small>神代下</small>	書紀	五六	四九
大己貴神以其子之辭報乎二神 <small>神代下</small>	書紀	五六	五〇
問大己貴神曰汝將以此國奉天神耶以不 <small>神代下</small>	書紀	五九	五三
高皇產靈尊乃還遣二神勅大己貴神曰 <small>神代下</small>	書紀	五九	五三
於是大己貴神報曰 <small>神代下</small>	書紀	五九	五三
復大己貴大神目之曰 <small>神代下</small>	書紀	一〇八	九三
出吹生大綾津日神 <small>神代上</small>	書紀	一一	一九
常陸國上言鹿島郡大洗磯前有神新降 <small>神代上、十二、戊戌</small>	文德	六〇五	五四〇
大洗磯前酒列磯前神預官社 <small>天智八、辛未</small>	文德	六二五	五五七
大洗磯前酒列磯前兩神號藥師菩薩名神 <small>天智八、辛未</small>	文德	六二八	五六〇

オホイ

所謂八雷者在首曰大雷 <small>神代上</small>	書紀	二〇	一八
河內國大雷火明神從五位下 <small>神代上</small>	文德	五七四	五二二
石見國大飯神並授從五位上 <small>神代上</small>	三代	三三三	二九四
親王公卿文武百寮小齋大齋宿侍如式 <small>元龜八、十一、己卯</small>	三代	七四八	六四七
大忌神 <small>廣瀨公見上</small>	後紀	一〇二	八九
勅伊勢大神并度會二宮大內人各三員元是白丁自今以後宜預外考并把笏 <small>天智三、九、甲巳</small>	三代	一〇三	九〇
內宮大內人神主眞雄 <small>貞觀三、六、甲子</small>	續紀	七八	六六八
宴五位已上奏雅樂寮樂及大歌於庭 <small>天智六、十二、己巳</small>	後紀	一〇四	九一
奏雜舞并大歌五節舞等 <small>神代上、十一、</small>	後紀	一〇三	九〇
宴五位已上奏雅樂并大歌 <small>天智十、</small>	後紀	一〇三	九〇
奏大歌五節舞又如舊儀 <small>神代上、十一、</small>	文德	五三九	四八一
因幡國大江等五神從五位下 <small>神代上</small>	文德	五三八	四七九
大枝朝臣音人向伊勢國多度神社 <small>貞觀六、二、己巳</small>	三代	二七	二四
大枝朝臣音人爲平野社使 <small>神代上、七、</small>	三代	四六	四〇
大枝朝臣音人向平野社 <small>貞觀七、丁卯</small>	三代	二〇三	一八〇

才木工	大江朝臣音人為平野社使 <small>續後紀四、五、五</small> 遣參議大江朝臣音人於賀茂神社 奉幣 <small>續後紀十五、五、五</small>	三代 三九 三五三
	大江朝臣音人平差使天云々 <small>續後紀十五、五、五</small>	三代 四三 三七二
	大江朝臣音人檢按大嘗會事 <small>元慶元、九、甲子</small>	三代 五三八 四六三
	大江朝臣音人為御前次第司長官 (大嘗會禮) <small>元慶元、九、甲子</small>	三代 五三六 四六九
	大江朝臣公幹為次官(大嘗會禮) <small>元慶元、九、甲子</small>	三代 五三六 四六九
才木才	造酒司酒甕神從五位下大邑刀自 神小邑刀自神等並預春秋祭 <small>續後紀三、三、三</small>	文德 六〇三 五三七
	造酒司從五位下大戶自神等並從 五位上 <small>貞觀元、五、甲申</small>	三代 二二 一九
	准大邑刀自小邑刀自甕神等 <small>續後紀八、五、五</small>	三代 二六四 二三四
	度之九人大臣一人於國分寺及神 宮寺安置供養 <small>天曆五、三、甲申</small>	續後 二七四 二四四
才木力	聽大春日一三氏五位已上准小野 氏春秋二祠時一氏神社 <small>天曆四、二、癸卯</small>	續後 二六〇 二三三
	丹後國從五位下大川神並從五位 上 <small>貞觀元、五、甲申</small>	三代 二四 三三
	大河神正五位下 <small>貞觀十三、十二、癸未</small> 土佐國從五位下大川上美良布神 從五位上 <small>貞觀八、八、己卯</small>	三代 三九三 三四七
	山城國從五位下大川原國津神並 從五位上 <small>貞觀六、五、癸未</small>	三代 四二 三七
	大神 ○神(社)名に稱せしもの尙多し、 神階の條により其の一斑を知るを得べし	
	紀伊國所坐大神(五十猛命) <small>神代上</small>	書紀 四三 三八
	以大田田根子令祭大神 <small>神代八、十二</small>	書紀 二九 一〇九
	大神對曰言理灼然 <small>續後紀七、九</small>	書紀 一三三 一一二
	大神(以上大物主神)有耻急化人形 <small>續後紀七、九</small>	書紀 一三三 一一三
	不祭大神(出雲)而有間 <small>續後紀六、七</small>	書紀 一三七 一一六
	隨大神(天照)教其祠立於伊勢國 <small>續後紀二十五、三</small>	書紀 一四八 一一五
	爰倭姬命求鎮坐大神(天照)之處 <small>續後紀二十五、三</small>	書紀 一四八 一一五
	時大神(常飯)與太子名相易故號 大神曰去來紗別神 <small>續後紀四、五、五</small>	書紀 二二五 一七九
	今大神(八幡)所教是國家之大事	後紀 三三 一九

才木力	也 <small>續後紀十八、二、乙未</small> 比來大神(石上)頻放鳴鑼 <small>續後紀二十四、五、五</small>	後紀 五一 四四
	大神(石上)乃宮前收有志器仗乎 <small>續後紀二十四、二、乙未</small>	後紀 五一 四五
	大神(石上)乃願坐久任 <small>續後紀二十四、五、五</small>	後紀 五一 四五
	皇御孫命爾坐四所大神爾申給波久 大神等乎彌高爾彌廣 <small>續後紀三、五、丁未</small>	續後 二四五 二二八
	大神(大物忌)為崇賜倍利加以一 神乃於雲裏氏一大神乃威稜 <small>續後紀七、七、七</small>	續後 三二九 二八三
	奉飭大神(多度)者 <small>續後紀二、五、乙巳</small>	續後 四六一 四〇九
	大神(加茂)乃廣前爾申賜倍止 <small>續後紀三、五、丁未</small>	文德 五三〇 四六三
	大神(春日)乃廣前爾 <small>續後紀三、九、己丑</small>	文德 五三〇 四六四
	大神(日前國懸)等乃廣前爾 <small>續後紀三、十、甲子</small>	文德 五三三 四六七
	天皇我詔旨止掛畏支大神乃廣前爾 申久一大神乃厚助爾依天 <small>續後紀六、六、甲辰</small>	文德 五三四 四七五
	大神不志己理賜倍利止卜申世利大 神神那我良 <small>續後紀七、六、甲辰</small>	文德 五三八 四七九
	大神(平野)等乎彌高爾彌廣爾崇 奉 <small>續後紀七、七、乙卯</small>	文德 六一 五四五
	掛畏支諸大神乃廣前爾恐美恐美毛	
才木力	申賜幣止申久天安元、二、乙酉 遣源朝臣同高橋朝臣淨野等於諸 大神社 <small>天安二、四、甲申</small>	文德 六四〇 五七三
	常陸國鹿島神宮司言大神之苗裔 神三十八社在陸奥國 <small>貞觀八、五、丁酉</small>	三代 二二六 二〇〇
	延曆以往割大神(鹿島)封物奉幣 彼諸神社 <small>貞觀八、五、丁酉</small>	三代 二二七 二〇〇
	其幣新用大神(鹿島)封物 <small>貞觀八、五、丁酉</small>	三代 二二七 二〇一
	大神(廣田)乎大神乃布志己利賜 天一大神神奈加良毛 <small>貞觀六、四、己亥</small>	三代 三二〇 二七六
	大神(廣田)平介久開食天 <small>貞觀六、四、己亥</small>	三代 三一 二七六
	掛畏岐大神(石清水)國內乃諸神 太知乎唱導岐給比天 <small>貞觀十一、十二、壬子</small>	三代 三三七 二九九
	掛畏岐大神(賀茂)乃厚助爾依天志 <small>貞觀十一、六、甲卯</small>	三代 三六〇 三二八
	大神(賀茂)乃成崇之賜倍留仁依天一 大神乃御社近之天騷動世留事在 介利 <small>貞觀十五、五、甲申</small>	三代 四三三
	大神(松尾)厚護爾依天之 <small>續後紀二、八、癸未</small>	三代 八〇三 六九五
	齋宮大神司津島朝臣小松授從五	續紀 三二七 三〇三

才ホク

位下 <small>天照四十五、二、甲午</small>	亦曰大國玉神 <small>神代上</small>	常陸國真壁郡大國玉神預官社以比年特有靈驗也 <small>天照四、三、戊子</small>	無位大國玉神從五位下 <small>天照四十七、七、辛</small>	尾張國大國靈神等列於官社 <small>天照三、丁卯</small>	此神五世孫即大國主神 <small>神代上</small>	大國主神亦名大物主神 <small>神代上</small>	欲遣侍大來皇女于天照大神宮而令居泊瀨齋宮 <small>天照二、四、己巳</small>	大來皇女自泊瀨齋宮向伊勢神宮 <small>天照三、七、乙酉</small>	奉伊勢神祠皇女大來還至京師 <small>天照九、十一、壬子</small>	備後國正六位上大藏神並從五位下 <small>貞觀二、二、己酉</small>	越前國從四位上大掠神正四位下 <small>元慶四、九、戊辰</small>	是浦口有男女二神男神曰大倉主女神曰菟夫羅媛 <small>神代八、正</small>
書紀	續後	續後	文德	書紀	書紀	書紀	書紀	書紀	書紀	三代	三代	書紀
四四	二六三	四一〇	五六六	四〇	四〇	六〇〇	六〇三	六五一	六四	五六	五六	一八八
三九	三三四	三六三	五〇四	三六	三九	五〇四	五〇六	五四六	五六	五六	五六	一五七

才ホサ

以墨盾八枚墨矛八竿祠大坂神 <small>神代九、三</small>	依夢之教祭墨坂神大坂神 <small>神代九、四</small>	大坂山神 <small>天照</small> 並正五位下 <small>神代八、甲申</small>	大坂山神等遣使奉幣 <small>神代九、九、庚申</small>	美作國從五位下大佐々神並授從五位上 <small>貞觀九、五、庚寅</small>	紀伊國正六位上大位 <small>（卷）</small> 神從五位下 <small>貞觀十七、十二、丙子</small>	山城國葛野郡大辟神從五位下緣屢有靈驗所祈必應也 <small>神代二、九、丙寅</small>	遣凡河內直香賜與采女祠胸方神 <small>神代九、二</small>	次生大洲 <small>神代上</small>	次大洲 <small>神代上</small>	次大洲 <small>神代上</small>	遣使於大隅國檢問并請開神命 <small>天照十四、十二、丙寅</small>	大隅國神造新嶋震動不息 <small>天照三、己巳</small>	去神護中大隅國海中有神造嶋共
書紀	書紀	三代	三代	三代	三代	續後	書紀	書紀	書紀	書紀	續紀	續紀	續紀
一三〇	一三〇	二二	五〇	一四八	四七八	四七三	二九四	五	八	八	二四七	四九一	六六七
一一〇	一一〇	三〇	四四	一三一	四三〇	四三〇	二四六	五	八	八	二四一	四六一	六三〇

才ホセ

名曰大穴持神至是爲官社 <small>神代九、十</small>	故仍遣其子大背飯三熊之大人亦名武三熊之大人 <small>神代下</small>	故時居於虛天而生兒 <small>神代下</small>	陸奥國柴田郡无位大高山神從五位下 <small>天照九、五、甲辰</small>	大高山神從五位上 <small>貞觀十一、三、庚申</small>	以吾兒大田田根子令祭吾 <small>神代七</small>	以大田田根子命爲祭大物主大神之主 <small>神代七</small>	布告天下求大田田根子 <small>神代七</small>	於茅渟縣陶邑得大田田根子而貢之 <small>神代七</small>	問大田田根子曰汝其誰子 <small>神代七</small>	以大田田根子爲祭大物主大神之主 <small>神代七</small>	以大田田根子令祭大神 <small>神代八、十二</small>	所謂大田田根子今三輪君等之始祖也 <small>神代八、十二</small>	土佐國正六位上大谷神從五位下
書紀	書紀	書紀	書紀	三代	書紀	書紀	書紀	書紀	書紀	書紀	書紀	書紀	三代
四八	六二	六二	三五〇	三二二	一三八	一三八	一三八	一三八	一三八	一三九	一三九	一三〇	三五三
四二	五四	五四	三一	三八五	一〇八	一〇八	一〇八	一〇九	一〇九	一〇九	一〇九	一一〇	三二三

才ホタ

大谷神從五位上 <small>元慶三、九、甲寅</small>	一具 <small>（御鞍）</small> 平波卜定天大帶命爾奉 <small>留鳥七、四、丁卯</small>	伯耆國大帶孫神並從五位上 <small>神代三、八、乙亥</small>	我皇太神 <small>（宗像）</small> 波掛毛畏岐大帶日姬乃彼新羅人乎降伏賜時爾相共加力倍賜 <small>天照十三、二、丁酉</small>	時乃可稱曰大鈎言訖 <small>神代下</small>	命淳名城稚姬命定神地於穴磯邑祠於大市長岡岬 <small>神代二十五、三</small>	出吹出大地海原之諸神矣 <small>神代上</small>	我親治大地官 <small>神代二十五、一、庚</small>	飛驒國從五位下大津神等並從五位上 <small>貞觀九、九、庚申</small>	表筒男中筒男底筒男三神誨之曰吾和魂宜居大津渟中倉之長峽 <small>神代六、二</small>	飛驒國正六位上大藏神等並從五位下 <small>貞觀九、七、庚申</small>
三代	三代	文德	三代	書紀	書紀	書紀	書紀	三代	書紀	三代
五九七	二〇三	六〇一	三四八	八〇	一四九	二二	一四九	二九一	二〇二	二九二
五三三	一七九	五三六	三〇八	七〇	一三五	一九	一三五	二五九	一六八	二五九

才ホト

石見國從五位下大歲神並從五位上 <small>皇極三、四、巳節</small>	三代	三七三	三三〇
筑前國正六位上大歲神 <small>元龜四、三、乙亥</small>	三代	六七	五三九
次有神大戸之道尊 <small>神代上</small>	書紀	三	三
大古邊尊一云大戸之邊 <small>神代上</small>	書紀	三	三
亦曰大戸摩彥尊大戸摩姬尊 <small>神代上</small>	書紀	三	三
亦曰大戸摩彥尊大戸摩姬尊 <small>神代上</small>	書紀	三	三
阿波國意富門麻比咩神從五位下 <small>皇極三、八、四年</small>	三代	四九三	四三四
大古邊尊一云大戸之邊亦曰大戸摩彥尊大戸摩姬尊亦曰大富道尊 <small>神代上</small>	書紀	三	三
大富邊尊 <small>神代上</small>	書紀	三	三
豐前國正六位上大富神從五位下 <small>皇極三、七、巳節</small>	三代	七三	六四
亦曰大富道尊大富邊尊 <small>神代上</small>	書紀	三	三
亦曰大富道尊大富邊尊 <small>神代上</small>	書紀	三	三
亦曰大富道尊大富邊尊 <small>神代上</small>	書紀	三	三
大伴金村大連乃跪上天子鏡劍璽 <small>神代上</small>	書紀	三三九	二八五
大伴宿禰古麻呂一奉幣帛於伊勢 <small>神代上</small>	續紀	三三八	三三四
太神宮 <small>天智神代八、五、乙卯</small>	續紀	三三八	三三四

才ホト

于時大伴連遠祖天忍日命 <small>神代上</small>	書紀	六四	五六
和泉國從五位下大鳥神從五位上 <small>皇極九、七、巳節</small>	續後	三六七	三三六
正五位下勳八等大鳥神從四位下 <small>皇極九、七、巳節</small>	三代	三三	二〇
大鳥神等遣使奉幣為風雨祈 <small>皇極九、七、巳節</small>	三代	五〇	四四
大鳥神從三位 <small>皇極三、七、甲戌</small>	三代	一〇三	九一
大中姬命辭曰吾手弱女人也何能登天神庫耶 <small>皇極九、七、二</small>	書紀	一五三	一二九
大中朝臣 <small>中臣參照</small>	續紀	四八一	四五二
神祇伯大中朝臣清麻呂 <small>神代上</small>	續紀	五八八	五五〇
右大臣大中朝臣清麻呂奏神壽詞 <small>皇極三、十一、癸卯</small>	續紀	八〇一	七四三
大中臣清麻呂一補神祇大副一兼神祇伯一清麻呂時為神祇伯 <small>皇極三、七、巳節</small>	續紀	五六一	五二六
遣大中朝臣宿奈麻呂奉幣伊勢 <small>神代上</small>	續紀	五九八	五五八
太神宮 <small>皇極九、八、庚寅</small>	續紀	六四五	六〇〇
大中朝臣子老為神祇大副 <small>神代上</small>	續紀	六四五	六〇〇
大中朝臣子老為神祇伯 <small>神代上</small>	續紀	六五四	六〇八
神祇伯從四位下大中朝臣子老	續紀	六五四	六〇八

才ホト

為兼大輔 <small>皇極八、七、甲卯</small>	續紀	七三四	六八二
神祇伯從四位上大中朝臣子老為兼右京大夫 <small>皇極九、九、戊子</small>	續紀	七五三	六九九
遣參議神祇伯大中朝臣子老等相乙訓郡長岡村之地 <small>皇極三、五、丙戌</small>	續紀	七六六	七一一
大中朝臣子老為宮内卿神祇伯 <small>皇極四、五、甲寅</small>	續紀	七六九	七二四
大中朝臣子老為右大弁神祇伯 <small>皇極四、七、巳亥</small>	續紀	七六九	七二四
如故 <small>皇極四、七、巳亥</small>	續紀	七六九	七二四
正四位下大中朝臣子老為兵部卿神祇伯 <small>皇極五、三、丁未</small>	續紀	七六九	七二四
大中朝臣子老為宮内卿神祇伯 <small>皇極五、六、丁卯</small>	續紀	七六九	七二四
如故 <small>皇極五、六、丁卯</small>	續紀	七六九	七二四
參議正四位下大中朝臣子老為宮内卿神祇伯 <small>皇極七、十一、丁未</small>	續紀	八〇三	七四三
神祇伯大中朝臣子老卒 <small>皇極八、五、丙戌</small>	續紀	八〇四	七四五
遣大中朝臣諸魚叙松尾乙訓二神從五位下 <small>皇極三、十一、丁巳</small>	續紀	七五八	七〇三
大中朝臣諸魚為神祇伯 <small>皇極八、五、丙戌</small>	續紀	八〇五	七四六
神祇伯大中朝臣諸魚 <small>奉幣伊勢</small>	續紀	八三八	七七六

才ホト

太神宮 <small>皇極六、八、壬寅</small>	後紀	一五	一三
大中朝臣諸魚卒 <small>皇極十六、二、丁未</small>	三代	二八七	二五五
祖諸魚參議正四位上左大辨兼近衛大將神祇伯 <small>皇極九、七、巳節</small>	後紀	二八	二四
遣神祇大祐大中朝臣弟枚改作伊勢大神宮正殿 <small>皇極十八、五、辛未</small>	後紀	五三	四五
神祇大副大中朝臣全成 <small>奉幣石上</small> <small>皇極二十四、二、庚戌</small>	後紀	七四	六五
大中朝臣廣廣為神祇大副 <small>皇極四、七、巳節</small>	後紀	九一	七九
大中朝臣智治麻呂為兼神祇大副 <small>皇極三、四、甲寅</small>	後紀	九六	八六
神祇大副大中朝臣智治麻呂為兼右少辨 <small>皇極三、六、巳節</small>	後紀	一〇八	九五
大中朝臣智治麻呂為神祇大副 <small>皇極四、二、巳亥</small>	後紀	一〇五	九二
大中朝臣常麻呂為神祇大副 <small>皇極三、十一、甲辰</small>	後紀	一一八	一〇四
大中朝臣諸人為神祇大副 <small>皇極三、十一、甲辰</small>	後紀	一一八	一〇四
大中朝臣淵魚為神祇大副 <small>皇極七、六、甲辰</small>	後紀	一一二	一〇〇
為聖體有間使神祇伯大中朝臣	續後	二〇一	一八〇

淵魚奉幣於賀茂大神 <small>天長七、六、癸亥</small>	續後	二〇五	一八三
大中臣朝臣淵魚爲兼攝津守神祇伯如故 <small>天長七、七、丁未</small>	續後	三五七	三七
伊勢八幡等大神爲崇命神祇伯大中臣朝臣淵魚祈禱焉 <small>承和九、七、辛亥</small>	續後	四八四	四二九
散位從四位上大中臣朝臣淵魚卒一弘仁六年任神祇大副一諳練神事一兼掌伊勢大神宮祭主 <small>延和四、三、辛巳</small>	續後	二〇五	一八三
命神祇少副大中臣朝臣磯守等奉幣於住吉神氣比神 <small>承和九、八、己巳</small>	續後	二九五	二六〇
神祇少副大中臣朝臣磯守等奉幣於伊勢大神宮例也 <small>承和九、九、壬寅</small>	續後	三六七	三三五
遣神祇少祐大中臣朝臣禪守奉幣帛於住吉神氣比神 <small>承和九、八、己巳</small>	續後	二九五	二六〇
大中臣朝臣楳雄等平差使天長八、八、續後	續後	三三五	二九七
大中臣朝臣逸志爲兼神祇權少副內藏頭如故 <small>延和四、九、辛亥</small>	續後	四七三	四一九
神祇少副大中臣朝臣久世主平差使天御位上奉利稱奉幣 <small>承和九、七、丙戌</small>	文德	五五	四五九

神祇少副大中臣朝臣久世主向攝津國住吉大神社奉幣 <small>承和九、七、乙未</small>	三代	七	七
遣大中臣朝臣良人於伊勢大神宮 <small>天長二、九、庚寅</small>	三代	四六	四一
神祇大祐大中臣朝臣豐雄爲氣比氣多兩社使 <small>貞觀六、七、丁卯</small>	三代	七	六三
神祇大祐大中臣朝臣豐雄等向伊勢大神宮奉幣例也 <small>貞觀三、九、庚午</small>	三代	一〇〇	八九
神祇少副大中臣朝臣豐雄等奏言 <small>貞觀三、六、甲辰</small>	三代	一三三	一一八
神祇少副大中臣朝臣豐雄從五位下 <small>貞觀九、庚午</small>	三代	一四九	一三三
神祇少副大中臣朝臣豐雄於大極殿奉禱伊勢太神 <small>貞觀五、七、壬辰</small>	三代	一七五	一五六
神祇少副大中臣朝臣豐雄爲大副 <small>貞觀六、三、甲午</small>	三代	二四七	二一九
神祇大副大中臣朝臣豐雄等平差使天長八、七、庚申	三代	三〇八	二七四
遣神祇大副從五位下大中臣朝臣豐雄等向伊勢大神宮奉幣 <small>貞觀六、三、甲午</small>	文德	五三一	四六五

神祇大副大中臣朝臣豐雄從五位上 <small>貞觀十一、正、乙丑</small>	三代	三一五	二七九
遣從五位上大中朝臣直主等向伊勢太神宮奉幣 <small>貞觀五、十二、甲子</small>	三代	一五七	一三九
神祇少副正六位上大中臣朝臣有本平差使天長十六、四、乙丑	三代	四四四	三九一
遣神祇大副從五位下大中臣朝臣有本等向伊勢太神宮奉幣 <small>貞觀十八、七月、甲午</small>	三代	四九六	四三六
授神祇大副大中臣朝臣有本從五位上 <small>天長六、十一、庚午</small>	三代	五三九	四七二
遣神祇大祐大中臣朝臣有本於大極殿壇上祈請百神 <small>光曆二、二、庚寅</small>	三代	五五〇	四八一
以神祇大副大中臣朝臣有本等任伊勢齋內親王裝束司 <small>元慶三、七、癸巳</small>	三代	五九五	五一九
天皇喚中臣神祇大副大中臣朝臣有本稱唯一有本稱唯 <small>元慶三、九、甲申</small>	三代	五九七	五二二
神祇大副大中臣朝臣有本於稻荷社並奉幣告以大極殿成 <small>元慶四、二、己丑</small>	三代	六二二	五三四

遣神祇大副大中臣朝臣有本等奉幣於伊勢太神宮 <small>元慶五、九、丙辰</small>	三代	六五三	五六九
神祇大副大中臣朝臣有本言因元慶元年內裏犬產例停奉幣使 <small>元慶六、六月、甲午</small>	三代	六八四	五九三
神祇大副大中臣朝臣有本昇殿讀奏御體御下 <small>元慶八、六、己亥</small>	三代	七三六	六三七
遣大副大中臣朝臣有本等奉伊勢太神宮幣 <small>元慶八、九、庚辰</small>	三代	七四四	六四四
遣大副大中臣朝臣有本等奉太神宮幣 <small>元慶八、十一、庚辰</small>	三代	七四八	六四七
神祇大副大中臣朝臣有本正五位下 <small>元慶八、十一、壬午</small>	三代	七九六	六四八
任伊勢齋內親王裝束司神祇大副大中臣有本 <small>仁和二、六、辛未</small>	三代	七八	六九〇
主殿權助大中臣朝臣國雄平差使天御位記 <small>平令捧持天奉出須<small>貞觀十一、六、己亥</small></small>	三代	三一〇	二七六
大中臣朝臣國雄平差使天長十一、六、甲申	三代	三三五	二八八
大中臣朝臣國雄平差使天長十一、十、甲子	三代	三三七	二九九
遣大中臣國雄奉幣八幡大菩薩宮香椎宮宗像大神甘奈備神 <small>貞觀十二、丁酉</small>	三代	三四五	三〇五

大中臣朝臣國雄乎差使天 _{天智十三年}	三代	三四五	三〇六
大中臣朝臣國雄乎差使天 _{天智十三年}	三代	三四六	三〇七
大中臣朝臣國雄乎差使天 _{天智十三年}	三代	三四八	三〇八
大中臣朝臣國雄爲神祇大副 _{天智十三年}	三代	三六三	三三〇
停奉伊勢太神宮幣使遣神祇大副 _{天智十三年}	三代	三六三	三三一
大中臣朝臣國雄申事由 _{天智十三年}	三代	三三四	三二七
雅樂少允從六位上大中臣朝臣冬 _{天智十三年}	三代	三三四	三二七
名等乎差使天 _{天智十三年}	三代	三三五	三二三
春日社使大中臣朝臣冬名 _{天智十三年}	三代	三三五	三二三
賀茂御祖別雷兩社使前安藝介從 _{天智十三年}	三代	三六五	三二三
五位下大中臣朝臣是直 _{天智十三年}	三代	三六五	三二三
遣散位從五位下大中臣朝臣是直 _{天智十三年}	三代	五〇三	四四二
等向伊勢太神宮奉幣 _{天智十三年}	三代	五〇三	四四二
稻荷社使神祇大祐正六位上大中 _{天智十三年}	三代	三六五	三二三
臣朝臣常道 _{天智十三年}	三代	三六五	三二三
大中臣朝臣常道乎差使天 _{天智十三年}	三代	三八三	三三九
遣神祇大祐大中臣朝臣常道於伊 _{天智十三年}	三代	四二六	三七五
勢太神宮奉幣祈甘雨 _{天智十三年}	三代	四二六	三七五
大中臣朝臣常道等乎差使天 _{天智十三年}	三代	五一二	四五〇
春日神主神祇少副正六位上大中 _{天智十三年}	三代	五一二	四五〇

才ホナ

臣朝臣常道從五位下 _{天智十三年}	三代	六六〇	五七四
大中臣朝臣常道乎差使天 _{天智十三年}	三代	七三六	六二八
遣少副大中臣朝臣常道等奉幣伊 _{天智十三年}	三代	七三六	六二八
勢太神宮告以定齋內親王也 _{天智十三年}	三代	七五八	六五六
神祇少副大中臣朝臣常道爲丹波 _{天智十三年}	三代	七五八	六五六
介 _{天智十三年}	三代	七五八	六五六
石清水社使主水佑正六位上大中 _{天智十三年}	三代	三六五	三三三
臣朝臣坂田麻呂 _{天智十三年}	三代	三六五	三三三
平野社使神祇少副正六位上大中 _{天智十三年}	三代	三六五	三三三
臣朝臣有親 _{天智十三年}	三代	三六五	三三三
大原野社使大中臣朝臣鹿主 _{天智十三年}	三代	三六五	三三三
大中臣朝臣岑雄乎差使天 _{天智十三年}	三代	五三〇	四六五
遣從五位下行木工助大中臣朝臣 _{天智十三年}	三代	五三〇	四六五
伊度人等奉幣伊勢太神宮 _{天智十三年}	三代	五七〇	四九八
秦貞成向官愁祈太神宮司大中臣 _{天智十三年}	三代	五七〇	四九八
貞世犯用神物 _{天智十三年}	三代	七〇六	六二一
大中臣朝臣夏名乎差使 _{天智十三年}	三代	七〇六	六二一
遣大中臣朝臣宰雄判官一人主典 _{天智十三年}	三代	七六七	六六四
一人造伊勢太神宮據式 _{天智十三年}	三代	七六七	六六四
爲除凶服先遣大中臣氏人於五畿 _{天智十三年}	文德	七七一	六七四

才ホナ

內七道諸國以修大祓 _{天智十三年}	三代	六	六
遣大中臣氏人修祓禊 _{天智十三年}	三代	五二二	四五〇
分遣大中臣齋部兩氏六位已下於 _{天智十三年}	三代	五二二	四五〇
五畿七道諸國班幣境內神社 _{天智十三年}	三代	五三五	四六八
分遣大中臣氏人於五畿七道諸國 _{天智十三年}	三代	五三五	四六八
祓除境內穢惡爲供大嘗會也 _{天智十三年}	三代	七七六	七三〇
分遣大中臣氏人等於五畿七道諸 _{天智十三年}	三代	七七六	七三〇
國奉境內名神幣 _{天智十三年}	三代	七四二	六四三
分遣大中臣氏人等左右京五畿內 _{天智十三年}	三代	七四二	六四三
七道諸國解除 _{天智十三年}	書紀	一六	一五
次將矯其枉而生神號神直日神次 _{天智十三年}	書紀	一一	一九
大直日神 _{天智十三年}	書紀	一一	一九
出水吹生大直日神 _{天智十三年}	書紀	二二	一九
從一位大己貴神(大和)正一位 _{天智十三年}	三代	六六七	六三〇
其名曰大穴持神(大隅)至是爲官 _{天智十三年}	續紀	六六七	六三〇
能登國大穴持神宿那彥神像石神 _{天智十三年}	三代	六八	六〇
二前並列於官社 _{天智十三年}	三代	六八	六〇
伊和坐大名持御魂神(播磨)並從 _{天智十三年}	三代	二五	三三
四位下 _{天智十三年}	三代	二五	三三

才ホナ

才ホニ

才ホノ

時神憑人云我是大奈母知少比古 _{天智十三年}	文德	六〇五	五四〇
奈命也 _{天智十三年}	文德	六〇五	五四〇
大嘗 _{天智十三年}	三代	五五〇	四八一
大和國無位大仁保神從五位下 _{天智十三年}	三代	五五〇	四八一
從三位勳八等多坐彌志理都比古 _{天智十三年}	三代	三三	一九
神(大和)並正三位 _{天智十三年}	三代	三三	一九
因幡國從五位上多神正五位下 _{天智十三年}	三代	四三六	三七五
以尾張國多天神預於名神 _{天智十三年}	文德	五六六	五〇四
多天神從五位上 _{天智十三年}	文德	五六六	五〇四
正五位下多名神正五位上 _{天智十三年}	三代	五六一	五〇五
詔大將軍(大野朝臣)東人令祈請 _{天智十三年}	續紀	五六一	五〇五
八幡神焉 _{天智十三年}	續紀	三三〇	二二七
因幡國无位大野見宿禰神從五位 _{天智十三年}	三代	三三〇	二二七
從五位下多家神(安藝)從五位上 _{天智十三年}	三代	二六〇	二三〇
多家神從四位下 _{天智十三年}	三代	二六〇	二三〇
對馬嶋從五位下大告刀神並從五 _{天智十三年}	三代	三五	三三

才ホ八

四方爲大解除用物則國別國造輸 祓柱 <small>天武五年、八、辛丑</small>	書紀 六〇八 五二一
令天下悉大解除當此時國造等各 出祓柱奴婢一口而解除焉 <small>天武六年、丁巳</small>	書紀 六三三 五三二
詔諸國大解除 <small>天武六年、七月、辛巳</small>	書紀 六四五 五四二
遣使諸國大祓 <small>文德二年、十一月、癸亥</small>	續紀 五 五
鎮大安殿大祓 <small>天寶二年、三月、己卯</small>	續紀 二二 二二
廢大祓 <small>天寶二年、十二月、壬戌</small>	續紀 二四 二五
因諸國疫遣使大祓 <small>聖德太子、乙亥</small>	續紀 四一 四三
率妻姊妹會六月十二月晦大祓之 處 <small>聖德太子、乙巳</small>	續紀 一三八 一三三
東文忌寸等令任辨官人上大祓刀 是日百官大祓 <small>天武元年、二月、乙卯</small>	續紀 一五六 一五九
遣使大祓天下諸國欲行大嘗故也 天武元年、二月、乙卯	續紀 一六八 一六九
大祓以齋內親王將向伊勢 <small>天武元年、八月、辛巳</small>	續紀 三三四 三五五
京師及天下諸國大祓 <small>實德元年、九月、辛巳</small>	續紀 四一七 三九四
大祓以伊勢美濃等國風雨之災也 實德元年、八月、辛卯	續紀 五六七 五三一
	續紀 六三〇 五八八

才ホ八

大祓以風雨及地震也 <small>實德六年、十月、甲申</small>	續紀 六三三 五八九
大祓以災變屢見也 <small>實德七年、五月、乙卯</small>	續紀 六四〇 五九六
大祓京師及畿內諸國 <small>實德七年、六月、甲戌</small>	續紀 六四八 六〇三
大祓爲宮中頻有妖怪也 <small>實德八年、三月、辛未</small>	續紀 六六一 六一五
大祓遣使奉幣於伊勢神宮 <small>實德九年、三月、癸亥</small>	續紀 七三三 六七三
大祓百官不釋素服 <small>實德九年、五月、癸亥</small>	續紀 七五九 七〇四
遣使畿內七道大祓 <small>實德九年、十二月、癸酉</small>	續紀 八一七 七五七
百官釋服從吉是日大祓 <small>實德九年、五月、丁卯</small>	續紀 八三三 七六二
百官釋服大祓 <small>實德九年、四月、丙申</small>	續紀 八三三 七六二
待大祓使到祓清 <small>天武元年、五月、庚申</small>	後紀 七六 六九
六月十二月晦日大祓者中臣上御 祓麻 <small>高麗元年、八月、辛卯</small>	後紀 八八 七七
會諸司於朱雀門大祓爲除後太上 天皇之服也 <small>天武元年、五月、丙申</small>	續後 三三五
爲除凶服先遣大中臣氏人於五畿 內七道諸國以修大祓 <small>實德三年、四月、辛亥</small>	文德 五〇四 四四九
帝消除百官吉服大祓於朱雀門前 實德三年、四月、癸丑	文德 五〇四 四五〇
迎齋內親王大祓於建禮門前 <small>實德三年、五月、己卯</small>	文德 五〇八 四五三
大祓於建禮門前以命兩齋內親王 實德六年、八月、辛卯	文德 五一一 四五九

才ホ八

大祓於建禮門前以遣使也 <small>實德三年、七月、甲申</small>	文德 五一八
大祓於建禮門前以遣使也 <small>實德三年、七月、甲申</small>	文德 五三二 四六五
大祓於朱雀門前 <small>實德元年、八月、己巳</small>	文德 五三六 四七七
大祓於朱雀門前 <small>實德元年、七月、庚辰</small>	文德 五三六 四七七
大祓於朱雀門前 <small>實德元年、十一月、丁酉</small>	文德 五四〇 四八一
大祓於建禮門前伊勢齋內親王將 參大神宮故有此祓 <small>實德二年、四月、丁亥</small>	文德 五五一 四九〇
參大神宮故重有此祓 <small>實德二年、四月、癸巳</small>	文德 五五三 四九〇
大祓於新成殿前 <small>實德三年、十一月、壬戌</small>	文德 六〇四 五三九
冷然院南大庭大祓緣奉幣八幡大 菩薩宮使進發也 <small>天武元年、七月、癸巳</small>	文德 六二九 五六二
於冷泉院南路大祓爲遣諸名神社 奉幣帛之使 <small>天武二年、四月、辛丑</small>	文德 六四〇 五七一
是日於南大庭大祓 <small>天武二年、五月、己巳</small>	文德 六四三 五七五
大祓於朱雀門前 <small>天武二年、九月、甲戌</small>	三代 七 七
大祓於建禮門前 <small>天武二年、十一月、乙未</small>	三代 八 八
大祓於建禮門前 <small>天武二年、七月、丁巳</small>	三代 九 八
大祓大儼如常儀 <small>天武二年、十一月、丁巳</small>	三代 一七 一五

才ホ八

大祓於建禮門 <small>貞觀元年、五月、丁卯</small>	三代 一九 一七
大祓於建禮門前 <small>貞觀元年、五月、丙戌</small>	三代 二五 二二
大祓於建禮門前以明日可發奉幣 八幡大菩薩使也 <small>貞觀元年、二月、丙辰</small>	三代 二八 二五
大祓於建禮門前以觸穢之人入於 御在所也 <small>貞觀元年、四月、丙申</small>	三代 三六 三三
大祓於朱雀門前 <small>貞觀元年、六月、癸丑</small>	三代 四四 三九
大祓於建禮門前以明日將發奉諸 神社幣并財寶使 <small>貞觀元年、七月、丙寅</small>	三代 四五 三九
大祓於朱雀門前以心喪禮畢始從 常儀也 <small>貞觀元年、八月、壬子</small>	三代 四九 四三
大祓於朱雀門前爲行大嘗會事也 貞觀元年、九月、壬戌	三代 五〇 四四
大祓於八省院東廊爲大嘗會近也 貞觀元年、九月、壬午	三代 五一 四五
大祓於朱雀門前以定伊勢賀茂齋 內親王也 <small>貞觀元年、七月、甲午</small>	三代 五一 四五
大祓於朱雀門前大嘗祭解齋 <small>貞觀元年、十二月、辛巳</small>	三代 五五 四九
大祓於朱雀門前 <small>貞觀元年、十二月、辛巳</small>	三代 五七 五一
大祓於朱雀門前如常儀 <small>貞觀元年、六月、庚申</small>	三代 六九 六〇

イホハ

大祓建禮門前爲明日伊勢齋內親王將行禊也 <small>貞觀二、八、辛丑</small>	三代	七〇	六三
大祓於朱雀門前 <small>貞觀三、十二、乙未</small>	三代	八四	七四
大祓於建禮門前 <small>貞觀三、六、壬子</small>	三代	一〇一	八九
朱雀門前大祓如常 <small>貞觀三、六、壬申</small>	三代	一〇三	九一
大祓於建禮門前以伊勢齋內親王可入太神宮故也 <small>貞觀三、八、己未</small>	三代	一〇四	九二
大祓於朱雀門前 <small>貞觀三、八、庚午</small>	三代	一〇五	九三
大祓大儺如常 <small>貞觀三、十二、己巳</small>	三代	一一〇	九七
大祓於建禮門前以宮內省有馬死穢也 <small>貞觀四、六、丁未</small>	三代	一一三	一〇八
大祓如常 <small>貞觀四、六、丁卯</small>	三代	一一三	一〇八
大祓於建禮門前以攘妖祥 <small>貞觀四、十二、</small>	三代	一一七	一一三
大祓大儺如常 <small>貞觀四、十二、癸亥</small>	三代	一一〇	一一五
於御在所及建禮門朱雀門修大祓事以攘疫也 <small>貞觀五、二、甲午</small>	三代	一三七	一二二
大祓於朱雀門前以觸死穢人入禁中也 <small>貞觀五、二、乙未</small>	三代	一三七	一二三
於建禮門前大祓 <small>貞觀五、四、壬寅</small>	三代	一四四	一三八
朱雀門前大祓如常 <small>貞觀五、四、庚寅</small>	三代	一四九	一三三

才ホハ

大祓於建禮門前以明日將發奉幣伊勢太神宮使也 <small>貞觀五、九、己亥</small>	三代	一五四	一三九
大祓於建禮門前以夫嚙死人骸入神祇官故也 <small>貞觀五、七、己丑</small>	三代	一五六	一三九
大祓大儺如常 <small>貞觀五、十二、丁亥</small>	三代	一五七	一四〇
大祓大儺如常 <small>貞觀六、十二、壬午</small>	三代	一八八	一六七
大祓於建禮門前 <small>貞觀七、三、庚戌</small>	三代	二〇〇	一七八
大祓於朱雀門前例也 <small>貞觀七、六、己卯</small>	三代	二〇九	一八五
武德殿前有人死仍大祓於建禮門前以攘邪穢也 <small>貞觀七、七、庚申</small>	三代	二一〇	一八七
大祓於朱雀門前大儺並如常儀 <small>貞觀七、十二、丁未</small>	三代	二二一	一九六
大祓於會昌門前 <small>貞觀八、四、丁卯</small>	三代	二二六	二〇九
大祓於建禮門前以鼓吹司人死也 <small>貞觀八、四、甲申</small>	三代	二二七	二一〇
大祓於建禮門前 <small>貞觀八、四、乙未</small>	三代	二二八	二一一
於建禮門前 <small>貞觀八、四、乙未</small>	三代	二二四	二一六
雷而不雨大祓於建禮門前 <small>貞觀八、六、壬寅</small>	三代	二四四	二二六
大祓於朱雀門前如常 <small>貞觀八、六、壬寅</small>	三代	二四六	二二八

才ホハ

大祓於建禮門前 <small>貞觀八、七、甲辰</small>	三代	二四六	二二八
大祓於朱雀門前以配流罪人 <small>貞觀八、</small>	三代	二六〇	二三〇
大祓於建禮門前以圖書寮有人死也 <small>貞觀八、十二、壬戌</small>	三代	二六五	二三五
大祓於朱雀門前 <small>貞觀八、十二、辛未</small>	三代	二七〇	二三九
大祓於建禮門前 <small>貞觀九、四、己卯</small>	三代	二八二	二五〇
宮城京邑病苦死喪者衆仍大祓於朱雀門前 <small>貞觀九、五、丁卯</small>	三代	二八六	二五四
大祓於建禮門前去月內裏有大產穢 <small>貞觀九、七、壬申</small>	三代	二九一	二五九
大祓於朱雀門前并大儺如常 <small>貞觀九、</small>	三代	二九六	二六三
大祓於會昌門前 <small>貞觀九、二、丁丑</small>	三代	三〇〇	二六七
大祓於建禮門前 <small>貞觀九、九、丁酉</small>	三代	三〇七	二七三
大祓并大儺如常 <small>貞觀九、四、壬午</small>	三代	三二三	二七六
大祓於朱雀門前 <small>貞觀十一、十二、癸丑</small>	三代	三三七	二九九
明日應遣使伊勢大神宮由是大祓於建禮門前 <small>貞觀十二、九、丙辰</small>	三代	三六三	三三一
大祓於建禮門前 <small>貞觀十二、九、庚申</small>	三代	三六四	三三一
大祓於朱雀門前 <small>貞觀十二、十二、丙午</small>	三代	三七〇	三三七
朱雀門前大祓 <small>貞觀十三、六、甲辰</small>	三代	三七九	三三五

才ホハ

大祓於建禮門前 <small>貞觀十三、十一、辛丑</small>	三代	三九三	三四七
大祓朱雀門前 <small>貞觀十三、十二、辛未</small>	三代	三九三	三四八
大祓於建禮門前 <small>貞觀十四、正、辛卯</small>	三代	三九五	三四九
至于月滿於天皇心喪五月之限仍大祓於建禮門前 <small>貞觀十四、二、庚午</small>	三代	三九七	三五二
不奉伊勢太神宮幣以太政大臣薨也大祓於建禮門前 <small>貞觀十四、九、庚寅</small>	三代	四〇九	三六一
大祓於建禮門前 <small>貞觀十四、九、丁酉</small>	三代	四〇九	三六一
大祓大儺並如式 <small>貞觀十四、十二、丙寅</small>	三代	四一六	三六七
大祓於建禮門前緣春宮廳院火也 <small>貞觀十五、二、甲子</small>	三代	四一八	三六九
大祓大儺如式 <small>貞觀十五、十二、辛酉</small>	三代	四三六	三八四
應祠祈年大原野春日等神仍是日大祓於建禮門前 <small>貞觀十六、正、庚寅</small>	三代	四三八	三八五
明日將發奉幣伊勢太神宮使仍停廢焉大祓於建禮門前 <small>貞觀十六、九、乙未</small>	三代	四五三	三九八
由是平野一等諸祭皆從停廢大祓於建禮門前 <small>貞觀十六、十一、辛丑</small>	三代	四五九	四〇四
緣右近衛府失火之穢停月次神今食祭大祓於建禮門前 <small>貞觀十六、十二、乙未</small>	三代	四六〇	四〇五

大祓大儺如式 <small>貞觀十六、十七、甲申</small>	三代	四六一	四〇六
大祓於建禮門前 <small>貞觀十七、乙未</small>	三代	四六七	四一〇
大祓於朱雀門前例也 <small>貞觀十七、丙申</small>	三代	四七三	四一六
停月次神今食祭先是今月六日左近衛府人死神祇官染汚其穢大祓於建禮門前 <small>貞觀十七、丁酉</small>	三代	四七七	四二〇
大祓於朱雀門大儺例也 <small>貞觀十七、戊戌</small>	三代	四七九	四二二
大祓於建禮門前有事故停春日大原野祭之時不修大祓辨官依神祇官解而行之 <small>貞觀十八、乙卯</small>	三代	四八〇	四二二
於建禮門前修大祓以大極殿火災也 <small>貞觀十八、丙辰</small>	三代	四八六	四二七
以內裏犬死大祓於建禮門前 <small>貞觀十八、丁巳</small>	三代	四九六	四三六
大祓於朱雀門前 <small>貞觀十八、戊午</small>	三代	五〇五	四四四
大祓於朱雀門前以來十一月可修大嘗會也 <small>元慶元、八、戊戌</small>	三代	五三三	四六八
所司大祓於朱雀門前 <small>元慶元、九、丁酉</small>	三代	五三七	四七〇
於建禮門前修大祓 <small>元慶元、十一、癸丑</small>	三代	五三八	四七〇
大祓於朱雀門前大嘗祭祀齋也 <small>元慶元、十一、丙辰</small>	三代	五四〇	四七三

大祓追儺如常儀 <small>元慶元、十二、丙申</small>	三代	五四四	四七六
伊勢齋內親王欲以明日入野宮仍於建禮門前修大祓 <small>元慶元、八、己未</small>	三代	五七〇	四九九
大祓於建禮門外昨日辨官有人死穢今日不得發奉幣伊勢神宮使故修此祓 <small>元慶元、九、癸酉</small>	三代	五七一	五〇〇
大祓以明日伊勢齋內親王可進發也 <small>元慶元、九、乙亥</small>	三代	五九七	五二一
大祓追儺如常 <small>元慶元、十二、甲寅</small>	三代	六〇九	五三三
大祓朱雀門前 <small>元慶元、六、壬子</small>	三代	六二一	五四三
禁中犬死仍不發奉伊勢太神宮幣使大祓於建禮門前 <small>元慶元、九、壬戌</small>	三代	六二六	五四六
大祓追儺如常 <small>元慶元、十二、己酉</small>	三代	六三六	五五五
於建禮門前修大祓 <small>元慶元、二、辛巳</small>	三代	六三九	五五八
大祓 <small>元慶元、六、丙申</small>	三代	六四九	五七〇
大祓追儺如常 <small>元慶元、七、癸卯</small>	三代	六六二	五七五
於朱雀門前修大祓以去八日大膳職人死十日大藏省人死平野松尾賀茂等祭停止故也 <small>元慶元、四、甲申</small>	三代	六七三	五八五
臨時大祓於建禮門前行之因穢不	三代	六七三	五八五

可用大藏省帳仍用朱雀門也 <small>元慶元、六、甲午</small>	三代	六八一	五九〇
朱雀門前大祓 <small>元慶元、六、庚子</small>	三代	六八九	五九七
於朱雀門大祓及追儺如常 <small>元慶元、六、十二</small>	三代	七〇三	六〇八
大祓於建禮門前以二十四日伊勢齋內親王可入野宮也 <small>元慶元、七、八、乙卯</small>	三代	七〇八	六一二
停新嘗祭於建禮門前修大祓以內裏人死諸祀停廢也 <small>元慶元、七、十一、己卯</small>	三代	七〇八	六一三
停神今食祭大祓於建禮門前 <small>元慶元、七、十二</small>	三代	七一六	六一五
朱雀門前大祓并追儺如常 <small>元慶元、七、十二</small>	三代	七二六	六二〇
大祓於建禮門前以明日欲奉伊勢太神宮幣 <small>元慶元、八、二、丙辰</small>	三代	七三五	六二八
大祓於建禮門前以十日擬奉幣帛於伊勢太神宮也 <small>元慶元、八、四、丁酉</small>	三代	七三八	六三九
大祓於朱雀門前 <small>元慶元、八、六、庚午</small>	三代	七四三	六四三
於朱雀門前大祓以可修大嘗會也 <small>元慶元、八、丁巳</small>	三代	七五一	六五一
朱雀門前大祓公卿行事 <small>元慶元、八、十二</small>	三代	七六一	六六一
於建禮門前大祓 <small>元慶元、四、甲子</small>	三代	七六四	六六一
大祓於朱雀門前例也 <small>元慶元、六、甲午</small>	三代	七六九	六六六
於建禮門前大祓 <small>元慶元、九、丁酉</small>	三代	七七四	六六九

朱雀門前大祓并追儺如常 <small>元慶元、十二、丙申</small>	三代	七九三	六八八
大祓於建禮門前以去三日有人死穢也 <small>元慶元、四、乙卯</small>	三代	七九三	六八八
大祓於朱雀門前如常 <small>元慶元、六、丁未</small>	三代	七九九	六九一
大祓於朱雀門前以齋內親王來月應入伊勢太神宮也 <small>元慶元、八、乙亥</small>	三代	八〇五	六九七
建禮門前修大祓以明日奉伊勢太神宮神寶使可進發也 <small>元慶元、九、己卯</small>	三代	八〇五	六九七
大祓追儺如常 <small>元慶元、十二、甲戌</small>	三代	八一七	七〇二
欲行月次神今食祭內藏寮忽然犬死故大祓於建禮門前停祭事 <small>元慶元、四、丙申</small>	三代	八三〇	七一八
朱雀門前大祓如常 <small>元慶元、六、庚午</small>	三代	八三一	七一九
大炊寮(祭神) 大八嶋靈神を見よ <small>元慶元、五、壬申</small>	三代	六一九	五四〇
正二位勳一等大比叡神正一位 <small>元慶元、五、壬申</small>	三代	六一九	五四〇
當寺法主大比叡小比叡兩明神陰陽不測造化无爲弘誓亞佛護國爲心 <small>元慶元、三、庚子</small>	三代	八三〇	七〇九
勅加試延曆寺年分度僧二人其一 <small>元慶元、三、庚子</small>	三代	八三〇	七〇九
人爲大比叡神分 <small>元慶元、三、庚子</small>	三代	八三〇	七〇九

オホヒ

號大日靈貴 <small>一書云天照大神一書云天照大日靈尊</small>	書紀	九	九
以左手持白銅鏡則有化生之神是謂大日靈尊一書云天照及月弓尊並是質性明麗 <small>神代上</small>	書紀	一〇	一〇
昔我天神大日靈尊 <small>神代上</small>	書紀	八九	七六
東國不盡河邊人大生部多勸祭虫於村里之人曰一秦造河勝惡民所惑打大生部多 <small>神代上</small>	書紀	五〇一	四三〇
取其竹作大目鹿籠 <small>神代上</small>	書紀	七三	六四
尾張國大御靈神等列於官社 <small>神代上</small>	文德	五六六	五〇四
大幣帛 <small>神代乃大幣帛宇豆乃大幣帛幣帛參照</small>	續紀	一九	二〇
始任造大幣司 <small>神代上</small>	續紀	二〇	二一
為班大幣馳驛追諸國國造等 <small>神代上</small>	續紀	二二	二三
宜入大幣及月次幣例 <small>神代上</small>	三代	一九五	一七四
去正月爾差使天大幣乎奉出无志 <small>神代上</small>	三代	二四七	二一九
大幣帛奉出賜奉止所念行須 <small>神代上</small>	三代	二四九	二二一
大幣帛奉出給奉止所申岐一 <small>神代上</small>	三代	二四九	二二一

オホミ

乎令捧持天 <small>神代上</small>	三代	三六〇	三三八
神祇權大祐齋部宿禰高善乎差使天大幣令捧奉出 <small>神代上</small>	三代	三八三	三三九
九月乃神嘗乃大幣帛乎 <small>神代上</small>	三代	五五一	四八二
因茲今所祈申乃大幣帛爾御馬令牽副天 <small>神代上</small>	三代	六二二	五三四
基棟王乎差使天麟乃大幣帛乎令捧持 <small>神代上</small>	三代	二二四	一九〇
讚岐國從五位上大水上神並授正五位下 <small>神代上</small>	三代	四七〇	四一三
大水上天神正五位上 <small>神代上</small>	三代	五一五	四五三
正五位下大水 <small>神代上</small>	三代	一八	一〇八
穗積臣遠祖大水口宿禰奏言 <small>神代上</small>	書紀	一四九	一三五
倭大神著大水口宿禰 <small>神代上</small>	三代	二四七	二一八
下都磐根爾大宮柱廣敷立 <small>神代上</small>	三代	三三四	二九六
大宮柱廣敷立 <small>神代上</small>	三代	三八三	三三九
大宮柱廣敷立 <small>神代上</small>	三代	五一	四四九
伊勢度會乃宇治乃五十鈴乃河上乃下津石根爾大宮柱廣敷知立 <small>神代上</small>	三代	五二	四四九

オホミ

神祇官大宮主人長上例 <small>神代上</small>	續紀	三〇	三二
給大宮主御巫坐摩御巫生島御巫及諸神祝部等 <small>神代上</small>	續紀	二二	二〇
帝在東宮時為宮主踐祚之日為大宮主 <small>神代上</small>	文德	六四〇	五七一
大宮賣神 <small>丹後</small> 並從五位上 <small>神代上</small>	三代	二四	二二
大神主從六位上大神朝臣伊可保授從五位下 <small>神代上</small>	續紀	二八	二七一
大神神 <small>大三輪神</small> 大物主神參照	書紀	四五	四〇
此大三輪之神也 <small>神代上</small>	書紀	一一九	一〇九
高橋邑人活目為大神之掌酒 <small>神代上</small>	書紀	一一九	一〇九
天皇以大田田根子令祭大神 <small>神代上</small>	書紀	一一九	一〇九
宴于神宮一即開神宮門 <small>神代上</small>	書紀	一一九	一〇九
瀨和能等能 <small>神代上</small>	書紀	一一九	一〇九
以衣縫兒媛奉大三輪神 <small>神代上</small>	書紀	三〇三	二五三
遣使於大神社奉幣以告新羅无禮之狀 <small>神代上</small>	續紀	二〇六	二〇六
大神大物主神等並正三位 <small>神代上</small>	文德	五三三	四六六
加大神大物主神從二位 <small>神代上</small>	文德	五五三	四九二
從二位勳二等大神大物主神並從	三代	三三	一九

オホミ

一位 <small>神代上</small>	三代	二六	二三
從一位勳二等大神大物主神並奉授正一位 <small>神代上</small>	三代	四六	四〇
藤原朝臣四時為大神社使 <small>神代上</small>	三代	五〇	四四
大神神等遣使奉幣為風雨祈 <small>神代上</small>	三代	二九四	二六一
遣使於大神等神社奉幣先月祈五穀今以賽焉 <small>神代上</small>	三代	四八四	四二六
大神祭 <small>神代上</small> 停內裏灌佛以行神事也	三代	六七	五三九
大神祭仍停灌佛之儀以相當神事也 <small>神代上</small>	三代	一〇四	九三
越後國從五位上大神神並授從四位下 <small>神代上</small>	三代	一〇八	九五
備後國正六位上大神神並授從五位下 <small>神代上</small>	書紀	一九七	一六三
皇后曰必神心矣立大三輪社 <small>神代上</small>	續紀	二八一	二七一
大神神主大神朝臣伊可保授從五位下 <small>神代上</small>	書紀	四五	四〇
此大三輪之神也此神之子即甘茂	書紀	四五	四〇

才ホミ		才ホミ		才ホミ	
君等大三輪君等 <small>神代上</small>	續紀 三〇一	續紀 三〇二	續紀 三〇三	續紀 三〇四	續紀 三〇五
主神司大神田麻呂賜大神朝臣之姓 <small>天保神代上、十一、五節</small>	續紀 三〇三	續紀 三〇四	續紀 三〇五	續紀 三〇六	續紀 三〇七
主神大神朝臣田麻呂外從五位下 <small>天保神代上、十二、丁亥</small>	續紀 三〇三	續紀 三〇四	續紀 三〇五	續紀 三〇六	續紀 三〇七
八幡神宮主神大神多麻呂 <small>天保神代上、十二、丁亥</small>	續紀 三〇三	續紀 三〇四	續紀 三〇五	續紀 三〇六	續紀 三〇七
大神朝臣多麻呂並除名從本姓	續紀 三〇三	續紀 三〇四	續紀 三〇五	續紀 三〇六	續紀 三〇七
配於多嶽島 <small>天保神代上、十一、丁亥</small>	續紀 三〇三	續紀 三〇四	續紀 三〇五	續紀 三〇六	續紀 三〇七
無位大神朝臣田麻呂外從五位下 <small>天保神代上、十一、甲申</small>	續紀 四九五	續紀 四五六	續紀 四五六	續紀 四五六	續紀 四五六
八幡大神祝部從八位上大神杜女並授外從五位下 <small>天保神代上、八、乙卯</small>	續紀 二八七	續紀 二七六	續紀 二八七	續紀 二七六	續紀 二八七
八幡大神禰宜大神杜女賜大神朝臣之姓 <small>天保神代上、十一、甲卯</small>	續紀 三〇一	續紀 二九〇	續紀 三〇一	續紀 二九〇	續紀 三〇一
八幡大神禰宜尼大神朝臣杜女共與紫色一同乘輿拜東大寺 <small>天保神代上、十二、丁亥</small>	續紀 三〇三	續紀 二九二	續紀 三〇三	續紀 二九二	續紀 三〇三
尼杜女授從四位下 <small>天保神代上、十二、丁亥</small>	續紀 三〇三	續紀 二九二	續紀 三〇三	續紀 二九二	續紀 三〇三
大神朝臣杜女除名從本姓配於日向國 <small>天保神代上、十一、丁亥</small>	續紀 三〇三	續紀 二九二	續紀 三〇三	續紀 二九二	續紀 三〇三
八幡大神宮禰宜大神朝臣毛理賣	續紀 四九五	續紀 四五六	續紀 四九五	續紀 四五六	續紀 四五六
才ホミ		才ホミ		才ホミ	
八幡大神祝部大神宅女授從五位下 <small>天保神代上、八、乙卯</small>	續紀 二八七	續紀 二七六	續紀 二八七	續紀 二七六	續紀 二八七
所以不進供御者 <small>神代上</small>	書紀 七七	書紀 六七	書紀 七七	書紀 六七	書紀 七七
天社地社神稅者三分之一為擬供神二分給神主 <small>天保神代上、五、己丑</small>	書紀 六一〇	書紀 五二三	書紀 六一〇	書紀 五二三	書紀 六一〇
越前國丹生郡大虫神從五位下 <small>寶曆十一年、十二、甲辰</small>	續紀 六九九	續紀 六四九	續紀 六九九	續紀 六四九	續紀 六九九
大虫神並從五位下 <small>寶曆七年、四、庚子</small>	續紀 八三五	續紀 七七三	續紀 八三五	續紀 七七三	續紀 八三五
大虫神從四位下 <small>寶曆七年、四、乙巳</small>	續紀 八三五	續紀 七七三	續紀 八三五	續紀 七七三	續紀 八三五
丹後國大虫神並加從四位下 <small>寶曆二年、四、丙午</small>	文德 五六六	文德 五三三	文德 五六六	文德 五三三	文德 五六六
伊賀國正六位上大村神並授從五位下 <small>貞觀九年、三、庚辰</small>	三代 一四三	三代 一三六	三代 一四三	三代 一三六	三代 一四三
大神宮乃禰宜大物忌內人等 <small>寶曆七年、八、癸巳</small>	續紀 五二二	續紀 四八〇	續紀 五二二	續紀 四八〇	續紀 五二二
彼二級 <small>寶曆七年、八、癸巳</small>	續紀 七〇〇	續紀 六五一	續紀 七〇〇	續紀 六五一	續紀 七〇〇
大神宮司并禰宜大物忌加位二級 <small>天保神代上、五、己丑</small>	續紀 七〇〇	續紀 六五一	續紀 七〇〇	續紀 六五一	續紀 七〇〇
伊勢神宮禰宜大物忌內人賜爵一級 <small>天保神代上、八、己巳</small>	續紀 七三三	續紀 六八一	續紀 七三三	續紀 六八一	續紀 七三三
伊勢大神宮禰宜大物忌內人賜爵	文德 五八〇	文德 五二七	文德 五八〇	文德 五二七	文德 五八〇

才ホモ

一級 <small>寶曆六年、十一、辛亥</small>	文德 六四	文德 五四七	文德 六四	文德 五四七
伊勢大神宮禰宜大物忌內人賜爵一級 <small>天保神代上、二、己丑</small>	續後 二七六	續後 二四五	續後 二七六	續後 二四五
出羽國從五位上勳五等大物忌神正五位下 <small>天保神代上、五、丁卯</small>	續後 三一九	續後 二八三	續後 三一九	續後 二八三
詔曰天皇我詔旨爾坐大物忌大神亦申賜波久大神為崇大神乃於雲裏氏大神乃威稜 <small>天保神代上、七、己丑</small>	續後 三一九	續後 二八三	續後 三一九	續後 二八三
飽海郡正五位下勳五等大物忌神從四位下兼宛神封二戶 <small>天保神代上、七、己丑</small>	續後 三一九	續後 二八三	續後 三一九	續後 二八三
正四位上勳五等大物忌神預之官社 <small>貞觀四年、十一、乙丑</small>	三代 一三七	三代 一三三	三代 一三七	三代 一三三
正四位下勳五等大物忌神正四位上 <small>貞觀六年、二、壬戌</small>	三代 一七三	三代 一五三	三代 一七三	三代 一五三
大物忌神從三位 <small>貞觀六年、十一、庚子</small>	三代 一八六	三代 一六六	三代 一八六	三代 一六六
月山大物忌兩神社前雨石鏃六枚 <small>貞觀七年、四、己卯</small>	三代 三〇五	三代 二七一	三代 三〇五	三代 二七一
出羽國司言從三位勳五等大物忌神社在飽海郡山上 <small>貞觀十三年、五、辛酉</small>	三代 三七七	三代 三三三	三代 三七七	三代 三三三
大物忌神正三位 <small>貞觀十五年、四、己亥</small>	三代 四一九	三代 三七〇	三代 四一九	三代 三七〇

才ホモ

大物忌神並增封各二戶 <small>天保神代上、七、癸卯</small>	三代 五六七	三代 四九五	三代 五六七	三代 四九五
大物忌神進勳三等 <small>天保神代上、八、丁卯</small>	三代 五六九	三代 四九七	三代 五六九	三代 四九七
大物忌神並從二位 <small>天保神代上、二、辛亥</small>	三代 六四	三代 五三六	三代 六四	三代 五三六
神祇官言彼國飽海郡大物忌神俱成此惟崇在不敬 <small>天保神代上、十一、辛亥</small>	三代 七九	三代 六七四	三代 七九	三代 六七四
大國主神亦名大物主神 <small>神代上</small>	書紀 四四	書紀 三九	書紀 四四	書紀 三九
高皇產靈尊勅大物主神 <small>神代上</small>	書紀 六〇	書紀 五三	書紀 六〇	書紀 五三
歸順之首渠者大物主神 <small>神代上</small>	書紀 六〇	書紀 五三	書紀 六〇	書紀 五三
倭國域內所居神名為大物主神 <small>神代上</small>	書紀 一三七	書紀 一〇八	書紀 一三七	書紀 一〇八
自稱大物主神曰 <small>神代上</small>	書紀 一三八	書紀 一〇八	書紀 一三八	書紀 一〇八
以大田田根子命為祭大物主大神之主 <small>神代上</small>	書紀 一三八	書紀 一〇八	書紀 一三八	書紀 一〇八
父曰大物主大神母曰活玉依媛 <small>神代上</small>	書紀 一三八	書紀 一〇九	書紀 一三八	書紀 一〇九
以大田田根子為祭大物主大神之主 <small>神代上</small>	書紀 一三九	書紀 一〇九	書紀 一三九	書紀 一〇九
於朋望能農之能 <small>大物主</small> 介瀾之瀾 <small>神代上</small>	書紀 一三九	書紀 一〇九	書紀 一三九	書紀 一〇九
根 <small>神代上</small>	書紀 一三三	書紀 一一二	書紀 一三三	書紀 一一二
倭迹迹日百襲姬命為大物主神之	書紀 一三三	書紀 一一二	書紀 一三三	書紀 一一二

才ホモ

妻 <small>（書七、九）</small> 或云此山 <small>（三諸也）</small> 之神爲大物主神 <small>（書七、七）</small>	書紀	二九〇	二四二
從二位勳二等大神大物主神並從一位 <small>（貞觀元年、甲申）</small>	三代	三三	一九
大神大物主神並奉授正一位 <small>（天武天皇）</small>	三代	二六	三三
遺武諸隅 <small>（書云一名而使獻）</small> 而大母爾也 <small>（書六、七）</small>	書紀	一三五	二二五
始起大八洲國之號焉 <small>（書代上）</small>	書紀	五	五
由此謂之大八洲國 <small>（書代上）</small>	書紀	七	七
生大八洲國及山川草木 <small>（書代上）</small>	書紀	九	八
共生大八洲國 <small>（書代上）</small>	書紀	一一	一一
凡大八洲國之內莫不播殖而成青山 <small>（書代上）</small>	書紀	四三	三六
大炊寮大八嶋竈神齊火武主比命神並授從五位下 <small>（書二、十二、丙子）</small>	文德	五九四	五三九
大炊寮大八嶋竈神並授從五位下 <small>（天智元年、丙寅）</small>	文德	六一九	五五三
大炊寮從五位下大八島竈神八前並從五位上 <small>（貞觀元年、甲申）</small>	三代	三二	一九
五十猛命妹大屋津姬命 <small>（書代上）</small>	書紀	四三	三八

才ホヤ

分遷伊太郎會大屋都比賣都麻都比賣 <small>（紀伊）</small> 三神社 <small>（大寶二、己未）</small>	續紀	二二	二二
大屋都比賣神並從四位下 <small>（貞觀元年）</small>	三代	三五	三三
一段是爲大山祇神 <small>（書代上）</small>	書紀	一八	一六
一則首成爲大山祇神 <small>（書代上）</small>	書紀	一八	一七
妾是天神娶大山祇神所生兒也 <small>（書代下）</small>	書紀	五三	四六
對曰妾是大山祇神之子 <small>（書代下）</small>	書紀	六三	五五
對曰妾父大山祇神在 <small>（書代下）</small>	書紀	六三	五五
皇孫因謂大山祇神 <small>（書代下）</small>	書紀	六三	五五
大山祇神乃使二女持百机飲食奉進 <small>（書代下）</small>	書紀	六三	五五
大山祇神之女子吾田鹿葦津姬 <small>（書代下）</small>	書紀	六五	五七
大山祇神之女等大號盤長姬 <small>（書代下）</small>	書紀	六八	六〇
此神娶大山祇神女子 <small>（書代下）</small>	書紀	六九	六一
越智郡伊豫大山積神授從四位下充神戶各五烟 <small>（書代下）</small>	續紀	四八九	四八八
從四位下大山積神預名神 <small>（書代下）</small>	續後	二六七	二三七
從四位上大山積神從三位 <small>（貞觀元年）</small>	三代	七六	六七
大山積神階加正三位 <small>（貞觀元年）</small>	三代	二三五	二〇八
大山積神從二位 <small>（貞觀元年）</small>	三代	三六三	三三一

才ホヤ

大山積神正二位 <small>（貞觀十七、三、壬子）</small>	三代	四六八	四二一
廼生大日本豐秋津洲 <small>（書代上）</small>	書紀	五	五
生兒號大日本豐秋津洲 <small>（書代上）</small>	書紀	七	六
生大日本豐秋津洲 <small>（書代上）</small>	書紀	八	八
次大日本豐秋津洲 <small>（書代上）</small>	書紀	八	八
次大日本豐秋津洲 <small>（書代上）</small>	書紀	八	八
生大日本豐秋津洲 <small>（書代上）</small>	書紀	九	八
大倭神 <small>（倭大國魂神參照）</small>	書紀	一四九	一三五
誰人以令祭大倭大神即淳名城稚姬命食卜焉 <small>（書七、二五、三）</small>	書紀	六七〇	五六三
遣使者奉幣于大倭告以新宮 <small>（書代上）</small>	書紀	六七三	五六六
奉新羅調於五社—大倭 <small>（書代上）</small>	書紀	六七三	五六四
大和神等遣使奉幣爲風雨祈 <small>（書代上）</small>	三代	四九	四四
奉幣大和神祈無雨滂 <small>（貞觀十二年、壬申）</small>	三代	三六三	三三〇
大和等神社遣使班幣 <small>（元慶七年、丁巳）</small>	三代	七〇一	六〇六
大倭神主大倭宿禰水守授從五位下 <small>（天智十九、丙申）</small>	續紀	二八一	二七一
大倭忌寸小東人大倭忌寸水守二人賜姓宿禰爲有神宜 <small>（天智十九、壬辰）</small>	續紀	二二四	二二三
大倭忌寸水守賜姓宿禰爲有神宜 <small>（書代上）</small>	續紀	二四	二三

才ホヤ

大倭神主正六位上大倭宿禰水守授從五位下 <small>（天智十九、丙申）</small>	續後	二六〇	二三三
伯耆國會見郡大山神奉授從五位下 <small>（書代下）</small>	續後	二六〇	二三三
大山神並加正五位下 <small>（書代下）</small>	文德	六〇一	五三六
大山神並正五位上 <small>（貞觀九年、丁巳）</small>	三代	二八二	二五〇
修造攝津國大依羅社爲官社 <small>（書代上）</small>	續後	四三五	三八六
從五位下勳八等大依羅神並從四位下 <small>（貞觀元年、甲申）</small>	三代	三三	三二
大依羅神等遣使奉幣 <small>（貞觀元年、甲申）</small>	三代	五〇	四四
奉幣大依羅等社祈甘雨也 <small>（天寶元年、癸未）</small>	三代	五三〇	四六五
遣使大依羅等四神社奉神財 <small>（天寶元年、癸未）</small>	三代	五九三	五一八
大若子神 <small>（梅宮心見）</small>	三代	二〇七	一八四
因幡國無位大和佐美神並授從五位下 <small>（貞觀七年、丁巳）</small>	三代	二二〇	一九六
駿河國正六位上大井神從五位下 <small>（貞觀七年、丁巳）</small>	三代	二二〇	一九六
甲斐國從五位下大井俣神列於官社 <small>（貞觀九年、丁卯）</small>	三代	一五七	一四〇

オホキ	從五位下大井保神正五位下 <small>續紀七、八、甲申</small>	三代	一九九	一七七
オホヲ	但馬國正六位上大岡神從五位下 <small>續紀七、八、甲申</small>	三代	三二二	二七七
オムチ	河内國恩智大御食津彥命神等並 <small>續紀七、八、甲申</small>	文德	五三三	四六六
	正三位 <small>續紀三、十、甲申</small>	三代	三三	二〇
	正三位勳六等恩智大御食津比古命神並從二位 <small>續紀七、八、甲申</small>	文德	五三三	四六六
	河内國恩智大御食津姬命神等並 <small>續紀七、八、甲申</small>	三代	三三	二〇
	正三位 <small>續紀三、十、甲申</small>	三代	三三	二〇
	恩智大御食津比咩命神並從二位 <small>續紀七、八、甲申</small>	三代	三三	二〇
	恩智神等遣使奉幣爲風雨祈 <small>續紀七、八、甲申</small>	三代	五〇	四
オムヌ	肥前國正六位上溫沼神並從五位下 <small>續紀七、八、甲申</small>	三代	四八	三七六
	出雲國正六位上溫沼神並從五位下 <small>續紀七、八、甲申</small>	三代	三〇八	二七四
オモヒ	溫沼神並從五位上 <small>續紀七、八、甲申</small>	三代	三九三	三三七
	故思兼神深謀遠慮 <small>續紀七、八、甲申</small>	書紀	三〇	二七
	有高皇產靈尊之息思兼神云者 <small>續紀七、八、甲申</small>	書紀	三三	二八
オモヒ	故天照大神乃召思兼命問其不來之狀 <small>續紀七、八、甲申</small>	書紀	五三	四七
オリハ	思兼神思而告曰宜且遣雉問之 <small>續紀七、八、甲申</small>	書紀	五三	四七
オリベ	天照大神以思兼神妹萬幡豐秋津姬命配正哉吾勝々速日天忍穗耳尊爲妃 <small>續紀七、八、甲申</small>	書紀	五三	四九
オリキ	筑前國織幡神從五位下 <small>續紀七、八、甲申</small>	文德	五二七	四六〇
	織幡神並從五位上 <small>續紀七、八、甲申</small>	三代	二五	二二
	從五位下織幡神正五位下 <small>續紀七、八、甲申</small>	三代	五四一	四七三
	織部司正六位上辰巳隅神戌亥隅神並從五位下 <small>續紀七、八、甲申</small>	三代	六〇三	五二七
	山城國正六位上降居神並從五位下 <small>續紀七、八、甲申</small>	三代	三三五	二〇八
カ	時彼國有美人名曰鹿葦津姬 <small>續紀七、八、甲申</small>	書	六國	舊大
カアシ	故鹿葦津姬忿恨乃作無戶室入居 <small>續紀七、八、甲申</small>	書紀	五三	四六

カアシ

カアシ	其内而誓之曰 <small>續紀七、八、甲申</small>	書紀	一〇八	九三
カウシ	郊祀天神 <small>續紀七、八、甲申</small>	續紀	七六	七二〇
	祀天神於交野柏原賽宿禰 <small>續紀七、八、甲申</small>	續紀	七九三	七三五
	祀天神於交野其文曰 <small>續紀七、八、甲申</small>	文德	六〇四	五三九
	告以配天之事策命曰—交野乃原 <small>續紀七、八、甲申</small>	文德	六〇四	五三九
	爾昊天祭爲止志天—可祭事乎 <small>續紀七、八、甲申</small>	文德	六〇四	五三九
	藤原朝臣良相跪授郊天祝板—帝 <small>續紀七、八、甲申</small>	文德	六〇四	五三九
	北面拜天 <small>續紀七、八、甲申</small>	文德	六〇四	五三九
	向河内國交野郡柏原野設絕習禮 <small>續紀七、八、甲申</small>	文德	六〇四	五三九
	祠官盡會 <small>續紀七、八、甲申</small>	文德	六〇四	五三九
	有事圓丘 <small>續紀七、八、甲申</small>	後紀	四	三
カウツ	上野國賀茂神美和神火雷神並爲 <small>續紀七、八、甲申</small>	續後	二三五	二〇九
	伊賀保社預之名神 <small>續紀七、八、甲申</small>	續後	二九二	二五八
	拔鋒神赤城神伊賀保神並從五位下 <small>續紀七、八、甲申</small>	續後	四二〇	三七三
	甲波宿禰神從五位下 <small>續紀七、八、甲申</small>	文德	五二六	四七〇
	甲波宿禰神列於官社 <small>續紀七、八、甲申</small>	三代	二四	二二
	貫前神從四位下 <small>續紀七、八、甲申</small>	三代	三〇	二七
	波己曾神從五位下 <small>續紀七、八、甲申</small>	三代	三〇	二七
カウツ	倭文神列於官社 <small>續紀七、八、甲申</small>	三代	四八	四二
	倭文神從五位下 <small>續紀七、八、甲申</small>	三代	四八	四二
	小高神從五位下 <small>續紀七、八、甲申</small>	三代	一四六	一三〇
	若伊賀保神從五位下 <small>續紀七、八、甲申</small>	三代	一五五	一三八
	貫前神從四位上赤城神伊賀保神並正五位下 <small>續紀七、八、甲申</small>	三代	二八七	二五四
	甲波宿禰神正五位下赤城神伊賀保神並正五位上 <small>續紀七、八、甲申</small>	三代	三三五	二九八
	赤城神並從四位下 <small>續紀七、八、甲申</small>	三代	四三九	三八七
	丹生神從五位下 <small>續紀七、八、甲申</small>	三代	四七七	四三〇
	貫前神正四位下伊賀保神從四位下 <small>續紀七、八、甲申</small>	三代	四八四	四三六
	下甲波宿禰神正五位上 <small>續紀七、八、甲申</small>	三代	六〇一	五五六
	貫前神正四位上波己曾神若伊賀保神並從五位上 <small>續紀七、八、甲申</small>	三代	六一九	五五二
	貫前神從三位勳七等赤城沼神伊賀保神並從四位上 <small>續紀七、八、甲申</small>	三代	六二九	五八一
	四位下小祝神波己曾神並正五位上勳十二等賀茂神美和神並正五位下勳十二等稻袋地神從五位下 <small>續紀七、八、甲申</small>	三代	六二九	五八一

カウツ	勳十二等 <small>元慶四、五、貞觀</small>	三代	六二七	五四七
カウラ	伊賀保神正五位上 <small>元慶四、七、甲午</small>	續後	三〇八	二七三
	筑後國從五位下高良玉垂神從五位上 <small>天長七、四、丙辰</small>			
	高良玉垂神正五位下 <small>景福八、四、甲寅</small>	續後	三三三	二九四
	高良玉垂神從四位下 <small>長祿十五、十一、庚午</small>	續後	四七七	四〇五
	高良玉垂神從四位上 <small>長祿三、七、辛亥</small>	文德	五三三	四六六
	高良山玉垂神正四位下 <small>仁壽元、三、甲戌</small>	文德	五三一	四七三
	高良玉垂神階加從三位 <small>仁壽元、九、甲子</small>	文德	五三七	四七八
	高良玉垂名神位田四町 <small>寶龜二、五、丁卯</small>	文德	五八九	五二五
	高良玉垂命名神從五位下豐比咩神等充封戶并位田 <small>天長元、七、丁卯</small>	文德	六三七	五六〇
	高良玉垂神社火 <small>天長二、二、庚辰</small>	文德	六三六	五六八
	先是高良玉垂神及比咩神等正殿遇失火位記皆被燒損—但彥神—本位從三位今授正三位比咩神本位從五位下今授從四位下又同神殊授封廿七戶 <small>天長二、五、甲戌</small>	三代	二五	三三
	高良玉垂命神階加正二位 <small>貞觀六、七、乙未</small>	三代	一八〇	一六〇
カウラ	高良玉垂命神階加從一位 <small>貞觀十一、三、乙卯</small>	三代	三二一	二八五
カエヒ	阿波國從五位下鹿紅(江)比咩神從五位上 <small>元慶七、九、庚辰</small>	三代	七〇四	六〇九
カガ	加賀國忌浪神從五位下 <small>長祿二、七、庚寅</small>	續後	四七三	四三〇
	白山比咩神從三位 <small>長祿三、七、己卯</small>	文德	五六九	五〇七
	氣多若御子神授從五位下 <small>天長元、九、壬寅</small>	文德	六二六	五五九
	白山比女神正三位 <small>貞觀元、正、甲申</small>	三代	二四	二一
	白鳥神郡家神山代大堰神並從五位下 <small>貞觀十八、七、丙申</small>	三代	四九二	四三三
	瀧浪神正五位下 <small>元慶二、七、辛丑</small>	三代	五六五	四九四
	昨分堰神垂比咩神並從五位下 <small>天長三、六、壬午</small>	三代	五九三	五二八
カガセ	菅生神正五位下 <small>元慶七、十一、庚申</small>	三代	七一六	六一五
カガミ	其所不服者唯星神香々背男耳 <small>神鏡、寶鏡、八咫鏡、神寶、奉獻を見よ</small>	書紀	五三	四六
	使鏡作部遠祖天糠戶者造鏡 <small>神代上</small>	書紀	三三	二九
	上枝懸以鏡作遠祖天拔戶兒石凝戶邊所作八咫鏡 <small>神代上</small>	書紀	三五	三一
	鏡作上祖石凝姥命 <small>神代下</small>	書紀	五七	五〇
	鏡作天照御魂神並從五位上 <small>貞觀元、甲申</small>	三代	二三	二〇

カクシ	故葬於紀伊國熊野之有馬村焉 <small>神代上</small>	書紀	一一	一一
カグツ	次生火神祠遇突智 <small>神代上</small>	書紀	二二	一〇
	時伊弉册尊爲柯遇突智所焦而終矣 <small>神代上</small>	書紀	二二	一〇
	柯遇突智娶埴山姬生稚産靈 <small>神代上</small>	書紀	二二	一一
	伊弉册尊且生火神柯遇突智 <small>神代上</small>	書紀	二二	一一
	至於火柯遇突智之生也 <small>神代上</small>	書紀	一一	一一
	斬柯遇突智爲三段 <small>神代上</small>	書紀	一一	一一
	伊弉諾尊拔劍斬柯遇突智 <small>神代上</small>	書紀	一八	一六
	斬柯遇突智時其血激越 <small>神代上</small>	書紀	一八	一六
	伊弉諾尊斬柯遇突智命爲五段 <small>神代上</small>	書紀	一八	一七
カクル	遠江國正六位上賀久留神並授從五位下 <small>貞觀四、五、庚辰</small>	三代	一一〇	一〇六
カクレ	是以構幽宮於淡路之洲 <small>神代上</small>	書紀	三三	二二
カゴシ	大己貴神報曰吾將退治幽事 <small>神代下</small>	書紀	六〇	五三
カサイ	鹿兒島神(薩摩)並授從五位上 <small>貞觀三、高良玉垂神社火<small>天長二、二、庚辰</small></small>	三代	六四	五六
	高良玉垂神社火 <small>天長二、二、庚辰</small>	文德	六三六	五六八
	先是高良玉垂神及比咩神等正殿遇失火位記皆被燒損 <small>天長二、五、甲戌</small>	文德	六四三	五七三
カサヌ	手置帆負神定爲作笠者 <small>神代下</small>	書紀	六〇	五三
カサノ	以天照大神託豐鍬入姬命祭於倭笠縫邑 <small>神代六</small>	書紀	一一七	一〇七
カサミ	笠朝臣名麻呂爲齋宮頭 <small>寶龜六、七、辛未</small>	續紀	六三三	五八九
カシク	美作國從五位下加佐美神等並授從五位上 <small>貞觀六、八、己巳</small>	三代	一八四	一六三
	以薩摩國賀紫久利神預於官社 <small>天長元、六、庚午</small>	文德	五三五	四七六
	賀紫久利神並授從五位上 <small>貞觀三、庚午</small>	三代	六四	五六
	賀紫久利神正五位下 <small>貞觀七、五、乙巳</small>	三代	二〇五	一八二
	賀紫久利神正五位上 <small>貞觀八、四、辛巳</small>	三代	二二六	二〇九
	素戔鳴尊敕蛇曰汝是可畏之神 <small>神代上</small>	書紀	四一	三六
	祈請曰汝(狼)是貴神而樂麤行 <small>神代上</small>	書紀	三六七	三〇九
	汝(虎)威神 <small>神代六、十一</small>	書紀	三八七	三三七
	惶根尊 <small>亦曰吾屋惶根尊亦曰吾思權城尊亦曰吾權城根尊亦曰吾屋權城尊<small>神代上</small></small>	書紀	三	三
	次有面足尊惶根尊 <small>神代上</small>	書紀	四	四
	比至難波殺柏濟之惡神 <small>長祿二、七、十二</small>	書紀	一七〇	一四三
	近江國從五位下柏板神並從五位上 <small>元慶六、七、戊申</small>	三代	六八五	五九四

カシヒ

詣權日浦解髮臨海日吾被神祇之 教賴皇祖之靈 <small>神功傳記卷四</small>	書紀 一九六 一六三
遣使於筑紫香椎宮奉幣以告新羅 无禮之狀 <small>天保九、四、七</small>	續紀 二〇六 二〇六
遣大宰帥船親王於香椎廟 <small>天保三、八、廿三</small>	續紀 三九三 三七二
奉幣于香椎廟以爲征新羅調習軍 旅也 <small>天保六、六、十一、廿三</small>	續紀 四三八 四〇四
奉幣帛於櫻日廟賽靜亂之禱 <small>天保七、五、廿</small>	後紀 一一四 一一〇
奉御劍幣帛於香椎廟告新即位也 <small>天保七、四、廿</small>	續後 一九七 一七六
香襲宮二人(度者)於國分寺神 宮寺專心行道 <small>天保五、三、甲申</small>	續後 二七四 二四四
奉幣香椎廟 <small>天保八、五、己丑</small>	續後 三三四 二九六
香椎廟毛同爲祟賜信理登卜申勢理 —香椎廟爾毛當遣專使 <small>天保八、五、己丑</small>	續後 三三四 二九六
遣使奉幣於香椎廟爲令賀位無動 國家太平也 <small>天保七、十、癸酉</small>	續後 三八八 三四四
遣使奉幣香椎廟 <small>天保五、十二、甲寅</small>	續後 四五六 四〇六
高原王以寶劍明鏡名香綵帛等香 椎廟 <small>天保三、八、戊辰</small>	文德 五二九 四六三

カシヒ

遣藤原良方向香椎八幡大菩薩宮 奉寶幣 <small>天保七、七、己酉</small>	三代 一八四 一六四	文德 五三八 四七九
筑前國香椎廟司以六年爲任限 <small>貞觀六、八、己巳</small>	三代 一八四 一六四	
大中臣朝臣國雄奉幣香椎宮 <small>貞觀十、三、己酉</small>	三代 三四五 三〇五	
天皇我詔旨爾坐掛畏毛香椎廟乃廣 前爾申賜倍止申 <small>貞觀十二、二、丁酉</small>	三代 三四六 三〇六	
掛畏岐御唐國內乃諸神大知乎唱導 岐賜比天 <small>貞觀十二、二、丁酉</small>	三代 三四七 三〇七	
先是貞觀十六年大宰府言香椎廟 宮每年春秋祭日志賀嶋白水郎男 十人女十人奏風俗樂 <small>貞觀十八、五、癸卯</small>	三代 四八〇 四二一	
向香椎廟奉幣劍等物告以天皇即 位 <small>天保六、二、癸亥</small>	三代 五一二 四四九	
權日宮有託宣云 <small>天保二、十二、壬申</small>	三代 五七五 五〇三	
奉幣權日等大神 <small>天保二、十二、乙酉</small>	三代 五七六 五〇四	
其權日別奉綾羅御衣各一襲金銀 裝寶劍各一 <small>天保二、十二、乙酉</small>	三代 五七六 五〇四	
常陸國鹿嶋神奴二百十八人便爲 神戶 <small>天保三、九、丁丑</small>	續紀 三七八 三五九	

カシマ

放鹿嶋神賤男八十人女七十五人 從良 <small>神功傳記卷四、四、庚子</small>	續紀 五〇六 四七五
鹿嶋神賤一百五人 <small>實錄四、六、丙午</small>	續紀 六一〇 五七〇
藤原良繼病叙其氏神鹿嶋社正三 位 <small>實錄八、七、乙丑</small>	續紀 六五三 六〇六
鹿島神社祝正六位上中臣鹿島連 大宗外從五位下 <small>實錄十一、十、丁酉</small>	續紀 六九六 六四七
祈禱鹿嶋神討撥凶賊神驗非虛望 賽位封勅奉授勳五等封二戶 <small>實錄十一、十、丁酉</small>	續紀 七二八 六七七
鹿島神社等宮司人懷競望各稱讚 第 <small>實錄二十三、六、丙辰</small>	後紀 四三三 三七
住吉香取鹿嶋三神神社隔廿箇年 一皆改作 <small>實錄三三、六、辛卯</small>	後紀 一五三 一三五
鹿島大神祝外從八位上勳八等中 臣鹿島連川上 <small>天長十、四、丁丑</small>	續後 一九八 一七七
氣比大神祝禰宜准鹿島能登兩大 神祝禰宜令以把笏 <small>天長二、二、戊戌</small>	續後 二三八 二〇四
從二位勳一等建御賀豆智命正二 位 <small>天長三、五、丁未</small>	續後 二四五 二一八
下總國言香取神禰宜准常陸國鹿 嶋	續後 二五五 二二八

カシマ

島神禰宜遷代相續同令把笏 <small>實錄三、十、丙辰</small>	續後 三〇〇 二六五
建御加都智命從一位 <small>實錄六、七、丁丑</small>	續後 四一〇 三六三
補任鹿島大神宮權宮司庶務之勤 不異正任 <small>實錄十二、七、丁卯</small>	三代 二二六 二〇〇
常陸國鹿嶋神宮司言 <small>實錄八、五、丁酉</small>	三代 二二七 二〇一
鹿嶋太神宮物六箇院二十年間一 加修造所用材木工夫 <small>實錄八、五、丁酉</small>	三代 二二七 二〇一
鹿嶋神宮寺施入幡三十四流 <small>實錄十七、七、乙丑</small>	三代 四六七 四一〇
爲嚴咒詛 <small>嚴咒詛此云怡樂氏在年記 途能加辭難</small>	書紀 九七 八三
譬如水沫有所咒著也 <small>神武天皇紀 カシマ</small>	書紀 九八 八四
付祝人使作神奴 <small>實錄二十三、六</small>	書紀 四〇五 三四三
咒曰非吾手投以祝手投—咒訖欲 投火 <small>實錄二十三、六</small>	書紀 四〇五 三四三
山城國春日年新神並授從五位下 貞觀五、十二、辛酉	三代 一五七 一三九
從五位下春日戸神(河内)從五位上 以酒人內親王爲伊勢齋權居春日 齋宮 <small>實錄三、十一、己丑</small>	三代 二二 二〇
是時神(石上)乞之言春日臣族名 市河令治 <small>實錄七、三十九、十</small>	續紀 六〇五 五六五
	書紀 一五三 一二九

カスガ

春日神 <small>貞觀元年、甲申</small> 天兒屋根命參照	續後	三三〇	二九三
勅大和國添上郡春日大神々山之 内狩獵伐木等事令當國郡司殊加 禁制 <small>永觀八年、三、壬申</small>	文德	五二〇	四六四
遣藤原朝臣助向春日大神社 <small>延喜三、 巳未</small>	文德	五二〇	四六四
建御賀豆智命伊波比主命二柱乃 大神 平波 正一位爾天兒屋根命平 波從一位爾比賣神平波正四位上乃 御冠爾 <small>延喜三、九、巳未</small>	文德	五二〇	四六四
皇大神乃厚護爾依天之靈 <small>延喜三、九、巳未</small>	三代	四六	四〇
藤原朝臣仲統爲春日社使 <small>貞觀天、七、 巳未</small>	三代	四八	四二
始置延曆寺年分度者二人一人爲 春日神 <small>貞觀天、八、辛未</small>	三代	二二九	一九五
河内國平岡神四前准春日大原野 神春冬二祭奉幣 <small>貞觀七、十二、甲子</small>	三代	三九	二八二
天皇我詔旨止掛畏岐春日大神能廣 前爾恐美恐美毛申賜倍止申久 <small>貞觀十一、 二、丙申</small>	三代	三六五	三三三
春日社使大中臣朝臣冬名 <small>貞觀十二、十、 乙未</small>	三代	四七一	四一四
遣藤原秀道於春日神社奉幣兼禱	三代	四七一	四一四

カスガ

欲奉齋女以祈甘雨 <small>貞觀十七、六、巳未</small>	三代	四七一	四一四
天皇我詔旨止掛畏岐春日大神乃廣 前爾恐美恐美毛申賜倍止申久 <small>貞觀十七、 六、巳未</small>	三代	四七一	四一四
遣使於山城國大原野神社其禱同 春日社告文准春日神社 <small>貞觀十七、 巳未</small>	三代	五七四	五〇二
春日神主神祇少副正六位上大中 臣朝臣常道從五位下 <small>延喜三、十二、乙未</small>	三代	五七五	五〇三
身自向大和國春日神社奉幣 <small>延喜三、 十二、乙未</small>	三代	六八五	五九四
令大和國結作春日神社走馬場埽 <small>延喜六、七、甲子</small>	三代	七四三	六四三
新造神琴二面奉充春日神社以神 護景雲二年十一月九日所充破損 也 <small>元慶八、八、甲寅</small>	三代	七七四	六七〇
分遣使者於春日奉幣 <small>仁德元、九、癸卯</small>	三代	八二二	七二〇
春三月試度就中一人爲春日明神 分 <small>仁德三、三、戊子</small>	三代	三九	三七
〔春日齋女〕 新鑄銅印充春日齋院 <small>貞觀十三、六、丁未</small>	三代	三九	三七
詔以藤原朝臣須惠子爲春日并大 原野神齋 <small>貞觀八、十二、丙申</small>	三代	二六九	二三八

カスガ

春日大原野齋女藤原朝臣可多子 <small>貞觀七、四十二、庚戌</small>	三代	三二	二七七
差充騎兵四十人執杖士二十人備 春日齋女參社之威儀 <small>貞觀七、四十二、甲寅</small>	三代	三二	二七七
齋女始參於社 <small>貞觀十一、二、丙申</small>	三代	三八	二八二
掛畏岐皇太后乃齋女爾藤原朝臣 可多子平定天令奉仕 <small>貞觀十二、二、丙申</small>	三代	三九	二八二
春日神社奉幣兼禱欲奉齋女以祈 甘雨也 <small>貞觀十七、六、巳未</small>	三代	四七一	四一四
皇大神乃齋女不奉爾依天致此灾 <small>貞觀十七、六、巳未</small>	三代	四七一	四一四
藤原朝臣意佳子爲春日大原野神 齋女以前齋藤原朝臣可多子遭喪 也 <small>貞觀十七、十一、癸未</small>	三代	四七六	四一八
〔春日祭〕 典閣建部千繼被充春日祭使 <small>延喜廿四、 庚戌</small>	後紀	五一	四五
停平野春日等祭 <small>天竺二、十一、庚申</small>	三代	九	九
春日祭如常 <small>貞觀天、二、丙申</small>	三代	二六	二三
平野春日神祭如常 <small>貞觀天、十一、庚申</small>	三代	五三	四六
春日祭如常 <small>貞觀二、二、甲申</small>	三代	六一	五三

カスガ

春日平野祭如常 <small>貞觀六、十一、甲申</small>	三代	七九	六九
祈年祭并春日祭如常 <small>貞觀三、二、戊申</small>	三代	八八	七八
春日平野祭如常 <small>貞觀三、十一、壬申</small>	三代	一〇八	九六
春日祭如常 <small>貞觀四、二、戊申</small>	三代	一一三	一〇〇
平野春日祭如常 <small>貞觀四、十一、壬申</small>	三代	一二七	一一三
停春日祭 <small>貞觀五、十二、丙申</small>	三代	一三七	一一三
平野春日祭如常 <small>貞觀五、十二、丙申</small>	三代	一五六	一三九
春日祭如常 <small>貞觀七、三、庚申</small>	三代	一九四	一七三
平野春日祭如常 <small>貞觀七、十一、甲申</small>	三代	二一七	一九三
春日祭如常 <small>貞觀八、二、戊申</small>	三代	二二〇	二〇三
停春日祭以有穢也 <small>貞觀八、十一、庚申</small>	三代	二二〇	二〇三
春日祭如常 <small>貞觀九、二、壬申</small>	三代	二六四	二三四
平野春日祭並停以日蝕也 <small>貞觀九、十一、 丙申</small>	三代	二七五	二四四
春日祭如常 <small>貞觀九、十一、丙申</small>	三代	二九四	二六一
平野春日祭如常 <small>貞觀九、十一、丙申</small>	三代	二九四	二六一
春日祭如常 <small>貞觀十、二、壬申</small>	三代	三〇〇	二六七
平野春日祭如常 <small>貞觀十、十一、丙申</small>	三代	三〇八	二七四
春日祭如常 <small>貞觀十、十二、丙申</small>	三代	三三八	二八二
春日平野祭如常 <small>貞觀十二、十一、庚申</small>	三代	三三一	二九四
春日祭如常 <small>貞觀十二、二、甲申</small>	三代	三四三	三〇三
平野春日祭如常 <small>貞觀十二、十一、庚申</small>	三代	三六五	三三三

カスガ	是日春日祭 <small>貞觀十三、二、甲申</small>	三代	三七三	三三九
	春日等祭停止以太皇太后崩 <small>貞觀十三年</small>	三代	三九三	三四七
	春日祭如常 <small>貞觀十四、二、戊申</small>	三代	三九六	三五〇
	平野春日祭如常 <small>貞觀十四、十一、壬申</small>	三代	四一四	三六六
	今月一日初申可修春日祭而彼日有事而停是日祀之 <small>貞觀十五、二、戊申</small>	三代	四一八	三六九
	平野春日祭 <small>貞觀十五、十一、甲申</small>	三代	四三〇	
	應祠祈年大原野春日等神 <small>貞觀十六</small>	三代	四三六	三八五
	祭春日神例也一停遣勅使 <small>貞觀十六</small>	三代	四三八	三八五
	由是春日等諸祭皆從停廢 <small>貞觀十六</small>	三代	四五九	四〇四
	停春日祭 <small>貞觀十七、二、庚申</small>	三代	四六五	四〇九
	平野春日祭如常 <small>貞觀十七、十一、甲申</small>	三代	四七六	四一八
	承前之例有事故停春日大原野祭之時不修大祓 <small>貞觀十八、二、乙卯</small>	三代	四八〇	四二二
	停春日祭以皇太后宮犬死內裏染汗也 <small>貞觀十八、二、庚申</small>	三代	四八〇	四二二
	平野春日祭 <small>貞觀十八、十一、甲申</small>	三代	四九七	四三七
	春日祭 <small>元慶六、二、戊申</small>	三代	五一〇	四四八
	平野春日祭 <small>元慶六、十一、戊申</small>	三代	五三七	四七〇
	春日祭如常 <small>元慶二、二、壬申</small>	三代	五四八	四七九

カスガ	平野春日祭如常 <small>元慶二、十一、丙申</small>	三代	五七四	五〇二
	春日祭 <small>元慶三、二、壬申</small>	三代	五八一	
	平野春日祭如常 <small>元慶三、十一、庚申</small>	三代	六〇三	五二七
	春日祭 <small>元慶四、二、丙申</small>	三代	六一三	五三五
	平野春日祭 <small>元慶四、十一、庚申</small>	三代	六二九	五四八
	春日祭 <small>元慶五、二、甲申</small>	三代	六三九	五五八
	發春日祭使 <small>元慶五、十一、丁未</small>	三代	六五七	五七一
	平野春日祭 <small>元慶五、十一、庚申</small>	三代	六五七	五七一
	春日祭如常 <small>元慶六、二、甲申</small>	三代	六七〇	五八三
	停平野春日祭以去十日大藏省人死 <small>元慶六、四、甲申</small>	三代	六七三	五八五
	停平野春日祭以去月三日大藏省人死 <small>元慶六、十一、甲申</small>	三代	六八六	五九五
	春日祭如常 <small>元慶六、十一、甲申</small>	三代	六八七	五九五
	平野春日祭如常 <small>元慶七、十一、壬申</small>	三代	七〇八	六二二
	春日祭如常 <small>元慶八、二、丙申</small>	三代	七一六	六二九
	平野春日祭 <small>元慶八、十一、庚申</small>	三代	七四七	六四七
	春日平野祭 <small>元慶九、十一、甲申</small>	三代	七七七	六七三
	春日祭如常 <small>元慶九、二、庚申</small>	三代	七八九	六八二
	平野春日祭並如常 <small>元慶二、十一、甲申</small>	三代	八〇九	七〇〇

カスガ

カスガ	祈年祭并春日祭如常 <small>仁壽三、二、庚申</small>	三代	八一七	七〇六
	春日酒殿 <small>天智神皇二、二、乙亥</small>	續紀	三〇六	二九三
カスメ	糟目等十一神(參河)從五位下 <small>廿七、廿八</small>	文德	五三七	四七九
カズワ	遣和王並奉幣告以大極殿成 <small>元慶四、二、己丑</small>	三代	六二二	五三四
カゼノ	風神 龍田神社參照			
	亦曰級長津彥命是風神也 <small>神代上</small>	書紀	一三	一一
	時飛廉起風陽侯舉浪 <small>神代上</small>	書紀	一九八	一六四
	奉幣於五畿內風伯 <small>神代上</small>	續紀	五四三	五〇八
	一切靈鬼兩師風伯 <small>貞觀十六、三、壬午</small>	三代	四四二	三八九
	伊豫國正六位上風伯神從五位下 <small>貞觀十七、三、壬子</small>	三代	四六八	四二一
	安藝國正六位上風伯神並從五位下 <small>元慶七、十二、庚申</small>	三代	七二一	六一五
カゾノ	便以驚還而白其父神曰 <small>神代下</small>	書紀	七四	六五
	豐玉姬即白父神 <small>神代下</small>	書紀	七五	六五
	父神聞而奇之乃設八重席迎入 <small>神代下</small>	書紀	七六	六七
	遠江國任事鹿苑兩神並授從五位下 <small>貞觀三、七、丙辰</small>	文德	五一五	四五九
カソヤ	鹿苑神授從四位下 <small>貞觀二、庚辰</small>	三代	六一	五三
	下野國賀蘇山神從五位下 <small>元慶二、二、丙申</small>	三代	五七二	五〇〇

カタカ

カタカ	伊賀國正六位上鹿高神並從五位下 <small>貞觀十五、九、己丑</small>	三代	四三八	三七七
カタノ	交野 郊祀を見よ			
カタマ	紀伊國正六位上堅真音神從五位上 <small>貞觀六、五、己巳</small>	三代	四二	三七
カタメ	從五位上堅真音神列於官社 <small>貞觀七、三、己巳</small>	三代	二〇四	一八二
	堅真音神並授從四位下 <small>貞觀六、四、己巳</small>	三代	二二六	二〇九
	美作國從五位下形賣神等並授從五位上 <small>貞觀六、八、己巳</small>	三代	一八四	一六三
カタヤ	以山城國片山神列於官社兼預相嘗祀 <small>神代上</small>	文德	五九九	五三四
カタヲ	片山神從五位上 <small>貞觀六、五、甲申</small>	三代	二二	一九
カチス	片岡神(天和)並正五位上 <small>貞觀六、五、甲申</small>	三代	二二	二〇
	伯耆國勝宿禰神從五位下 <small>貞觀十三、三、己卯</small>	三代	五〇	四四
カチハ	讚岐國梶州天川宇夫志奈神並從五位下 <small>貞觀六、七、己巳</small>	三代	一八六	一六五
	勝速日天大耳尊此神娶丹鳥姬命 <small>神代下</small>	書紀	六九	六〇
	是時勝速日天忍穗耳尊立于天浮	書紀	五六	四九

カツサ	橋而臨眺之 <small>神代下</small> 上總國玉騎(崎)神從四位下 <small>續紀六、七、丁未</small> 前廣神代神高瀧神並授從五位下 <small>續紀七、九、丁未</small>	三代 三〇七 二七三	三代 三〇八 二七四
	神代神常世神並從五位下 <small>續紀六、七、丁未</small> 玉埼神正四位上姉前神嶋穴神飯 富神橋樹神並正五位下神氏(代) 神從五位上 <small>續紀六、七、丁未</small>	三代 五一四 四三三	三代 五二九 四六四
	玉埼神正四位上姉前神橋神飯富 神並正五位上建市神田原神並從 五位下 <small>續紀六、七、丁未</small>	三代 七四〇 六四一	
カツマ	筑前國正六位上賀津萬神 <small>續紀六、七、丁未</small>	三代 六一七 五三九	
カツミ	越中國賀積神並從五位下 <small>續紀六、七、丁未</small>	三代 四三三 三八一	
カツメ	長門國鹿集等四神並授從五位下 <small>續紀六、七、丁未</small>	文德 五三六 四七九	
カツラ	奉幣帛於葛木神社 <small>續紀六、七、丁未</small> 葛木倭文天羽雷命神並授從五位 上 <small>續紀六、七、丁未</small>	續紀 一五四 一五七	三代 三三 二〇
	葛城一言主神等並正三位 <small>續紀六、七、丁未</small> 正三位勳二等葛木一言主神並從	文德 五三三 四六六	三代 三三 一九
カツラ	二位 <small>續紀六、七、丁未</small> 肥前國正六位上葛木一言主神並 從五位下 <small>續紀六、七、丁未</small>	三代 四三八 三七六	
	葛木二上神(大和)並從五位上 <small>續紀六、七、丁未</small> 葛木火雷神並從二位 <small>續紀六、七、丁未</small> 葛木御縣神並從五位上 <small>續紀六、七、丁未</small> 葛木水分神並正五位下 <small>續紀六、七、丁未</small> 葛木水分神奉幣為風雨祈焉 <small>續紀六、七、丁未</small> 正二位葛木御歲神並從一位 <small>續紀六、七、丁未</small> 丹後國正六位上葛崎神並從五位 下 <small>續紀六、七、丁未</small>	三代 三三 三三 三三 三三 三三 三三 三三	三代 三三 三三 三三 三三 三三 三三 三三
カドシ	以河內國若江郡加津良神並預官 社 <small>續紀六、七、丁未</small>	三代 二七八 二四七	
カドノ	伊豫國正六位上門嶋神並從五位 下 <small>續紀六、七、丁未</small>	三代 七五六 六五四	
	齊内親王禊於葛野川 <small>續紀六、七、丁未</small> 齊内親王禊于葛野川諸司陪從如 常 <small>續紀六、七、丁未</small>	後紀 一〇二 八九	後紀 一三六 一三三
	伊勢齋内親王臨葛野河修禊 <small>續紀六、七、丁未</small> 近江國正六位上葛野神從五位下	三代 一〇五 九三	三代 一五四 一三七

カドノ

カトリ

カドノ	葛野月讀神並正二位 <small>續紀六、七、丁未</small> 香取神 伊波比主神參照	三代 三二 一九	三代 三二 一九
	藤原良繼病叙其氏神鹿嶋社正三 位香取神正四位上 <small>續紀六、七、丁未</small> 住吉香取鹿島三神社隔廿箇年 一皆改作 <small>續紀六、七、丁未</small>	續紀 六五三 六〇六	後紀 一五三 一三五
	下總國言香取神禰宜准常陸國鹿 島神禰宜遷代相續同令把笏 <small>續紀六、七、丁未</small> 勅以下總國神稅稻一充造正一位 勳一等香取神社雜舍料隔二十年 一作例也 <small>續紀六、七、丁未</small>	三代 六六七 五九六	續後 二五五 二三八
カナサ	齋主神號齋之大人此神今在乎東 國撮取之地也 <small>續紀六、七、丁未</small> 武藏國正六位上金佐奈神列於官 社 <small>續紀六、七、丁未</small>	書紀 五九 五三	三代 一三三 一〇八
カナダ	金佐奈神從五位下 <small>續紀六、七、丁未</small> 天目一箇神為作金者 <small>續紀六、七、丁未</small> 正六位上金立神從五位下 <small>續紀六、七、丁未</small> 肥前國金立神從五位上 <small>續紀六、七、丁未</small>	三代 一三四 一一〇	三代 七五〇 六四九
カナム	金村神(大和)並從五位上 <small>續紀六、七、丁未</small> 此化為神名曰金山彦 <small>續紀六、七、丁未</small>	三代 三三 二〇	書紀 一一 一一
カナヤ	對馬國銀山神並預官 <small>續紀六、七、丁未</small> 從五位下銀山神並從五位上 <small>續紀六、七、丁未</small> 肥前國正六位上銀山神從五位下 續紀六、七、丁未	續後 三三四 二八八	三代 三三三 三三三
カニモ	越前國金山彦神從四位下 <small>續紀六、七、丁未</small> 河內國正六位上掃部神並從五位 下 <small>續紀六、七、丁未</small>	文德 五三三 四六八	三代 四六一 四〇六
カネノ	以掃部王為伊勢太神宮使 <small>續紀六、七、丁未</small> 美濃國正六位上金神從五位下 續紀六、七、丁未	續紀 五三五 五〇一	三代 三三六
	特加大和國金峯神從三位 <small>續紀六、七、丁未</small> 以金峯神預於名神 <small>續紀六、七、丁未</small> 金峯神預於相骨月次并神今食祭 也 <small>續紀六、七、丁未</small>	文德 五六六 五〇四	文德 五七六 五二三
カハエ	金峰神並正三位 <small>續紀六、七、丁未</small> 常陸國正六位上河江神從五位下 續紀六、七、丁未	三代 五三一 四六六	三代 三三 二二
カハカ	近江國從五位下川枯神正五位下 續紀六、七、丁未	三代 九七 八六	

カハタ	川田神(近江)並從五位上 <small>貞觀元、正、甲申</small>	三代	三四	二二
カハチ	河内 <small>七、ウラカ</small> 牧園天兒屋根命同比咩神、思智神 <small>オムチ</small>	書紀	三三七	一九七
	天皇夢有神誨之曰河内人茨田連	續紀	三三八	三二三
	衿子二人以祭於河伯必獲塞 <small>仁德十</small>	續紀	七六六	七二〇
	賜河内國諸社祝禰宜等一百十八	續紀	七九三	七三五
	人正稅各有差 <small>天智神寶八、二、壬子</small>	續後	四三八	三八九
	祀天神於交野 <small>天智神寶六、十一、甲寅</small>	文德	五三三	四六六
	祀天神於交野 <small>天智神寶六、十一、甲寅</small>	文德	五二七	四七〇
	丹比神從五位下 <small>天智神寶十、十二、癸卯</small>	文德	五七四	五二二
	丹比神從五位上 <small>天智神寶三、七、辛亥</small>	文德	六〇四	五三九
	和爾神階加從五位上堤根津嶋女	文德	六三六	五六八
	神從五位下 <small>天智神寶三、十二、癸酉</small>	文德	六三九	五七〇
	大雷火明神從五位下 <small>天智神寶元、四、丙辰</small>	文德	六三九	五七〇
	向河内國交野郡柏原野(郊祀) <small>天智神寶三、十一、辛酉</small>	文德	六三九	五七〇
	伯太彥伯太姬神並預官社 <small>天智神寶二、己丑</small>	文德	六三九	五七〇
	天夷鳥命神授從五位下 <small>天智神寶二、三、癸未</small>	文德	六三九	五七〇
	杜本神正四位下丹比神正五位下	文德	六三九	五七〇
	春日戶神高宮神弓削神志紀長吉	文德	六三九	五七〇
	神狹山堤神狹山神菅生神並從五位上 <small>貞觀元、正、甲申</small>	三代	四六	四〇
	丹墀真人繩主爲丹墀社使 <small>天智神寶七、丙申</small>	三代	四六	四二
	良峯朝臣經世爲杜本社使 <small>天智神寶七、丙申</small>	三代	四六	四二
	飛鳥戶神正四位下若倭彥命若倭	三代	四六	四二
	姬命並從五位下 <small>貞觀元、八、丙申</small>	三代	四六	四二
	彌加布都命神比古佐自布都命神	三代	四六	四二
	階並加從二位 <small>貞觀元、七、庚午</small>	三代	四六	四二
	飛鳥戶神列於官社 <small>貞觀元、七、辛卯</small>	三代	四六	四二
	豐稻賣神御祖神御子宮神並授正	三代	四六	四二
	五位下 <small>貞觀元、十一、丁丑</small>	三代	四六	四二
	栗栖神從五位下 <small>貞觀元、四、庚戌</small>	三代	四六	四二
	田坐神從五位下 <small>貞觀元、四、甲子</small>	三代	四六	四二
	田坐神列於官社 <small>貞觀元、五、甲申</small>	三代	四六	四二
	栗栖神預之官社 <small>貞觀元、十一、乙亥</small>	三代	四六	四二
	建水分神正五位下 <small>貞觀元、八、壬戌</small>	三代	四六	四二
	野神授從五位下 <small>貞觀元、九、庚子</small>	三代	四六	四二
	酒泉(屋)神從五位下 <small>貞觀元、十二、癸酉</small>	三代	四六	四二
	石神常世岐姬神林氏神辛國神加	三代	四六	四二
	津良神中村神並預官社 <small>貞觀元、二、丙申</small>	三代	四六	四二

カハチ	天押日命神並從五位下 <small>貞觀元、十二、</small>	三代	四三五	三八三
	建水分神並從四位下 <small>貞觀元、三、癸酉</small>	三代	四三九	三八六
	掃部神並從五位下 <small>貞觀元、十二、癸未</small>	三代	四六一	四〇六
	野中神從五位下 <small>貞觀元、八、庚寅</small>	三代	四七四	四一七
	建水分神從四位上 <small>天智神寶三、九、壬子</small>	三代	五九七	五二二
	飛鳥戶神社賜田一町 <small>天智神寶八、庚戌</small>	三代	六三四	五四五
	栗栖神堺神並從五位下 <small>天智神寶七、十二、</small>	三代	七一	六一五
	垂水神二前並從五位上 <small>天智神寶三、十二、</small>	三代	八〇九	七〇〇
	東西文部上祓刀 <small>天智神寶八、庚午</small>	後紀	八八	七七
	河内王奉幣帛於同太神宮 <small>天智神寶三、</small>	續紀	三七五	三五六
	皇孫勅天鈿女命汝宜以所顯神名	書紀	五八	五三
カバネ	爲姓氏焉 <small>天智神寶代下</small>	書紀	九	八
カハノ	河神(河伯)	書紀	三三七	一九七
	次生川 <small>神代上</small>	書紀	三三七	一九七
	以祭於河伯必獲塞—因以禱于河	書紀	三三七	一九七
	河神崇之以吾爲幣 <small>天智神寶十一、十</small>	書紀	三三七	一九七
	禱河伯既無所効 <small>天智神寶七</small>	書紀	四九〇	四一〇
	都慕王者河伯之女感日精而所生	續紀	八二七	七五七
	延壽八、十二、丙申	續紀	八二七	七五七
カハチ	河海諸神扶持白業 <small>貞觀元、三、庚子</small>	三代	九七	八六
	上野國群馬郡无位甲波宿禰神從	續後	四三〇	三七三
	五位下 <small>天智神寶三、八、辛巳</small>	文德	五三六	四七〇
	甲波宿禰神列於官社 <small>貞觀元、十二、庚戌</small>	文德	五三六	四七〇
	甲波宿禰神從五位上 <small>貞觀元、六、丁亥</small>	文德	五三六	四七〇
	甲波宿禰神並正五位下 <small>貞觀元、十二、</small>	文德	五三六	四七〇
	甲波宿禰神正五位上 <small>貞觀元、四、丁巳</small>	文德	五三六	四七〇
	甲波宿禰神從四位下 <small>天智神寶八、庚寅</small>	文德	五三六	四七〇
	川俣神(天和)並從五位上 <small>貞觀元、正、</small>	文德	五三六	四七〇
	大宰府言管豐前國田河郡香春岑	文德	五三六	四七〇
	神望預官社以表崇祠許之 <small>天智神寶十二、</small>	文德	五三六	四七〇
	武藏國正六位上河輪神從五位下	文德	五三六	四七〇
	貞觀元、十二、甲寅	文德	五三六	四七〇
カバネ	山背國櫻井神等神稻給中臣氏	文德	五三六	四七〇
	大寶元、四、丙午	文德	五三六	四七〇
カハル	綴喜郡樺井社及道路鬼更爲祟即	文德	五三六	四七〇
	遣使祈謝之兼賜治牛疫方并祭料	文德	五三六	四七〇
	物 <small>天智神寶十一、乙卯</small>	文德	五三六	四七〇
カハチ	樺井神等遣使奉幣爲風雨祈 <small>天智神寶</small>	文德	五三六	四七〇
	從五位下樺井月讀神並正五位下	文德	五三六	四七〇

此神(稻田宮主)正在姪身 <small>傳代上</small>	書紀	四〇	三六
熱田祝部所掌之神(草薙解)是也 <small>傳代上</small>	書紀	四二	三六
此神(天穗日命)倭媚於大己貴神 <small>傳代下</small>	書紀	四七	四三
此神(天稚彥)亦不忠誠 <small>傳代下</small>	書紀	四八	四三
時此神(味耜高彥根神)容貌正類天稚彥平生之儀 <small>傳代下</small>	書紀	四九	四三
時有天石窟所住神 <small>傳代下</small>	書紀	五〇	四四
武甕槌神此神進曰 <small>傳代下</small>	書紀	五〇	四四
時此神(味耜高彥根神)形貌自與天稚彥恰然相似 <small>傳代下</small>	書紀	五四	四八
亦名天香々背男請先誅此神 <small>傳代下</small>	書紀	五九	五二
號齋之大人此神今在乎東國機取之地也 <small>傳代下</small>	書紀	五九	五二
代御手以祭此神(太玉命) <small>傳代下</small>	書紀	六一	五三
故天孫問其神(事勝國勝長狹) <small>傳代下</small>	書紀	六四	五七
故稱此神曰天國饒石彥火瓊々杵尊 <small>傳代下</small>	書紀	六七	五九
此神(玉依姬)爲天忍骨命妃 <small>傳代下</small>	書紀	六九	六〇
此神(天大耳尊)娶丹鳥姬 <small>傳代下</small>	書紀	六九	六〇
此神(瓊々杵尊)娶大山祇神女子 <small>傳代下</small>	書紀	六九	六〇

皇祖皇考乃神乃聖 <small>傳代下</small>	書紀	八九	七七
時神吐毒氣 <small>傳代下</small>	書紀	九三	八〇
祭天社國社之神 <small>傳代下</small>	書紀	九七	八四
所以司牧人神經綸天下 <small>傳代下</small>	書紀	一〇一	八七
教如此者誰神也 <small>傳代下</small>	書紀	一〇二	八八
我是倭國域內所居神名爲大物主神 <small>傳代下</small>	書紀	一〇七	九一
朕禮神尙未盡耶 <small>傳代下</small>	書紀	一一一	九五
有神人誨之曰 <small>傳代下</small>	書紀	一一二	九六
其神(大物主神)常晝不見而夜來矣 <small>傳代下</small>	書紀	一一三	九七
慕者日也人作夜也神作 <small>傳代下</small>	書紀	一一三	九七
便欲得郡內祭神云爾其所祭神是白石也 <small>傳代下</small>	書紀	一一三	九七
是時神(石上)乞之言春日臣族名市河令治 <small>傳代下</small>	書紀	一一三	九七
故諺曰神之神庫隨樹梯之此其緣也 <small>傳代下</small>	書紀	一一三	九七
其嶋人謂神而爲刀子立祠 <small>傳代下</small>	書紀	一一三	九七
是時禱神則志我神直入物部神直	書紀	一一三	九七

入中臣神三神矣 <small>傳代下</small>	書紀	一六七	一四二
詔之曰其山峯岫重疊且美麗之甚若神在其山乎 <small>傳代下</small>	書紀	一七三	一四四
授日本武尊曰形則我子實則神人 <small>傳代下</small>	書紀	一七四	一四六
仰視君容秀於人倫若神之乎 <small>傳代下</small>	書紀	一八六	一五五
時人曰父是天也兄亦君也其慢天違君何得免誅耶 <small>傳代下</small>	書紀	一八八	一五七
是浦口有男女二神一必是神之心 <small>傳代下</small>	書紀	一八九	一五八
時神託皇后而誨 <small>傳代下</small>	書紀	一九〇	一五九
天皇對神曰朕周望之有海無國誰神徒誘朕 <small>傳代下</small>	書紀	一九〇	一五九
盡祭神祇豈有遺神耶 <small>傳代下</small>	書紀	一九三	一六〇
時神亦託皇后曰 <small>傳代下</small>	書紀	一九三	一六〇
知所崇之神欲求財寶國 <small>傳代下</small>	書紀	一九三	一六〇
教天皇者誰神也願欲知其名 <small>傳代下</small>	書紀	一九四	一六〇
除是神復有神乎 <small>傳代下</small>	書紀	一九四	一六〇
於尾田吾田節之淡郡所居神之有也 <small>傳代下</small>	書紀	一九四	一六二

遂不言且有神矣 <small>傳代下</small>	書紀	一九四	一六一
是有神託沙麼縣主內避高國避高松屋種以誨天皇曰 <small>傳代下</small>	書紀	一九九	一六五
於是神託皇后以誨之 <small>傳代下</small>	書紀	二〇〇	一六五
天皇對神曰其雖神何謾語耶且朕所乘船既奉於神朕乘曷船然未知誰神時神稱其名曰表筒雄中筒雄底筒雄如是稱三神名 <small>傳代下</small>	書紀	二〇〇	一六五
於是神謂天皇曰汝王如是不信必不得其國 <small>傳代下</small>	書紀	二〇〇	一六六
時神導之由是隨船浪之遠 <small>傳代下</small>	書紀	二〇一	一六六
神(住吉)欲居之地必宜奉定 <small>傳代下</small>	書紀	二〇二	一六六
朕從神所驗始開道路 <small>傳代下</small>	書紀	二〇二	一六六
時天皇夢有神誨之曰 <small>傳代下</small>	書紀	二〇三	一六七
天皇知是神猶故問曰神(一事主神)侍送天皇至來目水 <small>傳代下</small>	書紀	二〇三	一六七
祠神祈福可不慎歟 <small>傳代下</small>	書紀	二〇三	一六七
天皇欲親伐新羅神戒天皇曰 <small>傳代下</small>	書紀	二〇四	一六八
依神(日神)乞獻田十四町 <small>傳代下</small>	書紀	二〇四	一六八
陛下仰答靈祇弘宣景命 <small>傳代下</small>	書紀	二〇四	一六八

カミ

精誠通靈 <small>卷二七</small>	書紀 三七一	三二八	三三四
祭神時到祭了而往 <small>卷五五</small>	書紀 三七一	三二八	三三四
屈請建邦之神—原夫建邦神—自天降來造立國家之神也 <small>卷十六、二</small>	書紀 四〇一	三三九	三三九
依卜者之言祭祠父神(佛) <small>卷十四、二</small>	書紀 四三三	三五九	三五九
天上有神地有天泉除是二神何亦有畏乎 <small>卷八、二</small>	書紀 四四六	三七五	三七五
常世神也祭此神者致富與壽 <small>卷三</small>	書紀 五〇一	四二〇	四二〇
禹都麻佐波柯微騰母柯微騰 <small>卷七</small>	書紀 五〇一	四二〇	四二〇
即以船一隻與五色綵帛祭彼地神 <small>卷五、二</small>	書紀 五五三	四六四	四六四
新除朝倉社木而作此宮之故神忿壞殿 <small>卷七、五</small>	書紀 五五九	四七〇	四七〇
時人曰二社神(高市身狹)所教之辭適是也 <small>卷七、五</small>	書紀 五九七	五〇一	五〇一
令居泊瀨齋宮是先潔身稍近神之所也 <small>卷四、己巳</small>	書紀 六〇〇	五〇四	五〇四
如鼓音者神造是嶋響也 <small>卷十三、五</small>	書紀 六三六	五三四	五三四
禱祈太宰所部神九處 <small>卷二、丁酉</small>	續紀 二二	二四	二四
遣使奉幣部內神 <small>卷三、八、甲戌</small>	續紀 四〇	四二	四二

カミ

敬神尊佛清淨為先 <small>卷七、戊辰</small>	續紀 一五〇	一五四	一五四
其在諸國能起風雨為國家有驗神未預幣帛者悉入供幣之例 <small>卷九、八</small>	續紀 二二一	二二〇	二二〇
神之貽答實由朕躬 <small>卷五、癸卯</small>	續紀 二九六	二八五	二八五
橘宿禰諸兄奉詔白神曰 <small>卷二、丁亥</small>	續紀 三〇三	二九一	二九一
神(八幡)我天神地祇乎率伊左奈比 <small>卷九、丁亥</small>	續紀 三〇三	二九二	二九二
神(八幡)吾不願矯託神命 <small>卷七、三</small>	續紀 三三六	三一三	三一三
將神合仁亭育之慈與天通事 <small>卷二、乙亥</small>	續紀 三六〇	三四三	三四三
寶字荐臻乃聖乃神 <small>卷二、八、庚子</small>	續紀 三七〇	三五二	三五二
括六合而承基乃神襲神 <small>卷二、八、庚子</small>	續紀 三七三	三五三	三五三
先祖所主之神化成老夫 <small>卷八、庚子</small>	續紀 四六三	四三五	四三五
犯怒人神之心而怨氣感動於上玄 <small>卷九、庚子</small>	續紀 四六五	四三七	四三七
天社國社乃神乎毛為夜備 <small>卷九、庚子</small>	續紀 四八二	四五三	四五三
神等乎方三寶與利雖天不觸物曾止奈毛人能念天在 <small>卷九、庚子</small>	續紀 四八二	四五三	四五三
大隅國海中有神造嶋 <small>卷九、庚子</small>	續紀 六六七	六二〇	六二〇
正倉被燒未必由神 <small>卷八、甲子</small>	續紀 七六六	七二八	七二八
往詣神宮神(八幡)託宣云云 <small>卷九、庚子</small>	後紀 二二	一八	一八

カミ

神即忽然現形其長三丈許 <small>卷十八、乙未</small>	後紀 二二	一九	一九
於是神(八幡)託宣 <small>卷十八、乙未</small>	後紀 二二	一九	一九
神之祐助良可嘉報 <small>卷十八、五、丙辰</small>	後紀 二八	二二	二二
神享之 <small>卷十八、六、戊子</small>	後紀 二九	二四	二四
開平城松井坊有新神託女巫 <small>卷十四、庚辰</small>	後紀 五一	四五	四五
待灾人神今復厚祿 <small>卷六、六、戊辰</small>	後紀 八二	七三	七三
人神之聖既缺 <small>卷四、丙子</small>	後紀 一一一	九八	九八
此神(武甕槌)坐採沙金之山 <small>卷六、二</small>	續後 二二八	二〇四	二〇四
阿耶賀大神從五位下此神坐伊勢國壹志郡 <small>卷十二、甲申</small>	續後 二二八	二二二	二二二
祭如神在必致微應 <small>卷三、七、壬午</small>	續後 二五一	二二四	二二四
最澄即於山下為神造寺續經 <small>卷四、丁酉</small>	續後 二六九	二四〇	二四〇
又轉禍為福佛神是先 <small>卷六、十、乙丑</small>	續後 二九一	二六四	二六四
惟神著明有誠必感 <small>卷六、十二、丙辰</small>	續後 三〇一	二六六	二六六
勅敬神如在 <small>卷七、四、戊辰</small>	續後 三〇八	二七二	二七二
上天反異惟神降休 <small>卷七、六、庚午</small>	續後 三一七	二八一	二八一
矧深仁所感神乃降於殊祥 <small>卷九、七、壬午</small>	續後 三五四	三二四	三二四
求之龜筮就于佛神隨分祓禳 <small>卷十二、乙卯</small>	續後 四〇八	三六一	三六一
寶祚之慶在道不在神 <small>卷十五、六、壬辰</small>	續後 四五一	三九九	三九九
神毛順比佛左倍敬給布 <small>卷三、丙辰</small>	續後 四六五	四一三	四一三

カミ

大御世乎萬代祈利佛爾毛神爾毛申 <small>卷三、丙辰</small>	續後 四六六	四一四	四一四
佛爾毛神爾毛申 <small>卷二、三、庚辰</small>	續後 四六七	四一五	四一五
此神(角避比古神)叢社神實為之 <small>卷三、丙辰</small>	文德 五二七	四六一	四六一
陂渠有神不欲遇水 <small>卷二、壬辰</small>	文德 五四八	四八七	四八七
人神福利古今如一 <small>卷二、九、甲戌</small>	文德 五九三	五二九	五二九
鹿島郡大洗磯前有神新降—體於神造非人間石 <small>卷三、十二、戊辰</small>	文德 六〇五	五三九	五三九
皇王至公代神工而布德 <small>卷二、己丑</small>	文德 六四四	五四七	五四七
有自伊豆新移神名阿氣大神 <small>卷二、己丑</small>	文德 六四五	五七六	五七六
此六社居雖異實是同神也 <small>卷二、己丑</small>	三代 二八	二五	二五
瑞光降神 <small>卷四、癸卯</small>	三代 三三	二九	二九
大士垂迹或王或神 <small>卷八、甲寅</small>	三代 四八	四二	四二
此神見稱有靈 <small>卷三、二、癸酉</small>	三代 九一	八〇	八〇
人神感慶 <small>卷三、三、戊子</small>	三代 九三	八二	八二
和神感鬼 <small>卷三、三、戊子</small>	三代 九四	八三	八三
依佛依神競祈其命 <small>卷七、十、癸酉</small>	三代 二一五	一九一	一九一
或亦託神言咀 <small>卷八、庚子</small>	三代 二二八	二〇二	二〇二
若神違乃御意止之 <small>卷八、七、庚申</small>	三代 二四八	二一九	二一九
遂乃天從人願神感聖仁 <small>卷八、八、甲午</small>	三代 二五三	二二三	二二三

カミノ	以畢神恩 <small>（シントオン参照）</small> 神教 <small>（海）</small> 神國 <small>（シニコクを見よ）</small>	書紀	一三八	一〇八
	汝則可以治神事 <small>（カミノコト）</small>	書紀	五九	五三
	天兒屋命主神事之宗源者也 <small>（天兒屋命）</small>	書紀	六一	五三
	其得度者皆以神字被於名首 <small>（神字）</small>	文德	五一	四五六
	天穗日命是神之傑也 <small>（天穗日命）</small>	書紀	四七	四二
	於是依神明願以真貞爲祝 <small>（神明願）</small>	三代	二八	一九四
	於是從彼神謀乃使雉往候之 <small>（神謀）</small>	書紀	五四	四七
	奉助神謀復興任那 <small>（復興任那）</small>	書紀	四三	三五四
	令嗣官卜兵器爲神幣 <small>（兵器）</small>	書紀	一四九	一三六
	宜圖造彼神之象而奉招 <small>（祈禱）</small>	書紀	三三	三八
	此大三輪之神也此神之子即甘茂君等大三輪君等 <small>（大三輪君）</small>	書紀	四五	四〇
	於日本國所居神御子 <small>（神御子）</small>	書紀	二〇〇	一六六
	高麗神子奉遣之使 <small>（高麗神子）</small>	書紀	五〇九	四二七
	必神心焉則立大三輪社以奉刀矛 <small>（神心）</small>	書紀	一九六	一六三
	以奉謝神心 <small>（奉謝神心）</small>	三代	三三	二〇四
	以奉謝神心消伏兵疫 <small>（消伏兵疫）</small>	三代	三三	二〇四
カミノ	神言 <small>（語）</small> カムゴトを見よ 神道。神靈。神魂。神宮 <small>（シントウ）</small> ウ、シンレイ、ミタマ、ジンクワを見よ 高天原所生神名曰天御中主尊 <small>（天御中主尊）</small> 乃吹撥之氣化爲神號曰級長戸邊 <small>（吹撥之氣）</small> 命 <small>（命）</small> 因以生神號曰八十枉津日神次將 <small>（八十枉津日神次將）</small> 因以生神號曰神直日神 <small>（神直日神）</small> 因以生神號曰底津少童命 <small>（底津少童命）</small> 因以生神號曰中津少童命 <small>（中津少童命）</small> 因以生神號曰表津少童命 <small>（表津少童命）</small> 因以生神號曰天照大神 <small>（天照大神）</small> 因以生神號曰月讀尊 <small>（月讀尊）</small> 因以生神號曰素戔嗚尊 <small>（素戔嗚尊）</small> 因化成神號曰磐裂神 <small>（磐裂神）</small> 乃所唾之時化出神號曰速玉之男神 <small>（速玉之男神）</small> 次掃之時化出神號曰泉津事解之男神 <small>（泉津事解之男神）</small>	書紀	一三	一三
		書紀	一六	一五
		書紀	一六	一五
		書紀	一六	一五
		書紀	一七	一五
		書紀	一七	一五
		書紀	一八	一六
		書紀	二〇	一八
		書紀	二〇	一八

カミノ	所生神號曰田心姫次湍津姫次市嶋姫 <small>（田心姫）</small>	書紀	二五	二三	
	所生神號曰正哉吾勝勝速日天忍 <small>（正哉吾勝勝速日天忍）</small>	書紀	二五	二三	
	穗耳尊 <small>（穗耳尊）</small>	書紀	五八	五三	
	皇孫勅天錮女命汝宜以所顯神名爲姓氏焉 <small>（皇孫勅天錮女命）</small>	書紀	五九	四四四	
	始於神名天皇名々 <small>（天皇名々）</small>	書紀	五九	四四四	
	拙弱臣連伴造國造以彼爲姓神名王名 <small>（拙弱臣連伴造）</small>	書紀	五二九	四四四	
	爰以神名王名爲人賂物 <small>（人賂物）</small>	書紀	五二九	四四四	
	悉問日本國之地里及國初之神名 <small>（悉問日本國）</small>	書紀	五四三	四五六	
	上宮 <small>（賀茂）</small> 四至之内爾伐木并穢損事在止勘申世利貞觀中 <small>（上宮）</small>	三代	三六〇	三一九	
	到熊野神邑 <small>（熊野神邑）</small>	書紀	九三	八〇	
	常爲神物也 <small>（常爲神物）</small>	書紀	一四二	一一九	
	伊香色雄爲神班物者 <small>（伊香色雄）</small>	書紀	一三八	一〇九	
	神奴 <small>（賤）</small> シンセンを見よ <small>（神奴）</small>	書紀	一一九	一一九	
カミマ	物部八十手所作祭神之物 <small>（物部八十手）</small>	書紀	一一九	一一九	
カミノ	カミヨ	伊伎宿禰是雄卒始自神代供龜卜事 <small>（伊伎宿禰）</small>	三代	三九九	三五三
	カミロ	自國常立尊迄伊弉諾尊伊弉册尊是謂神世七代者也 <small>（自國常立尊）</small>	書紀	四	四
	カムア	賀美侶伎能宿那毗古那加葦苜遠殖生志川々 <small>（賀美侶伎能）</small>	續後	四六五	四二二
	カムイ	幸于神淺茅原而會八十萬神以下問 <small>（幸于神淺茅原）</small>	書紀	一三七	一〇八
	カムガ	天皇親臨于神淺茅原 <small>（天皇親臨）</small>	書紀	一一八	一〇九
		神今食 <small>（神今食）</small> シンコジキを見よ	書紀	三一	二七
		顯神明之憑談 <small>（顯神明之憑談）</small> 歌本銀可梨	書紀	一三七	一〇八
		神明憑倭迹迹日百襲姫命曰天皇何憂國之不治也 <small>（神明憑倭迹迹）</small>	書紀	一四九	一三五
		倭大神著穗積臣遠祖大水口宿禰 <small>（倭大神著穗積臣）</small>	書紀	一九〇	一五九
		時神亦託皇后曰 <small>（時神亦託皇后）</small>	書紀	五九六	五〇一
		高市縣主許梅方著神以言 <small>（高市縣主許梅方）</small>	書紀	五九七	五〇一
		村屋神著祝曰 <small>（村屋神著祝曰）</small>	文德	六〇五	五四〇
		時神憑人云我是大奈母知少比古	文德	六〇五	五四〇

カムガ	カムコ	カムサ	カムス	カムダ
奈命也 <small>書紀三、十二、九</small>	巫甚多不可具聽 <small>書紀三、六</small>	此則神性雄健使之然也 <small>書紀上</small>	伊弉册尊生火神時被灼而神退去 <small>書紀上</small>	神實 <small>神財</small> <small>神寶を見よ</small>
于時叡山之神假口於人 <small>元龜八、三、丁</small>	巫覡等遂詐託於神語曰 <small>書紀三、七</small>	愛日本武尊不知主神化她 <small>書紀上</small>	其母伊弉册尊見焦而化去 <small>書紀上</small>	神實 <small>神財</small> <small>神寶を見よ</small>
神風 <small>書紀</small>	詔曰神語有言大中臣 <small>書紀三、六、乙</small>	既得殺主神其使者豈足求 <small>書紀上</small>	稚日女尊乃驚而墮機以所持梭傷 <small>書紀上</small>	神實 <small>神財</small> <small>神寶を見よ</small>
為御謠之曰伽牟伽窠能伊齊能于 <small>書紀</small>	流來禮留神語 <small>書紀三、三、乙</small>	伊弉册尊生火產靈時為子所焦而 <small>書紀</small>	體而神退矣 <small>書紀上</small>	神實 <small>神財</small> <small>神寶を見よ</small>
瀨能 <small>書紀</small>	新造神琴二面奉死春日神社 <small>書紀上</small>	伊弉册尊生火神時被灼而神退去 <small>書紀上</small>	一書云神素戔鳴尊速素戔鳴尊 <small>書紀上</small>	神實 <small>神財</small> <small>神寶を見よ</small>
神風伊勢國則常世之浪重浪歸國 <small>書紀</small>	遣神琴師蒼生朝臣末繼向攝津國 <small>書紀上</small>	神退矣亦云神避矣其且神退之時 <small>書紀上</small>	伊弉册尊生火神時被灼而神退去 <small>書紀上</small>	神實 <small>神財</small> <small>神寶を見よ</small>
也傍國可憐國也 <small>書紀上</small>	祭八十鳥 <small>書紀上</small>	伊弉册尊生火神時被灼而神退去 <small>書紀上</small>	其母伊弉册尊見焦而化去 <small>書紀上</small>	神實 <small>神財</small> <small>神寶を見よ</small>
神風伊勢國之百傳度逢縣之拆鈴 <small>書紀</small>	此則神性雄健使之然也 <small>書紀上</small>	伊弉册尊生火神時被灼而神退去 <small>書紀上</small>	稚日女尊乃驚而墮機以所持梭傷 <small>書紀上</small>	神實 <small>神財</small> <small>神寶を見よ</small>
五十鈴宮所居神 <small>書紀</small>	愛日本武尊不知主神化她 <small>書紀上</small>	伊弉册尊生火神時被灼而神退去 <small>書紀上</small>	體而神退矣 <small>書紀上</small>	神實 <small>神財</small> <small>神寶を見よ</small>
伊弉册尊神功既畢靈運當遷 <small>書紀上</small>	既得殺主神其使者豈足求 <small>書紀上</small>	伊弉册尊生火神時被灼而神退去 <small>書紀上</small>	一書云神素戔鳴尊速素戔鳴尊 <small>書紀上</small>	神實 <small>神財</small> <small>神寶を見よ</small>
神語 <small>神託、託宣參照</small>	伊弉册尊生火神時被灼而神退去 <small>書紀上</small>	伊弉册尊生火神時被灼而神退去 <small>書紀上</small>	伊弉册尊生火神時被灼而神退去 <small>書紀上</small>	神實 <small>神財</small> <small>神寶を見よ</small>
時得神語隨教祭祀 <small>書紀七</small>	神退矣亦云神避矣其且神退之時 <small>書紀上</small>	伊弉册尊生火神時被灼而神退去 <small>書紀上</small>	其母伊弉册尊見焦而化去 <small>書紀上</small>	神實 <small>神財</small> <small>神寶を見よ</small>
天皇聞神言 <small>書紀八、九</small>	伊弉册尊生火神時被灼而神退去 <small>書紀上</small>	伊弉册尊生火神時被灼而神退去 <small>書紀上</small>	稚日女尊乃驚而墮機以所持梭傷 <small>書紀上</small>	神實 <small>神財</small> <small>神寶を見よ</small>
即知不用神言而早崩 <small>書紀九</small>	體而神退矣 <small>書紀上</small>	伊弉册尊生火神時被灼而神退去 <small>書紀上</small>	一書云神素戔鳴尊速素戔鳴尊 <small>書紀上</small>	神實 <small>神財</small> <small>神寶を見よ</small>
時得神語隨教而祭 <small>書紀上</small>	一書云神素戔鳴尊速素戔鳴尊 <small>書紀上</small>	伊弉册尊生火神時被灼而神退去 <small>書紀上</small>	伊弉册尊生火神時被灼而神退去 <small>書紀上</small>	神實 <small>神財</small> <small>神寶を見よ</small>
則隨神言而皇后撫琴 <small>書紀上</small>	伊弉册尊生火神時被灼而神退去 <small>書紀上</small>	伊弉册尊生火神時被灼而神退去 <small>書紀上</small>	其母伊弉册尊見焦而化去 <small>書紀上</small>	神實 <small>神財</small> <small>神寶を見よ</small>
祝者適託神語 <small>書紀上</small>	神退矣亦云神避矣其且神退之時 <small>書紀上</small>	伊弉册尊生火神時被灼而神退去 <small>書紀上</small>	體而神退矣 <small>書紀上</small>	神實 <small>神財</small> <small>神寶を見よ</small>
國內巫覡等爭陳神語入微之說其 <small>書紀</small>	伊弉册尊生火神時被灼而神退去 <small>書紀上</small>	伊弉册尊生火神時被灼而神退去 <small>書紀上</small>	一書云神素戔鳴尊速素戔鳴尊 <small>書紀上</small>	神實 <small>神財</small> <small>神寶を見よ</small>
巫甚多不可悉聽 <small>書紀</small>	伊弉册尊生火神時被灼而神退去 <small>書紀上</small>	伊弉册尊生火神時被灼而神退去 <small>書紀上</small>	伊弉册尊生火神時被灼而神退去 <small>書紀上</small>	神實 <small>神財</small> <small>神寶を見よ</small>
國內巫覡—爭陳神語入微之說其 <small>書紀</small>	伊弉册尊生火神時被灼而神退去 <small>書紀上</small>	伊弉册尊生火神時被灼而神退去 <small>書紀上</small>	其母伊弉册尊見焦而化去 <small>書紀上</small>	神實 <small>神財</small> <small>神寶を見よ</small>

カムタ

カムツ

カムタ	カムツ	カムト
神楯 <small>カミタテを見よ</small>	神教 <small>書紀三、四、丁巳</small>	神祇伯 <small>ジシキハタを見よ</small>
讚岐國從五位下神谷神等並授從五位上 <small>鳥飼七、九、丁巳</small>	主神津守宿禰國麻呂 <small>書紀九、十一、乙卯</small>	定天社國社及神地神戶 <small>書紀七、十一</small>
神谷天神正五位下 <small>鳥飼十七、五、戊申</small>	大宰主神習宜阿蘇麻呂事道鏡矯 <small>書紀上</small>	命瀆名城稚姫命定神地於穴磯邑 <small>書紀上</small>
備後國正六位上神田神並從五位下 <small>鳥飼三、己酉</small>	八幡神教 <small>書紀上</small>	祠於大市長岡岬 <small>書紀上</small>
以山城國神足神列於官社 <small>書紀上</small>	銅印一面鑄宛伊勢齋宮主神司 <small>書紀上</small>	拔其帶劍大葉刈 <small>書紀上</small>
令祠官卜兵器為神幣 <small>書紀上</small>	神祇官中臣朝臣等 <small>書紀上</small>	喪屋 <small>書紀上</small>
侍奉大書中臣总部及神官人等悉賜祿 <small>書紀上</small>	神留坐 <small>書紀上</small>	
神官奏曰為新嘗卜國郡也 <small>書紀上</small>	高天原神積坐 <small>書紀上</small>	
侍奉新嘗神官及國司等賜祿 <small>書紀上</small>	高天原神積坐須皇親神魯岐神魯彌命 <small>書紀上</small>	
神司安認良民規為神賤 <small>書紀上</small>	高天原神積坐 <small>書紀上</small>	
主神司大神田麻呂賜大神朝臣之姓 <small>書紀上</small>	石見國靈神並從五位下 <small>書紀上</small>	
主神大神朝臣田麻呂外從五位下 <small>書紀上</small>	命瀆名城稚姫命定神地於穴磯邑 <small>書紀上</small>	
八幡神宮主神大神多麻呂 <small>書紀上</small>	祠於大市長岡岬 <small>書紀上</small>	
太宰主神習宜阿曾麻呂 <small>書紀上</small>	拔其帶劍大葉刈 <small>書紀上</small>	
太宰主神習宜阿曾麻呂詐稱八幡 <small>書紀上</small>	喪屋 <small>書紀上</small>	

カムト	素戔鳴尊斷地之劍今在吉備神部 許也 <small>(カムト參照)</small> 諸神部及國造伴造等 <small>(卷七、二、巳酉)</small>	書紀 四二 三七	カムナ	下 <small>(卷七、二、巳酉)</small> 奉幣甘南備神 <small>(卷十二、二、丁酉)</small> 天皇我詔旨止甘南備神乃廣前爾申 賜倍止申久 <small>(卷十二、二、丁酉)</small>	三代 三四五 三〇五
カムナ	巫覡 國內巫覡等爭陳神語入微之說其 巫甚多不可悉聽 <small>(卷二、二)</small> 巫覡等折取枝葉懸掛木綿—其巫 甚多 <small>(卷三、六)</small>	書紀 四九三 四一三	カムニ	神嘗祭 伊勢神宮參照 但以歌舞伎供九月祭 <small>(卷十八、七、巳酉)</small> 申今月九日宮中有穢神嘗幣帛不 得奉獻之狀 <small>(卷三、九、丁丑)</small>	後紀 三〇 二五
	巫覡等遂詐託於神語曰 <small>(卷二、七)</small> 秦造河勝惡民所惑打大生部多其 巫覡等恐休其勸祭 <small>(卷三、七)</small> 無知百姓構合巫覡妄崇淫祀 <small>(卷十一、甲辰)</small>	書紀 五〇一 四二〇		九月乃神嘗乃大幣帛 <small>(卷十三、九、甲申)</small> 常毛奉進留九月神嘗幣帛曾汝中 臣如常久申天奉進禮 <small>(卷三、九、甲申)</small>	三代 三八三 三三九
	隨神 カミナガラを見よ 土佐國正六位上神奈地祇神從五 位下 <small>(卷八、八、巳酉)</small>	後紀 六九九 六五〇		神祇官言檢格條奉伊勢太神宮九 月十一日神嘗等祭 <small>(卷六、七、甲寅)</small>	三代 六六六 五九五
	將矯其枉而生神號曰神直日神 <small>(卷七、甲辰)</small> 備後國從五位上甘南備神並正五 位下 <small>(卷九、四、丁丑)</small>	書紀 一六 一五	カム又	神主 イハヒマシ參照 以大田田根子命爲祭大物主大神 之主 <small>(卷七、八)</small>	書紀 一三八 一〇八
	甘南備神正五位上 <small>(卷二、十一、甲辰)</small> 肥前國正六位上甘南備神從五位	三代 五七四 五〇三		以市磯長尾市爲祭倭大國魂神之 主 <small>(卷七、八)</small>	書紀 一三八 一〇八

カム又

カム又	以大田田根子爲祭大物主大神之 主 <small>(卷七、十一)</small> 以長尾市爲祭倭大國魂神之主 皇太后選吉日入齋宮親爲神主 <small>(卷七、十一)</small> 因以依網吾彥男垂見爲祭神主 則以踐立爲祭荒魂之神主 <small>(卷七、十一)</small> 天社地社神稅者三分之一爲擬供 神二分給神主 <small>(卷六、五、巳酉)</small> 筑紫宗形神主外從五位下宗形朝 臣鳥麻呂 <small>(卷六、二、丁巳)</small> 大神神主大倭神主並授從五位下 出金山神主小田郡日下部深淵外 少初位下 <small>(卷六、四、甲辰)</small> 伊勢大神宮神主外從五位下神主 首名授外從五位上 <small>(卷六、四、甲辰)</small> 賜諸神主等新錢 <small>(卷六、四、甲辰)</small> 五位已上六位已下及僧尼神主等	書紀 一三九 一〇九	カム又	違犯之類復立科法 <small>(卷六、六、巳巳)</small> 令諸國神社神主相替之日與解由 肥後國阿蘇郡從三位勳五等健磐 龍命神社神主永預把笏 <small>(卷七、六、乙丑)</small> 平岡大神社神主永預把笏 <small>(卷七、六、乙丑)</small> 諸國三位已上名神々主及禰宜祝 等並預把笏 <small>(卷三、四、甲辰)</small> 二荒神社始置神主 <small>(卷三、九、丙寅)</small> 神主同職子孫相仍稽之律條既非 還正之類 <small>(卷三、六、甲子)</small> 今諸國牧宰不慎制旨專任神主禰 宜祝等令神社破損 <small>(卷六、七、甲辰)</small> 平岡神主一人給春冬當色軾新絹 布等 <small>(卷七、七、巳巳)</small> 一如平野梅宮神主 <small>(卷七、七、巳巳)</small> 大和國三歲神舊無神主而新置之 致崇答 <small>(卷八、二、巳未)</small> 貞觀二年奉爲國家祈請大菩薩奉 移此間望請准宇佐宮永置神主即	書紀 一三九 一〇九
	續紀 二〇一 一六六			後紀 一五九 一四二	
	書紀 六〇 五二三			續後 三八三 三三九	
	續紀 二二七 二二五			文德 五九八 五三三	
	續紀 二八一 二七一			三代 七三 六三	
	續紀 二九六 二八五			三代 一八〇 一六〇	
	續紀 三二七 三〇三			三代 二二四 一九〇	
	續紀 四〇七 三八五			三代 二二一 二〇四	
	後紀 八五 七四			三代 四九四 四三四	

カムヌ	以從八位上紀朝臣御豐爲之 <small>續</small> 以授春日神主神祇少副正六位上大申臣常道從五位下 <small>天保元年、十一、七末</small>	三代	五七四	五〇三
カムヌ	太神宮氏人神主姓荒木田三字一太神宮氏人有三神主姓 <small>天保三年、五、五子</small>	三代	五九〇	五一七
カムヌ	大和國城上郡從一位勳八等宗像神社准筑前國本社置神主以高階真人氏人爲之 <small>天保五年、七、五節</small>	三代	六五六	五七一
カムヌ	授伊勢大神宮禰宜從七位下神主 <small>天保五年、四、五末</small>	續紀	二九四	二八三
カムヌ	首名外從五位下 <small>天保五年、四、五末</small>	續紀	三二七	三〇三
カムヌ	伊勢大神宮神主外從五位下神主首名授外從五位上 <small>天保五年、五、丁末</small>	續紀	四〇一	三八〇
カムヌ	授外從五位上神主首名外正五位下 <small>天保五年、四、五末</small>	續紀	四〇一	三八〇
カムヌ	大神宮禰宜外從五位下神主首名外正五位下 <small>天保五年、八、八、八、八</small>	續紀	五二二	四八〇
カムヌ	授外正六位上神主枚人外從五位下 <small>天保五年、三、甲戌</small>	續紀	四〇一	三八〇
カムヌ	等由氣宮禰宜外正六位下神主忍人外從五位下 <small>天保五年、八、八、八、八</small>	續紀	五三三	四八一
カムヌ	授伊勢大神宮禰宜正六位上神主 <small>天保五年、四、巳末</small>	續紀	七〇五	六五五
カムヌ	磯守外從五位下 <small>天保五年、四、巳末</small>	續後	二五三	二二六
カムヌ	伊勢大神宮禰宜正六位上神主繼鷹授從五位下 <small>天保五年、八、甲寅</small>	續後	二五四	二二六
カムヌ	豐受神禰宜正六位上神主虎主授外從五位下 <small>天保五年、八、甲寅</small>	文德	五一九	四六三
カムヌ	天照大神宮禰宜從八位下神主繼長授外從五位下 <small>天保五年、三、九、甲申</small>	三代	一三三	一〇八
カムヌ	伊勢大神宮禰宜外從五位下神主繼長外從五位上 <small>天保五年、六、庚申</small>	三代	一三八	一一三
カムヌ	伊勢大神宮禰宜外從五位上神主繼長加外正五位下 <small>貞觀四年、十二、乙巳</small>	三代	二一九	一九四
カムヌ	授伊勢大神宮禰宜外從五位下神主繼長從五位下 <small>貞觀七年、十二、丙申</small>	文德	五三〇	四六三
カムヌ	豐受大神宮禰宜神主土主等授外從五位下 <small>貞觀七年、九、甲申</small>	文德	六三九	五七一
カムヌ	伊勢大神宮禰宜正八位下神主河繼授外從五位下 <small>天保五年、四、丁酉</small>	三代	一〇三	九〇
カムヌ	豐受宮禰宜正八位上神主河繼等一祖之後分爭歷年一河繼等各依			

カムヌ

カムヌ	私事互闕神事 <small>貞觀三年、六、甲子</small>	三代	一三八	一一三
カムヌ	授度會宮禰宜外正六位上神主河繼外從五位下 <small>貞觀四年、十二、乙巳</small>	三代	一〇三	九〇
カムヌ	內宮大内人外從八位下神主眞雄等一祖之後分爭歷年 <small>貞觀三年、六、甲子</small>	三代	一〇三	九〇
カムヌ	同宮副大内人外少初位下神主伊勢雄等一祖之後分爭歷年 <small>貞觀三年、六、甲子</small>	三代	二一九	一九四
カムヌ	豐受宮禰宜正六位上神主眞水外從五位下 <small>貞觀七年、十二、丙申</small>	三代	二二〇	一八六
カムヌ	備前國正六位上神根神等並從五位下 <small>貞觀七年、七、乙巳</small>	續紀	二二三	二二三
カムヌ	伊勢大神宮服祈用神戶調 <small>天保五年、八、庚申</small>	續紀	五三三	五〇一
カムヌ	奉神服於天下諸社 <small>天保五年、三、乙卯</small>	續紀	五三五	五〇二
カムヌ	每社男神服一具女神服一具 <small>天保五年、三、乙卯</small>	神祝	ハフリを見よ	
カムヌ	神戶 <small>神封参照</small>	書紀	一一九	一〇九
カムヌ	定天社國社及神地神戶 <small>貞觀七年、十一、甲申</small>	書紀	一一〇	一〇九
カムヌ	更定神地神戶以時祠之 <small>貞觀七年、十一、甲申</small>	書紀	一一六	一〇六
カムヌ	按車持部兼取充神者一分寄于神	書紀	二五九	二二六
カムヌ	祇車持部 <small>貞觀五年、十、甲子</small>	書紀	六六〇	五五四
カムヌ	增神戶田地 <small>貞觀四年、庚、庚子</small>	續紀	二二三	二二三
カムヌ	伊勢大神宮服祈用神戶調 <small>天保五年、八、庚申</small>	續紀	一三九	一四四
カムヌ	神戶當造籍帳戶无増減 <small>貞觀七年、五、乙卯</small>	續紀	一七九	一八〇
カムヌ	齋宮年料自今以后皆用官物不得依舊充用神戶庸調等物 <small>天保五年、七、庚申</small>	續紀	三七六	三五九
カムヌ	常陸國鹿嶋神奴二百十八人便爲神戶 <small>天保五年、三、丁丑</small>	續紀	四八八	四三三
カムヌ	但神戶不在此限 <small>天保五年、八、甲寅</small>	續紀	四八八	四三八
カムヌ	伊曾乃神大山積神充神戶各五烟	續紀	六〇〇	五六九
カムヌ	伊豫神野間神神戶各二烟 <small>天保五年、五、甲子</small>	續紀	六三三	五八九
カムヌ	充丹生川上神戶四烟 <small>貞觀四年、五、甲子</small>	續紀	六九九	六五〇
カムヌ	不問寺神之戶並免今年調庸 <small>貞觀六年、十二、丁酉</small>	續紀	五一	四四
カムヌ	脫漏神賤請編神戶 <small>貞觀十一年、乙未</small>	後紀	一一二	一三四
カムヌ	伊勢國多氣度會等七郡神戶百姓等緣徵正稅必加刑罰 <small>貞觀十三年、乙未</small>	後紀	一一一	一三四
カムヌ	有封神社者神戶修造 <small>貞觀十三年、乙未</small>	後紀	一一一	一三四
カムヌ	是神戶百姓奉爲賀茂太神所建立也 <small>天保七年、十二、癸未</small>	續後	二〇七	一八五

カンベ		爲諸神戶所行之政不據舊例 <small>續後</small>	續後	四七〇	四二八
		伊勢國飯野郡神戶百姓 <small>七〇六</small>	三代	七〇六	六六〇
		饗神祇官長以下至神部等一井賜絹等各有差 <small>六六七</small>	書紀	六六七	五六〇
		自非神部齋宮宮人及老嫗皆髻髮 <small>三五</small>	續紀	三五	三七
		廣嶋及祝神部授位賜祿 <small>一四二</small>	續紀	一四二	一四五
		遣神部鴨田連嶋人奉幣帛於伊勢 <small>四五〇</small>	續紀	四五〇	四三三
		大神宮 <small>二二〇</small>	三代	二二〇	二〇三
カムホ		信濃國神部兩神有忿怒之心 <small>九三</small>	續紀	九三	九六
		出雲國國造出雲臣果安齋竟奏神賀事 <small>一四一</small>	續紀	一四一	一四五
		出雲臣廣嶋奏神賀辭 <small>一六九</small>	續紀	一六九	一七一
		宗形朝臣鳥麻呂奏可奉神齋之狀 <small>三〇六</small>	續紀	三〇六	二九三
		出雲臣弟山奏神齋賀事 <small>三一〇</small>	續紀	三一〇	二九七
		出雲臣益方奏神賀事 <small>五〇三</small>	續紀	五〇三	四七二
		出雲臣益方奏神事 <small>五一九</small>	續紀	五一九	四八七
		出雲臣國成等奏神吉事 <small>七四四</small>	續紀	七四四	七〇九
カムミ		出雲臣國成奏神吉事 <small>七四四</small>	續紀	七四四	七〇九
		出雲臣旅人奏神賀辭 <small>七三三</small>	後紀	七三三	七二五
		出雲臣旅人授外從五位下緣神賀事 <small>一三〇</small>	後紀	一三〇	一一六
		出雲臣旅人奏神賀辭 <small>一四九</small>	後紀	一四九	一三三
		出雲國司奉國造出雲豐持等奏神壽一天皇御大極殿受其神壽 <small>一九八</small>	續後	一九八	一七六
		訶武保枳 <small>三〇七</small>	書紀	三〇七	一七一
		立神楯 <small>五八八</small>	續紀	五八八	五五〇
		中臣遠祖天兒屋根命則以神祝祝之 <small>三三</small>	書紀	三三	三〇
		神祝祝之此云加武保佐枳保佐枳 <small>三四</small>	書紀	三四	三〇
		見天照大神方織神衣居齋服殿 <small>三三</small>	書紀	三三	二八
		是後稚日女尊坐于齋服殿而織神之御服也 <small>三五六</small>	三代	三五六	五〇四
		櫛日八幡姬神別奉綾羅御衣各一襲 <small>六九</small>	書紀	六九	二
		次高皇產靈尊次神皇產靈尊 <small>六〇</small>	書紀	六〇	二
		神皇產靈尊之女栲幡千幡姬 <small>二二三</small>	三代	二二三	二〇六
		大和國從五位下神皇產靈神正五	三代	二二三	二〇六

カムム		位下 <small>百八三</small>	三代	二二	一八
		神祇官无位神產日神從一位 <small>二六</small>	三代	二六	二三
		神祇官從一位神產日神並奉授正一位 <small>四三</small>	三代	四三	四〇
カムヤ		爪工仲業—神魂命之後也 <small>一三三</small>	三代	一三三	一〇九
		是爲神日本磐余彦火火出見天皇之後 <small>八六</small>	書紀	八六	七五
		次神日本磐余彦尊 <small>八六</small>	書紀	八六	七五
		亦號神日本磐余彦火火出見尊 <small>八六</small>	書紀	八六	七五
		加號曰神日本磐余彦尊 <small>八六</small>	書紀	八六	七五
		亦號曰神日本磐余彦尊 <small>八六</small>	書紀	八六	七五
		次神日本磐余彦火々出見尊 <small>八七</small>	書紀	八七	七五
		用此解除竟遂以神逐之理逐之上 <small>三三</small>	書紀	三三	三〇
		右大臣大朝臣清麻呂奏神壽詞 <small>五八八</small>	續紀	五八八	五五〇
カムロ		我親神祖之所知穴戶國 <small>五三九</small>	書紀	五三九	四五三
		神魯岐神魯美命 <small>一四二</small>	續紀	一四二	一四六
		神魯岐神魯美命 <small>二九七</small>	續紀	二九七	二八六
		神魯岐神魯彌命 <small>三三三</small>	續紀	三三三	三三三
		神魯奔神魯美命 <small>三六八</small>	續紀	三六八	三四九
カモタ		神魯美命 <small>二〇五</small>	續後	二〇五	一八三
		將修禊事行幸賀茂河 <small>二二〇</small>	續後	二二〇	一九七
		久子内親王爲可侍伊勢齋宮先禊被賀茂川始入野宮 <small>二三一</small>	續後	二三一	二〇六
		高子内親王禊于賀茂川始入齋院 <small>二三四</small>	續後	二三四	二〇八
		齋内親王禊于賀茂川爲可入伊勢齋宮也 <small>二七三</small>	續後	二七三	二四三
		將有大嘗會天皇欲修禊祓幸賀茂河 <small>五三三</small>	文德	五三三	四六五
		伊勢齋内親王禊於鴨河 <small>五三六</small>	文德	五三六	四七七
		伊勢齋内親王禊於鴨川 <small>五三八</small>	文德	五三八	四七九
		帝幸鴨川大修禊事爲大嘗祭 <small>五五一</small>	文德	五五一	四九〇
		伊勢齋内親王禊於鴨川 <small>五二</small>	三代	五二	四五
		將奉大嘗會行幸鴨水修禊事 <small>五〇</small>	三代	五〇	五〇
		伊勢齋恬子内親王於鴨水邊六條坊門末修禊 <small>七〇</small>	三代	七〇	六三
		恬子内親王臨鴨水大修禊事 <small>九八</small>	三代	九八	八六
		賀茂齋内親王臨鴨水修禊事 <small>四五〇</small>	三代	四五〇	四二三
		遣神部鴨田連嶋人奉幣帛於伊勢	續紀	四五〇	四二三

カモタ

大神宮 <small>天保八年、九月丁未</small>	鴨部宜眞髮部津守等一十人賜姓	續紀	六九二	六四三
賀茂縣主 <small>寶曆十一年、四月、庚申</small>	鴨上下大神宮禰宜賀茂縣主廣友	續後	四〇一	三五五
等款云 <small>天保十一年、十一月、壬子</small>	御祖大社禰宜鴨縣主廣雄等 <small>天保十四年、正月、庚辰</small>	續後	四四六	三九五
賀茂別雷神禰宜賀茂縣主益雄外 <small>天保十四年、正月、庚辰</small>	從五位下 <small>天保十四年、正月、庚辰</small>	文德	五三三	四七四
賀茂上社禰宜賀茂縣主眞常 <small>貞享四年、丁未</small>	賀茂下社禰宜鴨縣主時主等並授	三代	一四四	一三八
外從五位下 <small>貞享四年、丁未</small>	禰宜千繼 <small>外從五位下乃冠授賜</small>	三代	四五〇	三九五
布一授御祖社禰宜賀茂縣主千繼	外從五位下 <small>貞享十四年、八月、甲子</small>	三代	四五〇	三九五
禰宜門麻呂等爾一別雷神禰宜賀	茂縣主門麻呂外從五位下 <small>貞享十四年、八月、甲子</small>	三代	四五〇	三九五
賀茂別雷神社禰宜鴨縣主眞基外	從五位下 <small>天保八年、四月、癸巳</small>	三代	七三五	六二七
鴨部船主同姓氏成等賜姓賀茂朝	臣速須佐雄命之苗裔也 <small>天保三年、五月、丁巳</small>	續後	二四七	二二一

カモノ

高鴨神者法臣圓興其弟賀茂朝臣	田守等言一遣田守迎之 <small>天保十年、庚子</small>	續紀	四六二	四三五
賀茂朝臣鹽管爲神祇大副 <small>天保十二年、庚辰</small>	賀茂朝臣大川爲神祇大副 <small>天保十二年、庚辰</small>	續紀	五二〇	四八七
賀茂朝臣大川爲神祇大副 <small>天保十二年、庚辰</small>	賀茂朝臣大川爲神祇大副 <small>天保十二年、庚辰</small>	續紀	七〇八	六五九
賀茂朝臣人麻呂爲齋宮頭 <small>天保十四年、正月、庚辰</small>	賀茂朝臣人麻呂爲齋宮頭 <small>天保十四年、正月、庚辰</small>	續紀	八〇八	七四八
齋宮頭從五位上賀茂朝臣人麻呂	爲兼伊勢守 <small>天保十四年、正月、庚辰</small>	續紀	七七二	七一五
賀茂神社 <small>御祖別雷神社</small>	奉幣帛於賀茂神社 <small>天保十四年、正月、庚辰</small>	續紀	一五四	一五七
奉幣所 <small>禰宜賀茂松尾等神社</small>	鴨部宜眞髮部津守等一十人賜姓	續紀	二七〇	二六一
賀茂縣主 <small>寶曆十一年、四月、庚申</small>	賀茂神二社禰宜祝等初把笏 <small>天保十四年、正月、庚辰</small>	續紀	六九二	六四三
於賀茂大神社奉幣以告遷都之由	敍賀茂上下二社從二位 <small>天保十四年、正月、庚辰</small>	續紀	七〇七	六五六
修理賀茂上下二社 <small>天保十四年、正月、庚辰</small>	賀茂下上神社充愛宕郡封各十戶	續紀	七五八	七〇三
		續紀	七五八	七〇三
		續紀	七五八	七〇三
		續紀	七五八	七〇三
		續紀	七五八	七〇三

カモノ

始用新錢奉賀茂上下二社 <small>天保十四年、正月、庚辰</small>	遣使奉幣帛於賀茂神社 <small>天保十四年、正月、庚辰</small>	後紀	八	六
所定山陵地近賀茂神疑是神社致	災火乎 <small>天保十四年、正月、庚辰</small>	後紀	七三	六四
奉幣於賀茂大神宮以告高子內親	王定齋院之狀 <small>天保十四年、正月、庚辰</small>	後紀	一八一	一六〇
爲聖體有間使神祇伯大中臣朝臣	淵魚奉幣於賀茂大神 <small>天保十四年、正月、庚辰</small>	續後	二〇一	一八〇
仍令大和山城二國介以上親奉幣	於賀茂上下社以祈霽 <small>天保十四年、正月、庚辰</small>	續後	二〇三	一八五
道場一處在山城國愛宕郡賀茂社	以東一許里一岡本堂神戶百姓奉	續後	二〇七	一八五
爲賀茂太神所建立也 <small>天保十四年、正月、庚辰</small>	遣唐使奉幣帛賀茂大神社 <small>天保十四年、正月、庚辰</small>	續後	二四〇	二一四
奉賀茂御祖等社幣祈雨也 <small>天保十四年、正月、庚辰</small>	奉幣賀茂上下等名神以祈霽 <small>天保十四年、正月、庚辰</small>	續後	二五〇	二二三
頒幣於賀茂上下令祈霽 <small>天保十四年、正月、庚辰</small>	始自今日限三個月爲賀茂大神轉	續後	二九〇	二五六
讀金剛般若經一千卷 <small>天保十四年、正月、庚辰</small>		續後	二九三	二五八

カモノ

奉幣賀茂等社祈甘雨 <small>天保十四年、正月、庚辰</small>	奉幣帛於賀茂上下等社祈霽澤	續後	三〇九	二七四
宜奉幣賀茂神令祈甘雨 <small>天保十四年、正月、庚辰</small>	遣使於賀茂御祖社祈申亦同 <small>天保十四年、正月、庚辰</small>	續後	三三三	二九五
遣使奉幣御祖鴨別雷等名神祈	雨 <small>天保十四年、正月、庚辰</small>	續後	三三五	二九七
遣參議左大辨正躬王奉幣帛於賀	茂神社爲令國家昌泰也 <small>天保十四年、正月、庚辰</small>	續後	三三八	三〇九
鴨上下大神宮禰宜外從五位下賀	茂縣主廣友等款云所謂鴨川經二	續後	三九二	三四五
神社指南流出其末流來觸神社因	玆汗穢之祟屢出御卜 <small>天保十四年、正月、庚辰</small>	續後	四〇一	三五五
正一位勳一等賀茂御祖大社禰宜	鴨縣主廣雄等款云去天平勝寶二	續後	四四六	三九五
年十二月十四日奉充御戶代田一	町自爾以降未被奉加因玆年中用	續後	四四六	三九五
途乏少請准別雷神社加增御戶代田	一町勅許之 <small>天保十四年、正月、庚辰</small>	續後	四四六	三九五
御祖社禰宜賀茂縣主千繼 <small>天保十四年、正月、庚辰</small>		三代	四五〇	三九五

奉幣帛於賀茂上下並告依瑞改元兼令祈防水沴也 <small>天智十五年、六月、庚子</small>	續後 四五四 四〇三
奉幣帛於賀茂上下以祈甘雨 <small>天智十五年、六月、庚子</small>	續後 四八二 四二七
左右馬寮御馬六疋奉鴨上下等名 <small>神龜三年、二月、甲寅</small>	文德 五九四 四六三
藤原朝臣氏宗向賀茂社 <small>神龜三年、二月、甲寅</small>	文德 五二〇 四六三
藤原朝臣助向加茂大神社 <small>神龜三年、二月、甲寅</small>	文德 五二〇 四六三
中臣朝臣逸志向賀茂大神社 <small>神龜三年、二月、甲寅</small>	文德 五二〇 四六三
賀茂別雷神神禰宜賀茂縣主益雄 <small>仁壽六年、四月、庚午</small>	文德 五三三 四七四
遣使者向賀茂大神社奉祭 <small>仁壽六年、四月、庚午</small>	文德 五三三 四七四
賀茂等神社祈禱 <small>仁壽六年、四月、庚午</small>	文德 五三四 四七五
向加茂等名神奉幣祈雨 <small>仁壽六年、四月、庚午</small>	文德 五五〇 四八九
向賀茂等社奉幣請以止雨 <small>仁壽六年、四月、庚午</small>	文德 五五一 四九〇
請僧二百五十人於大極殿及冷然院賀茂松尾神社分讀大般若經限三日訖攘灾疫也 <small>神龜三年、五月、庚戌</small>	文德 五九九 五三四
請僧於賀茂松尾大神社讀金剛般若經限三日訖 <small>神龜三年、五月、庚戌</small>	文德 六〇三 五三八
遣右大臣藤原朝臣良相於神社告	文德 六七一 五五〇

事由(齋王廢立) <small>天智元年、二月、甲申</small>	文德 六二〇 五五三
請僧百五十人於賀茂上下松尾大神社分讀金剛般若經 <small>天智元年、五月、己亥</small>	三代 四六 四〇
藤原朝臣氏宗爲賀茂御祖別雷神社使 <small>貞觀六年、七月、丁酉</small>	三代 四八 四二
始置延曆寺年分度者二人其一人爲賀茂神 <small>貞觀六年、八月、辛丑</small>	三代 四九 四三
奉幣賀茂御祖別雷止霖雨也 <small>貞觀六年、八月、辛丑</small>	三代 一四四 一三八
賀茂上社禰宜賀茂縣主真常下社禰宜鴨縣主時主等 <small>貞觀六年、八月、辛丑</small>	三代 二〇一 一七九
諸名神神田賀茂御祖神五段別雷神五段一並以山城國愛宕紀伊乙訓葛野等郡得度除帳田充之 <small>貞觀六年、八月、辛丑</small>	三代 二四九 二二〇
班幣賀茂御祖別雷 <small>貞觀六年、七月、丙辰</small>	三代 二五四 二二五
禁葬歛山城國愛宕郡神樂岡邊側之地以與賀茂御祖神社隣近 <small>貞觀六年、八月、辛丑</small>	三代 二九〇 二五七
遣使於賀茂以下諸社奉幣先月祈五穀今以賽焉 <small>貞觀六年、九月、丁未</small>	三代 二九四 二六一
遣使於賀茂御祖別雷等神社奉幣先月祈五穀今以賽焉 <small>貞觀六年、十一月、丁未</small>	

遣使於賀茂神社奉幣 <small>貞觀七年、四月、庚子</small>	三代 三〇四 二七一
賀茂祭齋內親王依穢不向於社 <small>貞觀七年、四月、乙酉</small>	三代 三〇五 二七一
奉幣賀茂以下諸社十所祈嘉澍也 <small>貞觀七年、六月、乙酉</small>	三代 三〇六 二七二
奉幣賀茂貴布禰神祈止雨 <small>貞觀七年、六月、乙酉</small>	三代 三六〇 三二八
掛長岐賀茂大神乃廣前爾 <small>貞觀七年、六月、乙酉</small>	三代 三六〇 三二八
奉幣賀茂御祖別雷兩社祈止霖雨 <small>貞觀七年、六月、乙酉</small>	三代 三六〇 三二九
掛長岐賀茂大神乃廣前爾 <small>貞觀七年、六月、乙酉</small>	三代 三六〇 三二九
御祖社告文同焉 <small>貞觀七年、六月、乙酉</small>	三代 三六一 三二九
賀茂御祖別雷兩社使大中原朝臣是直 <small>貞觀七年、十一月、乙丑</small>	三代 三六五 三三三
南淵朝臣年名爲賀茂兩社使 <small>貞觀十四年、五月、丙辰</small>	三代 三九八 三五二
賀茂等神成皇於是遣使社頭 <small>貞觀十四年、五月、丙辰</small>	三代 四三二 三七二
其走馬賀茂御祖別雷兩社各十疋 <small>貞觀十四年、五月、丙辰</small>	三代 四三二 三七二
遣參議大江朝臣音人於賀茂神社奉幣一告文曰 <small>貞觀十五年、五月、壬申</small>	三代 四三二 三七二
奉幣於賀茂並祈嘉澍也 <small>貞觀十五年、五月、壬申</small>	三代 四三二 三七二

遣使於賀茂神社奉幣祈雨也 <small>貞觀十五年、七月、辛未</small>	三代 四二六 三七五
遣使於賀茂奉幣告文曰 <small>貞觀十五年、七月、辛未</small>	三代 四二八 三七七
天皇我詔旨止掛長岐賀茂大神乃廣前爾 <small>貞觀十五年、七月、辛未</small>	三代 四二八 三七七
賀茂御祖別雷兩社奉幣祈禱 <small>貞觀十五年、七月、辛未</small>	三代 四四九 三九五
告文曰天皇我詔旨止掛長岐賀茂乃大神乃廣前爾 <small>貞觀十五年、七月、辛未</small>	三代 四四九 三九五
別雷神禰宜賀茂縣主門麻呂 <small>貞觀十五年、七月、辛未</small>	三代 四五〇 三九五
遣使者於賀茂御祖別雷奉幣 <small>貞觀十五年、七月、辛未</small>	三代 四七〇 三四四
班幣賀茂御祖別雷神祈雨 <small>貞觀十五年、七月、辛未</small>	三代 四七三 三四六
奉幣賀茂御祖別雷神祈秋稔也 <small>貞觀十五年、七月、辛未</small>	三代 四七四 三四七
勅遣參議菅原朝臣是善向賀茂御祖別雷兩社告大極殿災 <small>貞觀十八年、八月、乙卯</small>	三代 四八六 四二七
遣菅原朝臣是善向社頭申謝事由 <small>貞觀十八年、八月、乙卯</small>	三代 四九六 四三六
遣使於賀茂神社奉幣告以定齋內親王 <small>元應元年、二月、丙寅</small>	三代 五二二 四五〇
天皇我詔旨止掛長岐賀茂大神乃廣前爾 <small>元應元年、二月、丙寅</small>	三代 五二二 四五〇

カモノ

奉幣賀茂御祖別雷等神社 <small>元應六、四、庚戌</small>	三代	五三三	四五九
奉幣賀茂御祖別雷等社 <small>元應六、六、癸未</small>	三代	五三〇	四六五
分使賀茂御祖別雷神社奉幣 <small>元應七、五、丁亥</small>	三代	五三四	四六七
奉幣馬於賀茂御祖別雷賽舊禱 <small>元應七、五、丁亥</small>	三代	五五一	四八二
班幣祈雨賀茂御祖別雷等八社 <small>元應二、三、乙巳</small>	三代	五五九	四八九
奉幣賀茂御祖別雷等神社祈膏雨 <small>元應二、六、丁卯</small>	三代	五九〇	五一六
也 <small>元應三、五、庚戌</small>			
遣基棟王向於賀茂御祖別雷兩社 <small>元應四、二、己丑</small>	三代	六一三	五三四
並奉幣告以大極殿成 <small>元應四、二、己丑</small>			
天皇我詔旨止掛畏岐賀茂大神乃廣 <small>元應四、二、己丑</small>	三代	六一二	五三四
前爾申賜倍止申久 <small>元應四、二、己丑</small>			
遣使者於賀茂御祖別雷等社奉幣祈雨 <small>元應四、五、己巳</small>	三代	六一八	五四〇
於賀茂松尾等社將修灌頂經爲祈雨也 <small>元應四、五、己巳</small>	三代	六一九	五四一
遣使賀茂等十一社奉幣祈雨 <small>元應四、六、丁卯</small>	三代	六一一	五四三
奉幣賀茂神社告以定齋王也 <small>元應四、六、丁卯</small>	三代	六七五	五六六
藤原朝臣諸葛爲賀茂神社使 <small>元應六、六、丁卯</small>	三代	六七五	五六六

カモノ

分遣使者於賀茂御祖別雷七社奉幣而零以早也 <small>元應七、五、丁亥</small>	三代	六九九	六〇五
賀茂御祖別雷神社遣使班幣 <small>元應七、五、丁亥</small>	三代	七〇一	六〇六
奉幣於賀茂御祖別雷祈止雨 <small>元應七、五、丁亥</small>	三代	七〇四	六〇八
賀茂別雷神社禰宜鴨縣主貞基外 <small>元應七、五、丁亥</small>	三代	七三五	六二七
從五位下 <small>元應八、四、癸巳</small>			
遣忠貞王向賀茂神社告以不改齋王并爲內親王之狀 <small>元應八、四、癸巳</small>	三代	七三六	六二八
分遣使者於賀茂上下奉幣 <small>元應八、四、癸巳</small>	三代	七七四	六六九
天皇我詔旨止掛畏岐賀茂大神乃廣 <small>元應八、四、癸巳</small>	三代	七七四	六七〇
前爾申賜倍止申久 <small>元應八、四、癸巳</small>			
賀茂上下六社奉幣祈止雨 <small>元應八、四、癸巳</small>	三代	八〇三	六九五
賀茂神社邊有狼 <small>元應八、五、壬寅</small>	三代	八〇六	六九八
春三月試度就中一人爲賀茂明神 <small>元應八、五、壬寅</small>	三代	八二一	七一〇
分 <small>元應八、五、壬寅</small>			
〔賀茂齋院〕○齋院司は終りに附す <small>元應十一、三、癸丑</small>	續後	一九六	一七六
高子內親王爲賀茂齋院 <small>元應十一、三、癸丑</small>	續後	一九七	一七七
以告高子內親王定齋院之狀 <small>元應十一、三、癸丑</small>	續後	二二二	二〇六
高子內親王禊于賀茂川始入齋院 <small>元應十一、三、癸丑</small>	續後	二二二	二〇六

カモノ

二品有智子內親王薨一元爲賀茂齋院 <small>天皇幸齋院花宴<small>元應十、三、甲申</small></small>	續後	四三七	三八八
慧子內親王爲賀茂齋 <small>元應十、三、甲申</small>	文德	五一五	四五九
齋內親王未盈齋限故不得侍加茂祭 <small>元應十、三、甲申</small>	文德	五三三	四七四
加茂齋內親王禊是日始入紫野齋院 <small>元應十、三、甲申</small>	文德	五五九	四八八
廢鴨齋內親王慧子更立无品述子內親王爲齋內親王 <small>元應十、三、甲申</small>	文德	六七七	五五〇
儀子內親王爲賀茂齋 <small>貞觀十、六、丁亥</small>	三代	五二	四四
大祓以定伊勢賀茂齋內親王 <small>貞觀十、六、丁亥</small>	三代	五二	四五
賀茂齋儀子內親王於鴨水邊待賢門末修禊 <small>貞觀十、六、丁亥</small>	三代	五六	五〇
齋內親王未入野宮故不向社 <small>貞觀十、六、丁亥</small>	三代	六五	五七
賀茂齋內親王臨鴨水修禊是日便入紫野齋院 <small>貞觀十、六、丁亥</small>	三代	九八	八六
賀茂齋內親王依例修禊事 <small>貞觀十、六、丁亥</small>	三代	一四一	一三八
朝使并齋內親王不向於社 <small>貞觀十、六、丁亥</small>	三代	二二二	二二二
無位高子內親王卜爲賀茂齋仁明天皇崩後停齋歸第 <small>貞觀十、六、丁亥</small>	三代	二四四	二二六

カモノ

齋內親王依穢不向於社 <small>貞觀十、四、乙酉</small>	三代	三〇五	二七一
賀茂齋儀子內親王獻物皇太后於常寧殿 <small>貞觀十、七、丁亥</small>	三代	三〇八	二七四
賀茂齋儀子內親王始筭 <small>貞觀十、七、丁亥</small>	三代	三一九	二八三
賀茂齋儀子內親王始筭 <small>貞觀十、八、二</small>	三代	四八〇	四三三
賀茂齋儀子內親王依病出紫野齋院移居皇太后宮染殿宮 <small>貞觀十、八、二</small>	三代	四八七	四三八
賀茂齋儀子內親王稱病加劇修狀請停齋 <small>貞觀十、八、二</small>	三代	四九六	四三六
卜定伊勢賀茂齋內親王賀茂齋敦子內親王並卜食 <small>元應元、二、己未</small>	三代	五一二	四四九
告以定齋內親王 <small>元應元、二、己未</small>	三代	五一二	四五〇
賀茂齋內親王臨於鴨水解禊即便入紫野院 <small>元應元、二、己未</small>	三代	六六七	五三九
野宮緣穢而停非緩也 <small>元應元、四、甲午</small>	三代	六四五	五六三
其祝詞尼曰辭別申久前年爾進禮留齋王波重喪爾遭 <small>大留爾依天<small>元應四、丁酉</small></small>	三代	六四三	五六四
其賀茂齋者諸內親王不卜食 <small>元應六、丁酉</small>	三代	六七二	五六四
卜定賀茂齋王二世穆子女王卜食 <small>元應六、丁酉</small>	三代	六七二	五六四

カモノ

奉幣賀茂神社告以定齋王也 <small>延喜式卷六、七、甲子</small>	三代	六七五	五六六
賀茂齋女王修禊鳴水入於初齋院 <small>延喜式卷六、七、甲子</small>	三代	六八一	五九〇
卜定齋王賀茂齋者皇女穆子太上 <small>延喜式卷六、七、甲子</small>	三代	七三三	六三五
天皇在祚卜定人初齋院今依舊不變 <small>延喜式卷六、七、甲子</small>	三代	七三五	六三八
皇女加茂齋穆子並爲內親王 <small>延喜式卷六、七、甲子</small>	三代	七三六	六三八
遣忠貞王向賀茂神社告以不改齋王并爲內親王之狀 <small>延喜式卷六、七、甲子</small>	三代	七三六	六三八
唯二女應供奉齋宮齋院者上畏神明 <small>延喜式卷六、七、甲子</small>	三代	七三六	六三八
齋內親王不向神社 <small>延喜式卷六、七、甲子</small>	三代	七三六	六二九
賀茂齋內親王擬祓河邊便入紫野院 <small>延喜式卷六、七、甲子</small>	三代	七六四	六六一
賀茂齋內親王臨鴨水修禊便入紫野院矣 <small>延喜式卷六、七、甲子</small>	三代	七六九	六六六
賀茂齋內親王臨鴨水修禊便入紫野院矣 <small>延喜式卷六、七、甲子</small>	三代	四四三	三九〇
院仍停祭事 <small>延喜式卷六、七、甲子</small>	三代	四四三	三九〇
聽齋院司私養鷹二聯 <small>延喜式卷六、七、甲子</small>	續後	二六八	二三八
齋院司休官各歸家 <small>延喜式卷六、七、甲子</small>	三代	四九六	四三六

カモノ

菅野朝臣永岑齋院長官如故 <small>延喜式卷六、七、甲子</small>	續後	二八七	二五三
百濟王慶世爲齋院長官 <small>延喜式卷六、七、甲子</small>	續後	四三八	三八九
藤原朝臣岑主爲齋院長官 <small>延喜式卷六、七、甲子</small>	文德	五六一	四九九
藤原朝臣野主爲齋院長官 <small>延喜式卷六、七、甲子</small>	文德	五六三	五〇一
橘朝臣春成爲齋院長官 <small>延喜式卷六、七、甲子</small>	文德	五七三	
紀朝臣冬雄爲齋院長官 <small>延喜式卷六、七、甲子</small>	文德	六二七	五五〇
藤原朝臣水谷爲齋院長官 <small>延喜式卷六、七、甲子</small>	三代	八九	七
齋院長官藤原朝臣水谷爲侍從 <small>延喜式卷六、七、甲子</small>	三代	九〇	七九
齋院長官藤原朝臣水谷從五位上 <small>延喜式卷六、七、甲子</small>	三代	一六一	一四二
齋院次官藤原朝臣忠主爲齋院長官 <small>延喜式卷六、七、甲子</small>	三代	二二九	二〇二
齋院長官藤原朝臣永谷爲安藝權守 <small>延喜式卷六、七、甲子</small>	三代	二二九	二〇三
齋院長官藤原朝臣忠主爲皇太后宮大進齋院長官如故 <small>延喜式卷六、七、甲子</small>	三代	二七六	二四四
齋院長官藤原朝臣忠主從五位上 <small>延喜式卷六、七、甲子</small>	三代	三〇九	二七五
藤原朝臣遠經爲齋院長官 <small>延喜式卷六、七、甲子</small>	三代	五八三	五一〇

カモノ

源朝臣希爲齋院長官 <small>延喜式卷六、七、甲子</small>	三代	七九二	六八五
齋院長官源朝臣希 <small>延喜式卷六、七、甲子</small>	三代	七九九	六九一
齋院長官源朝臣希爲近江權介 <small>延喜式卷六、七、甲子</small>	三代	八一六	七〇五
齋院長官源朝臣希爲右司 <small>延喜式卷六、七、甲子</small>	三代	八三一	七一九
齋院次官藤原朝臣忠主爲齋院長官 <small>延喜式卷六、七、甲子</small>	三代	三三九	二〇二
左京人齋院判官正八位上上毛野 <small>延喜式卷六、七、甲子</small>	三代	一五六	一三九
公藤野等賜姓朝臣 <small>延喜式卷六、七、甲子</small>	三代	一五六	一三九
丹波國多紀郡人齋院主典從七位 <small>延喜式卷六、七、甲子</small>	續後	四〇〇	
上常澄宿禰成主 <small>延喜式卷六、七、甲子</small>	續後	二七三	二四三
齋院雜使四人與之公驗 <small>延喜式卷六、七、甲子</small>	續後	二七三	二四三
〔鴨福宜〕鴨縣主を見よ			
〔賀茂祭〕 <small>賀茂祭の諸節解</small>			
禁山背國賀茂祭日會衆騎射 <small>延喜式卷六、七、甲子</small>	續紀	三	四
禁祭賀茂神日徒衆會集執仗騎射 <small>延喜式卷六、七、甲子</small>	續紀	二二	三三
賀茂神祭日自今以後國司每年親臨檢察 <small>延喜式卷六、七、甲子</small>	續紀	六四	六七
御紫宸殿閱覽賀茂祭使等鞍馬調 <small>延喜式卷六、七、甲子</small>	續後	二四三	二二六

カモノ

飾并從者容儀賜使等祿以橘朝臣永名令供祭使 <small>延喜式卷六、七、甲子</small>	文德	五二〇	四六三
四月乃祭 <small>延喜式卷六、七、甲子</small>	文德	五三三	四七四
遣使者向賀茂大神社奉祭齋內親王未盈齋限故不得侍祭 <small>延喜式卷六、七、甲子</small>	文德	五四九	四八八
修加茂祭如常儀 <small>延喜式卷六、七、甲子</small>	文德	五五三	五〇〇
停賀茂祭向社下申謝事由但山城國司齋供如常 <small>延喜式卷六、七、甲子</small>	文德	五五五	五二二
以有機事停賀茂祭但山城國司齋供如常 <small>延喜式卷六、七、甲子</small>	文德	五五五	五二二
鳴祭如常也 <small>延喜式卷六、七、甲子</small>	文德	六二〇	五五三
六府警固緣賀茂祭也 <small>延喜式卷六、七、甲子</small>	三代	三六	三三
賀茂神祭停遣朝使緣有機也 <small>延喜式卷六、七、甲子</small>	三代	三八	三三
六府警固緣賀茂祭也 <small>延喜式卷六、七、甲子</small>	三代	六五	五七
賀茂祭如常 <small>延喜式卷六、七、甲子</small>	三代	六五	五七
諸衛警固緣賀茂祭也 <small>延喜式卷六、七、甲子</small>	三代	九八	八七
修賀茂祭 <small>延喜式卷六、七、甲子</small>	三代	九八	八七
諸衛警固緣賀茂祭也 <small>延喜式卷六、七、甲子</small>	三代	一三〇	一〇六
賀茂祭如常 <small>延喜式卷六、七、甲子</small>	三代	一三〇	一〇六
諸衛警固緣賀茂祭也 <small>延喜式卷六、七、甲子</small>	三代	一四四	一二八

賀茂祭如常 <small>貞觀九、四、己酉</small>	三代	一四四	一三八
諸衛警固縁明日賀茂祭也 <small>貞觀六、四、壬申</small>	三代	一七七	一五九
賀茂祭如常 <small>貞觀六、四、壬申</small>	三代	一七七	一五九
諸衛警固縁賀茂祭也 <small>貞觀七、四、壬申</small>	三代	二〇三	一八〇
賀茂祭如常儀 <small>貞觀七、四、壬申</small>	三代	二〇三	一八〇
諸衛警固縁賀茂祭也 <small>貞觀八、四、甲申</small>	三代	二三八	二二一
賀茂祭朝使并齋内親王不向於社 <small>貞觀八、四、丁酉</small>	三代	二三八	二二一
諸衛警固縁賀茂祭也 <small>貞觀九、四、甲申</small>	三代	二八二	二五〇
賀茂祭如常 <small>貞觀九、四、甲申</small>	三代	二八二	二五〇
諸衛警固縁賀茂祭也 <small>貞觀十、四、甲申</small>	三代	三〇五	二七一
賀茂祭齋内親王依穢不向於社 <small>貞觀十、四、乙酉</small>	三代	三〇五	二七一
諸衛警固縁賀茂祭也 <small>貞觀十一、四、甲申</small>	三代	三三六	三一六
賀茂祭如常 <small>貞觀十一、四、丁酉</small>	三代	三三六	三一六
諸衛警固縁賀茂祭也 <small>貞觀十三、四、甲申</small>	三代	三七六	三三三
停賀茂祭依有死穢也 <small>貞觀十三、四、丁酉</small>	三代	三七六	三三三
而彼日當賀茂祭故避之 <small>貞觀十三、四、甲申</small>	三代	四〇〇	三七一
諸衛警固縁賀茂祭也 <small>貞觀十六、四、戊申</small>	三代	四四三	三八九
賀茂祭染淳和院火穢之人入於齋 <small>貞觀十六、四、戊申</small>	三代	四四三	三八九
院仍停祭事 <small>貞觀十六、四、己酉</small>	三代	四六九	四二二
諸衛警陣縁明日賀茂祭也 <small>貞觀十七、四、甲申</small>	三代	四六九	四二二
賀茂祭如常 <small>貞觀十七、四、甲申</small>	三代	四八六	四二七
停賀茂祭以大極殿火災也 <small>貞觀十八、四、甲申</small>	三代	五二四	四五九
諸衛警固如常縁賀茂祭也 <small>貞觀十八、四、甲申</small>	三代	五二四	四五九
賀茂祭如常 <small>貞觀十九、四、乙酉</small>	三代	五二四	四五九
諸衛警固縁明日賀茂祭也 <small>貞觀二十、四、甲申</small>	三代	五五五	四八五
賀茂祭如常 <small>貞觀二十、四、乙酉</small>	三代	五五五	四八五
諸衛警固如常以明日賀茂祭也 <small>貞觀二十、四、甲申</small>	三代	五八八	五一一
停賀茂祭縁太皇太后崩也 <small>貞觀二十、四、甲申</small>	三代	五八八	五一一
諸衛警陣以明日賀茂祭也 <small>貞觀二十四、四、甲申</small>	三代	六八八	五三九
賀茂祭如常 <small>貞觀二十四、四、丁酉</small>	三代	六八八	五三九
諸衛警固以明日賀茂祭也 <small>貞觀二十五、四、甲申</small>	三代	六四五	五六二
賀茂祭良岑朝臣晨直奉承祝詞向社宣旨 <small>貞觀二十五、四、丁酉</small>	三代	六四五	五六二
於朱雀門前修大祓以一人死賀茂祭也 <small>貞觀二十六、四、甲申</small>	三代	六七三	五八五
等祭停止也 <small>貞觀二十六、四、甲申</small>	三代	六七三	五八五
諸衛警固以明日賀茂祭也雖停祭事猶有警陣例也 <small>貞觀二十六、四、甲申</small>	三代	六七三	五八五
諸衛警固縁明日賀茂祭也 <small>貞觀二十七、四、甲申</small>	三代	六九六	六〇三

カモノ

カモノ

賀茂祭如常 <small>元慶七、四、辛酉</small>	三代	六九七	六〇三
諸衛警固如舊儀以明日賀茂祭也 <small>元慶八、四、戊申</small>	三代	七六六	六二九
賀茂祭如常 <small>元慶八、四、己酉</small>	三代	七六六	六二九
諸衛警固以明日賀茂祭也 <small>元慶九、四、甲申</small>	三代	七六六	六二九
停賀茂祭縁有人死穢也 <small>元慶九、四、甲申</small>	三代	七六六	六二九
諸衛警固縁明日賀茂祭也 <small>元慶十、四、甲申</small>	三代	七九三	六六六
賀茂祭如常 <small>元慶十、四、甲申</small>	三代	七九三	六六六
諸衛警固縁明日賀茂祭也 <small>元慶十一、四、甲申</small>	三代	八二四	七三三
賀茂祭如常 <small>元慶十一、四、甲申</small>	三代	八二四	七三三
常陸國鴨大神御子神主玉神並列於官社 <small>元慶十三、四、戊申</small>	文徳	五二二	四五八
常陸國從五位下主玉神從五位上 <small>貞觀三、九、甲申</small>	三代	一〇六	九四
山城國從五位上鴨川合神預名神 <small>天長二、八、丁未</small>	文徳	六四七	五七八
鴨川合神並從五位上 <small>貞觀六、四、甲申</small>	三代	二二	一九
鴨川合坐小祖宅神正五位下 <small>貞觀六、四、甲申</small>	三代	一八	一三
上野國山田郡賀茂神並爲官社 <small>延暦十五、八、甲戌</small>	後紀	四	三
從五位上賀茂神並正五位下勳十二等 <small>元慶四、五、戊寅</small>	三代	六一九	五四一
讚岐國從五位下賀茂神等並從五位上 <small>貞觀七、七、丁巳</small>	三代	二一四	一九〇
從五位上賀茂天神正五位下 <small>貞觀十七、四、甲申</small>	三代	四七〇	四一三
伯耆國正六位上賀茂神並從五位下 <small>貞觀十九、四、丁未</small>	三代	二八二	二五〇
遠江國正六位上鴨神並從五位上 <small>貞觀十九、四、庚申</small>	三代	二九一	二五九
此神之子即甘茂君等 <small>書代上</small>	書紀	四五	四〇
鴨山口神 <small>(山城)</small> 並從五位下 <small>貞觀十九、四、甲申</small>	三代	三三	一九
鴨山口神 <small>(大和)</small> 並正五位下 <small>貞觀十九、四、甲申</small>	三代	三三	二〇
賀茂山口神等遣使奉幣 <small>貞觀十九、四、甲申</small>	三代	五〇	四四
飛騨國正六位上賀茂若宮神從五位下 <small>元慶九、十、甲申</small>	三代	六五四	五七〇
河内國人鴨部船主同姓氏成等賜姓賀茂朝臣速須佐雄命之苗裔也 <small>天長三、五、丁巳</small>	續後	三四七	三三一
從五位下賀夜奈流美神 <small>(大和)</small> 正四位下 <small>貞觀六、四、甲申</small>	三代	三三	二〇

カモノ

カモノ

カモノ

カヤノ	次生草祖草野姬 <small>亦名御代上</small>	書紀	九	八
カヤマ	香山宿禰弘行爲主典 <small>伊勢齋仁祖</small>	三代	八〇三	六九五
カラク	以河内國志紀郡辛國神並預官社 <small>貞觀九、二、四</small>	三代	二六	二四七
	豐前辛國息長大姬大目命—望預官社 <small>聖德太子</small>	續後	二六九	二四〇
	從五位上辛國息長比咩神並授從四位上 <small>貞觀七、二、巳卯</small>	三代	一九六	一七五
カラノ	殺牛用祭漢神 <small>延喜七、九、甲戌</small>	續紀	八三八	七七七
カラワ	韓神 <small>(韓神祭) 國神を見よ</small>	續後	四六七	四一五
カラタ	神事 <small>用來利</small>	續後	三九九	三五四
	陸奥國无位勳九等刈田嶺神並從五位下 <small>緣有靈驗也</small>	續後	四四八	三九六
	刈田嶺名神正五位下 <small>聖德太子</small>	三代	三三三	二九五
	正五位上勳九等刈田嶺神從四位下 <small>貞觀十一、十六、辛卯</small>	三代	三三五	二九八
	正五位上勳九等刈田嶺神從四位下 <small>貞觀十一、十六、辛卯</small>	三代	三三五	二九八
カリハ	苅原河内神 <small>ハギハラを見よ</small>	三代	三三	二〇
カルコ	輕樹村神 <small>(大和) 並從五位上</small>	三代	三三	二〇

カロノ

因幡國正六位上賀露神並授從五位下 <small>貞觀三、七、丙辰</small>	三代	一〇七	九五
賀露神並從五位上 <small>貞觀十六、五、丙戌</small>	三代	四四四	三九一
賀露神正五位下 <small>聖德太子</small>	三代	五三一	四六六
賀露神從四位下 <small>聖德太子</small>	三代	五四一	四七三
賀露神從四位上 <small>元慶二、十一、甲辰</small>	三代	五七四	五〇三

キ

故葬於紀伊國熊野之有馬村焉 <small>聖德太子</small>	書紀	一一	一一
用此奉造之神是即紀伊國所坐日	書紀	三三	二九
前神也 <small>聖德太子</small>	書紀	四三	三八
所以稱五十猛命爲有功之神即紀伊國所坐大神是也 <small>聖德太子</small>	書紀	四三	三八
凡此三神亦能分布木種即奉渡於紀伊國也 <small>聖德太子</small>	書紀	四三	三八
以紀伊國忌部遠祖手置帆負神定爲作笠者 <small>聖德太子</small>	書紀	六〇	五三
到于紀伊國龜山而五瀬命薨于軍	書紀	九三	七九

キイ

因葬龜山 <small>聖德太子</small>	書紀	九三	八〇
到熊野神邑—至熊野荒坂津 <small>聖德太子</small>	書紀	一五八	一三三
卜幸于紀伊國將祭祀群神祇而不吉—屋主忍男武雄心命詣之居于阿備柏原而祭祀神祇 <small>聖德太子</small>	書紀	六四五	五四三
奉幣於居紀伊國懸神 <small>聖德太子</small>	書紀	六七〇	五六三
奉幣于四所—紀伊大神 <small>聖德太子</small>	書紀	六七三	五六四
奉新羅調於五社—紀伊 <small>聖德太子</small>	續紀	二二	二二
分遷伊太祁曾大屋都比賣都麻都比賣三神社 <small>大寶二、二、己未</small>	續紀	一四二	一四五
紀伊國名草郡等少領已上聽連任三等已上親 <small>聖德太子</small>	續紀	一四八	一五二
春秋二時差遣官人奠祭玉津嶋之神明光浦之靈 <small>聖德太子</small>	續紀	八三六	七七七
斷紀伊等國百姓殺牛用祭漢神 <small>聖德太子</small>	續後	四〇一	三五五
志摩神伊達神靜火神並正五位下 <small>聖德太子</small>	續後	四〇一	三五五
伊太祁曾神從五位下 <small>聖德太子</small>	文德	五三三	四六六
紀朝臣貞守向日前國懸大神社—	文德	五三三	四六七

キイ

遣同貞守於坐伊太祁曾神社 <small>聖德太子</small>	文德	五三四	四六七
伊達神志摩神靜火神並加從四位下 <small>聖德太子</small>	文德	五九〇	五二六
天手力男神預於官社 <small>聖德太子</small>	三代	二五	二二
伊達神志摩神靜火神並正四位下丹生都比賣神伊太祁曾神大屋都比賣神鳴神並從四位下須佐神熊野早玉神熊野坐神並從五位上 <small>聖德太子</small>	三代	四一	三七
堅真「音」神從五位上 <small>聖德太子</small>	三代	四一	三七
熊野早玉神熊野坐神從二位 <small>聖德太子</small>	三代	四一	三七
紀朝臣宗守爲日前國懸兩社使 <small>聖德太子</small>	三代	四六	四一
御船神從五位下 <small>聖德太子</small>	三代	一〇三	九一
熊野早玉神授正二位 <small>聖德太子</small>	三代	一四一	一一五
堅真音神列於官社 <small>聖德太子</small>	三代	二〇四	一八二
堅真音神並授從四位下 <small>聖德太子</small>	三代	二三六	二〇九
伊達神志摩神靜火神並授從三位三前神從五位下 <small>聖德太子</small>	三代	四七五	四一八
大位神從五位下 <small>聖德太子</small>	三代	四七八	四三〇

キイ	玉出島神並從五位下 <small>元龜五、六、丁酉</small>	三代	六五七	五七一	キザリ	以雀爲春女 <small>一云乃以川雁爲持傾頭者</small>	書紀	四九	四三
	丹生比賣神伊太祁曾神並從四位上 <small>元龜七、十二、庚申</small>	三代	七二一	六二五	キシナ	儀子內親王爲賀茂齋 <small>貞觀元、七、丁亥</small>	三代	五一	四五
	浦上國津姬神從五位下 <small>仁壽元、十二、</small>	三代	七八三	六七七		賀茂齋儀子內親王 <small>貞觀十、十、丁亥</small>	三代	三〇八	二七四
	奉幣紀伊大神告以新宮 <small>持統六、五、庚寅</small>	書紀	六七〇	五六二		賀茂齋儀子內親王始筭 <small>貞觀十二、二、丁酉</small>	三代	三一九	二八三
	奉新羅調於五社—紀伊 <small>持統六、十二、</small>	書紀	六七三	五六四		賀茂齋儀子內親王始筭 <small>貞觀十八、二、丁巳</small>	三代	四八〇	四二二
	名草郡大領紀直摩祖爲國造進位 <small>持統六、十二、</small>	續紀	一四八	一五二		賀茂齋儀子內親王 <small>貞觀十八、五、己亥</small>	三代	四八七	四二八
	三階 <small>神皇正統記、十、壬寅</small>	續紀	一四九	一七〇		賀茂齋儀子內親王 <small>貞觀十八、九、戊申</small>	三代	四九六	四三六
	以紀直豐島爲紀伊國造 <small>天智元、三、丁巳</small>	續紀	一六九	一七〇		前爾侍之儀子內親王波 <small>文德元、二、丙寅</small>	三代	五一三	四五〇
	以紀直五百友爲紀伊國造 <small>持統九、五、</small>	續紀	八三三	七六三		於是二神誅諸不順鬼神等 <small>持統下</small>	書紀	五一	四五
	伴宿禰龍男與國造紀宿禰高繼不 <small>續後</small>	續後	四七六	四二四		小角能役使鬼神 <small>文德三、五、丁丑</small>	續紀	六	七
	恢 <small>神皇正統記、十四、壬午</small>					天地告譴鬼神見異 <small>神皇正統記、二、甲子</small>	續紀	一五八	一六〇
キウ	新雨 アマゴヒを見よ	三代	二七五	二四四		幽顯致和鬼神無爽 <small>貞觀十二、五、丙戌</small>	續紀	六八五	六三六
キキサ	并修鬼氣祭 <small>貞觀六、三、丁卯</small>	三代	四四四	三九一		非唯侵驚鬼神 <small>貞觀十一、十二、甲午</small>	續紀	六九九	六四九
キケホ	遠江國正六位上岐氣保神從五位下 <small>貞觀十六、五、丁酉</small>	三代	四四四	三九一		鬼神不能違其感 <small>貞觀元、五、丁卯</small>	續後	二二一	一八八
キザリ	安房國無位第一后神天比理刀咩命神並從五位下 <small>天智九、七、壬戌</small>	續後	三六七	三三五		諸國疫癘流行病苦者衆其病從鬼神來 <small>貞觀二、四、丁丑</small>	續後	二二〇	
	以川鴈爲持傾頭者及持帚者 <small>以爲持傾頭者</small>	書紀	四九	四三		夫鬼神有智 <small>貞觀七、五、庚戌</small>	續後	三七六	三三三
						人鬼調和—含冤衆鬼 <small>貞觀十四、四、庚寅</small>	續後	四三三	三八三
						諸鬼神等皆隨願指 <small>貞觀三、五、壬午</small>	文德	五一〇	四五五

キシン	鬼神貽福謙之慶 <small>貞觀九、二、癸巳</small>	三代	二七六	二四七	キセイ	奉幣馬於貴布禰丹生河上雨師神以祈止風雨也 <small>貞觀九、九、癸亥</small>	續後	二七八	二四七
	八部鬼神新妖自斷 <small>貞觀九、十一、甲子</small>	三代	二九五	二六二		遣使奉幣丹貴二社祈止雨也 <small>貞觀六、八、癸丑</small>	續後	二九四	二六〇
	鬼神未可害其盈 <small>貞觀十三、四、甲午</small>	三代	三七六	三三三		雨水殊甚奠幣雨師以祈止雨 <small>貞觀八、八、丁卯</small>	續後	三三八	二九九
	秦繆勞苦鬼神之勤 <small>貞觀十六、三、壬午</small>	三代	四四一	三八八		復須奉幣祈止如初儀 <small>貞觀十二、五、丙戌</small>	續後	四〇八	三六一
	大小鬼神左右豎耳 <small>文德二、四、甲午</small>	三代	五五七	四八七		奉幣於伊勢大神宮令祈止雨也 <small>貞觀十二、七、壬申</small>	續後	四一〇	三六四
キセイ	新晴	續紀	六三一	五八八		奉白馬幣帛於丹生川上雨師神令祈止雨 <small>貞觀十四、七、丙戌</small>	續後	四三六	三八六
	奉白馬及幣於丹生川上畿內群神霖雨也 <small>貞觀六、九、壬寅</small>	續紀	六五〇	六〇四		奉幣雨師神社以祈止霖雨 <small>貞觀十五、八、己亥</small>	續後	四四九	三九七
	奉白馬於丹生川上神霖雨也 <small>貞觀八、四、丙戌</small>	續紀	六五三	六〇六		丹生川上雨師社奉幣馬以祈霽 <small>貞觀元、五、庚辰</small>	文德	五三三	四七五
	遣使奉幣於伊勢大神宮并賀茂大神以霖雨不晴也 <small>弘仁六、八、甲寅</small>	後紀	一一一	一六〇		伊勢賀茂松尾乙訓等神社祈霽 <small>仁壽元、六、甲辰</small>	文德	五三四	四七五
	仍命大和山城二國介以上親奉幣於丹生川上雨師神松尾賀茂上下及貴布禰社以祈霽焉 <small>天長七、五、壬午</small>	續後	二〇三			御馬進率雨止女賜止禱申賜 <small>仁壽元、甲辰</small>	文德	五三四	四七五
	走幣畿內名神祈止風雨 <small>天長元、八、己亥</small>	續後	二二〇	一九七		向賀茂松尾大神等社奉幣請以止雨 <small>仁壽二、四、壬辰</small>	文德	五五一	四九〇
	奉幣帛并白馬於貴布禰神丹生河上雨師神以祈止雨也 <small>承和五、八、甲辰</small>	續後	二七六	二四七		遣使者向伊勢太神宮豫請止風雨 <small>承和元、七、庚戌</small>	文德	五七七	五一四
	奉幣帛賀茂上下松尾乙訓垂水住吉等名神以祈霽 <small>貞觀五、八、癸丑</small>	續後	二七六	二四七		遣使者向丹生川上雨師社奉幣馬請止淫雨 <small>承和二、四、甲辰</small>	文德	五八八	五三四